

令和5年度
柳川市民アンケート調査
報告書

令和5年10月
柳川市

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計	1
II. 調査結果の概要	2
1. 暮らしに関連する結果について...問4～9	2
2. 公共交通機関に関連する結果について...問10～13	3
3. 「柳川ブランド認定品」の認知度について...問14	4
4. 文化・景観・歴史に関連する結果について...問15～22	4
5. 環境衛生に関連する結果について...問23～28	5
6. 防災に関連する結果について...問29～33	5
7. 選挙に関連する結果について...問34～37	6
8. 市のホームページに関連する結果について...問38～39	6
III. 調査結果	7
1. 回答者数属性	7
1. 暮らしについて	8
(1) 地域活動・地域ボランティアへの参加有無(問4)	8
(2) 柳川市は子育てしやすい環境であると思う度合い(問5)	11
(3) 人権が守られていると思う度合い(問6)	14
(4) 市内の道路を快適に通行できると思う度合い(問7)	17
(5) 柳川市への愛着や誇りの度合い(問8)	20
(6) 観光客へのおもてなしをして良かったと思う度合い(問9)	23
2. 公共交通機関について	26
(1) 路線バス・電車などの公共交通を利用しようと思う度合い(問10)	26
(2) 最近3か月間の公共交通機関の利用状況(問11)	29
(3) 柳川市運行コミュニティバスの認知度(問12)	32
(4) 市内の公共交通に対する満足度(問13)	35
3. ブランド化について	38
(1) 「柳川ブランド認定品」の認知度(問14)	38
4. 文化・景観・歴史について	41
(1) 文化芸術活動が盛んに行われているかと思う度合い(問15)	41
(2) この1年以内の掘割に接する機会の有無(問16)	44
(3) 柳川市の水辺の景観や掘割が保全されていると感じる度合い(問17)	47
(4) 掘割への愛着や誇り(問18)	50
(5) この1年以内の川下り経験有無(問19)	53
(4) 川下り全体の満足度(問20)	56
(5) 柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「闇千代」の認知度(問22)	59
5. 環境衛生について	62
(1) 燃やすしかないごみは何処に出しているか(問23)	62
(2) 自宅の前に出している場合の出し方(問24)	65
(3) ごみ収集車の収集ルート上まで持って行って出している場合の、ごみ出しの場所の	

利用者（問 25）	68
（4）ごみ収集車の収集ルート上のごみ出し場所を自分だけが利用している場合のごみの出し方（問 26）	71
（5）ごみ収集車の収集ルート上のごみ出し場所を 5 軒以上の世帯が利用している場合のごみの出し方（問 27）	74
（6）ごみ減量の工夫として取り組んで良いと思うもの（問 28）	77
4. 防災について	81
（1）お住まいの住宅（問 29）	81
（2）住宅用火災警報器の設置状況（問 30）	84
（3）住宅用火災警報器を設置後、10 年の経過有無（問 31）	87
（4）最近半年以内で、住宅用火災警報器の作動確認状況（問 32）	90
（5）最近半年以内で、住宅用火災警報器の作動確認結果（問 33）	93
5. 選挙について	96
（1）投票所へ行く時間帯（問 34）	96
（2）投票終了時刻を早めることについて（問 35）	99
（3）賛成の理由（問 36）	102
（4）投票時刻の終了時間について（問 37）	105
6. 市のホームページについて	108
（1）新しくなったホームページはみやすいか（問 38）	108
IV. 参考資料	111
1. 自由記述	111
（1）川下り全体の満足度の理由（問 21）	111
（2）選挙時間早めることへの意見「その他」（問 35）	115
（3）選挙時間早めることへ「賛成」の理由「その他」（問 36）	117
（4）適当だと思う投票終了時刻（問 37）	118
（5）新しくなったホームページが「見やすい」または「見にくい」理由（問 39）	119
（6）柳川市のまちづくりについてのご意見等（問 40）	124
2. 調査票	154

I. 調査の概要


1. 調査の目的

第2次柳川市総合計画後期基本計画に掲げる施策の進捗や各施策分野における市民の実感等を把握するとともに市民の総合的な満足度やそれに寄与する要因を抽出、目標設定の基礎資料とするため調査及び調査結果に対する分析を実施するものです。

2. 調査設計

- | | |
|------------|------------------------------|
| (1) 調査地域 | 柳川市全域 |
| (2) 調査対象者 | 市内に居住する 18 歳以上 |
| (3) 標本数 | 2,000 サンプル
※住民基本台帳より無作為抽出 |
| (4) 標本抽出台帳 | 令和5年6月1日現在の選挙人名簿 |
| (5) 調査方法 | 郵送法 |
| (6) 調査期間 | 令和5年6月20日～令和5年7月14日 |
| (7) 回収数(率) | 984 サンプル (49.2%) |
| (8) 調査主体 | 柳川市 総務部 企画課 |

【 調査結果利用上の注意 】

- (1) 回答結果は各質問の回答者数 (n) を基数とした百分率 (%) で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- (3) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』としています。
- (4) 今回調査 (R5 調査) の回答結果で、2つ以上の選択肢を合計している割合については、対象の選択肢の回答者数に対する該当設問の対象回答者数の割合を表記しています。
- (5) 調査結果を図表に表示しておりますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網掛けをしています。
- (6) 図表において、回答者数 (n) が少数となる場合は、参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要します。

Ⅱ. 調査結果の概要

本調査の設問は、概ね8つの分野に大別されます。調査結果の概要は、分野ごとに、市民のニーズや今後の取り組むべき方針等をまとめました。

1. 暮らしに関連する結果について…問4～9

地域活動・地域ボランティアの参加有無（問4）は、「参加している」が40.5%となっており、前回調査と比較すると、3.8ポイント増加しています。性別で見ると、男性に比べ、女性の参加率が低くなっており、年齢別で見ると、10歳代・20歳代の参加率は他の年代に比べ、1割未満とかなり低くなっており、若年層に対してボランティアの関心を高めることが課題と思われれます。

本市が子育てしやすい環境かについて（問5）は、「そう思う」（6.6%）と「どちらかといえばそう思う」（30.1%）を合わせた『そう思う』の割合が36.7%と、前回調査（31.4%）の割合と比較すると、増加しています。年齢別では、『そう思う』の割合が30歳代以上では4割近くを占めています。また、子育て世代である30歳代・40歳代では、「どちらかといえばそう思わない」（14.5%）と「そう思わない」（8.2%）を合わせた『そう思わない』の割合が22.7%、「分からない」の割合が37.7%となっており、より子育てしやすい環境づくりに取り組む必要があると思われれます。

本市は人権が守られていると思うか（問6）について、「分からない」の割合が46.5%で最も高くなっており、「そう思う」（10.4%）と「どちらかといえばそう思う」（27.4%）を合わせた『そう思う』の割合が37.8%となっています。前回調査と比較すると、『そう思う』の割合が2.0ポイント増加しています。また、年齢が上がるにつれて、『そう思う』の割合が高くなっており、70歳以上では45.5%と他の年代に比べ高くなっています。10歳代から40歳代までは「分からない」の割合が半数以上となっており、人権教育及び人権啓発を行っていく必要があると思われれます。

本市内の道路を快適に通行できると思う度合い（問7）について、「そう思う」（10.7%）と「どちらかといえばそう思う」（37.4%）を合わせた『そう思う』の割合が48.1%となっています。一方、「どちらかといえばそう思わない」（21.6%）と「そう思わない」（19.5%）を合わせた『そう思わない』の割合は41.2%となっており、令和2年度以降の調査と比べ、最も高い割合となっています。年齢別で『そう思わない』の割合が最も高いのは30歳代・40歳代で49.3%と約半数となっており、市内の道路を整備していくことが今後の課題であると思われれます。

本市への愛着や誇りを感じるか（問8）について、「大いに感じる」（20.8%）と「多少感じる」（51.4%）を合わせた『感じる』の割合が72.3%となっています。性別で見ると、男性のほうが女性に比べ、『感じる』の割合が2.9ポイント高くなっています。年代別で見ると、すべての年代で、6割以上が『感じる』と回答しています。

観光客へのおもてなしをして良かったと感じるか（問9）について、「おもてなしの機会がない」の割合が44.8%と高くなっており、令和3年度調査及び令和4年度調査と比べ、割合が増加しています。

I. 調査の概要

2. 公共交通機関に関連する結果について…問10～13

外出する際、路線バス・電車など公共交通を利用しようと思う度合い（問10）については、「よく思う」（13.5%）と「たまに思う」（39.5%）を合わせた『思う』の割合が53.0%となっています。一方、「あまり思わない」（29.2%）と「全く思わない」（14.4%）を合わせた『思わない』の割合が43.6%となっており、公共交通機関を利用しようと思っている人の割合のほうが高い結果となっています。年齢別では、10歳代・20歳代と50歳代・60歳代で『思う』の割合が6割以上となっています。

また、最近3か月間の公共交通機関の利用状況（問11）をみると、年齢が上がるにつれて「利用していない」の割合が高く、70歳以上では77.3%となっています。一方、10歳代・20歳代は『利用している』割合が他の年代に比べ高くなっています。ただ、利用している頻度をみると、利用している割合が最も高い10歳代・20歳代において、「月に数回程度」の割合が45.9%となっており、公共交通機関を通勤や通学の手段として日常的に使用している人は少ないと思われます。

本市のコミュニティバスを認識（問12）について、「路線・ダイヤを含めよく知っている」（4.0%）と「ある程度知っている」（45.1%）を合わせた『知っている』の割合は49.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」（41.4%）と「知らない」（6.4%）を合わせた『知らない』の割合は47.8%となっています。令和2年度以降の調査と比較すると、『知らない』の割合が高くなっています。年齢別では、50歳以上では『知っている』の割合が半数以上となっていますが、30歳代・40歳代では約4割、10歳代・20歳代では3割未満となっています。今後はコミュニティバスのPR活動等を通して、市民に周知していくことが課題と思われます。

本市内の公共交通に対する満足度（問13）については、「とても満足している」（1.4%）と「ある程度満足している」（16.3%）を合わせた『満足している』の割合が17.7%、「どちらでもない」の割合が43.6%、「あまり満足していない」（20.8%）と「満足していない」（14.3%）を合わせた『満足していない』の割合が35.2%となっています。年齢別でみると、50歳代・60歳代で16.4%と満足度が低くなっており、この年代は問10において、公共交通機関を利用したいと『思う』の割合が高かったにもかかわらず、満足度については、他の年代に比べ低く、公共交通機関の整備拡充など利用者により満足してもらう取り組みが必要だと思われます。

Ⅱ. 調査結果の概要

3. 「柳川ブランド認定品」の認知度について…問14

本市の商品で品質が高評価である「柳川ブランド認定品」を知っている市民の割合（問14）をみると、「あまり知らない」の割合が45.4%で最も高く、「全く知らない」（19.8%）を合わせた『知らない』の割合は65.2%となっています。令和2年度以降の調査と比較すると、『知らない』の割合が最も高くなっており、認知度が下がっています。年齢別でみると、10歳代・20歳代の認知度が特に低く、『知っている』の割合は14.9%、『知らない』の割合は85.1%となっています。それ以外の年代では、『知っている』の割合は約3割から4割未満となっており、年代に対する認知度向上の取り組みが課題と思われる。

4. 文化・景観・歴史に関連する結果について…問15～22

本市で文化芸術活動が盛んに行われていると思うか（問15）について、「そう思う」（5.2%）と「どちらかといえばそう思う」（29.7%）を合わせた『そう思う』の割合は34.9%、「どちらかといえばそう思わない」（11.7%）と「そう思わない」（10.8%）を合わせた『そう思わない』の割合が22.5%となっています。また、41.3%が「分からない」と回答しています。『そう思う』の割合が『そう思わない』の割合を12.4ポイント上回っています。

この1年以内の掘割に接する機会の有無（問16）については、「ある」の割合が38.6%、「ない」の割合が59.6%となっています。年齢別では、年齢が上がるにつれて、掘割に接する機会が「ある」の割合が高く、70歳以上では46.2%が「ある」と回答しており、10歳代・20歳代の割合（18.9%）と比較して、27.3ポイント上回っています。

柳川市の水辺の景観や掘割が保全されていると感じるか（問17）については、「そう思う」（7.2%）と「どちらかといえばそう思う」（39.2%）を合わせた『そう思う』の割合は46.4%、「どちらかといえばそう思わない」（16.8%）と「そう思わない」（11.8%）を合わせた『そう思わない』の割合が28.6%となっています。

掘割への愛着や誇りを感じるか（問18）については、「大いに感じる」（14.9%）と「多少感じる」（42.9%）を合わせた『感じる』の割合が57.8%、「あまり感じない」（14.7%）と「感じない」（6.7%）を合わせた『感じない』の割合が21.4%となっており、『感じる』人の割合のほうが『感じない』人の割合よりも36.4ポイント上回っています。また、年齢別でみると、年齢が上がるにつれて、『感じる』の割合が高く、30歳代以上は『感じる』の割合が半数以上となっており、特に70歳以上は6割を超えています。

この1年以内の川下り経験有無（問19）については、「ある」が8.6%、「ない」が90.5%となっており、川下りを1年以内に経験した人はほとんどおらず、前回調査と比較しても、割合に大きな変化はみられませんでした。また、1年以内に川下りをした人のうち、川下り全体の満足度について尋ねたところ（問20）、「おおむね満足」の割合が最も高く35.3%となっており、次いで「普通」（28.2%）、「満足」（21.2%）、「やや満足」（8.2%）、「不満」（7.1%）となっています。

柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「闇千代」の認知度（問22）については、「名前は聞いたことがある」が52.9%と最も高く、「全く知らない」の割合は10.8%となっています。年齢別でみると、50歳以上では「エピソードも含めてよく知っている」と「ある程度は知っている」と「名前は聞いたことがある」を合わせた『知っている』の割合が9割以上となっています。いずれの年代においても、「名前は聞いたことがある」の割合が約5割から6割未満となっており、一定の認知はされているようではありますが、エピソードまでは認知されていないのが現状と

I. 調査の概要

なっています。

5. 環境衛生に関連する結果について…問23～28

燃やすしかないごみは何処に出しているか（問 23）について、「自宅の前に出している」が 62.0%、「ごみ収集車の収集ルート上まで持って行って出している」が 36.5%となっています。

「自宅の前に出している」と回答した人の出し方について（問 24）、78.5%の人が「個人のごみバケツやネット」で出しており、19.5%の人が「袋のまま出している」と回答しています。

一方、「ごみ収集車の収集ルート上まで持って行って出している」場合のごみ出しの場所の利用者については（問 25）、「自分だけが利用している」の割合が 13.6%、「5軒以上の世帯が利用している」の割合が 85.5%となっています。

「自分だけが利用している」場合のごみの出し方については（問 26）は、「個人のごみバケツやネット」の割合が 73.5%、「袋のまま出している」の割合が 26.5%となっています。

「5軒以上の世帯が利用している」場合のごみの出し方（問 27）については、「他の世帯と共有のボックス」の割合が 56.7%で最も高く、次いで「個人のごみバケツやネット」（16.3%）、「袋のまま出している」（13.7%）、「他の世帯と共有のネット」（12.4%）となっています。

ごみ減量の工夫として取り組んで良いと思うもの（問 28）としては、「買い物の際にマイバックを使用」の割合が 79.2%と最も高く、次いで「水切りネットの使用」（51.6%）、「紙袋を紙ごみ用の袋として使用」（49.6%）となっています。令和3年度以降の調査と比較すると、「買い物の際にマイバックを使用」の割合が令和4年度調査よりも 14.5 ポイント増加しており、令和3年度調査と比較しても今回調査の回答割合のほうが高くなっています。マイバックを使用している割合は他の項目と比較しても、特に顕著に増加しています。また、「フードバンクの利用」の割合が 7.1%となっており、令和4年度調査と比較して、14.2 ポイントの減少しており、令和3年度以降の調査の中で最も低い割合となっています。

6. 防災に関連する結果について…問29～33

住宅用火災警報器の設置状況（問 30）については、住宅用火災警報器を設置が義務付けられている部分「すべてに設置している」人の割合が 33.6%と最も高く、「一部に設置している」の割合が 33.3%、「設置していない」の割合が 29.6%となっています。また、「すべてに設置している」と「一部に設置している」を合わせた『設置している』の割合は 67.0%となっています。設置していない人よりも設置している人の割合のほうが高くなっているものの、設置が十分行われているとはいえないため、設置を促す取り組みを進めていく必要があると思われる。

住宅用火災警報器を設置後、10年経過しているか尋ねたところ（問 31）、「10年を経過している」の割合が 37.9%、「10年を経過していない（交換済みのため）」（11.7%）と「10年を経過していない（交換してから10年以内）」（33.7%）を合わせた『交換していない』の割合が 45.4%、「不明」の割合が 13.8%となっています。年齢別では、「10年経過している」の割合は 70歳代が最も高く、年齢が上がるにつれて交換しないまま使用している傾向にあるとみられます。

また、最近半年以内で火災警報器の作動確認をしたかを尋ねたところ（問 32）、「未実施」

II. 調査結果の概要

の割合が 62.4%と最も高く、次いで「最近半年間に実施した」(17.8%)、「不明(点検ボタンまたは点検ひもがない場合や、半年間に実施したかどうか不明など)」(10.6%)、「実施予定である」(5.2%)となっています。年齢別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で「最近半年間に実施した」の割合が高くなっています。10歳代・20歳代は「不明」の割合が他の年代に比べ高く、24.6%となっています。「未実施」の割合は、いずれの年代においても半数以上となっています。

上記より、高齢者については、作動確認は行っても定期的な交換をしておらず、逆に、それよりも若い世代では、定期的な交換を行っても、作動確認をしていないという現状がみられます。そのため、住宅用火災警報器についての正しい情報の周知を市民に行うことが課題とされます。

7. 選挙に関連する結果について…問34～37

投票所へ行く時間帯(問34)をみると、「期日前投票に行くことが多い」の割合が 38.6%で最も高く、次いで「7時から12時」(25.5%)、「12時から18時」(20.3%)、「18時から20時」(5.8%)となっています。「投票には行かない」の割合は 4.8%、「投票に行く機会がなかった」の割合は 3.9%となっています。年齢が上がるにつれて、「7時から12時」の割合が高くなる傾向がみられます。また、いずれの年代においても、「期日前投票に行くことが多い」の割合が最も高く、年齢関係なく、期日前投票を積極的に活用していると思われます。

また、投票終了時刻を早めることについての意見(問35)をみると、「賛成」の割合が 68.4%、「反対」の割合が 21.6%となっており、「賛成」が 46.8ポイント上回っています。年齢別でみると、10歳代・20歳代では、「賛成」の割合が 48.6%と半数を下回っており、他の年代に比べ、「反対」の割合が高く、40.5%となっています。30歳代以降の市民は、65.0%以上が「賛成」と回答しています。

また、「賛成」と回答した理由について(問36)は、「期日前投票できるので投票機会への影響は少ない」の割合が 67.6%で最も高く、次いで「投票立会人などの負担が軽減できる」(58.5%)、「選挙経費が削減できる」(53.6%)、「選挙結果を早く知ることができる」(19.0%)となっています。

投票時刻の適当な終了時間について(問37)は、「18時まで」の割合が 55.0%、「19時まで」の割合が 37.3%となっています。

8. 市のホームページに関連する結果について…問38～39

本市の新しくなったホームページについて見やすいかどうか尋ねた結果(問38)、「見やすい」の割合は 14.4%、「見にくい」の割合が 4.2%、「見ないのでわからない」が 73.8%となっています。

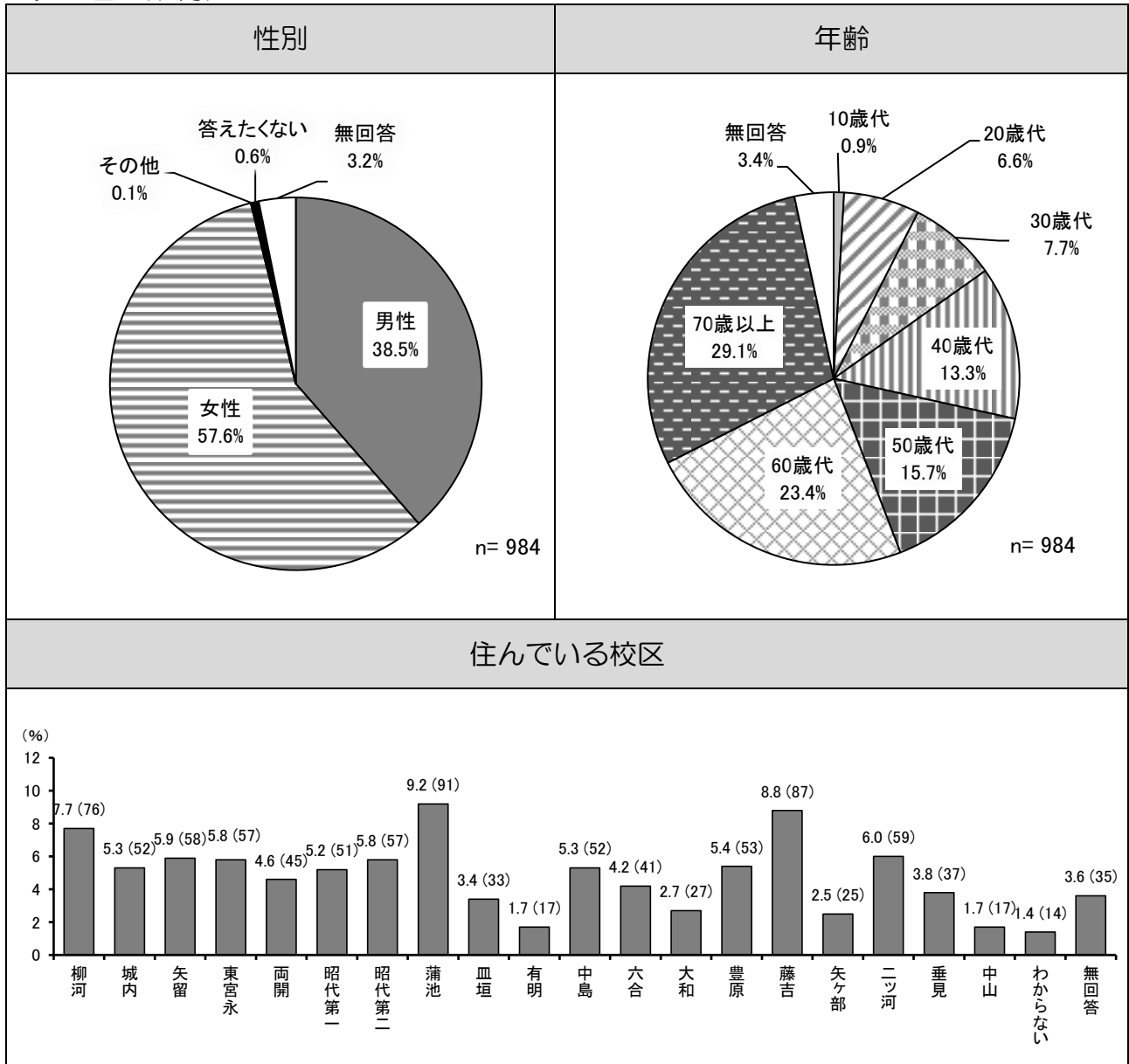
さらに、「見やすい」または「見にくい」と回答した市民に対して、その理由を尋ねたところ(問39)、見やすい理由としては、検索しやすいため、簡潔であるため、スマホで見やすいため、などが挙げられています。一方、見にくい理由としては、調べにくいため、などが挙げられています。

市民の7割以上はホームページを見ないという結果となっており、今後はホームページの利用促進の取り組みや工夫が課題であると思われます。

Ⅲ. 調査結果

Ⅲ. 調査結果

1. 回答者数属性



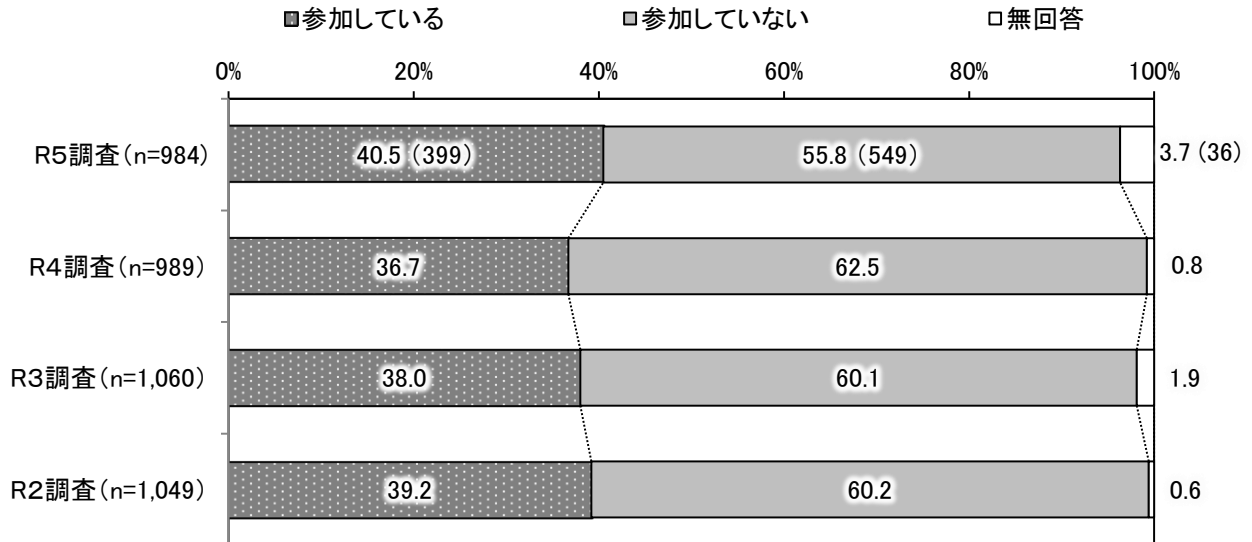
Ⅲ. 調査結果

1. 暮らしについて

(1) 地域活動・地域ボランティアへの参加有無（問4）

問4. 地域活動や地域ボランティアに参加していますか。（○は1つだけ）

「参加していない」の割合が55.8%で最も高くなっている。

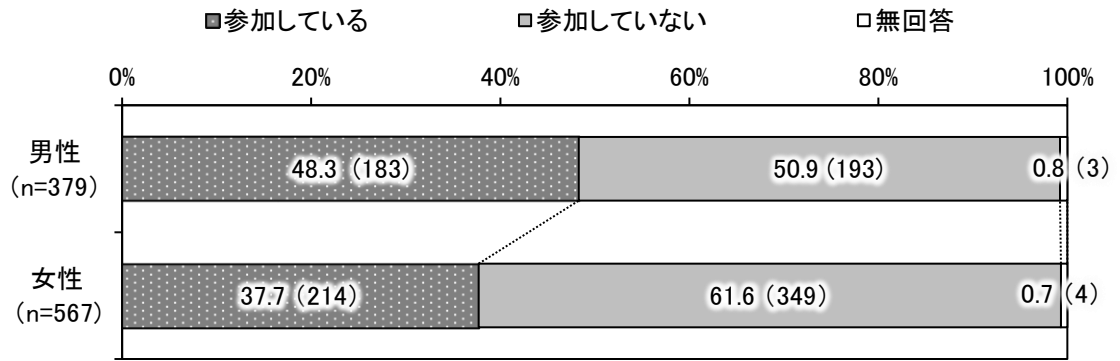


「参加している」の割合が40.5%、「参加していない」の割合が55.8%となっています。

過去の調査と比較すると、令和4年度調査と比べ、「参加している」の割合が3.8ポイント増加しています。

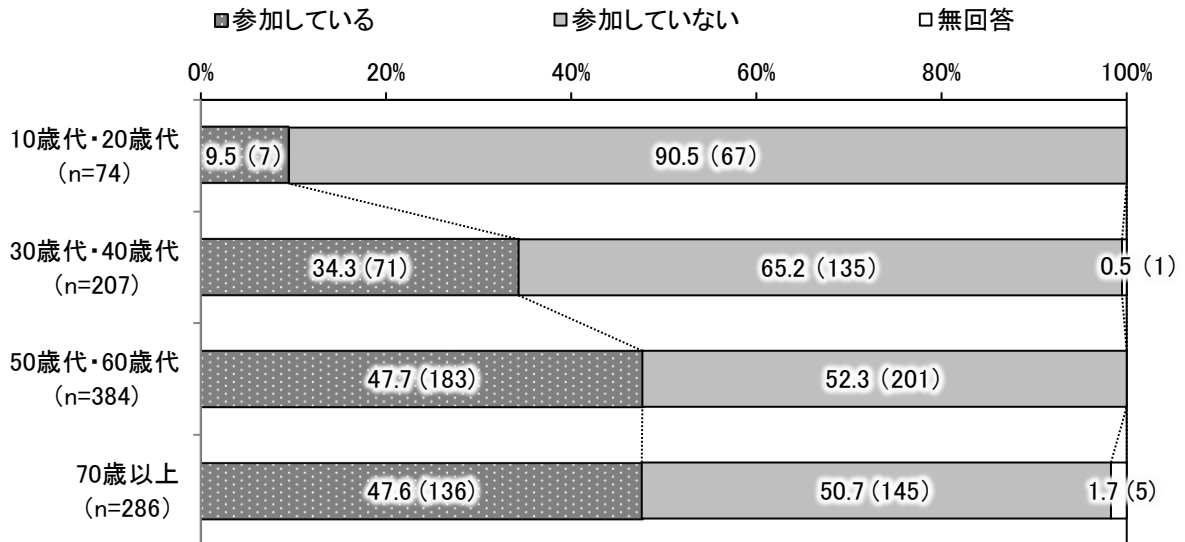
Ⅲ. 調査結果

【性別】



性別で見ると、男性に比べ、女性で「参加していない」の割合が高くなっています。

【年齢別】



年齢別にみると、他の年代に比べ、10歳代・20歳代は「参加していない」の割合が高く、90.5%となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

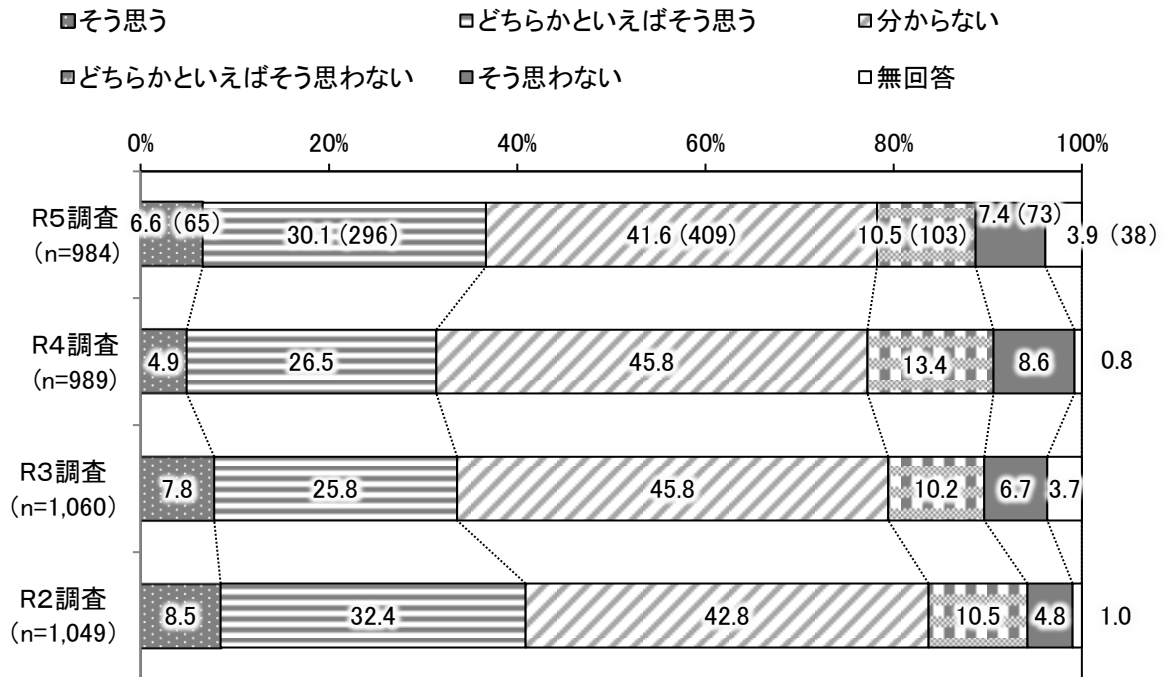
		回答者数 (件)	参加 している	参加 していない	無 回答
全 体		984 100.0	399 40.5	549 55.8	36 3.7
居住小学校区別	柳河	76 100.0	25 32.9	50 65.8	1 1.3
	城内	52 100.0	22 42.3	30 57.7	-
	矢留	58 100.0	27 46.6	31 53.4	-
	東宮永	57 100.0	20 35.1	37 64.9	-
	両開	45 100.0	20 44.4	25 55.6	-
	昭代第一	51 100.0	24 47.1	26 51.0	1 2.0
	昭代第二	57 100.0	19 33.3	38 66.7	-
	蒲池	91 100.0	29 31.9	61 67.0	1 1.1
	皿垣	33 100.0	21 63.6	11 33.3	1 3.0
	有明	17 100.0	11 64.7	6 35.3	-
	中島	52 100.0	20 38.5	31 59.6	1 1.9
	六合	41 100.0	24 58.5	17 41.5	-
	大和	27 100.0	10 37.0	17 63.0	-
	豊原	53 100.0	22 41.5	31 58.5	-
	藤吉	87 100.0	30 34.5	57 65.5	-
	矢ヶ部	25 100.0	10 40.0	15 60.0	-
	二ッ河	59 100.0	32 54.2	26 44.1	1 1.7
	垂見	37 100.0	21 56.8	15 40.5	1 2.7
	中山	17 100.0	8 47.1	9 52.9	-
	わからない	14 100.0	2 14.3	12 85.7	-
無回答	35 100.0	2 5.7	4 11.4	29 82.9	

Ⅲ. 調査結果

(2) 柳川市は子育てしやすい環境であると思う度合い（問5）

問5. 柳川市は子育てしやすい環境であると思いますか。（○は1つだけ）

「分からない」の割合が41.6%で最も高くなっている。

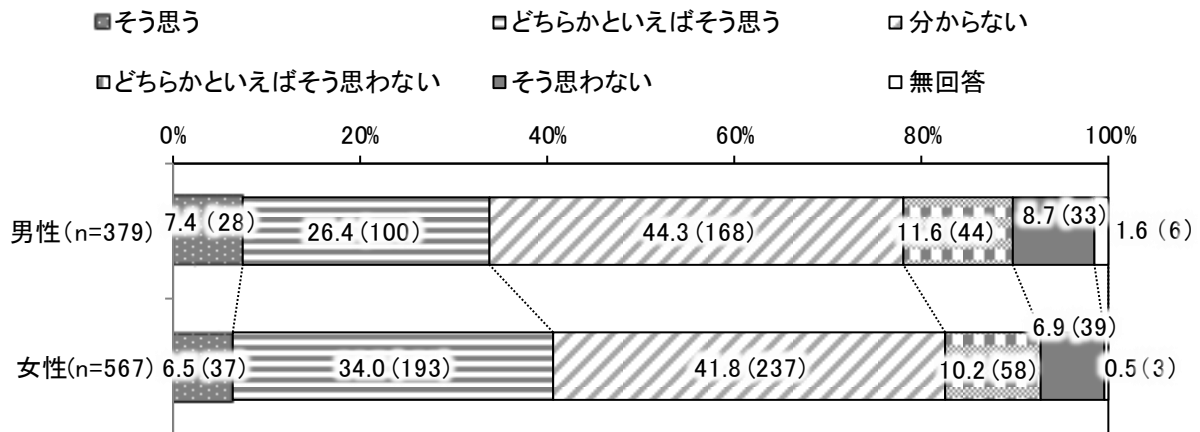


「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が36.7%、「分からない」の割合が41.6%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が17.9%となっています。

過去の調査と比較すると、令和4年度の調査と比べ、『そう思う』の割合が増加しています。

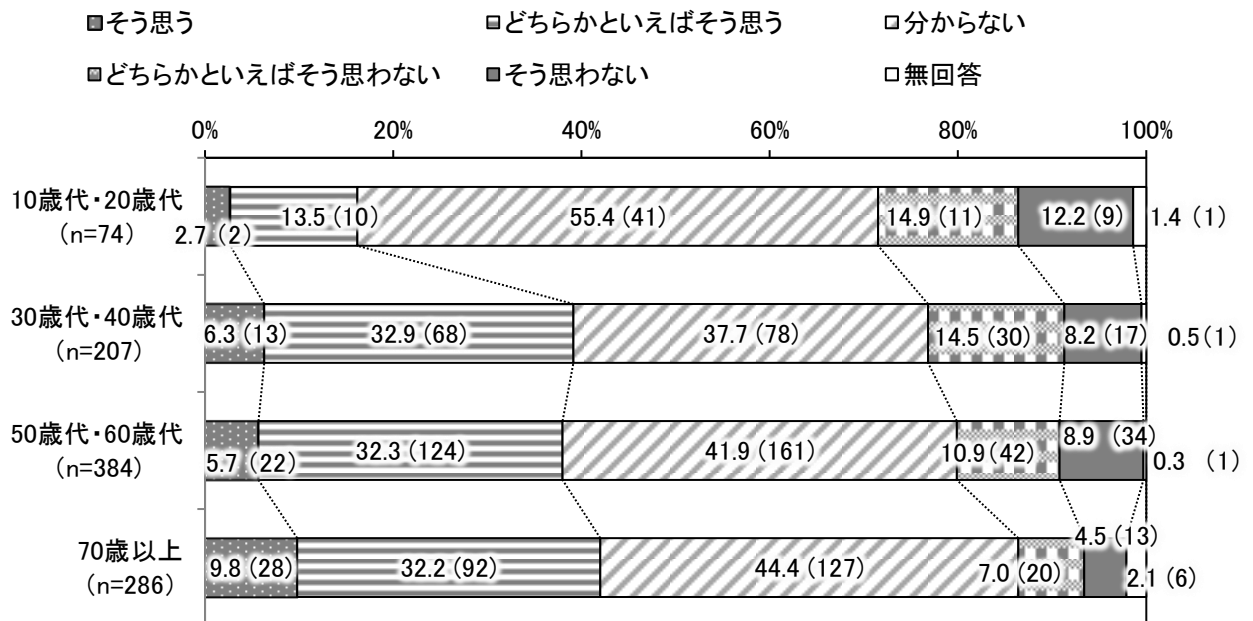
Ⅲ. 調査結果

【性別】



性別で見ると、女性に比べ、男性で「分からない」の割合が高くなっています。また、『そう思う』の割合は、男性が33.8%、女性が40.6%となっており、男性に比べ、女性が高くなっています。

【年齢別】



年齢別で見ると、10歳代・20歳代で「分からない」の割合が55.4%、『そう思わない』の割合が27.0%で、他の年代に比べて高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

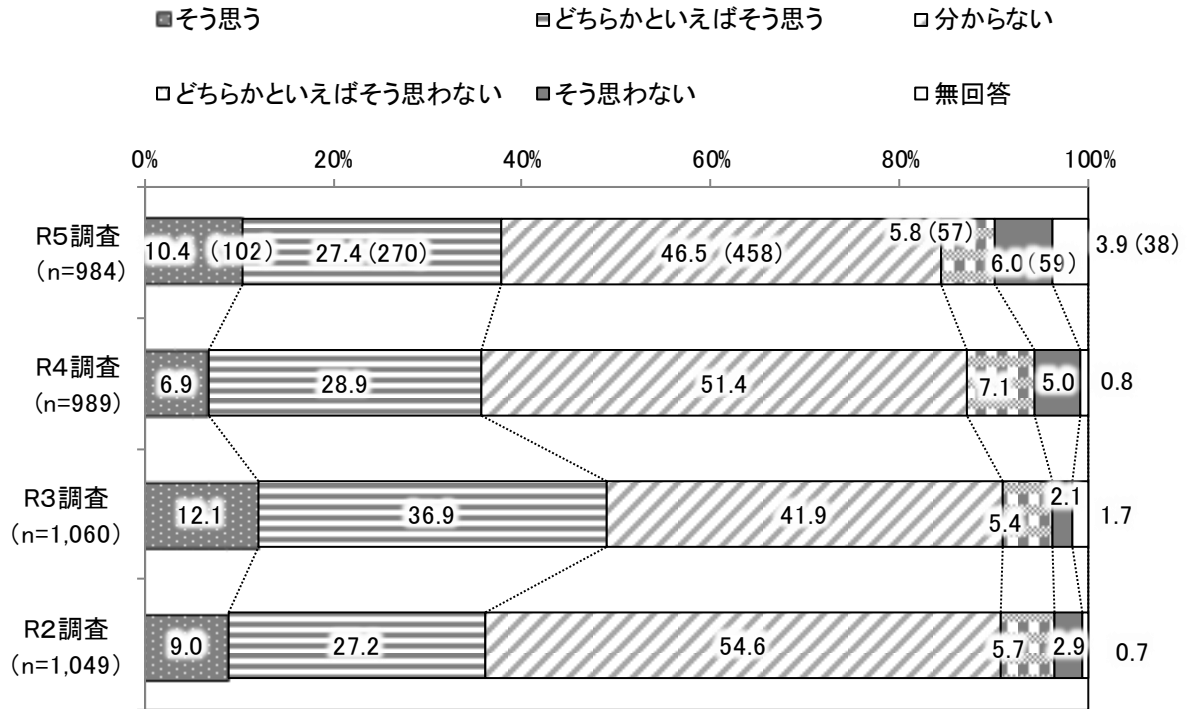
		回答者数 (件)	そう 思う	どちら かとい えば	分 から ない	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	『 そ う 思 う 』	『 そ う 思 わ な い 』
全 体		984 100.0	65 6.6	296 30.1	409 41.6	103 10.5	73 7.4	38 3.9	361 36.7	176 17.9
居 住 小 学 校 区 別	柳河	76 100.0	2 2.6	23 30.3	37 48.7	7 9.2	6 7.9	1 1.3	25 32.9	13 17.1
	城内	52 100.0	9 17.3	14 26.9	19 36.5	4 7.7	5 9.6	1 1.9	23 44.2	9 17.3
	矢留	58 100.0	4 6.9	18 31.0	24 41.4	9 15.5	3 5.2	-	22 37.9	12 20.7
	東宮永	57 100.0	7 12.3	20 35.1	22 38.6	6 10.5	2 3.5	-	27 47.4	8 14.0
	両開	45 100.0	1 2.2	12 26.7	20 44.4	9 20.0	2 4.4	1 2.2	13 28.9	11 24.4
	昭代第一	51 100.0	2 3.9	18 35.3	19 37.3	8 15.7	3 5.9	1 2.0	20 39.2	11 21.6
	昭代第二	57 100.0	5 8.8	16 28.1	25 43.9	7 12.3	3 5.3	1 1.8	21 36.8	10 17.5
	蒲池	91 100.0	10 11.0	29 31.9	37 40.7	7 7.7	8 8.8	-	39 42.9	15 16.5
	皿垣	33 100.0	5 15.2	12 36.4	12 36.4	4 12.1	-	-	17 51.5	4 12.1
	有明	17 100.0	1 5.9	7 41.2	4 23.5	2 11.8	3 17.6	-	8 47.1	5 29.4
	中島	52 100.0	2 3.8	19 36.5	19 36.5	6 11.5	6 11.5	-	21 40.4	12 23.1
	六合	41 100.0	1 2.4	15 36.6	15 36.6	6 14.6	4 9.8	-	16 39.0	10 24.4
	大和	27 100.0	1 3.7	7 25.9	16 59.3	1 3.7	2 7.4	-	8 29.6	3 11.1
	豊原	53 100.0	5 9.4	16 30.2	23 43.4	6 11.3	2 3.8	1 1.9	21 39.6	8 15.1
	藤吉	87 100.0	4 4.6	26 29.9	41 47.1	6 6.9	9 10.3	1 1.1	30 34.5	15 17.2
	矢ヶ部	25 100.0	-	7 28.0	14 56.0	1 4.0	3 12.0	-	7 28.0	4 16.0
	二ッ河	59 100.0	2 3.4	16 27.1	29 49.2	6 10.2	5 8.5	1 1.7	18 30.5	11 18.6
	垂見	37 100.0	2 5.4	12 32.4	16 43.2	3 8.1	3 8.1	1 2.7	14 37.8	6 16.2
	中山	17 100.0	1 5.9	5 29.4	7 41.2	2 11.8	2 11.8	-	6 35.3	4 23.5
	わからない	14 100.0	1 7.1	3 21.4	6 42.9	2 14.3	2 14.3	-	4 28.6	4 28.6
無回答	35 100.0	-	1 2.9	4 11.4	1 2.9	-	29 82.9	1 2.9	1 2.9	

Ⅲ. 調査結果

(3) 人権が守られていると思う度合い（問6）

問6. 柳川市は人権が守られていると思いますか。（○は1つだけ）

「分からない」の割合が46.5%で最も高くなっている。

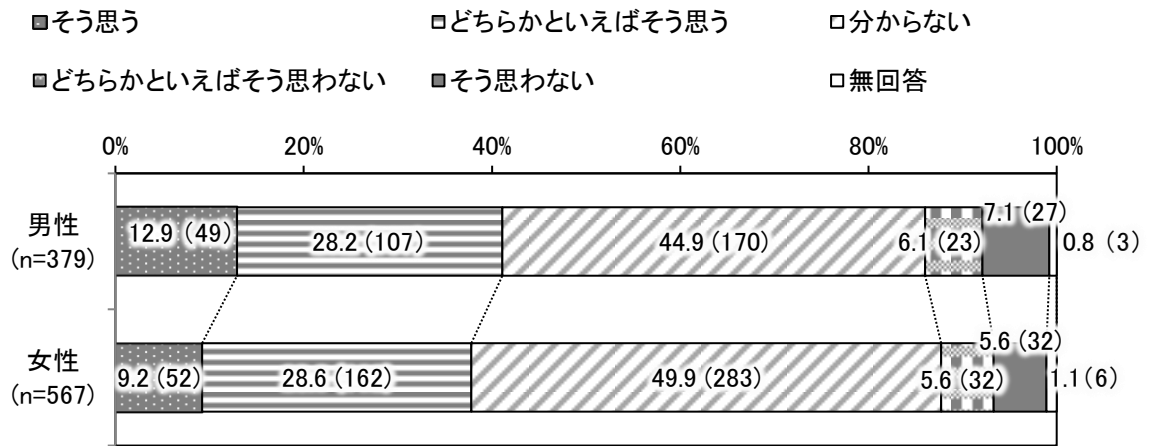


「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が37.8%、「分からない」の割合が46.5%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が11.8%となっています。

過去の調査と比較すると、令和4年度の調査と比べ、「分からない」の割合が減少しており、『そう思う』の割合が2.0ポイント増加しています。

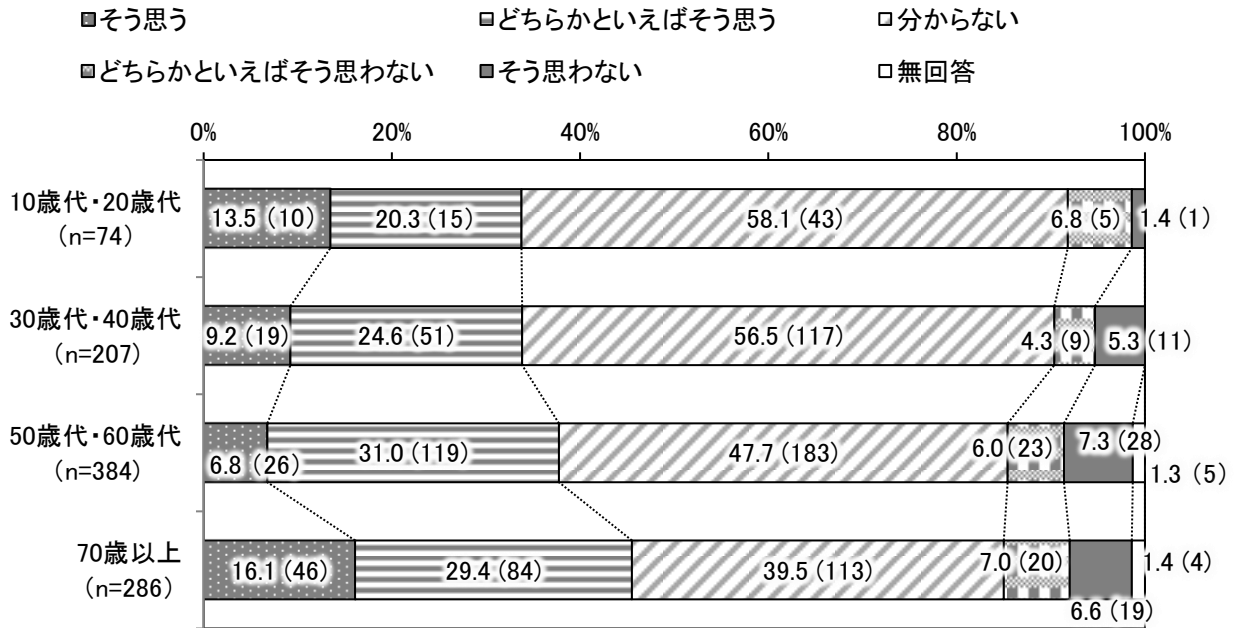
Ⅲ. 調査結果

【性別】



性別で見ると、女性に比べ、男性で『そう思う』の割合が高くなっています。

【年齢別】



年齢別で見ると、70歳以上で「分からない」の割合が他の年代に比べ低くなっています。また、『そう思う』の割合が45.5%、『そう思わない』の割合が13.6%となっており、他の年代に比べ高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

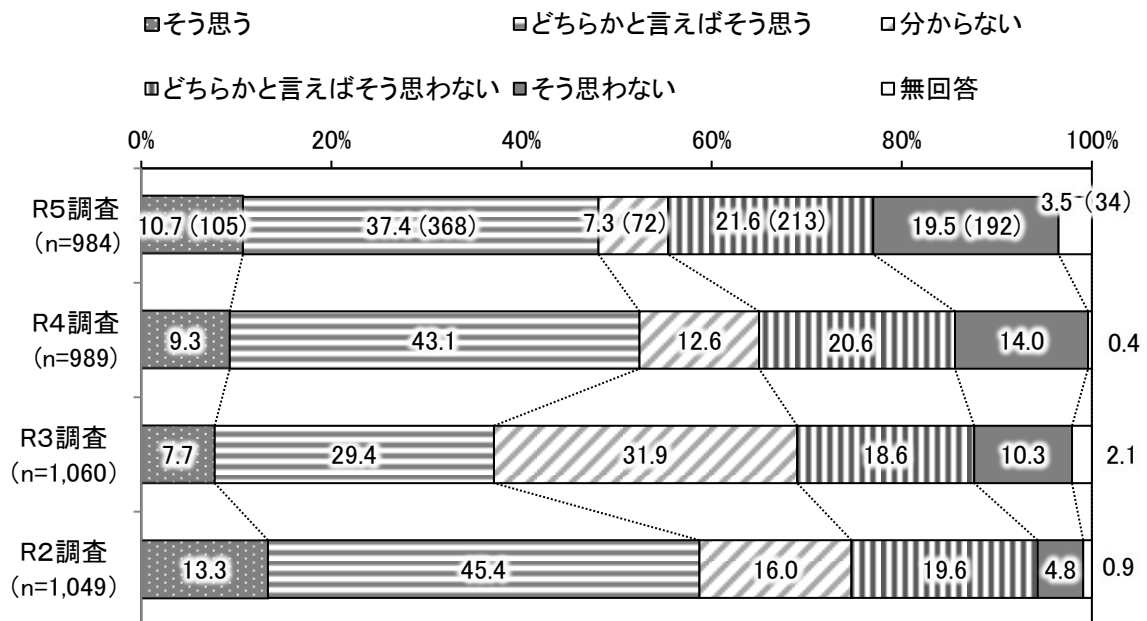
		回答者数 (件)	そう 思う	どちら かとい えば	分 から ない	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	『 そ う 思 う 』	『 そ う 思 わ な い 』
全 体		984 100.0	102 10.4	270 27.4	458 46.5	57 5.8	59 6.0	38 3.9	372 37.8	116 11.8
居 住 小 学 校 区 別	柳河	76 100.0	6 7.9	19 25.0	37 48.7	6 7.9	8 10.5	-	25 32.9	14 18.4
	城内	52 100.0	8 15.4	12 23.1	26 50.0	4 7.7	1 1.9	1 1.9	20 38.5	5 9.6
	矢留	58 100.0	6 10.3	19 32.8	25 43.1	5 8.6	3 5.2	-	25 43.1	8 13.8
	東宮永	57 100.0	7 12.3	20 35.1	25 43.9	5 8.8	-	-	27 47.4	5 8.8
	両開	45 100.0	1 2.2	16 35.6	21 46.7	5 11.1	2 4.4	-	17 37.8	7 15.6
	昭代第一	51 100.0	10 19.6	12 23.5	22 43.1	4 7.8	3 5.9	-	22 43.1	7 13.7
	昭代第二	57 100.0	7 12.3	21 36.8	26 45.6	-	3 5.3	-	28 49.1	3 5.3
	蒲池	91 100.0	10 11.0	23 25.3	45 49.5	4 4.4	7 7.7	2 2.2	33 36.3	11 12.1
	皿垣	33 100.0	2 6.1	14 42.4	15 45.5	-	-	2 6.1	16 48.5	0 0.0
	有明	17 100.0	2 11.8	6 35.3	4 23.5	4 23.5	1 5.9	-	8 47.1	5 29.4
	中島	52 100.0	1 1.9	15 28.8	27 51.9	2 3.8	7 13.5	-	16 30.8	9 17.3
	六合	41 100.0	5 12.2	10 24.4	21 51.2	1 2.4	3 7.3	1 2.4	15 36.6	4 9.8
	大和	27 100.0	3 11.1	5 18.5	17 63.0	-	2 7.4	-	8 29.6	2 7.4
	豊原	53 100.0	4 7.5	14 26.4	30 56.6	3 5.7	2 3.8	-	18 34.0	5 9.4
	藤吉	87 100.0	6 6.9	32 36.8	38 43.7	3 3.4	6 6.9	2 2.3	38 43.7	9 10.3
	矢ヶ部	25 100.0	3 12.0	5 20.0	13 52.0	2 8.0	2 8.0	-	8 32.0	4 16.0
	二ッ河	59 100.0	8 13.6	12 20.3	32 54.2	3 5.1	3 5.1	1 1.7	20 33.9	6 10.2
	垂見	37 100.0	7 18.9	11 29.7	11 29.7	5 13.5	3 8.1	-	18 48.6	8 21.6
	中山	17 100.0	3 17.6	3 17.6	10 58.8	-	1 5.9	-	6 35.3	1 5.9
	わからない	14 100.0	2 14.3	1 7.1	8 57.1	1 7.1	2 14.3	-	3 21.4	3 21.4
無回答	35 100.0	1 2.9	-	5 14.3	-	-	29 82.9	1 2.9	0 0.0	

Ⅲ. 調査結果

(4) 市内の道路を快適に通行できると思う度合い（問7）

問7. 市内の道路を快適に通行できると思いますか。（○は1つだけ）

「どちらかといえばそう思う」の割合が37.4%で最も高くなっている。

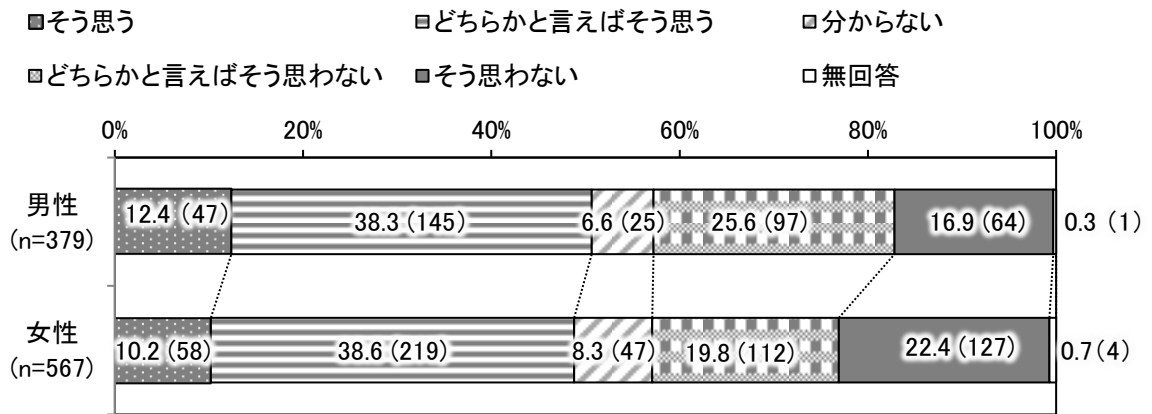


「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が48.1%、「分からない」の割合が7.3%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が41.2%となっています。

過去の調査と比較すると、令和4年度調査と比べ、『そう思う』の割合が4.3ポイント減少し、『そう思わない』の割合が6.6ポイント増加しています。また、令和2年度以降の調査と比べ、『そう思わない』の割合が最も高くなっており、「分からない」の割合は最も低くなっています。

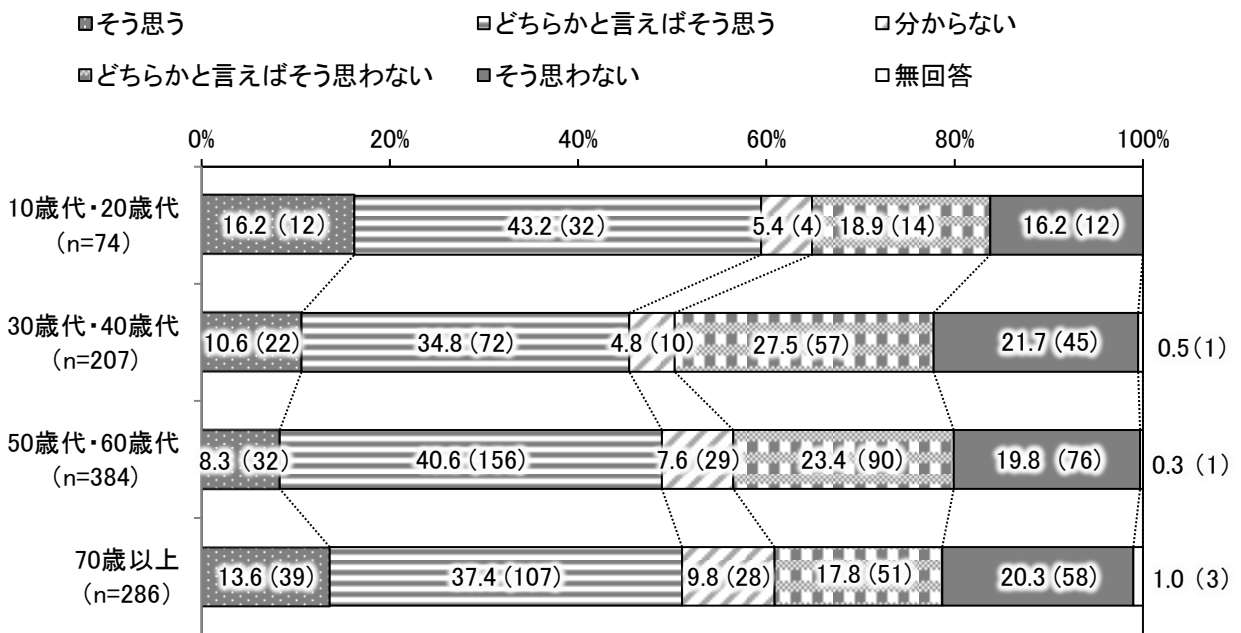
Ⅲ. 調査結果

【性別】



性別でみると、『そう思わない』の割合に大きな差はみられません。

【年齢別】



年齢別でみると、他の年代に比べ、10歳代・20歳代で『そう思う』の割合が高くなっており、30歳代・40歳代で『そう思わない』の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

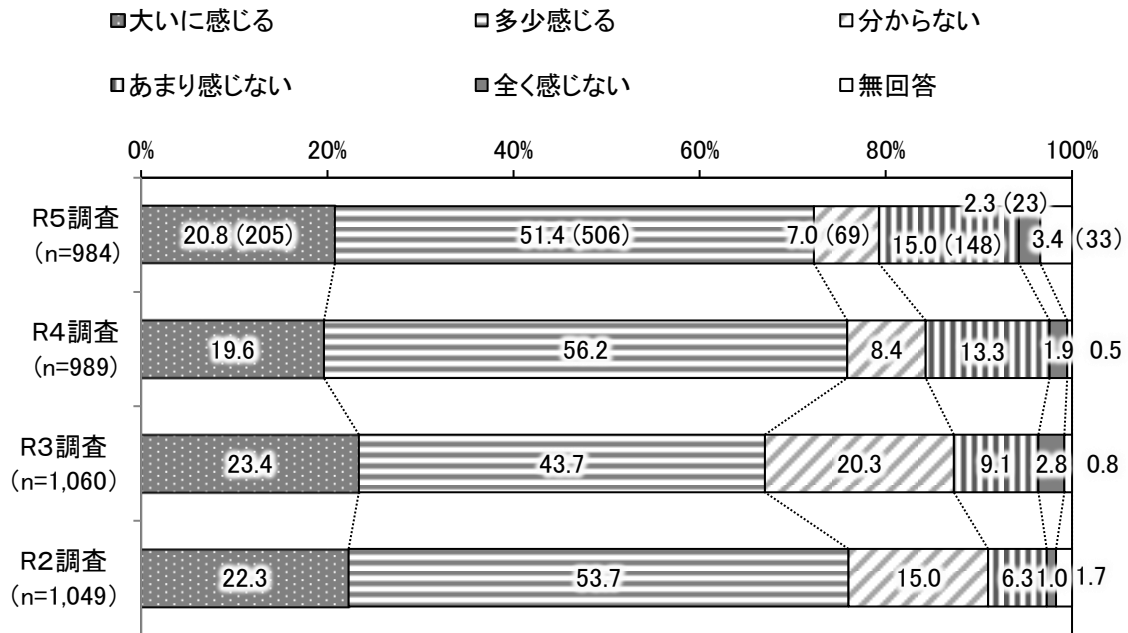
		回答者数 (件)	そう 思う	どちら かと言え ばそう 思う	分 から ない	ど ち ら か と 言 え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	『 そ う 思 う 』	『 そ う 思 わ な い 』
全 体		984 100.0	105 10.7	368 37.4	72 7.3	213 21.6	192 19.5	34 3.5	473 48.1	405 41.2
居 住 小 学 校 区 別	柳河	76 100.0	1 1.3	23 30.3	11 14.5	17 22.4	24 31.6	-	24 31.6	41 53.9
	城内	52 100.0	1 1.9	22 42.3	1 1.9	16 30.8	12 23.1	-	23 44.2	28 53.8
	矢留	58 100.0	5 8.6	18 31.0	2 3.4	18 31.0	15 25.9	-	23 39.7	33 56.9
	東宮永	57 100.0	11 19.3	24 42.1	6 10.5	8 14.0	8 14.0	-	35 61.4	16 28.1
	両開	45 100.0	4 8.9	19 42.2	3 6.7	12 26.7	7 15.6	-	23 51.1	19 42.2
	昭代第一	51 100.0	8 15.7	17 33.3	4 7.8	12 23.5	10 19.6	-	25 49.0	22 43.1
	昭代第二	57 100.0	7 12.3	27 47.4	4 7.0	11 19.3	7 12.3	1 1.8	34 59.6	18 31.6
	蒲池	91 100.0	9 9.9	37 40.7	9 9.9	16 17.6	19 20.9	1 1.1	46 50.5	35 38.5
	皿垣	33 100.0	5 15.2	12 36.4	3 9.1	8 24.2	5 15.2	-	17 51.5	13 39.4
	有明	17 100.0	2 11.8	7 41.2	-	5 29.4	3 17.6	-	9 52.9	8 47.1
	中島	52 100.0	9 17.3	21 40.4	4 7.7	10 19.2	8 15.4	-	30 57.7	18 34.6
	六合	41 100.0	4 9.8	20 48.8	1 2.4	9 22.0	7 17.1	-	24 58.5	16 39.0
	大和	27 100.0	3 11.1	6 22.2	3 11.1	9 33.3	6 22.2	-	9 33.3	15 55.6
	豊原	53 100.0	6 11.3	22 41.5	3 5.7	11 20.8	11 20.8	-	28 52.8	22 41.5
	藤吉	87 100.0	8 9.2	27 31.0	6 6.9	25 28.7	19 21.8	2 2.3	35 40.2	44 50.6
	矢ヶ部	25 100.0	2 8.0	12 48.0	1 4.0	5 20.0	5 20.0	-	14 56.0	10 40.0
	二ッ河	59 100.0	7 11.9	26 44.1	6 10.2	7 11.9	12 20.3	1 1.7	33 55.9	19 32.2
	垂見	37 100.0	4 10.8	16 43.2	4 10.8	8 21.6	5 13.5	-	20 54.1	13 35.1
	中山	17 100.0	5 29.4	6 35.3	1 5.9	3 17.6	2 11.8	-	11 64.7	5 29.4
	わからない	14 100.0	4 28.6	5 35.7	-	2 14.3	3 21.4	-	9 64.3	5 35.7
	無回答	35 100.0	-	1 2.9	-	1 2.9	4 11.4	29 82.9	1 2.9	5 14.3

Ⅲ. 調査結果

(5) 柳川市への愛着や誇りの度合い（問8）

問8. 柳川市に愛着や誇りを感じますか。（○は1つだけ）

「多少感じる」の割合が51.4%で最も高くなっている。

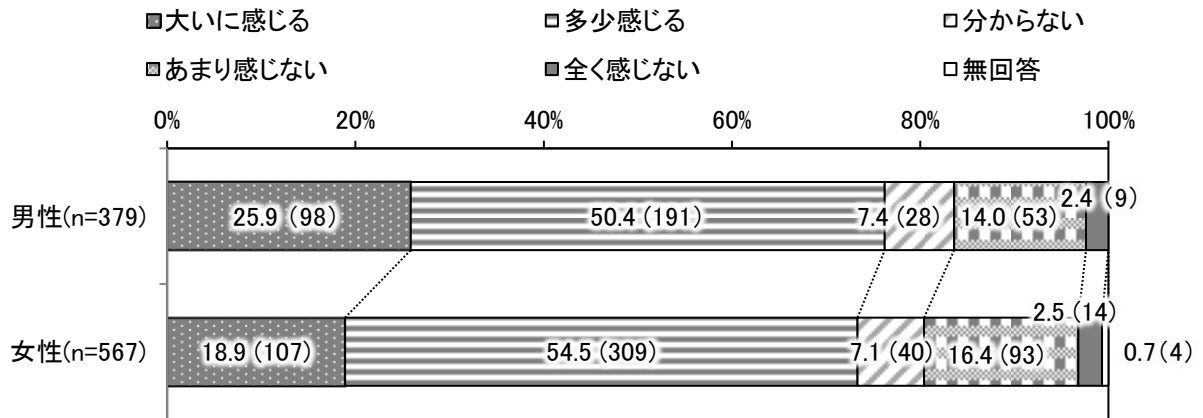


「大いに感じる」と「多少感じる」を合わせた『感じる』の割合が72.3%、「分からない」の割合が7.0%、「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた『感じない』の割合が17.4%となっています。

過去の調査と比較すると、令和4年度調査と比べ、『感じる』の割合が減少し、『感じない』の割合が増加しています。

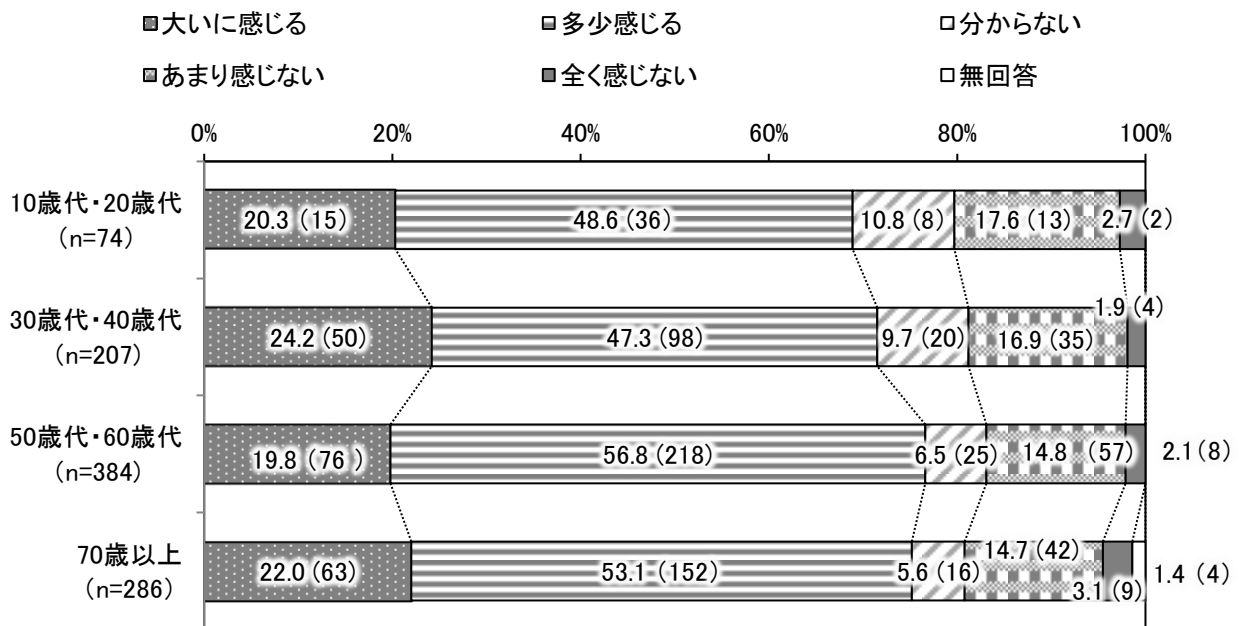
Ⅲ. 調査結果

【性別】



性別で見ると、女性に比べ、男性で『感じる』の割合が高くなっています。

【年齢別】



年齢別で見ると、50歳代・60歳代と70歳以上で『感じる』の割合が75.0%以上となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

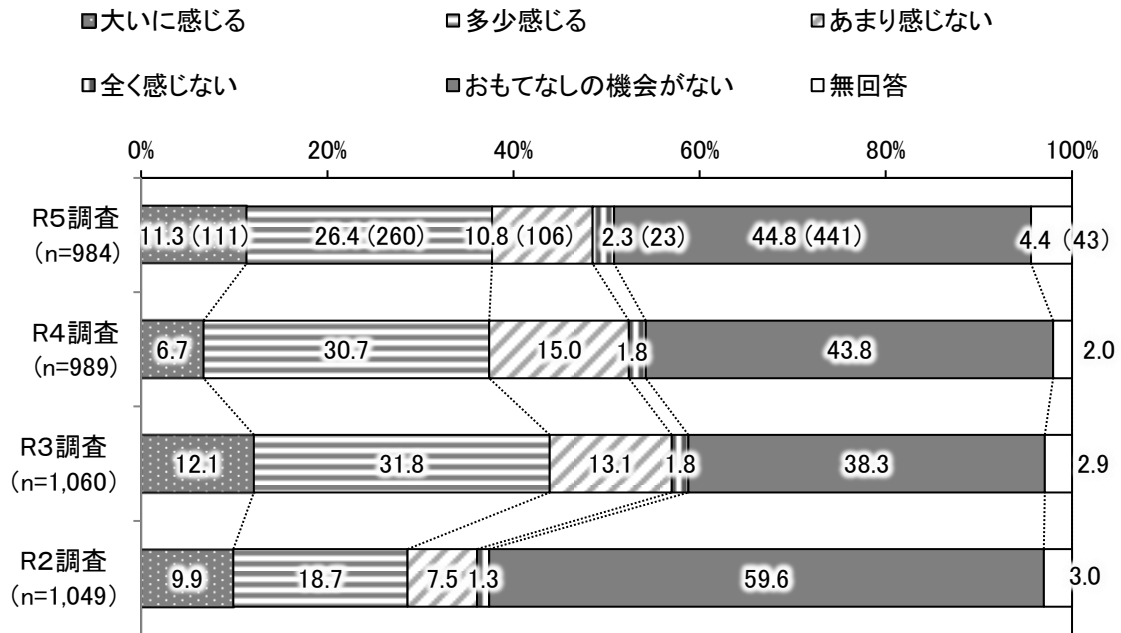
		回答者数 (件)	大いに感じる	多少感じる	分からない	あまり感じない	全く感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
全 体		984 100.0	205 20.8	506 51.4	69 7.0	148 15.0	23 2.3	33 3.4	711 72.3	171 17.4
居住小学校区別	柳河	76 100.0	16 21.1	42 55.3	4 5.3	10 13.2	4 5.3	-	58 76.3	14 18.4
	城内	52 100.0	18 34.6	25 48.1	3 5.8	5 9.6	1 1.9	-	43 82.7	6 11.5
	矢留	58 100.0	12 20.7	40 69.0	1 1.7	5 8.6	-	-	52 89.7	5 8.6
	東宮永	57 100.0	13 22.8	35 61.4	3 5.3	6 10.5	-	-	48 84.2	6 10.5
	両開	45 100.0	10 22.2	28 62.2	1 2.2	5 11.1	1 2.2	-	38 84.4	6 13.3
	昭代第一	51 100.0	14 27.5	22 43.1	5 9.8	9 17.6	-	1 2.0	36 70.6	9 17.6
	昭代第二	57 100.0	13 22.8	28 49.1	7 12.3	7 12.3	2 3.5	-	41 71.9	9 15.8
	蒲池	91 100.0	21 23.1	45 49.5	8 8.8	14 15.4	2 2.2	1 1.1	66 72.5	16 17.6
	皿垣	33 100.0	9 27.3	20 60.6	1 3.0	3 9.1	-	-	29 87.9	3 9.1
	有明	17 100.0	3 17.6	9 52.9	2 11.8	2 11.8	1 5.9	-	12 70.6	3 17.6
	中島	52 100.0	8 15.4	25 48.1	5 9.6	10 19.2	4 7.7	-	33 63.5	14 26.9
	六合	41 100.0	9 22.0	22 53.7	3 7.3	7 17.1	-	-	31 75.6	7 17.1
	大和	27 100.0	3 11.1	14 51.9	2 7.4	7 25.9	1 3.7	-	17 63.0	8 29.6
	豊原	53 100.0	5 9.4	35 66.0	3 5.7	9 17.0	1 1.9	-	40 75.5	10 18.9
	藤吉	87 100.0	19 21.8	45 51.7	8 9.2	12 13.8	2 2.3	1 1.1	64 73.6	14 16.1
	矢ヶ部	25 100.0	5 20.0	15 60.0	1 4.0	3 12.0	1 4.0	-	20 80.0	4 16.0
	二ッ河	59 100.0	11 18.6	27 45.8	5 8.5	13 22.0	2 3.4	1 1.7	38 64.4	15 25.4
	垂見	37 100.0	9 24.3	18 48.6	5 13.5	5 13.5	-	-	27 73.0	5 13.5
	中山	17 100.0	5 29.4	7 41.2	-	4 23.5	1 5.9	-	12 70.6	5 29.4
	わからない	14 100.0	2 14.3	1 7.1	1 7.1	10 71.4	-	-	3 21.4	10 71.4
	無回答	35 100.0	-	3 8.6	1 2.9	2 5.7	-	29 82.9	3 8.6	2 5.7

Ⅲ. 調査結果

(6) 観光客へのおもてなしをして良かったと思う度合い（問9）

問9. 観光客などに対しておもてなしをしてよかったですと感じますか。（○は1つだけ）

「おもてなしの機会がない」の割合が44.8%で最も高くなっている。

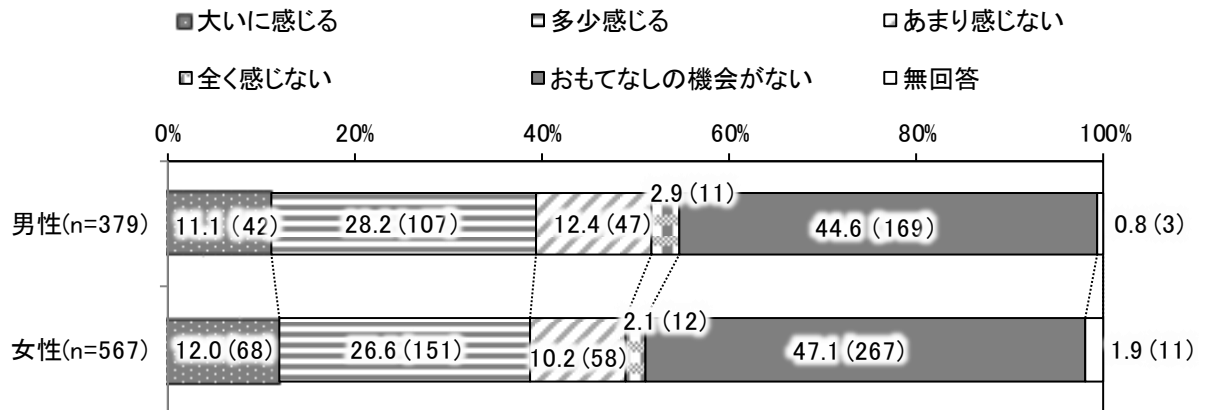


「大いに感じる」と「多少感じる」を合わせた『感じる』の割合が37.7%、「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた『感じない』の割合が13.1%、「おもてなしの機会がない」の割合が44.8%となっています。

過去の調査と比較すると、令和4年度調査と比べ、『感じる』の割合に大きな差はみられませんが、『感じない』の割合が減少しています。

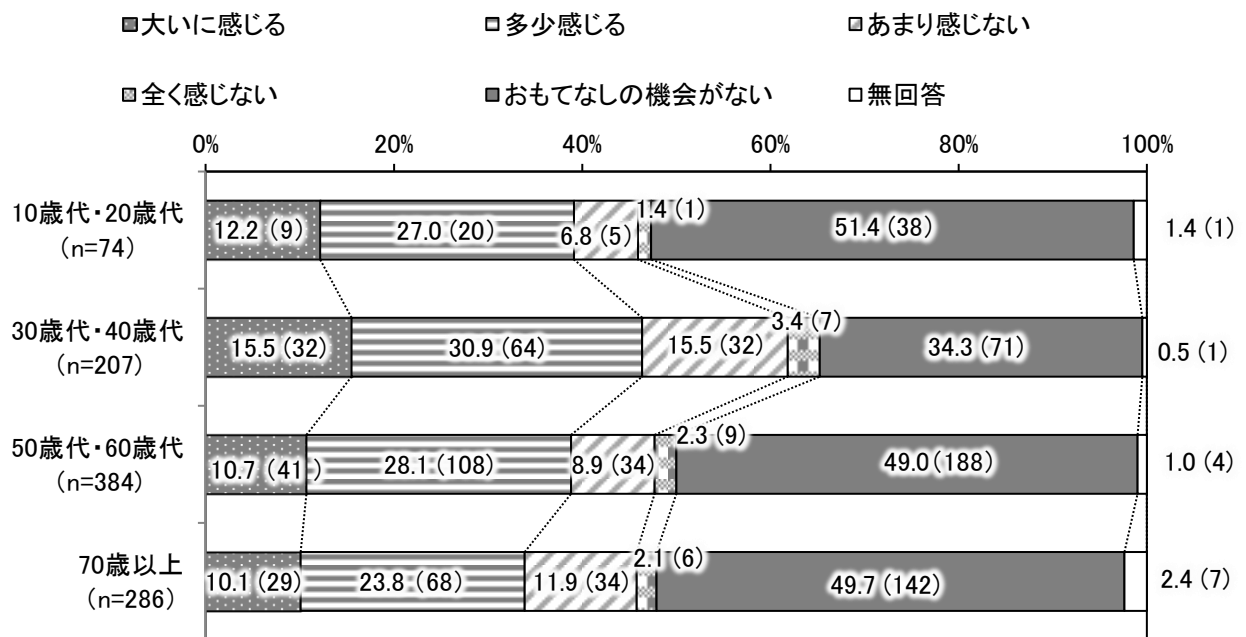
Ⅲ. 調査結果

【性別】



性別でみると、男性に比べ、女性で「おもてなしの機会がない」の割合が高くなっています。

【年齢別】



年齢別でみると、他の年代に比べ、30歳代・40歳代で「おもてなしの機会がない」の割合が低くなっており、『感じる』と『感じない』の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	大いに感じる	多少感じる	あまり感じない	全く感じない	おもてなしの機会がない	無回答	『感じる』	『感じない』
全 体		984 100.0	111 11.3	260 26.4	106 10.8	23 2.3	441 44.8	43 4.4	371 37.7	129 13.1
居住小学校区別	柳河	76 100.0	8 10.5	24 31.6	7 9.2	1 1.3	36 47.4	-	32 42.1	8 10.5
	城内	52 100.0	12 23.1	15 28.8	6 11.5	1 1.9	18 34.6	-	27 51.9	7 13.5
	矢留	58 100.0	5 8.6	22 37.9	12 20.7	1 1.7	17 29.3	1 1.7	27 46.6	13 22.4
	東宮永	57 100.0	5 8.8	17 29.8	10 17.5	1 1.8	24 42.1	-	22 38.6	11 19.3
	両開	45 100.0	6 13.3	13 28.9	7 15.6	-	17 37.8	2 4.4	19 42.2	7 15.6
	昭代第一	51 100.0	7 13.7	13 25.5	4 7.8	-	24 47.1	3 5.9	20 39.2	4 7.8
	昭代第二	57 100.0	6 10.5	14 24.6	5 8.8	2 3.5	30 52.6	-	20 35.1	7 12.3
	蒲池	91 100.0	10 11.0	21 23.1	8 8.8	1 1.1	49 53.8	2 2.2	31 34.1	9 9.9
	皿垣	33 100.0	1 3.0	10 30.3	-	-	21 63.6	1 3.0	11 33.3	0 0.0
	有明	17 100.0	4 23.5	6 35.3	-	-	7 41.2	-	10 58.8	0 0.0
	中島	52 100.0	3 5.8	11 21.2	7 13.5	4 7.7	25 48.1	2 3.8	14 26.9	11 21.2
	六合	41 100.0	6 14.6	12 29.3	1 2.4	1 2.4	21 51.2	-	18 43.9	2 4.9
	大和	27 100.0	1 3.7	5 18.5	3 11.1	1 3.7	17 63.0	-	6 22.2	4 14.8
	豊原	53 100.0	6 11.3	13 24.5	6 11.3	2 3.8	26 49.1	-	19 35.8	8 15.1
	藤吉	87 100.0	13 14.9	21 24.1	12 13.8	2 2.3	39 44.8	-	34 39.1	14 16.1
	矢ヶ部	25 100.0	4 16.0	4 16.0	3 12.0	-	13 52.0	1 4.0	8 32.0	3 12.0
	二ッ河	59 100.0	7 11.9	16 27.1	2 3.4	2 3.4	30 50.8	2 3.4	23 39.0	4 6.8
	垂見	37 100.0	4 10.8	11 29.7	8 21.6	2 5.4	12 32.4	-	15 40.5	10 27.0
	中山	17 100.0	1 5.9	9 52.9	3 17.6	-	4 23.5	-	10 58.8	3 17.6
	わからない	14 100.0	-	2 14.3	2 14.3	1 7.1	9 64.3	-	2 14.3	3 21.4
無回答	35 100.0	2 5.7	1 2.9	-	1 2.9	2 5.7	29 82.9	3 8.6	1 2.9	

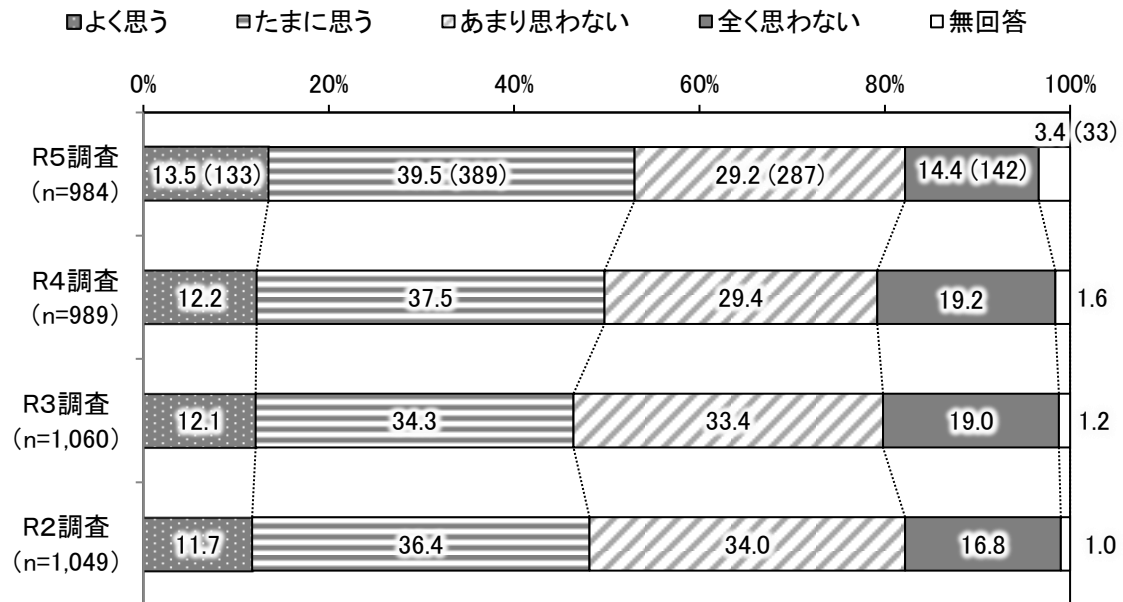
Ⅲ. 調査結果

2. 公共交通機関について

(1) 路線バス・電車などの公共交通を利用しようと思う度合い（問 10）

問 10. 外出する際、路線バス・電車など公共交通を利用しようと思うことはありますか。
(○は1つだけ)

「たまに思う」の割合が 39.5% で最も高くなっている。

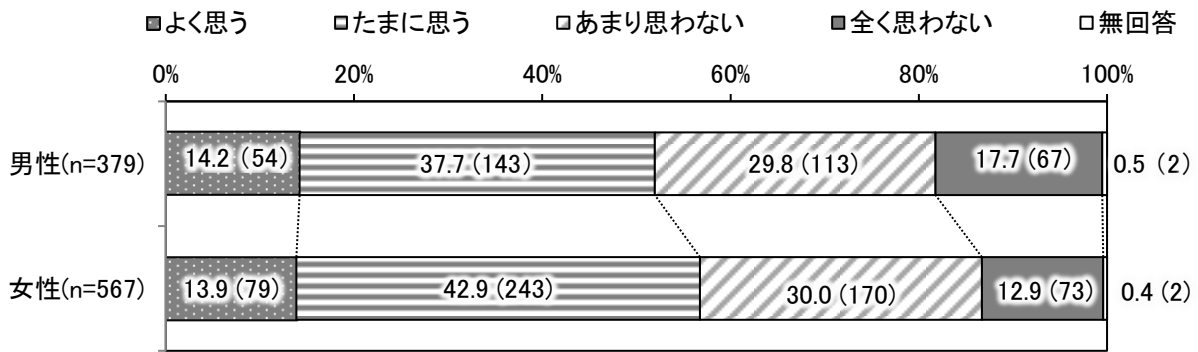


「よく思う」と「たまに思う」を合わせた『思う』の割合が 53.0%、「あまり思わない」と「全く思わない」を合わせた『思わない』の割合が 43.6%となっています。

過去の調査と比較すると、令和2年度以降の調査と比べ、『思う』の割合が高くなっています。

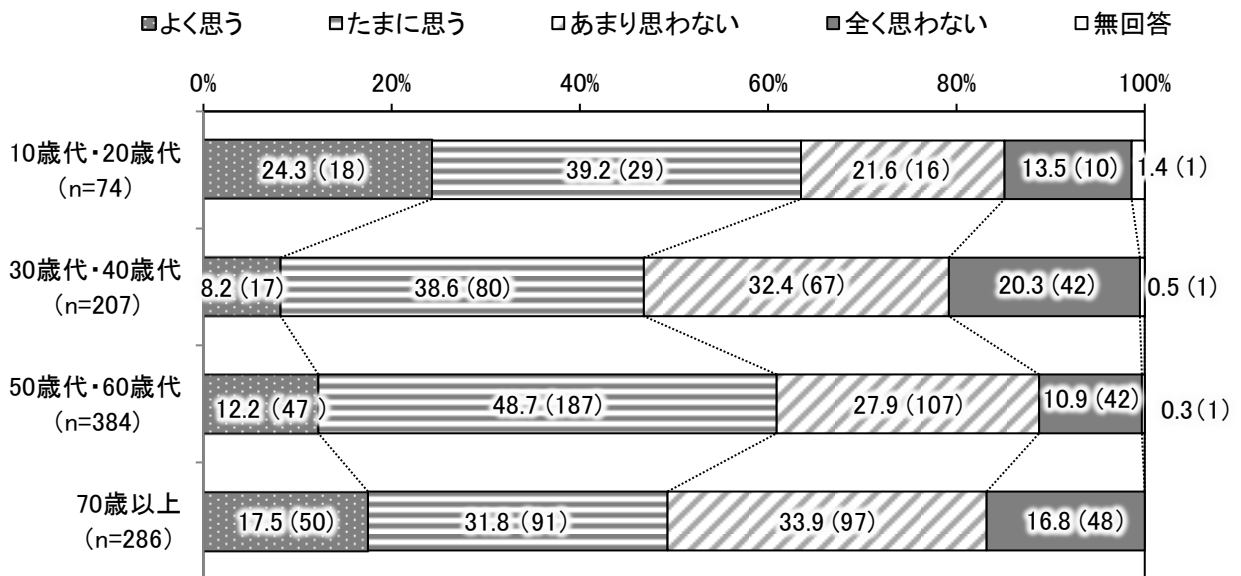
Ⅲ. 調査結果

【性別】



性別でみると、男性に比べ、女性で『思う』の割合が高くなっています。

【年齢別】



年齢別でみると、他の年代に比べ、10歳代・20歳代と50歳代・60歳代で『思う』の割合が高く、6割以上となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

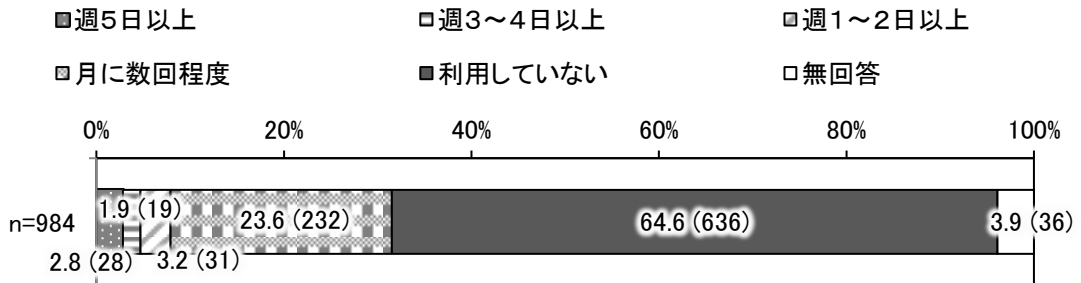
		回答者数 (件)	よく 思う	たま に思 う	あま り思 わな い	全 く思 わな い	無 回 答	『思 う』	『思 わな い』
全 体		984 100.0	133 13.5	389 39.5	287 29.2	142 14.4	33 3.4	522 53.0	429 43.6
居 住 小 学 校 区 別	柳河	76 100.0	18 23.7	27 35.5	18 23.7	13 17.1	- -	45 59.2	31 40.8
	城内	52 100.0	13 25.0	20 38.5	10 19.2	9 17.3	- -	33 63.5	19 36.5
	矢留	58 100.0	6 10.3	21 36.2	22 37.9	9 15.5	- -	27 46.6	31 53.4
	東宮永	57 100.0	12 21.1	19 33.3	14 24.6	12 21.1	- -	31 54.4	26 45.6
	両開	45 100.0	3 6.7	24 53.3	11 24.4	6 13.3	1 2.2	27 60.0	17 37.8
	昭代第一	51 100.0	7 13.7	20 39.2	18 35.3	6 11.8	- -	27 52.9	24 47.1
	昭代第二	57 100.0	5 8.8	26 45.6	18 31.6	8 14.0	- -	31 54.4	26 45.6
	蒲池	91 100.0	13 14.3	35 38.5	30 33.0	12 13.2	1 1.1	48 52.7	42 46.2
	皿垣	33 100.0	2 6.1	13 39.4	15 45.5	3 9.1	- -	15 45.5	18 54.5
	有明	17 100.0	1 5.9	6 35.3	8 47.1	2 11.8	- -	7 41.2	10 58.8
	中島	52 100.0	- -	25 48.1	15 28.8	11 21.2	1 1.9	25 48.1	26 50.0
	六合	41 100.0	2 4.9	18 43.9	12 29.3	9 22.0	- -	20 48.8	21 51.2
	大和	27 100.0	2 7.4	11 40.7	10 37.0	4 14.8	- -	13 48.1	14 51.9
	豊原	53 100.0	5 9.4	24 45.3	13 24.5	11 20.8	- -	29 54.7	24 45.3
	藤吉	87 100.0	14 16.1	38 43.7	25 28.7	10 11.5	- -	52 59.8	35 40.2
	矢ヶ部	25 100.0	9 36.0	8 32.0	7 28.0	- -	1 4.0	17 68.0	7 28.0
	二ッ河	59 100.0	9 15.3	27 45.8	16 27.1	7 11.9	- -	36 61.0	23 39.0
	垂見	37 100.0	7 18.9	12 32.4	13 35.1	5 13.5	- -	19 51.4	18 48.6
	中山	17 100.0	3 17.6	6 35.3	7 41.2	1 5.9	- -	9 52.9	8 47.1
	わからない	14 100.0	2 14.3	5 35.7	4 28.6	3 21.4	- -	7 50.0	7 50.0
無回答	35 100.0	- -	4 11.4	1 2.9	1 2.9	29 82.9	4 11.4	2 5.7	

Ⅲ. 調査結果

(2) 最近3か月間の公共交通機関の利用状況（問 11）

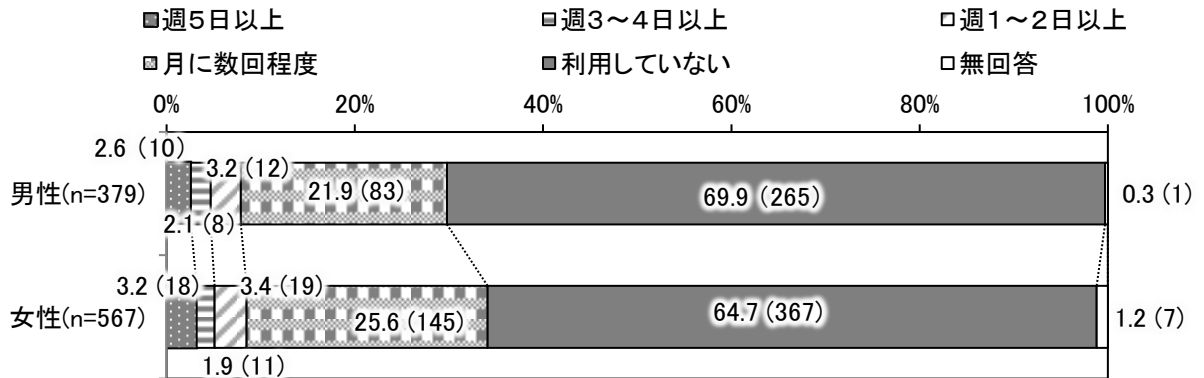
問 11. 最近3か月間に公共交通機関（バス、電車、タクシー、コミュニティバス）を利用しましたか。（○は1つだけ）

「利用していない」の割合が64.6%で最も高くなっている。



「週5日以上」の割合が2.8%、「週3～4日以上」の割合が1.9%、「週1～2日以上」の割合が3.2%、「月に数回程度」の割合が23.6%、「利用していない」の割合が64.6%となっています。「週5日以上」、「週3～4日以上」、「週1～2日以上」、「月に数回程度」を合わせた『利用している』の割合は31.5%となっています。

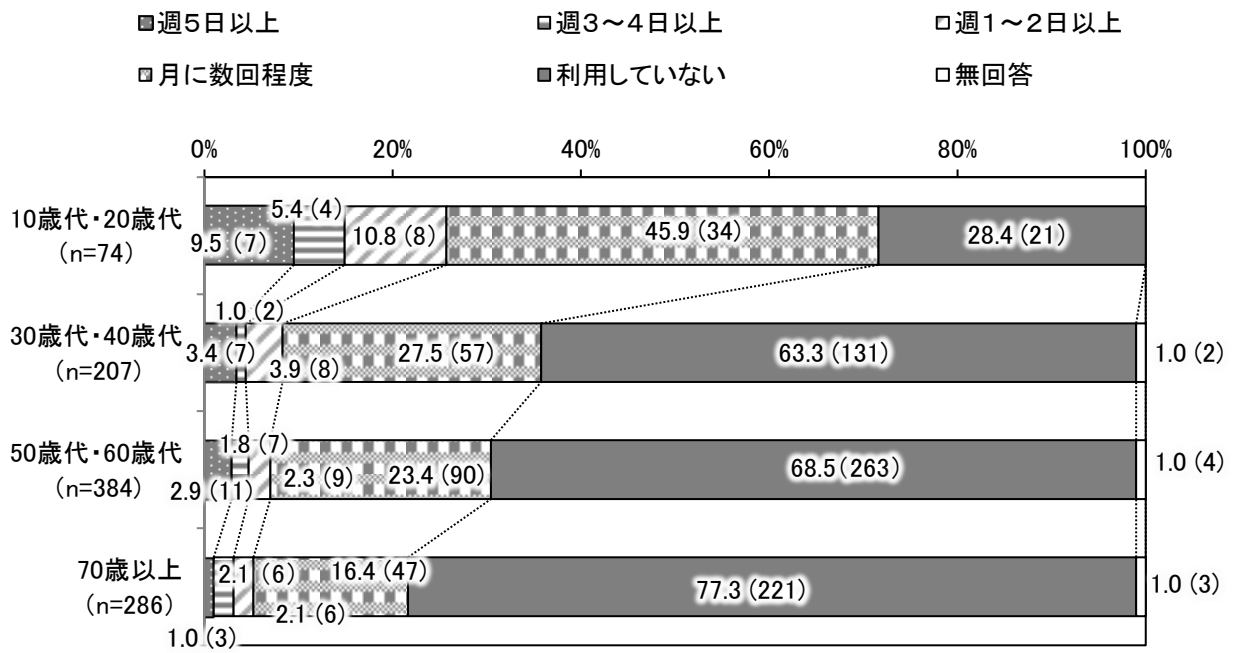
【性別】



性別で見ると、男性に比べ、女性で『利用している』の割合が高くなっています。利用の頻度については、男性に比べ、女性で「月に数回程度」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、10歳代・20歳代で『利用している』の割合が71.6%と高くなっています。また、年齢が上がるにつれて、「利用していない」の割合が高く、70歳以上では77.3%となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

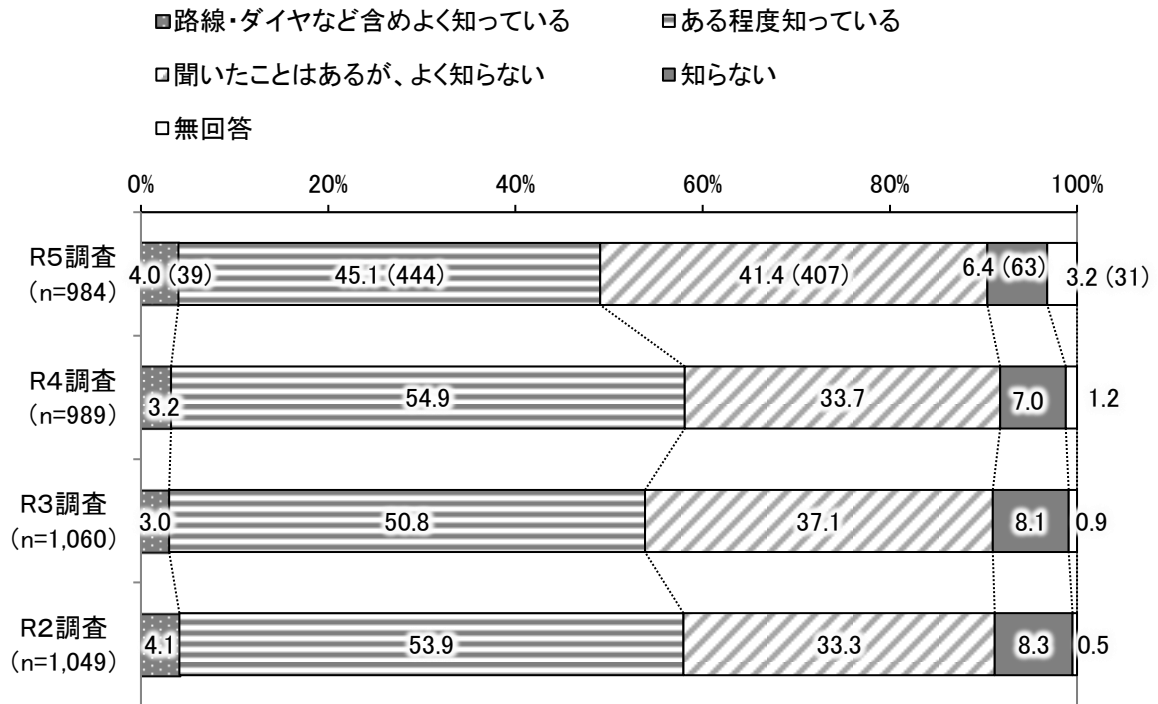
		回答者数 (件)	週 5 日 以上	週 3 ～ 4 日 以上	週 1 ～ 2 日 以上	月 に 数 回 程 度	利 用 し て い な い	無 回 答	『 利 用 し て い る 』
全 体		984 100.0	28 2.8	19 1.9	31 3.2	232 23.6	636 64.6	38 3.9	310 31.5
居 住 小 学 校 区 別	柳河	76 100.0	3 3.9	2 2.6	4 5.3	23 30.3	44 57.9	-	32 42.1
	城内	52 100.0	3 5.8	1 1.9	3 5.8	13 25.0	32 61.5	-	20 38.5
	矢留	58 100.0	1 1.7	1 1.7	1 1.7	16 27.6	39 67.2	-	19 32.8
	東宮永	57 100.0	1 1.8	2 3.5	3 5.3	12 21.1	38 66.7	1 1.8	18 31.6
	両開	45 100.0	1 2.2	-	1 2.2	8 17.8	34 75.6	1 2.2	10 22.2
	昭代第一	51 100.0	-	-	2 3.9	9 17.6	38 74.5	2 3.9	11 21.6
	昭代第二	57 100.0	1 1.8	2 3.5	-	12 21.1	42 73.7	-	15 26.3
	蒲池	91 100.0	5 5.5	3 3.3	2 2.2	26 28.6	55 60.4	-	36 39.6
	皿垣	33 100.0	-	1 3.0	-	6 18.2	25 75.8	1 3.0	7 21.2
	有明	17 100.0	-	-	-	1 5.9	16 94.1	-	1 5.9
	中島	52 100.0	-	1 1.9	1 1.9	12 23.1	38 73.1	-	14 26.9
	六合	41 100.0	-	-	-	7 17.1	34 82.9	-	7 17.1
	大和	27 100.0	-	1 3.7	-	8 29.6	18 66.7	-	9 33.3
	豊原	53 100.0	3 5.7	1 1.9	3 5.7	9 17.0	36 67.9	1 1.9	16 30.2
	藤吉	87 100.0	3 3.4	1 1.1	7 8.0	28 32.2	46 52.9	2 2.3	39 44.8
	矢ヶ部	25 100.0	3 12.0	-	-	10 40.0	12 48.0	-	13 52.0
	二ッ河	59 100.0	1 1.7	2 3.4	1 1.7	13 22.0	41 69.5	1 1.7	17 28.8
	垂見	37 100.0	1 2.7	-	1 2.7	10 27.0	25 67.6	-	12 32.4
	中山	17 100.0	1 5.9	-	2 11.8	2 11.8	12 70.6	-	5 29.4
	わからない	14 100.0	1 7.1	1 7.1	-	5 35.7	7 50.0	-	7 50.0
	無回答	35 100.0	-	-	-	2 5.7	4 11.4	29 82.9	2 5.7

Ⅲ. 調査結果

(3) 柳川市運行コミュニティバスの認知度（問 12）

問 12. 柳川市が運行している、コミュニティバスを知っていますか（○は1つだけ）

「ある程度知っている」の割合が 45.1%で最も高くなっている。

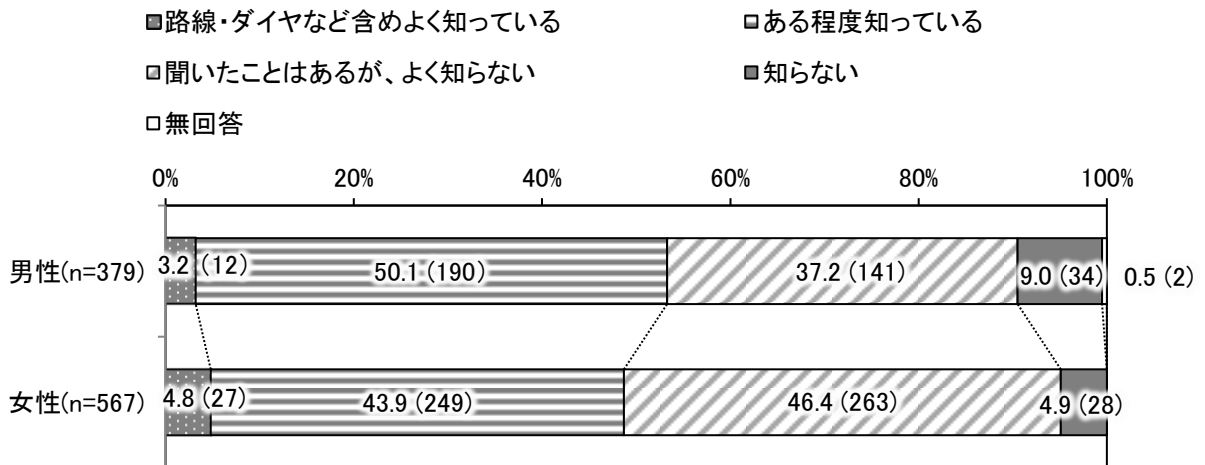


「路線・ダイヤを含めよく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』の割合は 49.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」と「知らない」を合わせた『知らない』の割合は 47.8%となっています。

過去の調査と比較すると、令和2年度以降の調査と比べ、『知らない』の割合が増加しています。

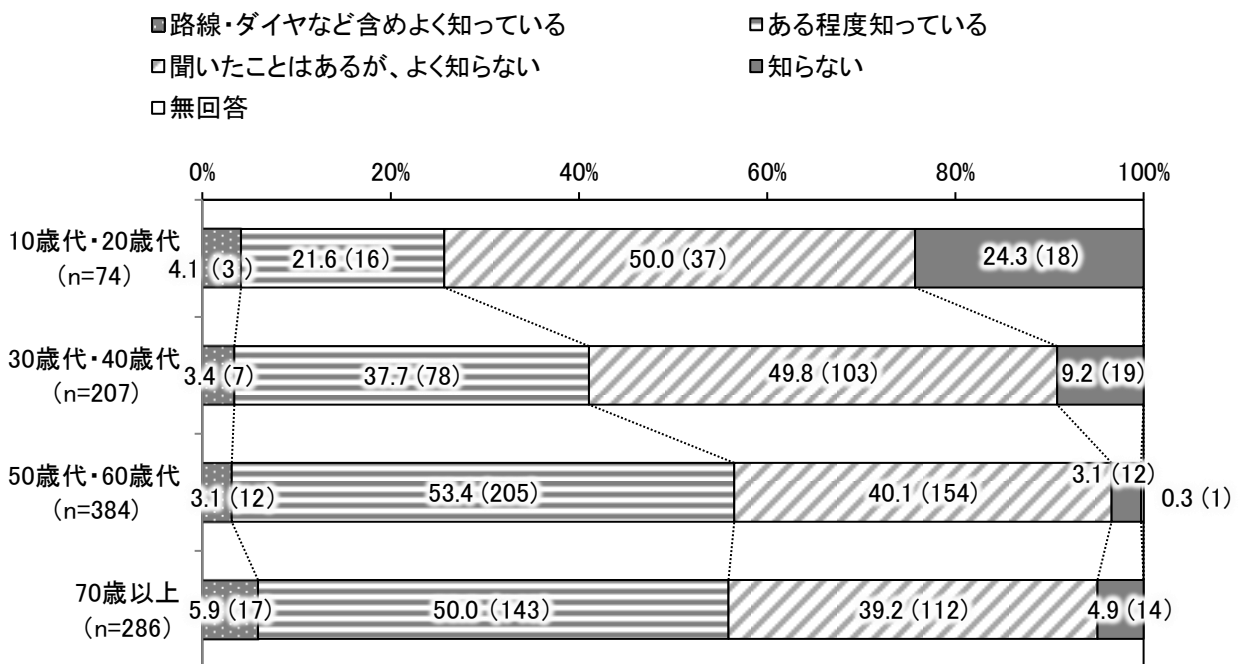
Ⅲ. 調査結果

【性別】



性別で見ると、女性に比べ、男性で『知っている』の割合が高くなっています。

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、50歳代・60歳代と70歳以上で『知っている』の割合が高く、55.0%以上となっています。10歳代・20歳代では、他の年代に比べ、『知らない』の割合が74.3%と高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

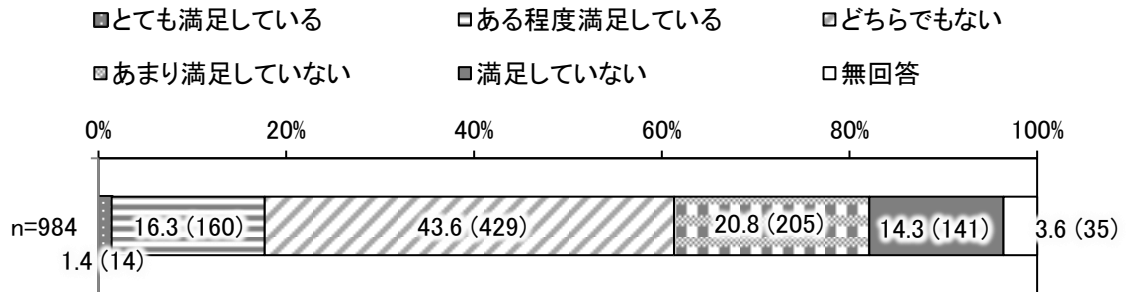
		回答者数 (件)	路線・ダイヤなど 含めよく知っている	ある程度知っている	聞いたことはあるが、 よく知らない	知らない	無回答	『知っている』	『知らない』
全 体		984 100.0	39 4.0	444 45.1	407 41.4	63 6.4	31 3.2	483 49.1	470 47.8
居住小学校区別	柳河	76 100.0	4 5.3	39 51.3	31 40.8	2 2.6	-	43 56.6	33 43.4
	城内	52 100.0	1 1.9	24 46.2	27 51.9	-	-	25 48.1	27 51.9
	矢留	58 100.0	2 3.4	29 50.0	25 43.1	2 3.4	-	31 53.4	27 46.6
	東宮永	57 100.0	3 5.3	25 43.9	25 43.9	4 7.0	-	28 49.1	29 50.9
	両開	45 100.0	4 8.9	22 48.9	15 33.3	3 6.7	1 2.2	26 57.8	18 40.0
	昭代第一	51 100.0	2 3.9	25 49.0	19 37.3	5 9.8	-	27 52.9	24 47.1
	昭代第二	57 100.0	2 3.5	27 47.4	20 35.1	8 14.0	-	29 50.9	28 49.1
	蒲池	91 100.0	7 7.7	47 51.6	32 35.2	5 5.5	-	54 59.3	37 40.7
	皿垣	33 100.0	-	20 60.6	13 39.4	-	-	20 60.6	13 39.4
	有明	17 100.0	-	11 64.7	6 35.3	-	-	11 64.7	6 35.3
	中島	52 100.0	2 3.8	15 28.8	29 55.8	5 9.6	1 1.9	17 32.7	34 65.4
	六合	41 100.0	1 2.4	24 58.5	15 36.6	1 2.4	-	25 61.0	16 39.0
	大和	27 100.0	2 7.4	10 37.0	14 51.9	1 3.7	-	12 44.4	15 55.6
	豊原	53 100.0	1 1.9	25 47.2	25 47.2	2 3.8	-	26 49.1	27 50.9
	藤吉	87 100.0	3 3.4	39 44.8	39 44.8	6 6.9	-	42 48.3	45 51.7
	矢ヶ部	25 100.0	1 4.0	8 32.0	13 52.0	3 12.0	-	9 36.0	16 64.0
	二ッ河	59 100.0	2 3.4	23 39.0	24 40.7	10 16.9	-	25 42.4	34 57.6
	垂見	37 100.0	-	19 51.4	16 43.2	2 5.4	-	19 51.4	18 48.6
	中山	17 100.0	1 5.9	5 29.4	9 52.9	2 11.8	-	6 35.3	11 64.7
	わからない	14 100.0	-	3 21.4	9 64.3	2 14.3	-	3 21.4	11 78.6
	無回答	35 100.0	1 2.9	4 11.4	1 2.9	-	29 82.9	5 14.3	1 2.9

Ⅲ. 調査結果

(4) 市内の公共交通に対する満足度（問 13）

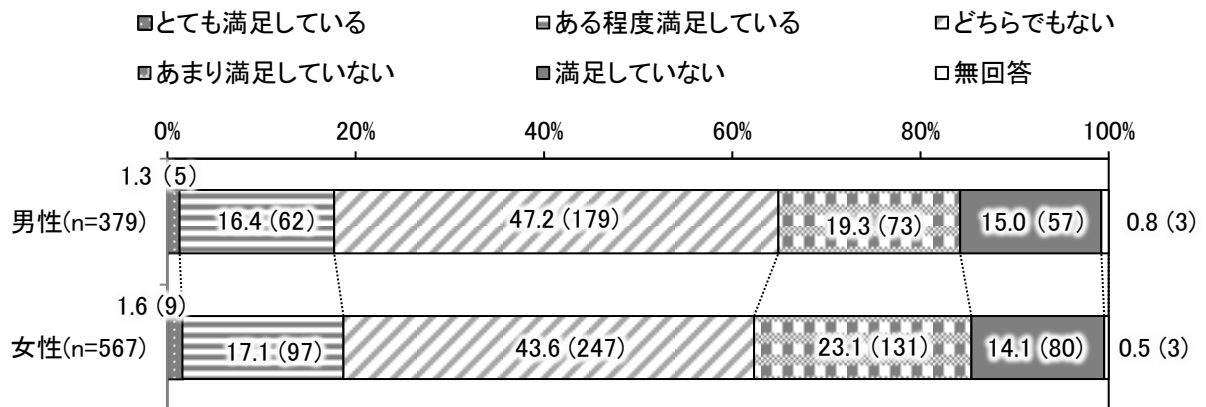
問 13. 市内の公共交通に対する満足度を教えてください。（○は1つだけ）

「ある程度満足している」の割合が 43.6%で最も高くなっている。



「とても満足している」と「ある程度満足している」を合わせた『満足している』の割合が 17.7%、
「どちらでもない」の割合が 43.6%、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた『満足していない』の割合が 35.2%となっています。

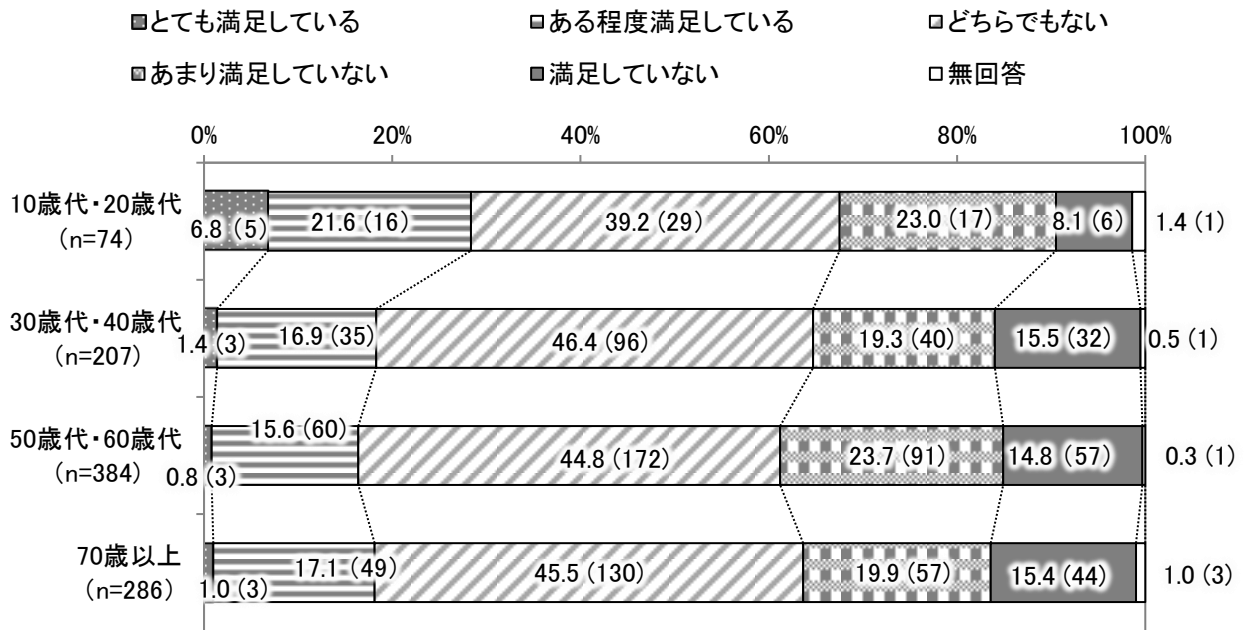
【性別】



性別で見ると、男性に比べ、女性で『満足していない』の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、10歳代・20歳代で『満足している』の割合が28.4%と高く、50歳代・60歳代で16.4%と低くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	とても満足している	ある程度満足している	どちらでもない	あまり満足していない	満足していない	無回答	『満足している』	『満足していない』
全 体		984 100.0	14 1.4	160 16.3	429 43.6	205 20.8	141 14.3	35 3.6	174 17.7	346 35.2
居住小学校区別	柳河	76 100.0	- -	19 25.0	31 40.8	19 25.0	6 7.9	1 1.3	19 25.0	25 32.9
	城内	52 100.0	1 1.9	12 23.1	26 50.0	10 19.2	3 5.8	-	13 25.0	13 25.0
	矢留	58 100.0	1 1.7	11 19.0	31 53.4	8 13.8	7 12.1	-	12 20.7	15 25.9
	東宮永	57 100.0	2 3.5	13 22.8	17 29.8	16 28.1	9 15.8	-	15 26.3	25 43.9
	両開	45 100.0	- -	5 11.1	15 33.3	13 28.9	11 24.4	1 2.2	5 11.1	24 53.3
	昭代第一	51 100.0	1 2.0	8 15.7	24 47.1	10 19.6	7 13.7	1 2.0	9 17.6	17 33.3
	昭代第二	57 100.0	2 3.5	8 14.0	22 38.6	17 29.8	7 12.3	1 1.8	10 17.5	24 42.1
	蒲池	91 100.0	1 1.1	13 14.3	43 47.3	19 20.9	14 15.4	1 1.1	14 15.4	33 36.3
	皿垣	33 100.0	- -	4 12.1	16 48.5	5 15.2	8 24.2	-	4 12.1	13 39.4
	有明	17 100.0	- -	5 29.4	3 17.6	3 17.6	6 35.3	-	5 29.4	9 52.9
	中島	52 100.0	2 3.8	11 21.2	23 44.2	10 19.2	6 11.5	-	13 25.0	16 30.8
	六合	41 100.0	- -	2 4.9	19 46.3	13 31.7	7 17.1	-	2 4.9	20 48.8
	大和	27 100.0	- -	3 11.1	16 59.3	3 11.1	5 18.5	-	3 11.1	8 29.6
	豊原	53 100.0	1 1.9	6 11.3	22 41.5	14 26.4	10 18.9	-	7 13.2	24 45.3
	藤吉	87 100.0	2 2.3	14 16.1	49 56.3	11 12.6	10 11.5	1 1.1	16 18.4	21 24.1
	矢ヶ部	25 100.0	1 4.0	7 28.0	7 28.0	8 32.0	2 8.0	-	8 32.0	10 40.0
	二ッ河	59 100.0	- -	7 11.9	28 47.5	14 23.7	10 16.9	-	7 11.9	24 40.7
	垂見	37 100.0	- -	9 24.3	23 62.2	3 8.1	2 5.4	-	9 24.3	5 13.5
	中山	17 100.0	- -	1 5.9	8 47.1	4 23.5	4 23.5	-	1 5.9	8 47.1
	わからない	14 100.0	- -	1 7.1	2 14.3	5 35.7	6 42.9	-	1 7.1	11 78.6
無回答	35 100.0	- -	1 2.9	4 11.4	-	1 2.9	29 82.9	1 2.9	1 2.9	

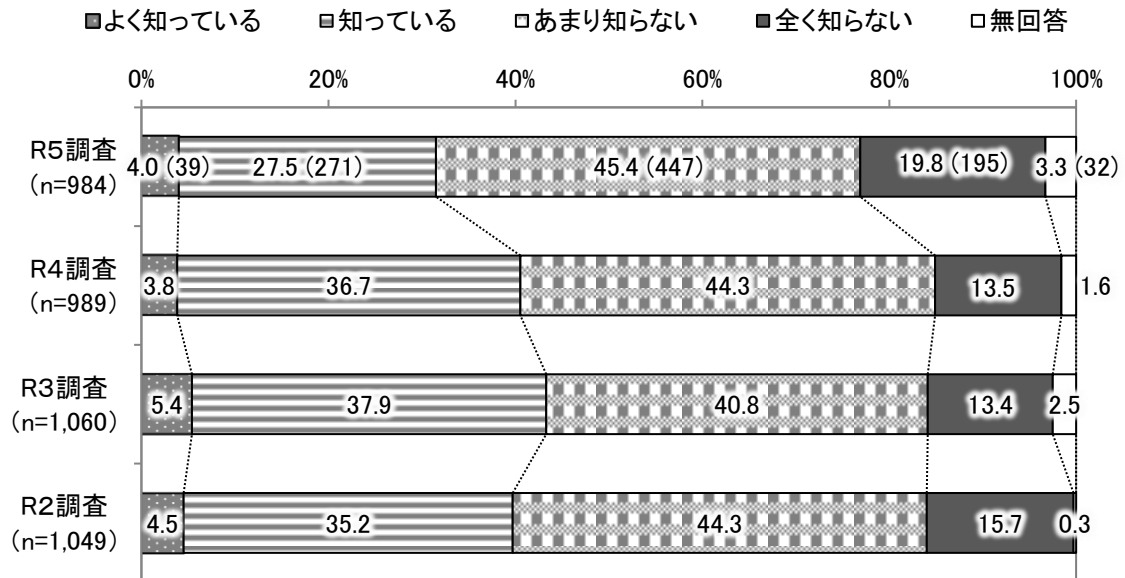
Ⅲ. 調査結果

3. ブランド化について

(1) 「柳川ブランド認定品」の認知度（問 14）

問 14. 商品の地域性や安全性等を評価し、認定される「柳川ブランド認定品」を知っていますか。（○は1つだけ）

「あまり知らない」の割合が45.4%で最も高くなっている。

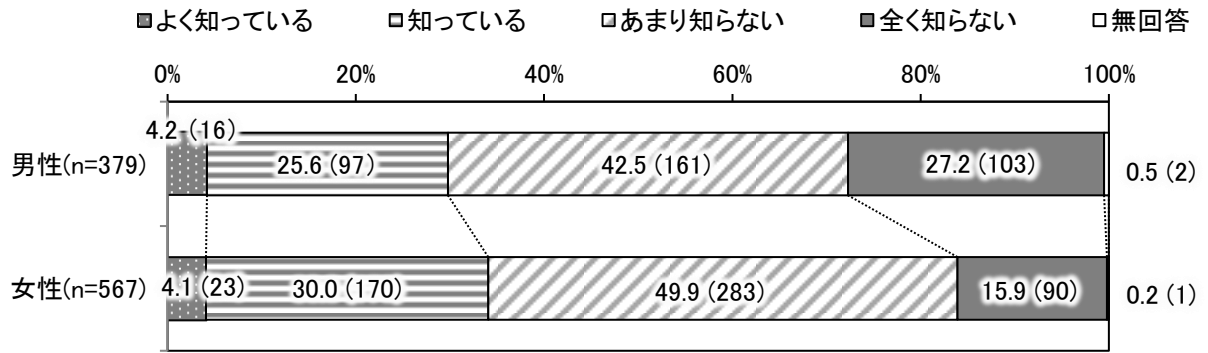


「よく知っている」と「知っている」を合わせた『知っている』の割合が31.5%、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた『知らない』の割合が65.2%となっています。

過去の調査と比較すると、令和2年度以降の調査と比べ、『知っている』の割合が減少しており、『知らない』の割合が増加しています。

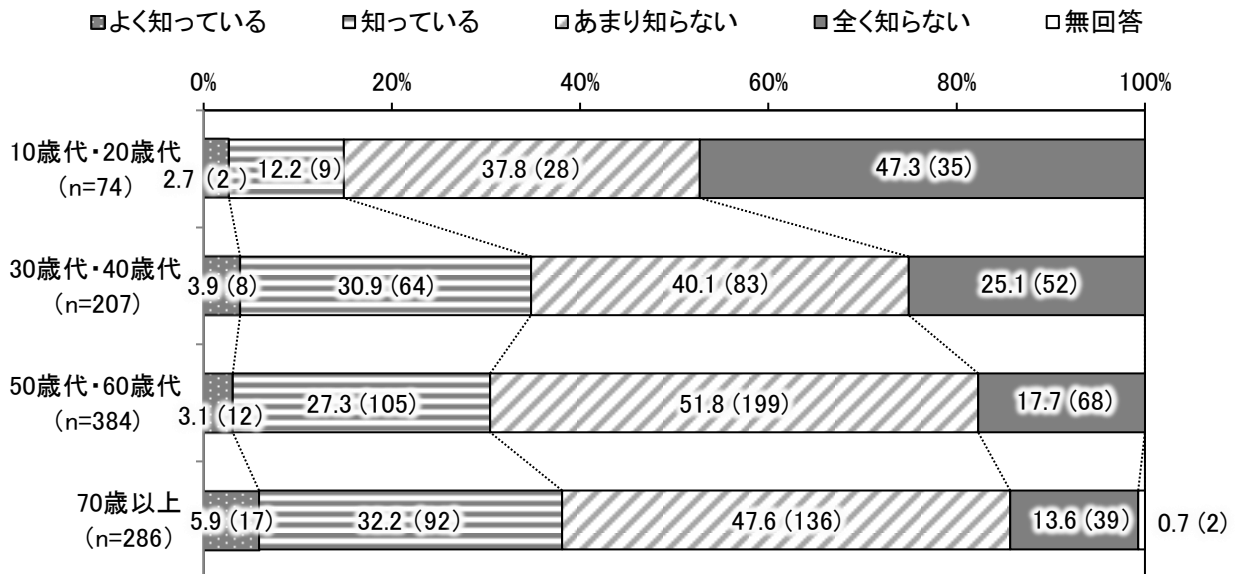
Ⅲ. 調査結果

【性別】



性別で見ると、男性に比べ、女性で『知っている』の割合が高くなっています。

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、10歳代・20歳代で『知っている』の割合が低くなっており、「全く知らない」の割合は47.3%となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	よく 知っている	知 っている	あ まり 知 ら ない	全 く 知 ら ない	無 回 答	『 知 っ て い る 』	『 知 ら ない 』
全 体		984 100.0	39 4.0	271 27.5	447 45.4	195 19.8	32 3.3	310 31.5	642 65.2
居 住 小 学 校 区 別	柳河	76 100.0	7 9.2	24 31.6	30 39.5	15 19.7	-	31 40.8	45 59.2
	城内	52 100.0	2 3.8	18 34.6	21 40.4	11 21.2	-	20 38.5	32 61.5
	矢留	58 100.0	-	18 31.0	32 55.2	8 13.8	-	18 31.0	40 69.0
	東宮永	57 100.0	3 5.3	13 22.8	29 50.9	12 21.1	-	16 28.1	41 71.9
	両開	45 100.0	2 4.4	14 31.1	20 44.4	9 20.0	-	16 35.6	29 64.4
	昭代第一	51 100.0	5 9.8	16 31.4	21 41.2	9 17.6	-	21 41.2	30 58.8
	昭代第二	57 100.0	3 5.3	19 33.3	24 42.1	11 19.3	-	22 38.6	35 61.4
	蒲池	91 100.0	2 2.2	34 37.4	39 42.9	15 16.5	1	36 39.6	54 59.3
	皿垣	33 100.0	-	8 24.2	22 66.7	3 9.1	-	8 24.2	25 75.8
	有明	17 100.0	-	7 41.2	5 29.4	5 29.4	-	7 41.2	10 58.8
	中島	52 100.0	2 3.8	10 19.2	26 50.0	13 25.0	1	12 23.1	39 75.0
	六合	41 100.0	-	15 36.6	21 51.2	5 12.2	-	15 36.6	26 63.4
	大和	27 100.0	1 3.7	5 18.5	14 51.9	7 25.9	-	6 22.2	21 77.8
	豊原	53 100.0	1 1.9	12 22.6	24 45.3	16 30.2	-	13 24.5	40 75.5
	藤吉	87 100.0	3 3.4	20 23.0	47 54.0	17 19.5	-	23 26.4	64 73.6
	矢ヶ部	25 100.0	4 16.0	6 24.0	10 40.0	5 20.0	-	10 40.0	15 60.0
	二ッ河	59 100.0	4 6.8	13 22.0	27 45.8	14 23.7	1	17 28.8	41 69.5
	垂見	37 100.0	-	11 29.7	19 51.4	7 18.9	-	11 29.7	26 70.3
	中山	17 100.0	-	3 17.6	8 47.1	6 35.3	-	3 17.6	14 82.4
	わからない	14 100.0	-	2 14.3	5 35.7	7 50.0	-	2 14.3	12 85.7
	無回答	35 100.0	-	3 8.6	3 8.6	-	29 82.9	3 8.6	3 8.6

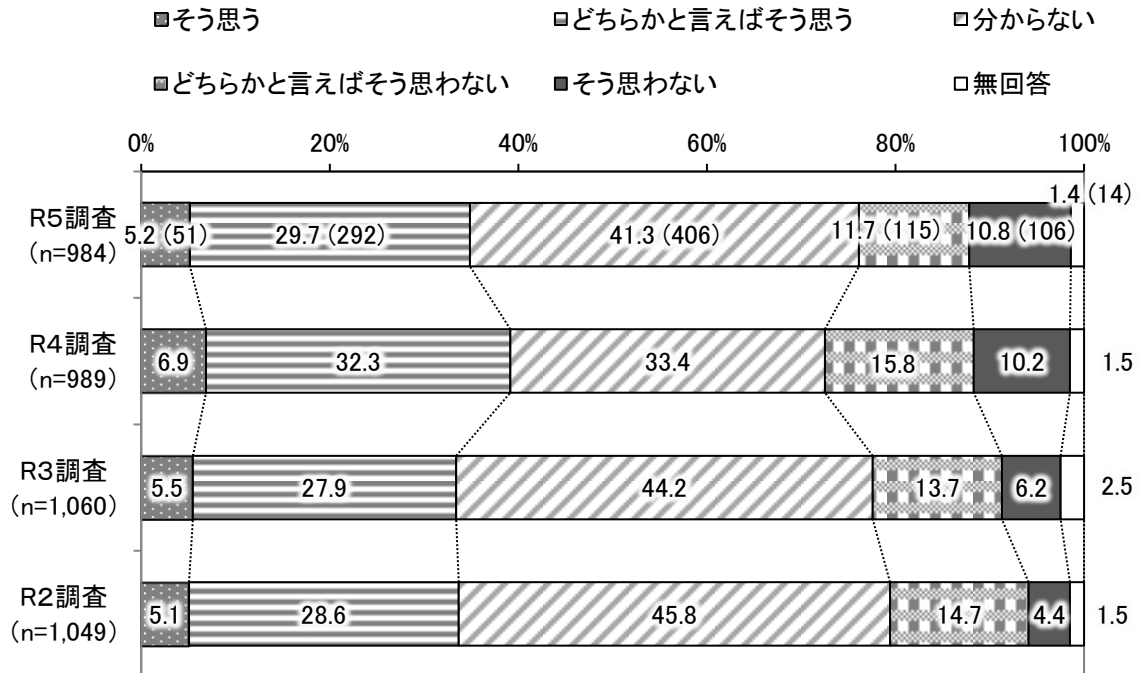
Ⅲ. 調査結果

4. 文化・景観・歴史について

(1) 文化芸術活動が盛んに行われているかと思う度合い（問 15）

問 15. 柳川市は文化芸術活動が盛んに行われていると思いますか。（○は1つだけ）

「分からない」の割合が 41.3%で最も高くなっている。

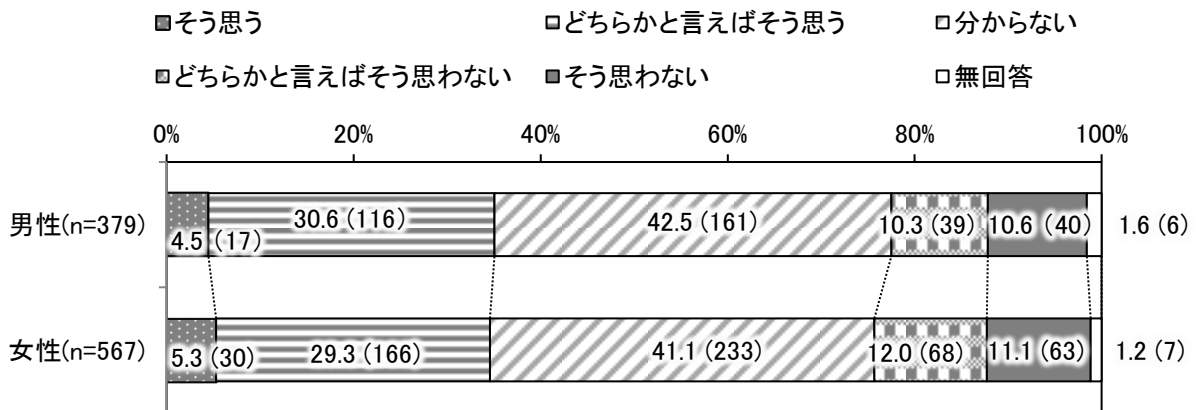


「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が 34.9%、「分からない」の割合が 41.3%、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が 22.5%となっています。

過去の調査と比較すると、令和4年度調査と比べ、「分からない」の割合が増え、『そう思う』の割合が減少していますが、令和3年度及び令和2年度調査と比べると、やや増加しています。

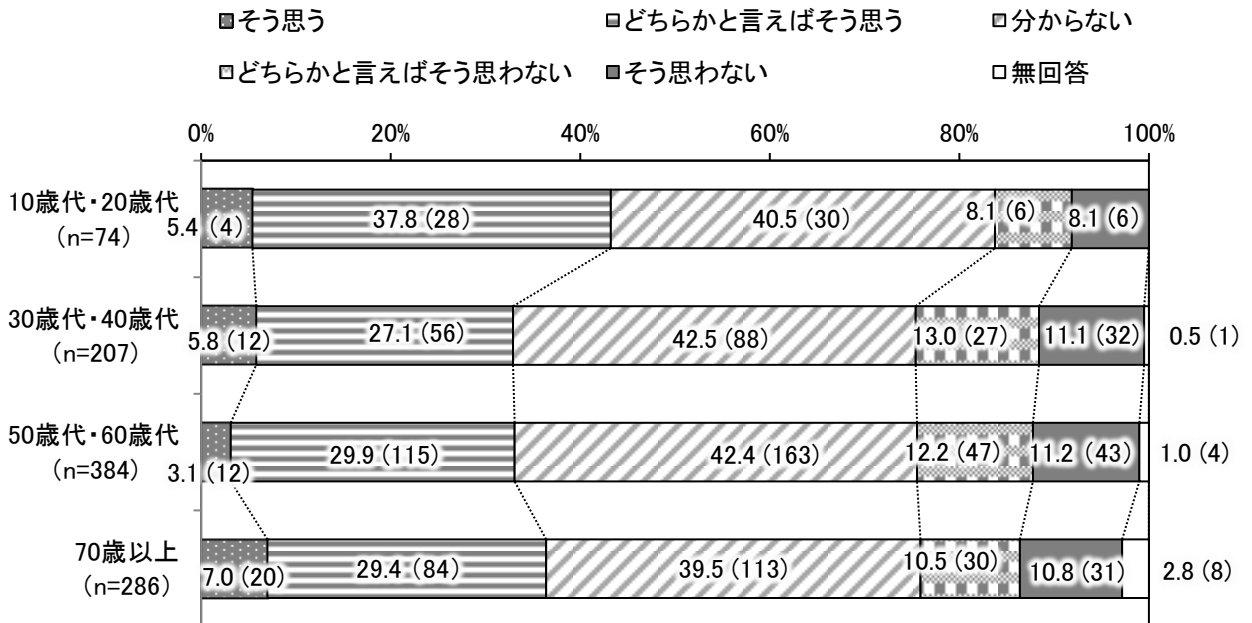
Ⅲ. 調査結果

【性別】



性別でみると、男性に比べ、女性で『そう思わない』の割合が高くなっています。

【年齢別】



年齢別でみると、他の年代に比べ、10歳代・20歳代で『そう思う』の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

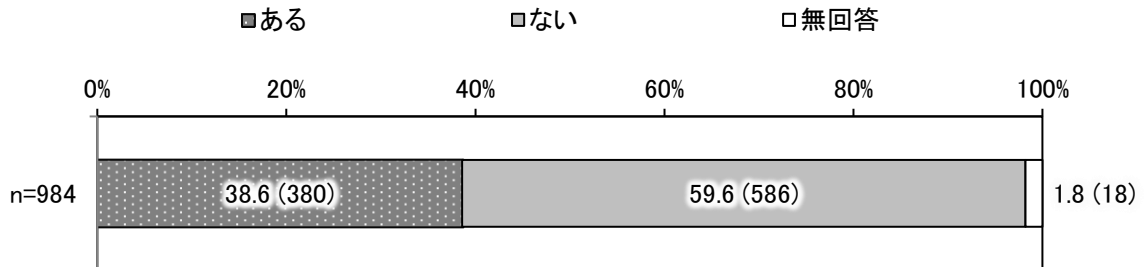
		回答者数 (件)	そう 思う	ど ち ら か と 言 え ば そ う 思 う	分 か ら な い	ど ち ら か と 言 え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	『 そ う 思 う 』	『 そ う 思 わ な い 』
全 体		984 100.0	51 5.2	292 29.7	406 41.3	115 11.7	106 10.8	14 1.4	343 34.9	221 22.5
居 住 小 学 校 区 別	柳河	76 100.0	4 5.3	26 34.2	32 42.1	3 3.9	9 11.8	2 2.6	30 39.5	12 15.8
	城内	52 100.0	6 11.5	16 30.8	17 32.7	8 15.4	5 9.6	-	22 42.3	13 25.0
	矢留	58 100.0	2 3.4	18 31.0	27 46.6	4 6.9	6 10.3	1 1.7	20 34.5	10 17.2
	東宮永	57 100.0	3 5.3	23 40.4	19 33.3	5 8.8	5 8.8	2 3.5	26 45.6	10 17.5
	両開	45 100.0	1 2.2	9 20.0	19 42.2	11 24.4	5 11.1	-	10 22.2	16 35.6
	昭代第一	51 100.0	3 5.9	15 29.4	17 33.3	8 15.7	7 13.7	1 2.0	18 35.3	15 29.4
	昭代第二	57 100.0	2 3.5	19 33.3	20 35.1	9 15.8	7 12.3	-	21 36.8	16 28.1
	蒲池	91 100.0	5 5.5	21 23.1	38 41.8	16 17.6	10 11.0	1 1.1	26 28.6	26 28.6
	皿垣	33 100.0	1 3.0	8 24.2	18 54.5	4 12.1	-	2 6.1	9 27.3	4 12.1
	有明	17 100.0	1 5.9	4 23.5	7 41.2	2 11.8	1 5.9	2 11.8	5 29.4	3 17.6
	中島	52 100.0	2 3.8	13 25.0	22 42.3	6 11.5	9 17.3	-	15 28.8	15 28.8
	六合	41 100.0	1 2.4	15 36.6	18 43.9	5 12.2	2 4.9	-	16 39.0	7 17.1
	大和	27 100.0	3 11.1	5 18.5	13 48.1	2 7.4	4 14.8	-	8 29.6	6 22.2
	豊原	53 100.0	1 1.9	12 22.6	28 52.8	6 11.3	6 11.3	-	13 24.5	12 22.6
	藤吉	87 100.0	5 5.7	29 33.3	37 42.5	6 6.9	10 11.5	-	34 39.1	16 18.4
	矢ヶ部	25 100.0	2 8.0	8 32.0	10 40.0	2 8.0	3 12.0	-	10 40.0	5 20.0
	二ッ河	59 100.0	3 5.1	19 32.2	26 44.1	1 1.7	8 13.6	2 3.4	22 37.3	9 15.3
	垂見	37 100.0	3 8.1	10 27.0	16 43.2	6 16.2	2 5.4	-	13 35.1	8 21.6
	中山	17 100.0	-	5 29.4	8 47.1	2 11.8	2 11.8	-	5 29.4	4 23.5
	わからない	14 100.0	-	6 42.9	2 14.3	4 28.6	2 14.3	-	6 42.9	6 42.9
	無回答	35 100.0	3 8.6	11 31.4	12 34.3	5 14.3	3 8.6	1 2.9	14 40.0	8 22.9

Ⅲ. 調査結果

(2) この1年以内の掘割に接する機会の有無（問 16）

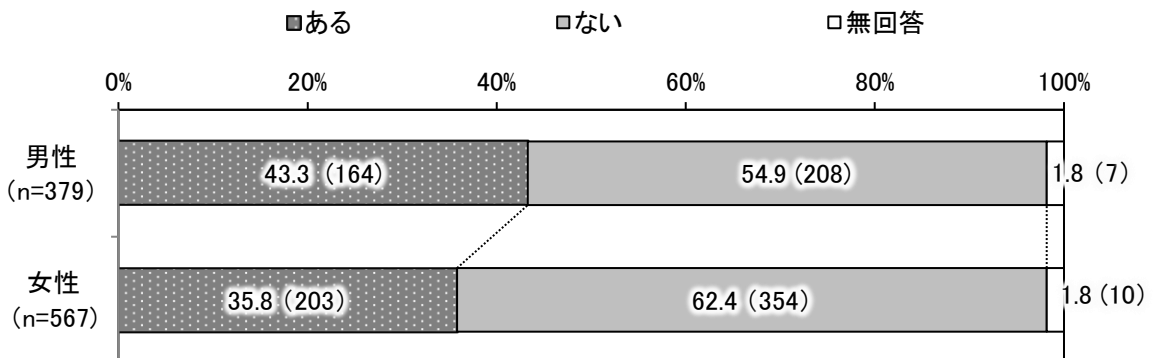
問 16. この1年間、掘割に接する機会（川下りや水辺のイベント、農業利用、釣り、清掃など）はありましたか。（○は1つだけ）

「ない」の割合が 59.6%で最も高くなっている。



「ある」の割合が 38.6%、「ない」の割合が 59.6%となっています。

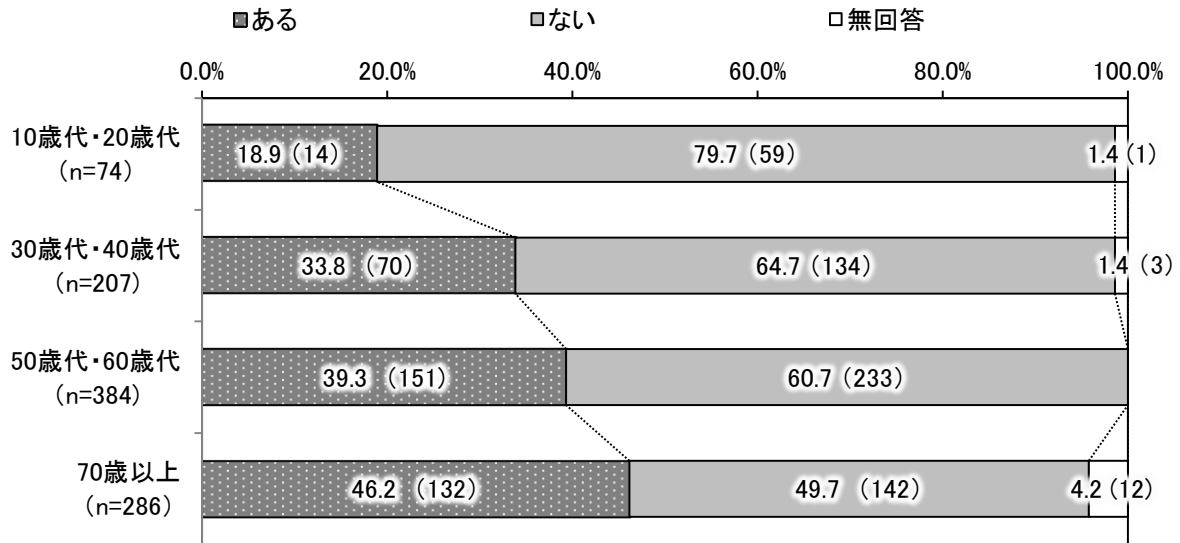
【性別】



性別でみると、女性に比べ、男性で「ある」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で「ある」の割合が46.2%と高くなっており、10歳代・20歳代で「ない」の割合が79.7%と高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

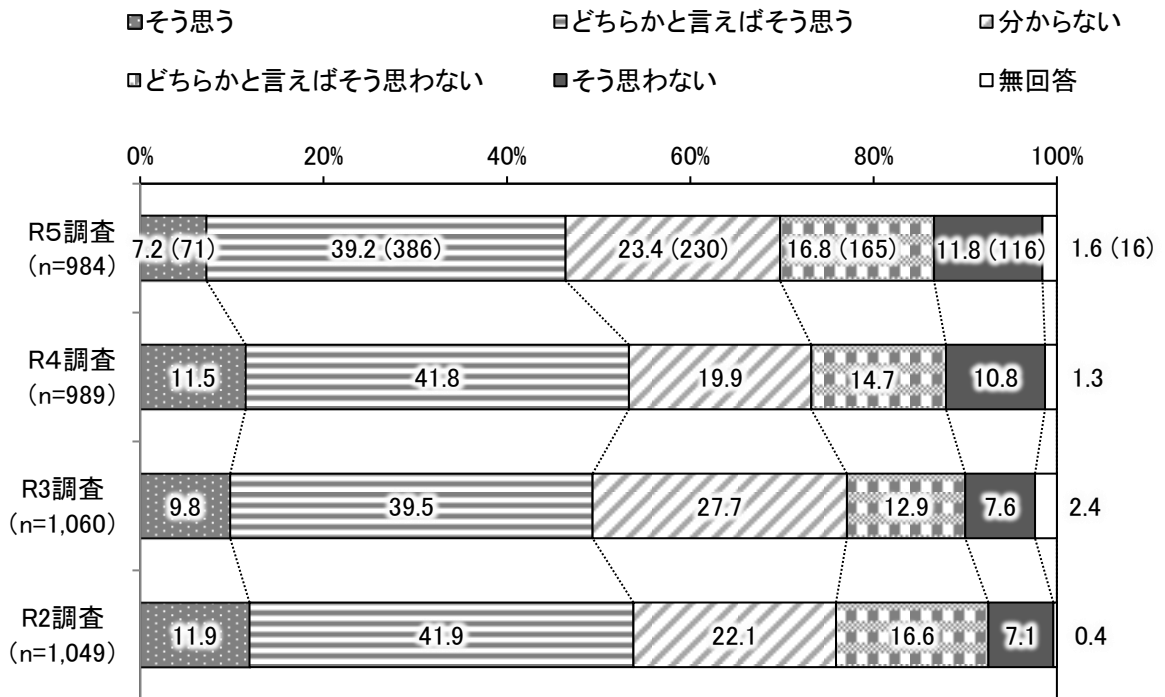
		回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体		984 100.0	380 38.6	586 59.6	18 1.8
居住小学校区別	柳河	76 100.0	34 44.7	41 53.9	1 1.3
	城内	52 100.0	26 50.0	25 48.1	1 1.9
	矢留	58 100.0	36 62.1	19 32.8	3 5.2
	東宮永	57 100.0	27 47.4	29 50.9	1 1.8
	両開	45 100.0	25 55.6	20 44.4	- -
	昭代第一	51 100.0	25 49.0	24 47.1	2 3.9
	昭代第二	57 100.0	28 49.1	29 50.9	- -
	蒲池	91 100.0	22 24.2	68 74.7	1 1.1
	皿垣	33 100.0	16 48.5	16 48.5	1 3.0
	有明	17 100.0	7 41.2	9 52.9	1 5.9
	中島	52 100.0	7 13.5	44 84.6	1 1.9
	六合	41 100.0	12 29.3	29 70.7	- -
	大和	27 100.0	9 33.3	17 63.0	1 3.7
	豊原	53 100.0	11 20.8	41 77.4	1 1.9
	藤吉	87 100.0	25 28.7	61 70.1	1 1.1
	矢ヶ部	25 100.0	9 36.0	16 64.0	- -
	二ッ河	59 100.0	24 40.7	34 57.6	1 1.7
	垂見	37 100.0	18 48.6	18 48.6	1 2.7
	中山	17 100.0	4 23.5	13 76.5	- -
	わからない	14 100.0	2 14.3	12 85.7	- -
無回答	35 100.0	13 37.1	21 60.0	1 2.9	

Ⅲ. 調査結果

(3) 柳川市の水辺の景観や掘割が保全されていると感じる度合い（問 17）

問 17. 水辺の景観や掘割が保全されていると感じますか。（○は1つだけ）

「どちらかといえばそう思う」の割合が 39.2%で最も高くなっている。

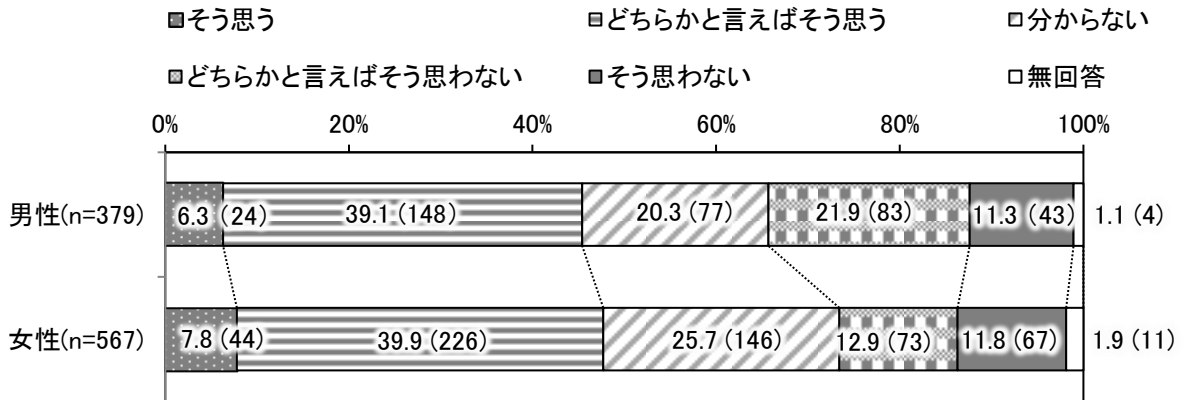


「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合は 46.4%、「分からない」の割合が 23.4%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が 28.6%となっています。

過去の調査と比較すると、令和2年度以降の調査と比べ、『そう思わない』の割合が増加しています。

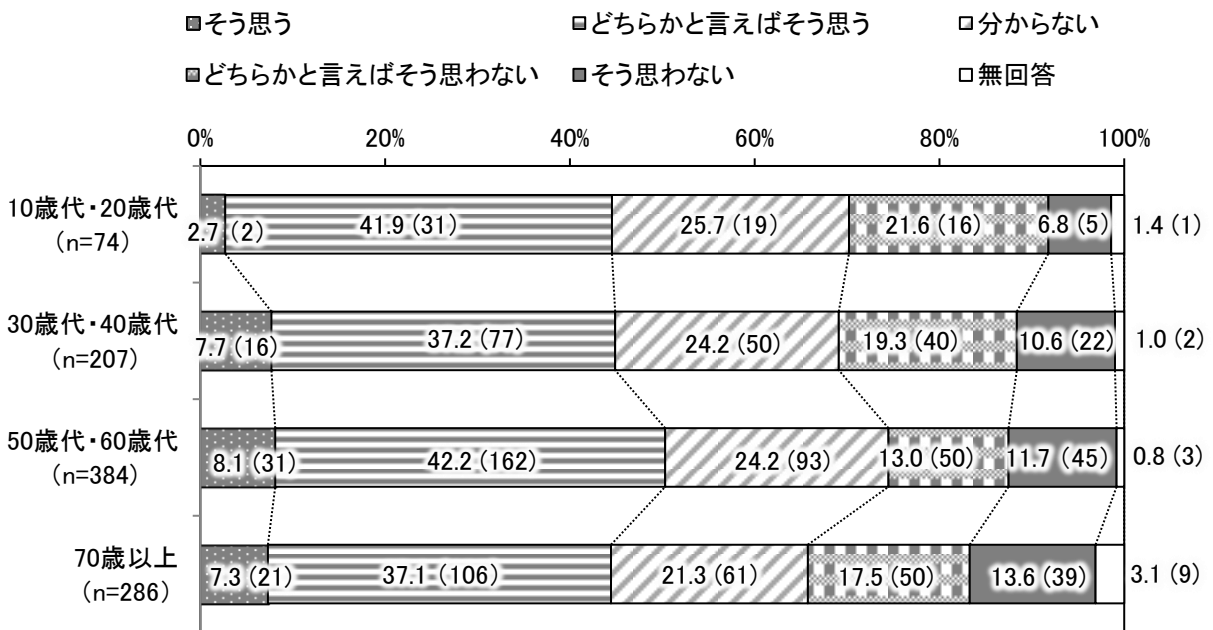
Ⅲ. 調査結果

【性別】



性別でみると、男性に比べ、女性で『そう思う』の割合が高くなっています。

【年齢別】



年齢別でみると、他の年代に比べ、50歳代・60歳代で『そう思う』の割合が高くなっており、70歳以上で『そう思わない』の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

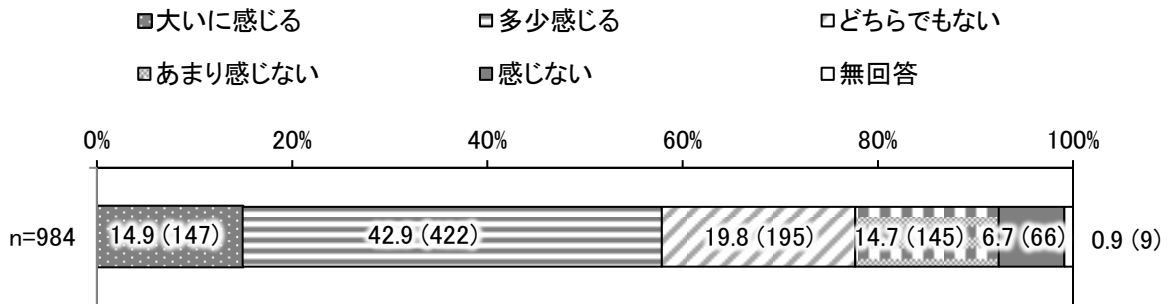
		回答者数 (件)	そう 思う	どちら かと言 えばそ う	分 から ない	ど ち ら か と 言 え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	『 そ う 思 う 』	『 そ う 思 わ な い 』
全 体		984 100.0	71 7.2	386 39.2	230 23.4	165 16.8	116 11.8	16 1.6	457 46.4	281 28.6
居 住 小 学 校 区 別	柳河	76 100.0	1 1.3	27 35.5	20 26.3	15 19.7	12 15.8	1 1.3	28 36.8	27 35.5
	城内	52 100.0	1 1.9	22 42.3	6 11.5	17 32.7	6 11.5	-	23 44.2	23 44.2
	矢留	58 100.0	3 5.2	29 50.0	11 19.0	13 22.4	2 3.4	-	32 55.2	15 25.9
	東宮永	57 100.0	9 15.8	27 47.4	5 8.8	9 15.8	5 8.8	2 3.5	36 63.2	14 24.6
	両開	45 100.0	5 11.1	18 40.0	7 15.6	8 17.8	6 13.3	1 2.2	23 51.1	14 31.1
	昭代第一	51 100.0	4 7.8	25 49.0	9 17.6	6 11.8	6 11.8	1 2.0	29 56.9	12 23.5
	昭代第二	57 100.0	6 10.5	22 38.6	12 21.1	11 19.3	5 8.8	1 1.8	28 49.1	16 28.1
	蒲池	91 100.0	10 11.0	35 38.5	23 25.3	10 11.0	13 14.3	-	45 49.5	23 25.3
	皿垣	33 100.0	1 3.0	18 54.5	10 30.3	2 6.1	2 6.1	-	19 57.6	4 12.1
	有明	17 100.0	1 5.9	6 35.3	4 23.5	2 11.8	3 17.6	1 5.9	7 41.2	5 29.4
	中島	52 100.0	3 5.8	17 32.7	19 36.5	9 17.3	4 7.7	-	20 38.5	13 25.0
	六合	41 100.0	1 2.4	19 46.3	10 24.4	10 24.4	1 2.4	-	20 48.8	11 26.8
	大和	27 100.0	1 3.7	6 22.2	13 48.1	4 14.8	3 11.1	-	7 25.9	7 25.9
	豊原	53 100.0	5 9.4	23 43.4	7 13.2	8 15.1	10 18.9	-	28 52.8	18 34.0
	藤吉	87 100.0	6 6.9	37 42.5	20 23.0	10 11.5	12 13.8	2 2.3	43 49.4	22 25.3
	矢ヶ部	25 100.0	2 8.0	5 20.0	8 32.0	6 24.0	3 12.0	1 4.0	7 28.0	9 36.0
	二ッ河	59 100.0	5 8.5	18 30.5	18 30.5	9 15.3	7 11.9	2 3.4	23 39.0	16 27.1
	垂見	37 100.0	3 8.1	10 27.0	13 35.1	6 16.2	4 10.8	1 2.7	13 35.1	10 27.0
	中山	17 100.0	2 11.8	5 29.4	5 29.4	1 5.9	4 23.5	-	7 41.2	5 29.4
	わからない	14 100.0	1 7.1	4 28.6	4 28.6	1 7.1	3 21.4	1 7.1	5 35.7	4 28.6
無回答	35 100.0	1 2.9	13 37.1	6 17.1	8 22.9	5 14.3	2 5.7	14 40.0	13 37.1	

Ⅲ. 調査結果

(4) 掘割への愛着や誇り (問 18)

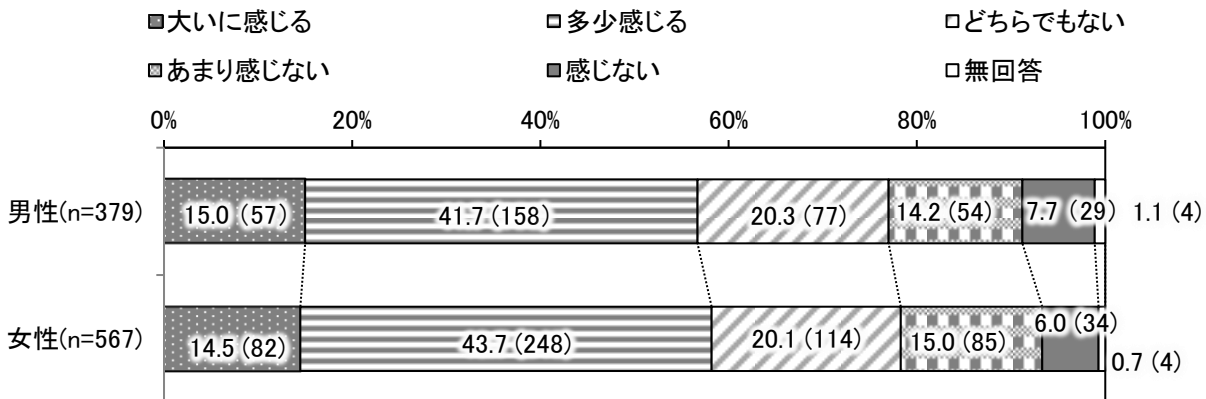
問 18. あなたは掘割に、愛着や誇りを感じますか。(○は1つだけ)

「多少感じる」の割合が42.9%で最も高くなっている。



「大いに感じる」と「多少感じる」を合わせた『感じる』の割合が57.8%、「どちらでもない」の割合が19.8%、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』の割合が21.4%となっています。

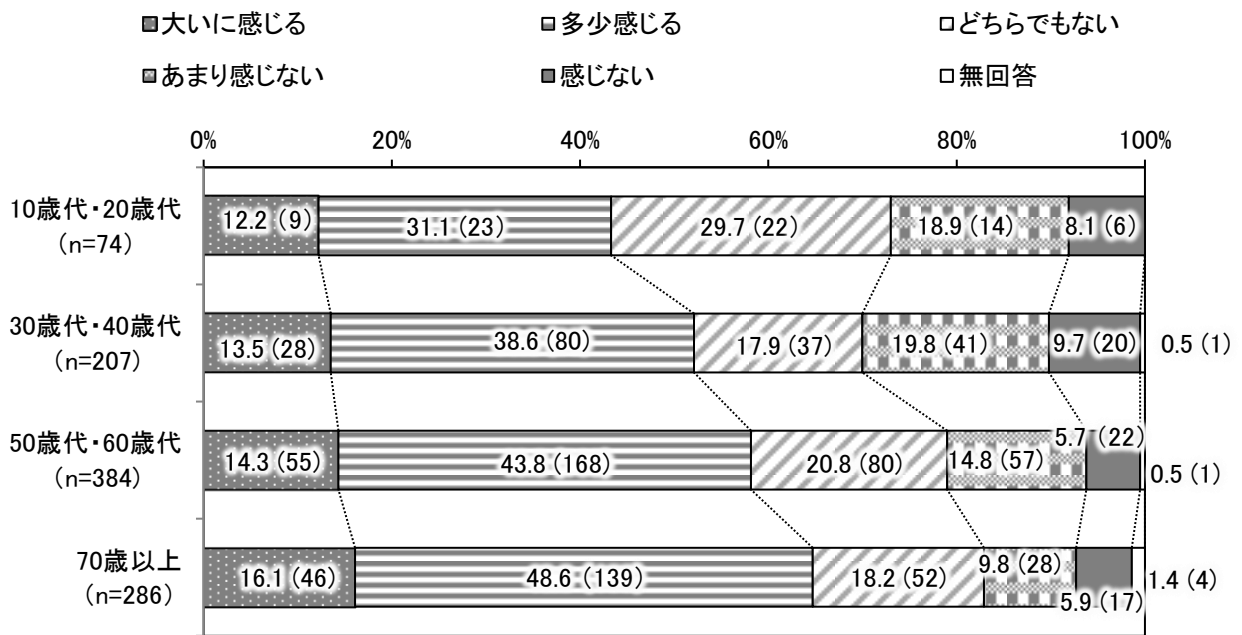
【性別】



性別で見ると、男性に比べ、女性で『感じる』の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、70歳以上で『感じる』の割合が高く、10歳代・20歳代で低くなっています。また、他の年代に比べ、10歳代・20歳代で「どちらでもない」の割合が29.7%と高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

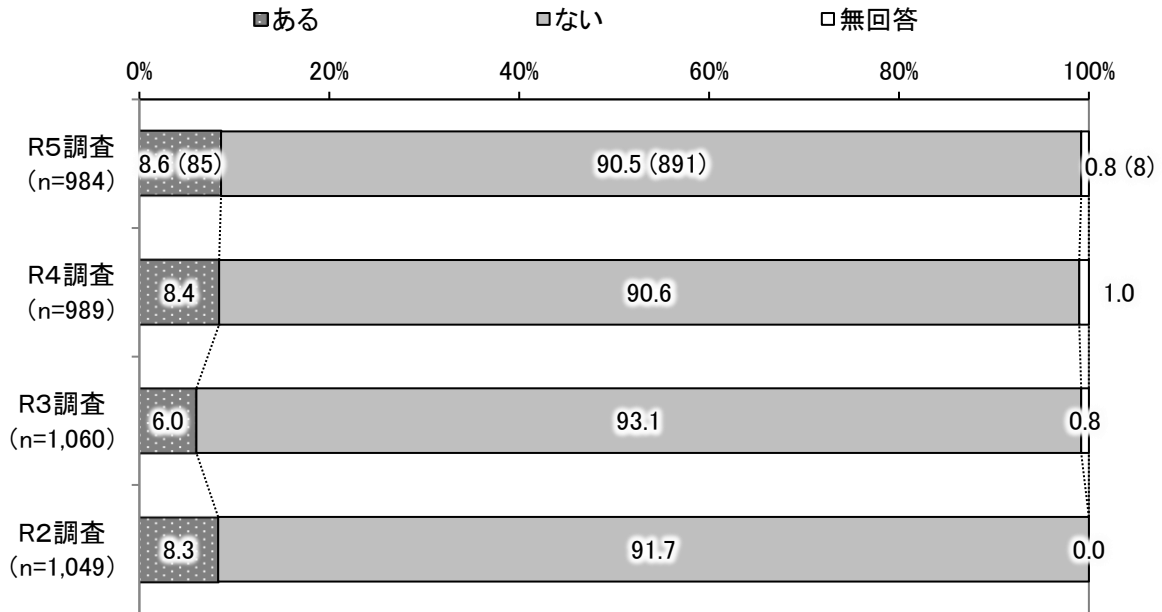
		回答者数 (件)	大いに感じる	多少感じる	どちらでもない	あまり感じない	感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
全 体		984 100.0	147 14.9	422 42.9	195 19.8	145 14.7	66 6.7	9 0.9	569 57.8	211 21.4
居住小学校区別	柳河	76 100.0	14 18.4	35 46.1	14 18.4	11 14.5	2 2.6	-	49 64.5	13 17.1
	城内	52 100.0	20 38.5	20 38.5	2 3.8	8 15.4	2 3.8	-	40 76.9	10 19.2
	矢留	58 100.0	9 15.5	37 63.8	6 10.3	4 6.9	2 3.4	-	46 79.3	6 10.3
	東宮永	57 100.0	11 19.3	26 45.6	10 17.5	8 14.0	1 1.8	1 1.8	37 64.9	9 15.8
	両開	45 100.0	7 15.6	21 46.7	10 22.2	4 8.9	2 4.4	1 2.2	28 62.2	6 13.3
	昭代第一	51 100.0	8 15.7	24 47.1	8 15.7	6 11.8	4 7.8	1 2.0	32 62.7	10 19.6
	昭代第二	57 100.0	9 15.8	29 50.9	11 19.3	5 8.8	3 5.3	-	38 66.7	8 14.0
	蒲池	91 100.0	11 12.1	41 45.1	24 26.4	9 9.9	5 5.5	1 1.1	52 57.1	14 15.4
	皿垣	33 100.0	2 6.1	13 39.4	10 30.3	5 15.2	2 6.1	1 3.0	15 45.5	7 21.2
	有明	17 100.0	3 17.6	6 35.3	5 29.4	1 5.9	1 5.9	1 5.9	9 52.9	2 11.8
	中島	52 100.0	3 5.8	16 30.8	11 21.2	15 28.8	5 9.6	2 3.8	19 36.5	20 38.5
	六合	41 100.0	2 4.9	16 39.0	12 29.3	8 19.5	3 7.3	-	18 43.9	11 26.8
	大和	27 100.0	1 3.7	9 33.3	8 29.6	5 18.5	4 14.8	-	10 37.0	9 33.3
	豊原	53 100.0	4 7.5	20 37.7	12 22.6	9 17.0	8 15.1	-	24 45.3	17 32.1
	藤吉	87 100.0	15 17.2	38 43.7	15 17.2	10 11.5	9 10.3	-	53 60.9	19 21.8
	矢ヶ部	25 100.0	5 20.0	10 40.0	2 8.0	5 20.0	3 12.0	-	15 60.0	8 32.0
	二ッ河	59 100.0	9 15.3	21 35.6	13 22.0	12 20.3	4 6.8	-	30 50.8	16 27.1
	垂見	37 100.0	3 8.1	18 48.6	7 18.9	7 18.9	2 5.4	-	21 56.8	9 24.3
	中山	17 100.0	3 17.6	4 23.5	5 29.4	3 17.6	2 11.8	-	7 41.2	5 29.4
	わからない	14 100.0	-	3 21.4	5 35.7	5 35.7	1 7.1	-	3 21.4	6 42.9
無回答	35 100.0	8 22.9	15 42.9	5 14.3	5 14.3	1 2.9	1 2.9	23 65.7	6 17.1	

Ⅲ. 調査結果

(5) この1年以内の川下り経験有無（問 19）

問 19. この1年以内に川下りをしたことがありますか。（○は1つだけ）

「ない」の割合が90.5%で最も高くなっている。

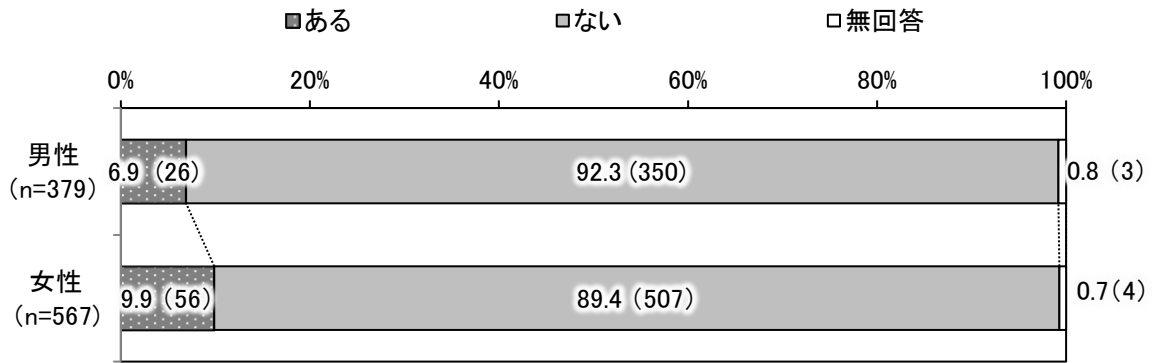


「ある」の割合が8.6%、「ない」の割合が90.5%となっています。

過去の調査と比較すると、依然として「ない」が9割以上を占めており、令和4年度調査と比べても大きな変化はみられません。

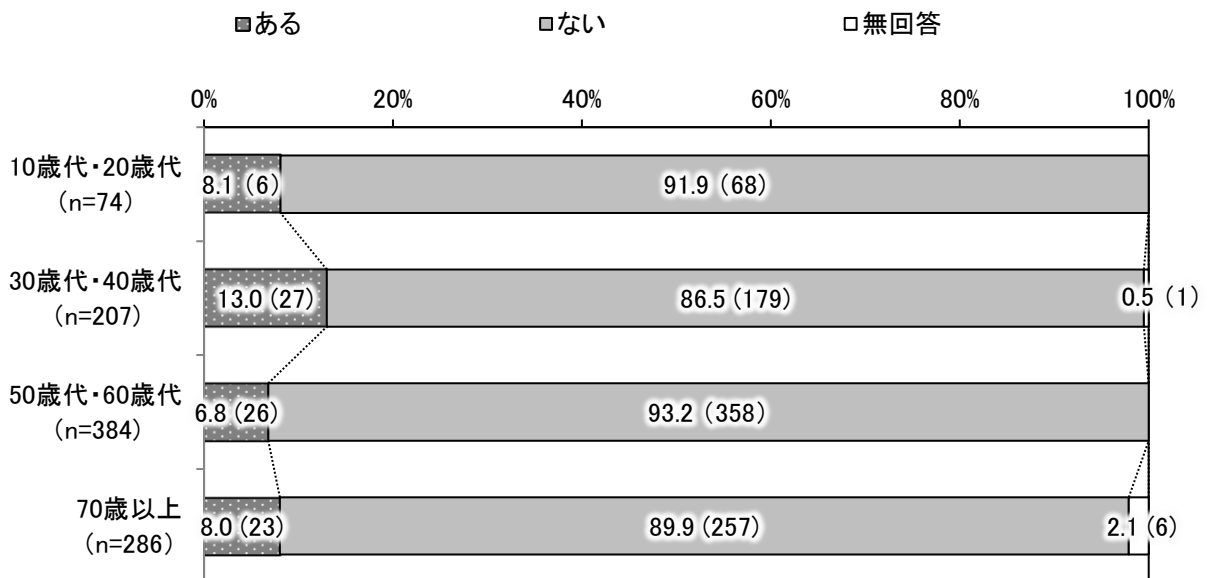
Ⅲ. 調査結果

【性別】



性別で見ると、男性に比べ、女性で「ある」の割合が高くなっています。

【年齢別】



年齢別で見ると、すべての年代で「ない」が8割以上となっています。また、他の年代に比べ、30歳代・40歳代で「ある」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全 体		984 100.0	85 8.6	891 90.5	8 0.8
居住小学校区別	柳河	76 100.0	5 6.6	69 90.8	2 2.6
	城内	52 100.0	10 19.2	42 80.8	-
	矢留	58 100.0	9 15.5	49 84.5	-
	東宮永	57 100.0	5 8.8	51 89.5	1 1.8
	両開	45 100.0	2 4.4	41 91.1	2 4.4
	昭代第一	51 100.0	1 2.0	50 98.0	-
	昭代第二	57 100.0	5 8.8	52 91.2	-
	蒲池	91 100.0	5 5.5	86 94.5	-
	皿垣	33 100.0	3 9.1	30 90.9	-
	有明	17 100.0	2 11.8	14 82.4	1 5.9
	中島	52 100.0	4 7.7	48 92.3	-
	六合	41 100.0	1 2.4	40 97.6	-
	大和	27 100.0	4 14.8	23 85.2	-
	豊原	53 100.0	2 3.8	51 96.2	-
	藤吉	87 100.0	8 9.2	78 89.7	1 1.1
	矢ヶ部	25 100.0	5 20.0	20 80.0	-
	二ッ河	59 100.0	7 11.9	52 88.1	-
	垂見	37 100.0	2 5.4	35 94.6	-
	中山	17 100.0	1 5.9	16 94.1	-
	わからない	14 100.0	1 7.1	13 92.9	-
無回答	35 100.0	3 8.6	31 88.6	1 2.9	

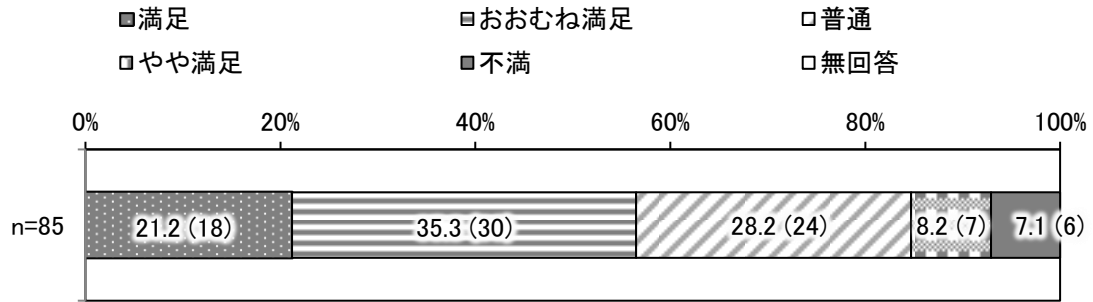
Ⅲ. 調査結果

(4) 川下り全体の満足度（問20）

※問 19 で、「1.（1年以内に川下りをしたことが）ある」と回答した人のみ対象

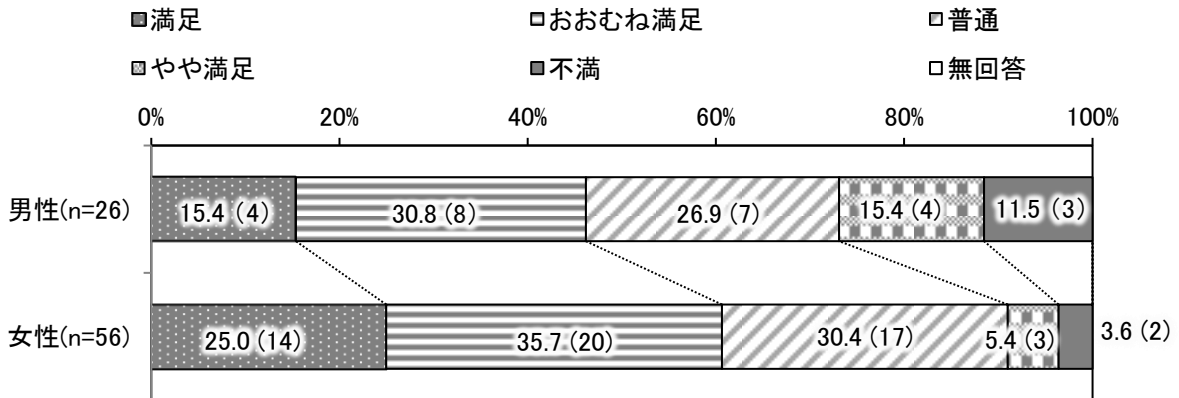
問 20. 川下り全体の満足度をお答えください。（○は1つだけ）

「おおむね満足」の割合が 35.3%で最も高くなっている。



「満足」の割合が 21.2%、「おおむね満足」の割合が 35.3%、「普通」の割合が 28.2%、「やや満足」の割合が 8.2%、「不満」の割合が 7.1%となっています。

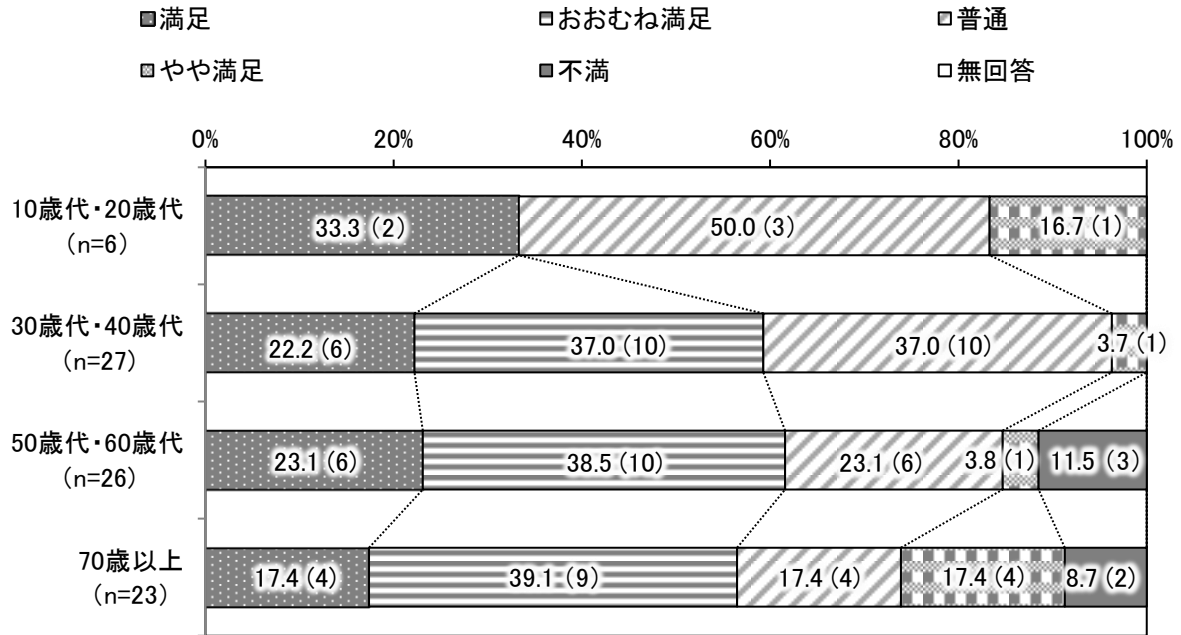
【性別】



性別でみると、男性に比べ、女性で「満足」と「おおむね満足」を合わせた割合が 60.7%と高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、50歳代・60歳代で「満足」と「おおむね満足」を合わせた割合が高くなっています。10歳代・20歳代は「普通」の割合が半数と、他の年代に比べ高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

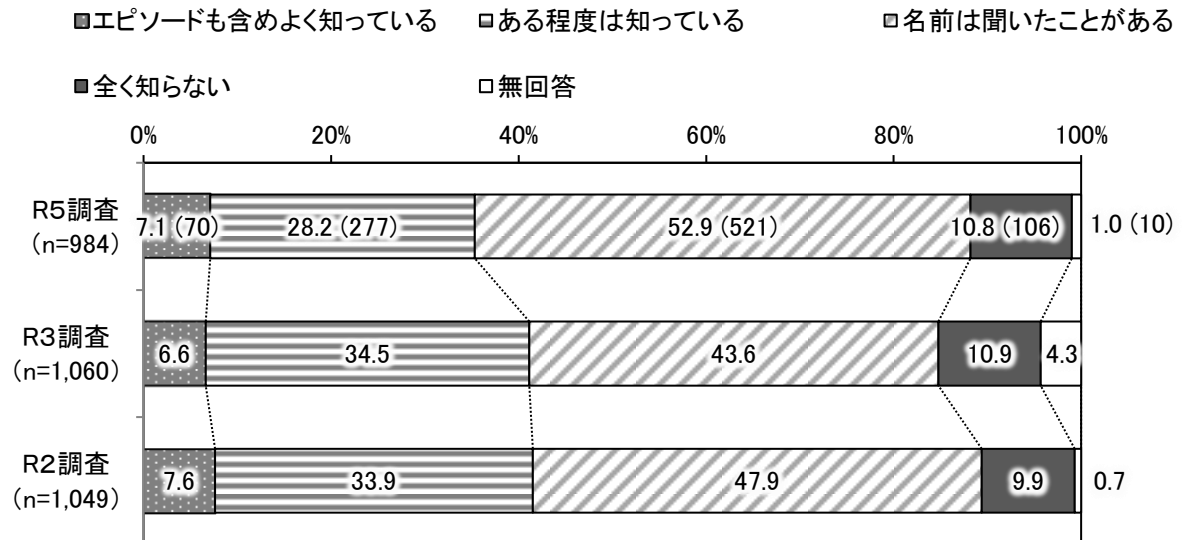
		回答者数 (件)	満足	おおむね満足	普通	やや満足	不満	無回答	「満足」+ 「おおむね満足」
全 体		85	18	30	24	7	6	-	48
		100.0	21.2	35.3	28.2	8.2	7.1	-	56.5
居住小学校区別	柳河	5	-	2	3	-	-	-	2
		100.0	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
	城内	10	3	4	-	1	2	-	7
		100.0	30.0	40.0	-	10.0	20.0	-	70.0
	矢留	9	1	2	3	2	1	-	3
		100.0	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1	-	33.3
	東宮永	5	1	1	3	-	-	-	2
		100.0	20.0	20.0	60.0	-	-	-	40.0
	両開	2	1	-	1	-	-	-	1
		100.0	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0
	昭代第一	1	1	-	-	-	-	-	1
		100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0
	昭代第二	5	2	2	1	-	-	-	4
		100.0	40.0	40.0	20.0	-	-	-	80.0
	蒲池	5	1	2	2	-	-	-	3
		100.0	20.0	40.0	40.0	-	-	-	60.0
	皿垣	3	2	-	1	-	-	-	2
		100.0	66.7	-	33.3	-	-	-	66.7
	有明	2	1	-	-	-	1	-	1
		100.0	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0
	中島	4	-	2	1	1	-	-	2
	100.0	-	50.0	25.0	25.0	-	-	50.0	
六合	1	-	1	-	-	-	-	1	
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	100.0	
大和	4	2	-	2	-	-	-	2	
	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	
豊原	2	-	1	1	-	-	-	1	
	100.0	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0	
藤吉	8	-	5	2	1	-	-	5	
	100.0	-	62.5	25.0	12.5	-	-	62.5	
矢ヶ部	5	2	2	1	-	-	-	4	
	100.0	40.0	40.0	20.0	-	-	-	80.0	
二ッ河	7	-	4	1	2	-	-	4	
	100.0	-	57.1	14.3	28.6	-	-	57.1	
垂見	2	-	-	1	-	1	-	0	
	100.0	-	-	50.0	-	50.0	-	0.0	
中山	1	-	1	-	-	-	-	1	
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	100.0	
わからない	1	1	-	-	-	-	-	1	
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0	
無回答	3	-	1	1	-	1	-	1	
	100.0	-	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	

Ⅲ. 調査結果

(5) 柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「闇千代」の認知度（問 22）

問 22. 柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「闇千代」を知っていますか。（○は1つだけ）

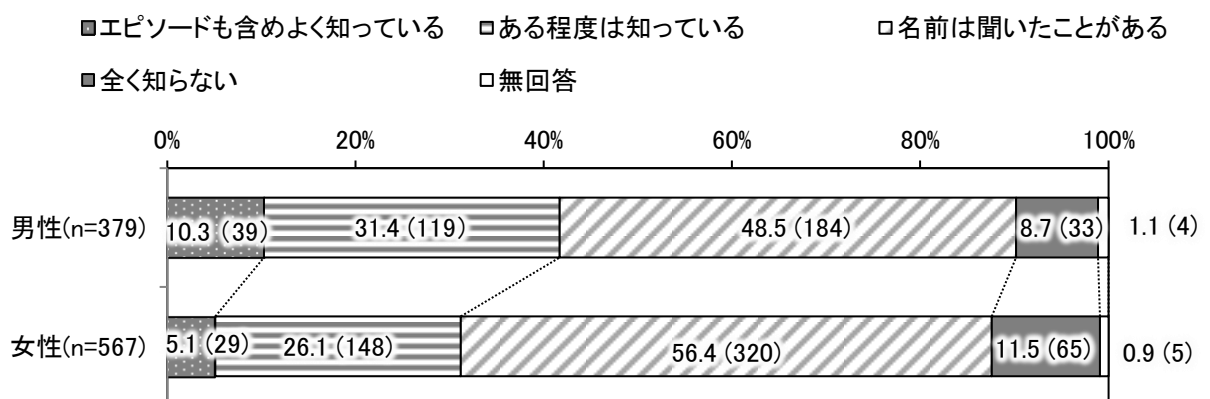
「名前は聞いたことがある」が 52.9% で最も高くなっている。



「エピソードも含めてよく知っている」と「ある程度は知っている」と「名前は聞いたことがある」を合わせた『知っている』の割合が 88.2%、「全く知らない」の割合が 10.8% となっています。

過去の調査と比較すると、令和 2 年度調査及び令和 3 年度調査と比べ、「名前は聞いたことがある」の割合が増加しています。また、「全く知らない」の割合は大きな変化はみられません。

【性別】

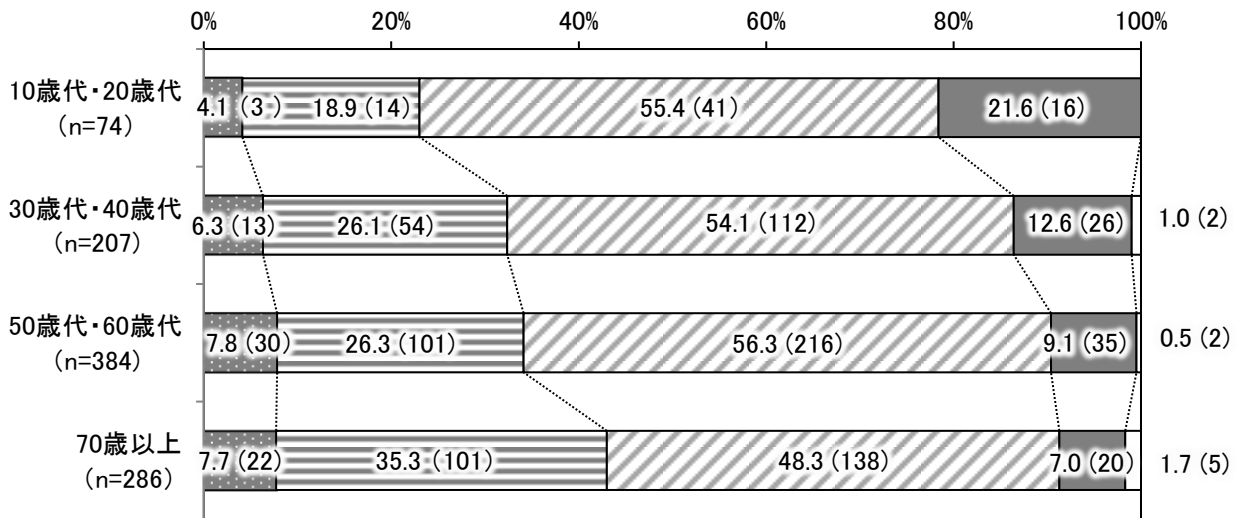


性別でみると、女性に比べ、男性で『知っている』が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】

- エピソードも含めよく知っている □ ある程度は知っている □ 名前は聞いたことがある
- 全く知らない □ 無回答



年齢別でみると、50歳代・60歳代と70歳以上で『知っている』の割合が9割以上と高くなっています。一方、10歳代・20歳代では「全く知はらない」の割合が他の年代に比べ高く、21.6%となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	よく知っている エピソードも含め	ある程度は 知っている	名前が聞いた ことがある	全く知らない	無回答	『知っている』
全 体		984 100.0	70 7.1	277 28.2	521 52.9	106 10.8	10 1.0	868 88.2
居住小学校区別	柳河	76 100.0	12 15.8	25 32.9	34 44.7	4 5.3	1 1.3	71 93.4
	城内	52 100.0	8 15.4	18 34.6	23 44.2	2 3.8	1 1.9	49 94.2
	矢留	58 100.0	3 5.2	22 37.9	27 46.6	5 8.6	1 1.7	52 89.7
	東宮永	57 100.0	6 10.5	15 26.3	34 59.6	1 1.8	1 1.8	55 96.5
	両開	45 100.0	2 4.4	16 35.6	16 35.6	10 22.2	1 2.2	34 75.6
	昭代第一	51 100.0	2 3.9	17 33.3	27 52.9	5 9.8	-	46 90.2
	昭代第二	57 100.0	4 7.0	17 29.8	29 50.9	7 12.3	-	50 87.7
	蒲池	91 100.0	6 6.6	29 31.9	47 51.6	9 9.9	-	82 90.1
	皿垣	33 100.0	-	3 9.1	27 81.8	2 6.1	1 3.0	30 90.9
	有明	17 100.0	1 5.9	6 35.3	9 52.9	-	1 5.9	16 94.1
	中島	52 100.0	-	15 28.8	26 50.0	11 21.2	-	41 78.8
	六合	41 100.0	1 2.4	11 26.8	27 65.9	2 4.9	-	39 95.1
	大和	27 100.0	-	6 22.2	17 63.0	4 14.8	-	23 85.2
	豊原	53 100.0	6 11.3	10 18.9	30 56.6	7 13.2	-	46 86.8
	藤吉	87 100.0	7 8.0	28 32.2	43 49.4	9 10.3	-	78 89.7
	矢ヶ部	25 100.0	3 12.0	6 24.0	14 56.0	2 8.0	-	23 92.0
	二ッ河	59 100.0	3 5.1	11 18.6	36 61.0	7 11.9	2 3.4	50 84.7
	垂見	37 100.0	3 8.1	11 29.7	19 51.4	4 10.8	-	33 89.2
	中山	17 100.0	-	4 23.5	11 64.7	2 11.8	-	15 88.2
	わからない	14 100.0	-	1 7.1	7 50.0	6 42.9	-	8 57.1
	無回答	35 100.0	3 8.6	6 17.1	18 51.4	7 20.0	1 2.9	27 77.1

Ⅲ. 調査結果

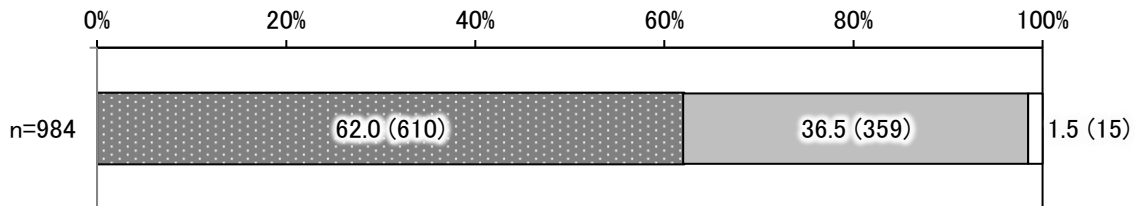
5. 環境衛生について

(1) 燃やすしかないごみは何処に出しているか (問 23)

問 23. 燃やすしかないごみは何処に出していますか。(○は1つだけ)

「自宅の前に出している」の割合が 62.0%で最も高くなっている。

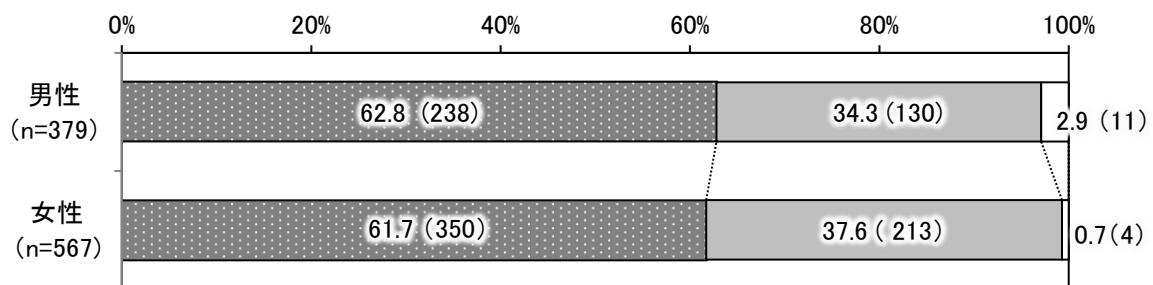
■自宅の前に出している □ごみ収集車の収集ルート上まで持って行って出している □無回答



「自宅の前に出している」の割合が 62.0%、「ごみ収集車の収集ルート上まで持って行って出している」の割合が 36.5%となっています。

【性別】

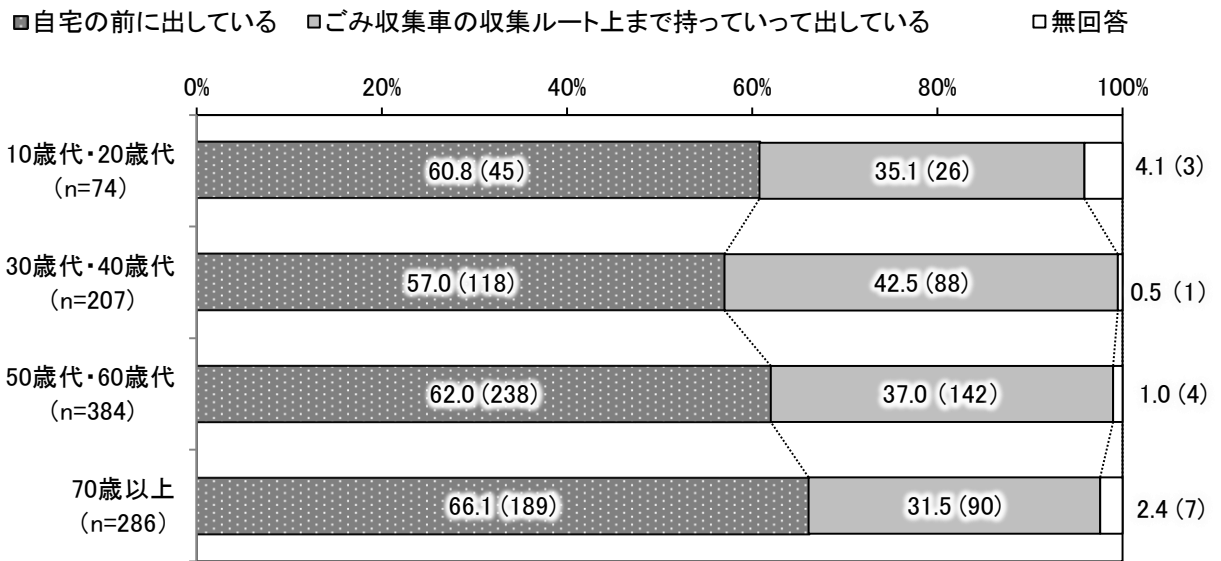
■自宅の前に出している □ごみ収集車の収集ルート上まで持って行って出している □無回答



性別で見ると、男性に比べ、女性で「ごみ収集車の収集ルート上まで持って行って出している」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、70歳以上で「自宅の前に出している」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	自宅の 前に出 している	ごみ 収集車 の収集 ルート まで持 つてい る	無 回 答
全 体		984 100.0	610 62.0	359 36.5	15 1.5
居 住 小 学 校 区 別	柳河	76 100.0	49 64.5	25 32.9	2 2.6
	城内	52 100.0	37 71.2	14 26.9	1 1.9
	矢留	58 100.0	40 69.0	18 31.0	- -
	東宮永	57 100.0	34 59.6	22 38.6	1 1.8
	両開	45 100.0	29 64.4	15 33.3	1 2.2
	昭代第一	51 100.0	27 52.9	24 47.1	- -
	昭代第二	57 100.0	35 61.4	22 38.6	- -
	蒲池	91 100.0	54 59.3	36 39.6	1 1.1
	皿垣	33 100.0	17 51.5	16 48.5	- -
	有明	17 100.0	15 88.2	1 5.9	1 5.9
	中島	52 100.0	36 69.2	14 26.9	2 3.8
	六合	41 100.0	14 34.1	27 65.9	- -
	大和	27 100.0	20 74.1	7 25.9	- -
	豊原	53 100.0	22 41.5	31 58.5	- -
	藤吉	87 100.0	56 64.4	29 33.3	2 2.3
	矢ヶ部	25 100.0	15 60.0	10 40.0	- -
	二ッ河	59 100.0	40 67.8	15 25.4	4 6.8
	垂見	37 100.0	27 73.0	10 27.0	- -
	中山	17 100.0	12 70.6	5 29.4	- -
	わからない	14 100.0	9 64.3	5 35.7	- -
無回答	35 100.0	22 62.9	13 37.1	- -	

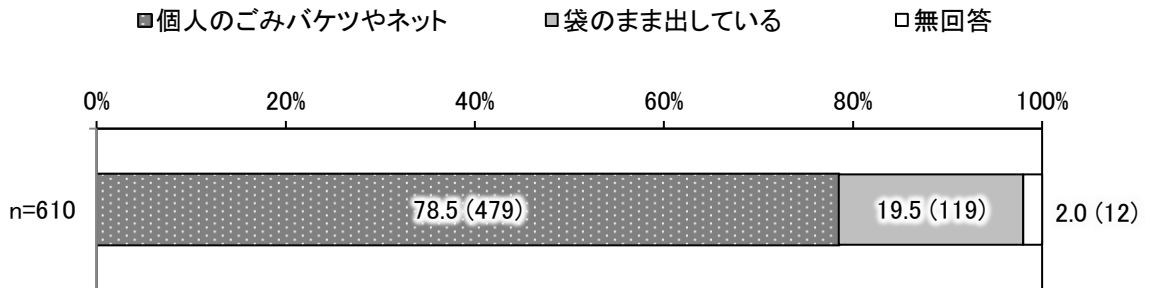
Ⅲ. 調査結果

(2) 自宅の前に出している場合の出し方 (問 24)

※問 23 で、「1. 自宅の前に出している」と回答した人のみ対象

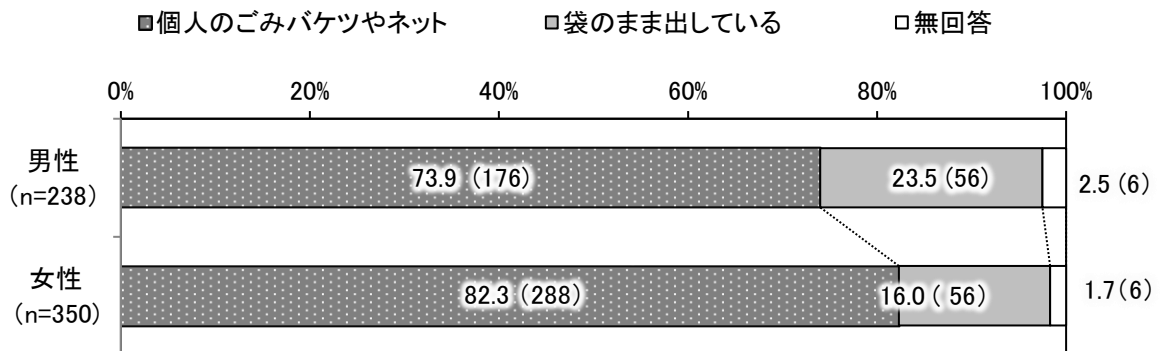
問 24. ごみはどのように出していますか。(〇は1つだけ)

「個人のごみバケツやネット」の割合が 78.5%で最も高くなっている。



「個人のごみバケツやネット」の割合が 78.5%、「袋のまま出している」の割合が 19.5%となっています。

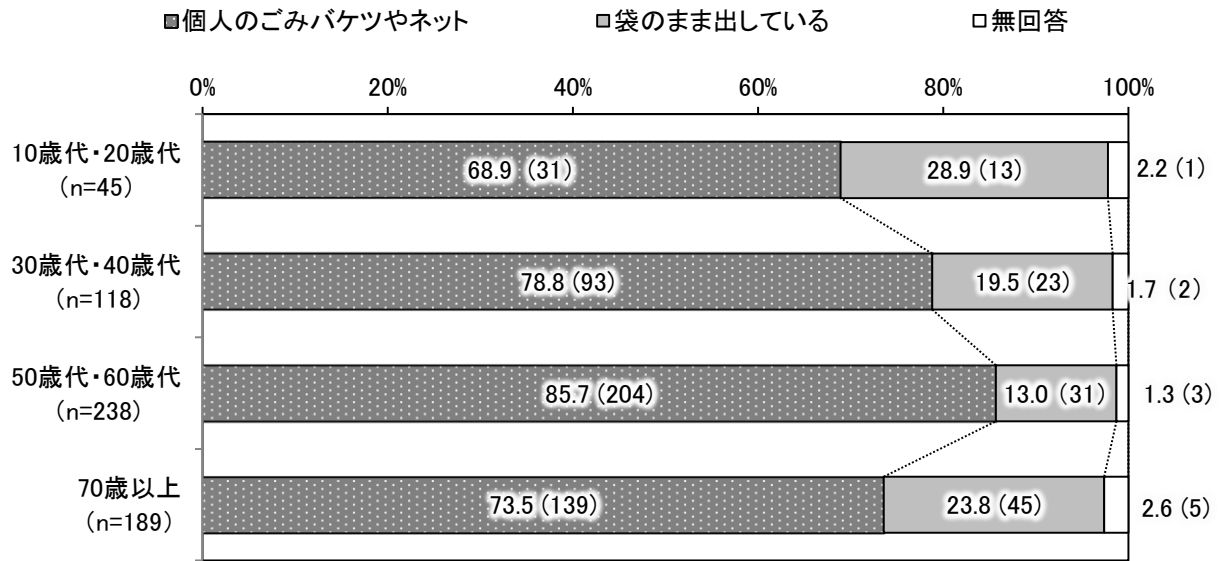
【性別】



性別で見ると、男性に比べ、女性で「個人のパケツやネット」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、50歳代・60歳代で「個人のごみバケツやネット」の割合が高く、10歳代・20歳代で「袋のまま出している」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	個人のごみ ネット バケツ や	袋のまま 出している	無回答
全 体		610 100.0	479 78.5	119 19.5	12 2.0
居住小学校区別	柳河	49 100.0	38 77.6	10 20.4	1 2.0
	城内	37 100.0	29 78.4	7 18.9	1 2.7
	矢留	40 100.0	30 75.0	10 25.0	-
	東宮永	34 100.0	28 82.4	5 14.7	1 2.9
	両開	29 100.0	22 75.9	6 20.7	1 3.4
	昭代第一	27 100.0	21 77.8	4 14.8	2 7.4
	昭代第二	35 100.0	26 74.3	8 22.9	1 2.9
	蒲池	54 100.0	47 87.0	6 11.1	1 1.9
	皿垣	17 100.0	14 82.4	3 17.6	-
	有明	15 100.0	11 73.3	4 26.7	-
	中島	36 100.0	29 80.6	5 13.9	2 5.6
	六合	14 100.0	9 64.3	5 35.7	-
	大和	20 100.0	17 85.0	3 15.0	-
	豊原	22 100.0	18 81.8	4 18.2	-
	藤吉	56 100.0	44 78.6	11 19.6	1 1.8
	矢ヶ部	15 100.0	12 80.0	3 20.0	-
	二ッ河	40 100.0	37 92.5	2 5.0	1 2.5
	垂見	27 100.0	20 74.1	7 25.9	-
	中山	12 100.0	11 91.7	1 8.3	-
	わからない	9 100.0	2 22.2	7 77.8	-
無回答	22 100.0	14 63.6	8 36.4	-	

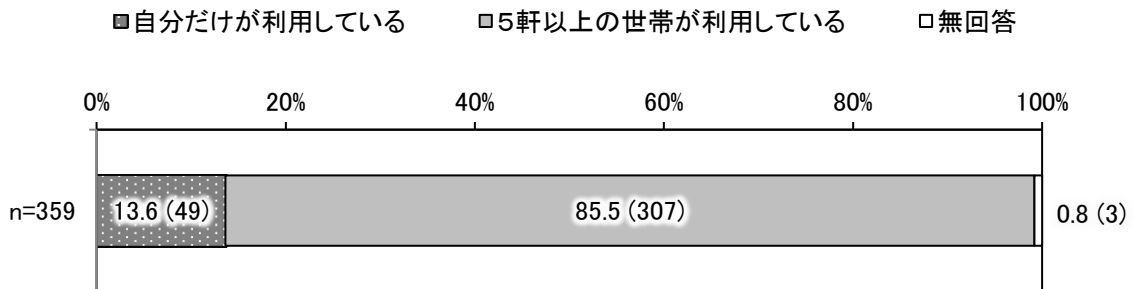
Ⅲ. 調査結果

(3) ごみ収集車の収集ルート上まで持って行って出している場合の、ごみ出しの場所の利用者 (問 25)

※問 23 で、「2. ごみ収集車の収集ルート上まで持って行って出している」と回答した人のみ対象

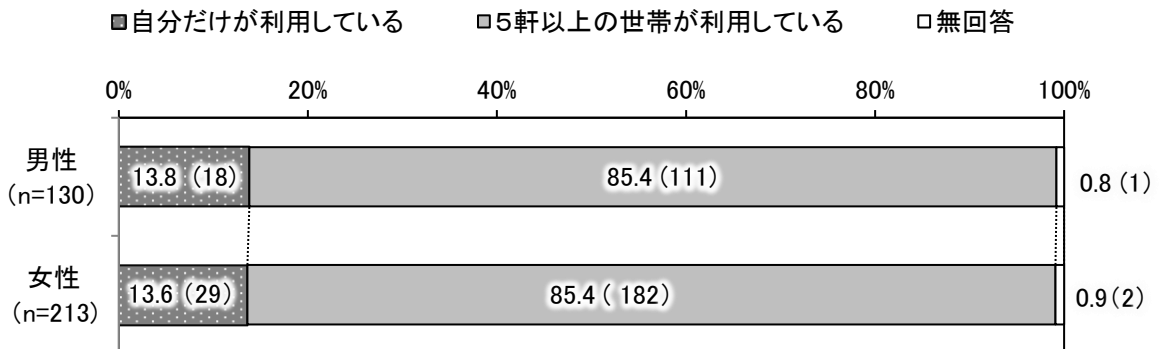
問 25. ごみ出しの場所は、誰が利用していますか。(○は1つだけ)

「5軒以上の世帯が利用している」の割合が 85.5%で最も高くなっている。



「自分だけが利用している」の割合が 13.6%、「5軒以上の世帯が利用している」の割合が 85.5%となっています。

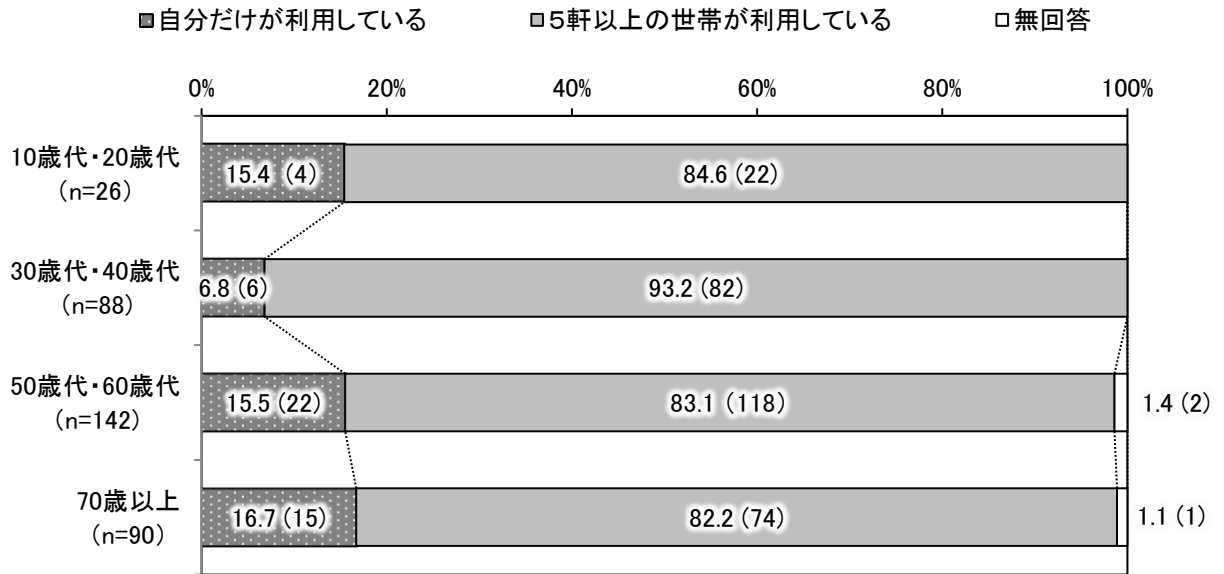
【性別】



性別で見ると、大きな差はみられません。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、30歳代・40歳代で「5軒以上の世帯が利用している」が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	自分だけが 利用している	て5軒以上 の世帯が利用し	無回答
全 体		359 100.0	49 13.6	307 85.5	3 0.8
居 住 小 学 校 区 別	柳河	25 100.0	4 16.0	21 84.0	-
	城内	14 100.0	3 21.4	10 71.4	1 7.1
	矢留	18 100.0	3 16.7	15 83.3	-
	東宮永	22 100.0	2 9.1	20 90.9	-
	両開	15 100.00	4 26.7	10 66.7	1 6.7
	昭代第一	24 100.0	6 25.0	18 75.0	-
	昭代第二	22 100.0	2 9.1	20 90.9	-
	蒲池	36 100.0	4 11.1	32 88.9	-
	皿垣	16 100.0	1 6.3	14 87.5	1 6.3
	有明	1 100.0	-	1 100.0	-
	中島	14 100.0	3 21.4	11 78.6	-
	六合	27 100.0	1 3.7	26 96.3	-
	大和	7 100.0	1 14.3	6 85.7	-
	豊原	31 100.0	4 12.9	27 87.1	-
	藤吉	29 100.0	2 6.9	27 93.1	-
	矢ヶ部	10 100.0	-	10 100.0	-
	二ッ河	15 100.0	2 13.3	13 86.7	-
	垂見	10 100.0	2 20.0	8 80.0	-
	中山	5 100.0	1 20.0	4 80.0	-
	わからない	5 100.0	1 20.0	4 80.0	-
無回答	13 100.0	3 23.1	10 76.9	-	

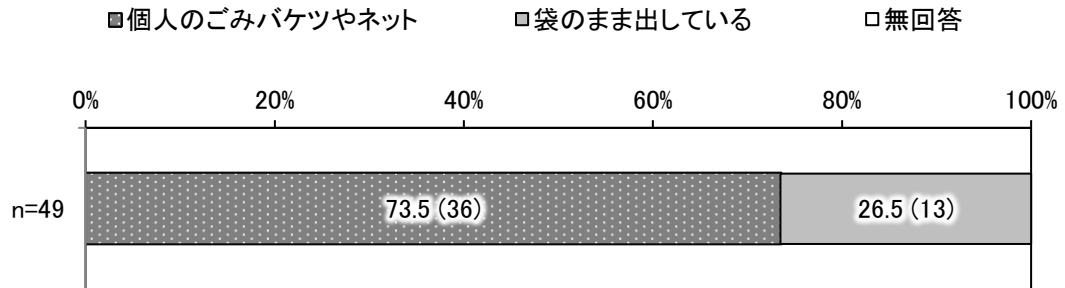
Ⅲ. 調査結果

(4) ごみ収集車の収集ルート上のごみ出し場所を自分だけが利用している場合のごみの出し方 (問 26)

※問 25 で、「1. 自分だけが利用している」と回答した人のみ対象

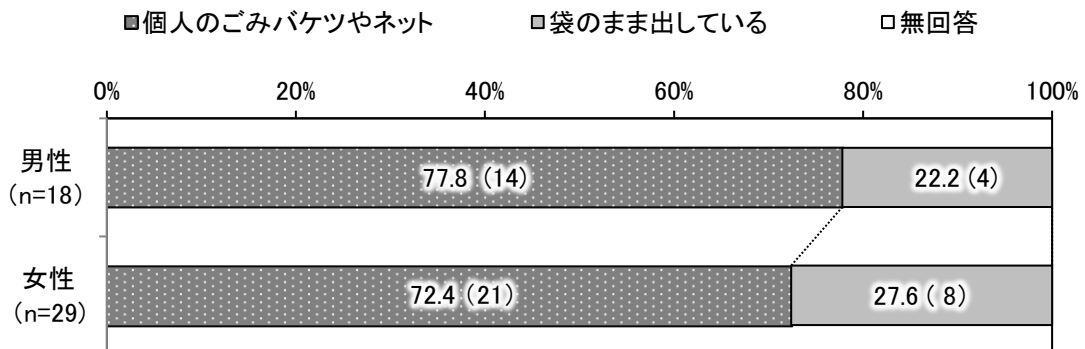
問 26. ごみはどのように出していますか。(○は1つだけ)

「個人のごみバケツやネット」の割合が 73.5%で最も高くなっている。



「個人のごみバケツやネット」の割合が 73.5%、「袋のまま出している」の割合が 26.5%となっています。

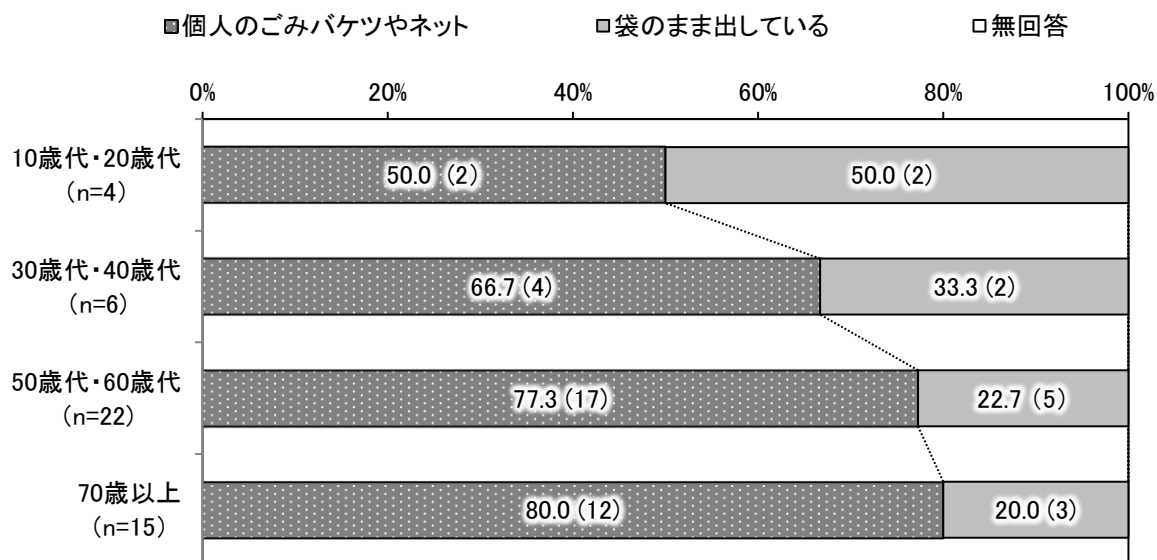
【性別】



性別で見ると、女性に比べ、男性で「個人のごみバケツやネット」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、70歳以上で「個人のごみバケツやネット」の割合が高く、10歳代・20歳代で「袋のまま出している」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	個人の ネット のごみ バケツ や	袋の まま 出 して い る	無 回 答
全 体		49 100.0	36 73.5	13 26.5	- -
居 住 小 学 校 区 別	柳河	4 100.0	2 50.0	2 50.0	- -
	城内	3 100.0	3 100.0	-	-
	矢留	3 100.0	3 100.0	-	-
	東宮永	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-
	両開	4 100.0	1 25.0	3 75.0	-
	昭代第一	6 100.0	3 50.0	3 50.0	-
	昭代第二	2 100.0	2 100.0	-	-
	蒲池	4 100.0	4 100.0	-	-
	皿垣	1 100.0	1 100.0	-	-
	有明	-	-	-	-
	中島	3 100.0	3 100.0	-	-
	六合	1 100.0	-	1 100.0	-
	大和	1 100.0	1 100.0	-	-
	豊原	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-
	藤吉	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-
	矢ヶ部	-	-	-	-
	二ッ河	2 100.0	2 100.0	-	-
	垂見	2 100.0	2 100.0	-	-
	中山	1 100.0	1 100.0	-	-
	わからない	1 100.0	1 100.0	-	-
	無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-

Ⅲ. 調査結果

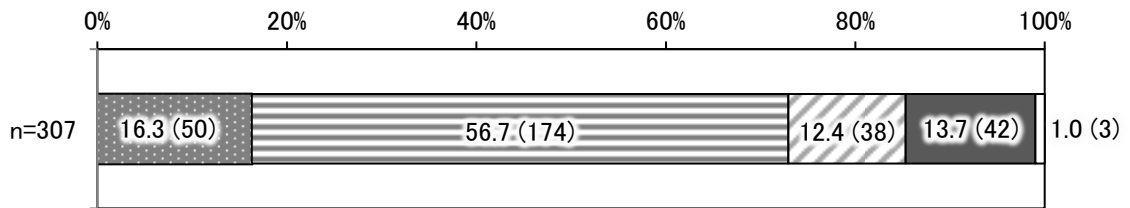
(5) ごみ収集車の収集ルート上のごみ出し場所を5軒以上の世帯が利用している場合のごみの出し方 (問 27)

※問 25 で、「2. 5軒以上の世帯が利用している」と回答した人のみ対象

問 27. ごみはどのように出していますか。(〇は1つだけ)

「他の世帯と共有のボックス」の割合が 56.7%で最も高くなっている。

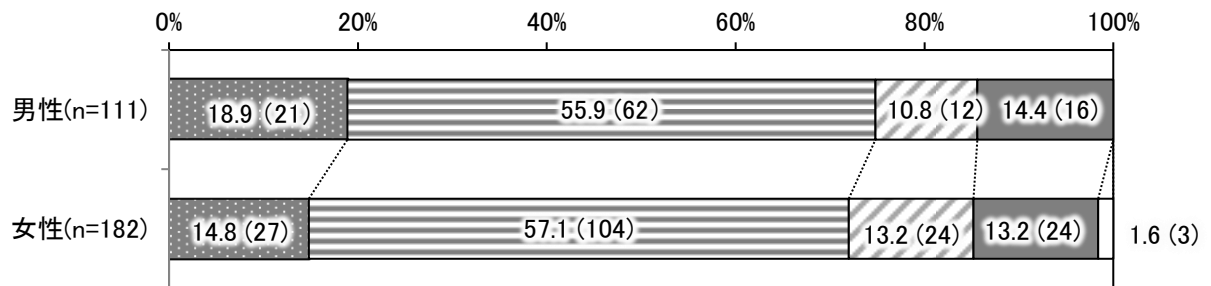
- 個人のごみバケツやネット
- 他の世帯と共有のボックス
- 他の世帯と共有のネット
- 袋のまま出している
- 無回答



「他の世帯と共有のボックス」の割合が 56.7%で最も高く、次いで「個人のごみバケツやネット」(16.3%)、「袋のまま出している」(13.7%)、「他の世帯と共有のネット」の割合が 12.4%となっています。

【性別】

- 個人のごみバケツやネット
- 他の世帯と共有のボックス
- 他の世帯と共有のネット
- 袋のまま出している
- 無回答

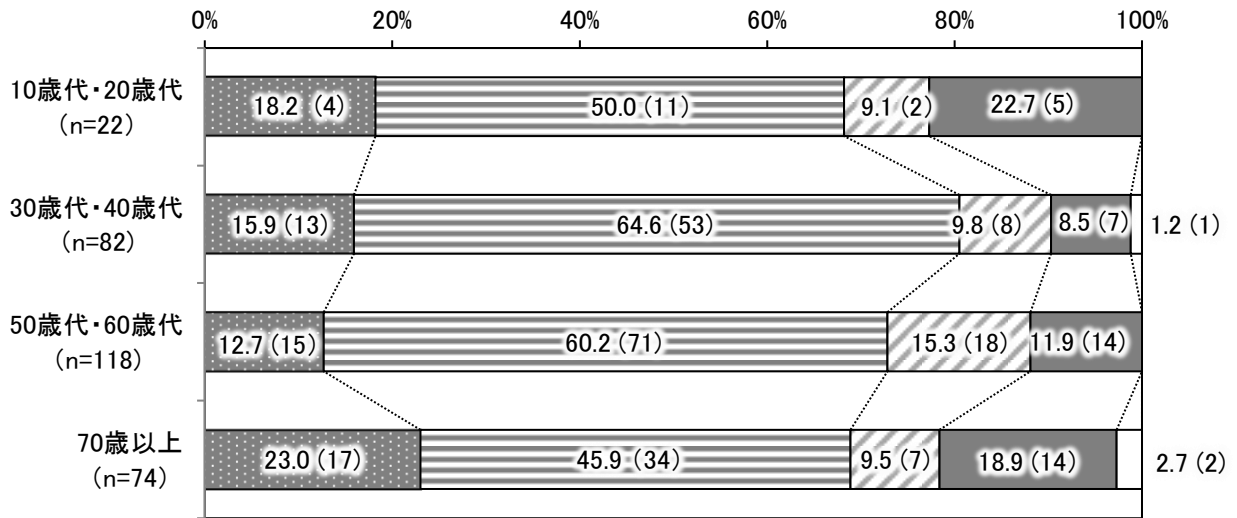


性別でみると、男女ともに「他の世帯と共有のボックス」の割合高く、半数以上となっています。女性に比べ、男性で「個人のごみバケツやネット」と「袋のまま出している」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】

- 個人のごみバケツやネット
- 他の世帯と共有のボックス
- 他の世帯と共有のネット
- 袋のまま出している
- 無回答



年齢別で見ると、他の年代に比べ、30歳代・40歳代で「他の世帯と共有のボックス」の割合が高くなっています。また、10歳代・20歳代と70歳以上で「袋のまま出している」の割合が約2割となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

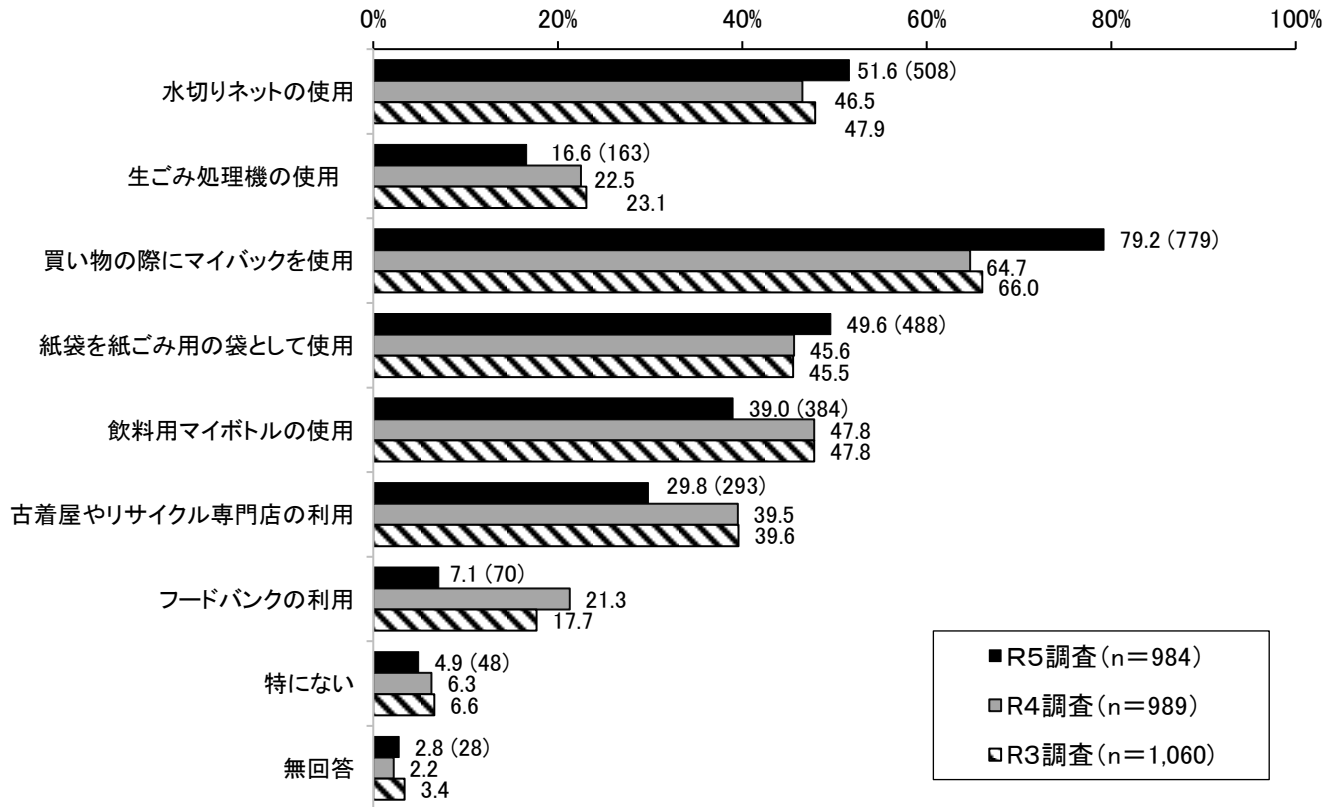
		回答者数 (件)	個人の ネット のごみ バケツ や	他の ボツクス 世帯と 共有の	他の ネット 世帯と 共有の	袋の まま出 している	無 回 答
全 体		307 100.0	50 16.3	174 56.7	38 12.4	42 13.7	3 1.0
居住 小学 校区 別	柳河	21 100.0	2 9.5	13 61.9	2 9.5	4 19.0	-
	城内	10 100.0	3 30.0	6 60.0	-	1 10.0	-
	矢留	15 100.0	1 6.7	10 66.7	-	4 26.7	-
	東宮永	20 100.0	3 15.0	11 55.0	5 25.0	1 5.0	-
	両開	10 100.0	2 20.0	4 40.0	2 20.0	2 20.0	-
	昭代第一	18 100.0	4 22.2	10 55.6	1 5.6	3 16.7	-
	昭代第二	20 100.0	5 25.0	5 25.0	9 45.0	-	1 5.0
	蒲池	32 100.0	9 28.1	17 53.1	3 9.4	2 6.3	1 3.1
	皿垣	14 100.0	1 7.1	12 85.7	-	-	1 7.1
	有明	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	中島	11 100.0	2 18.2	2 18.2	1 9.1	6 54.5	-
	六合	26 100.0	2 7.7	23 88.5	-	1 3.8	-
	大和	6 100.0	1 16.7	4 66.7	-	1 16.7	-
	豊原	27 100.0	1 3.7	20 74.1	2 7.4	4 14.8	-
	藤吉	27 100.0	2 7.4	15 55.6	6 22.2	4 14.8	-
	矢ヶ部	10 100.0	3 30.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	-
	二ッ河	13 100.0	4 30.8	5 38.5	1 7.7	3 23.1	-
	垂見	8 100.0	1 12.5	4 50.0	2 25.0	1 12.5	-
	中山	4 100.0	1 25.0	2 50.0	-	1 25.0	-
	わからない	4 100.0	1 25.0	3 75.0	-	-	-
無回答	10 100.0	1 10.0	5 50.0	2 20.0	2 20.0	-	

Ⅲ. 調査結果

(6) ごみ減量の工夫として取り組んで良いと思うもの（問 28）

問 28. ごみ減量の工夫として、取り組んでもよいと思うものはありますか。（○はいくつでも）

「買い物の際にマイバックを使用」の割合が 79.2% で最も高くなっている。

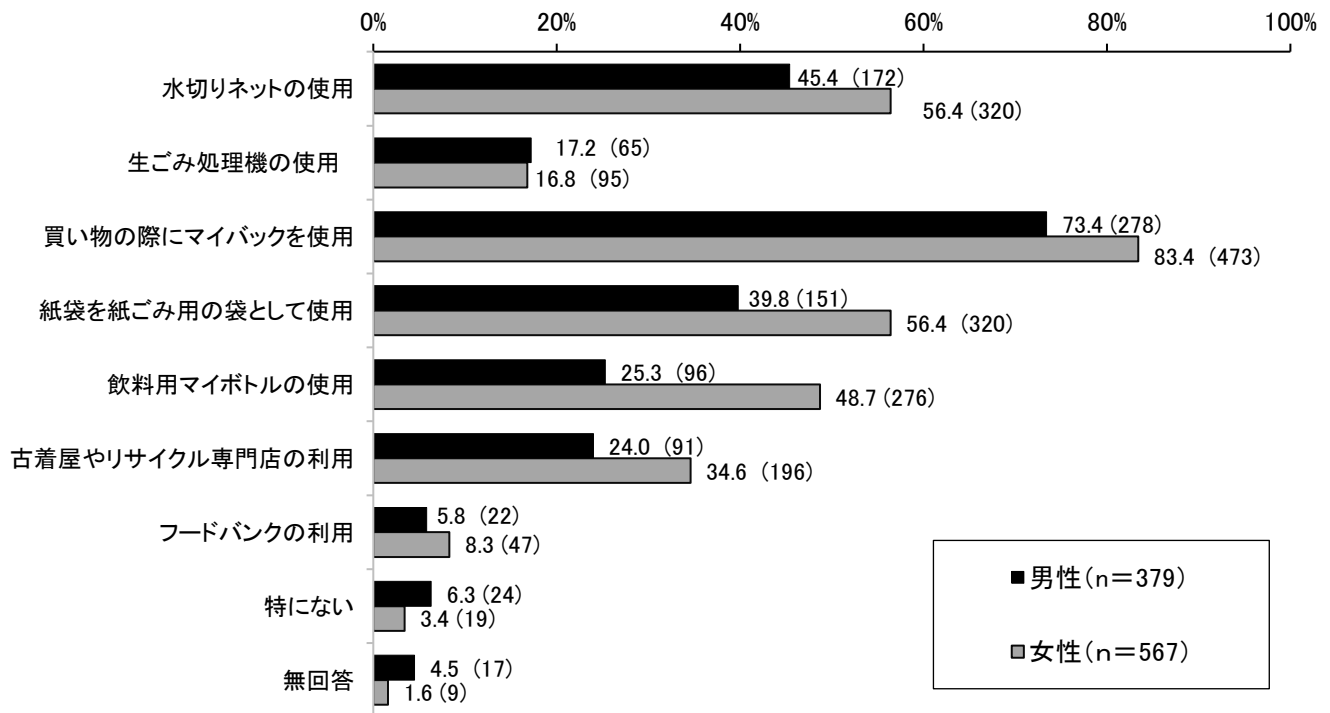


「買い物の際にマイバックを使用」の割合が 79.2% と最も高く、次いで「水切りネットの使用」(51.6%)、「紙袋を紙ごみ用の袋として使用」(49.6%) となっています。

過去の調査と比較すると、「買い物の際にマイバックを使用」の割合が令和 3 年度調査及び令和 4 年度調査では 7 割未満であったのに対して、今回調査では約 8 割と増加しています。一方、「フードバンクの利用」の割合は令和 3 年度調査及び令和 4 年度調査では 15.0% 以上となっていたのに対して、今回調査では 7.1% と減少しています。

Ⅲ. 調査結果

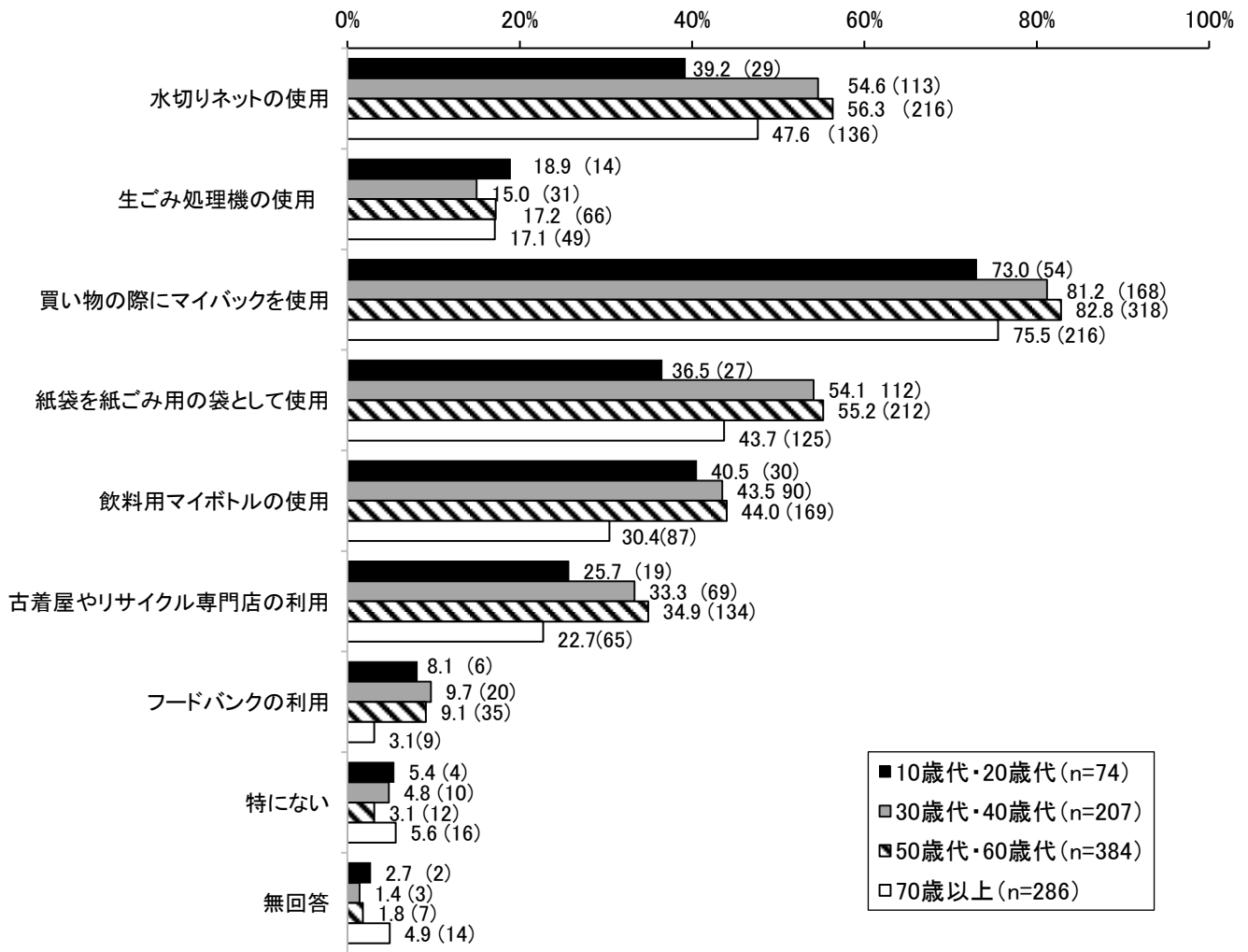
【性別】



性別でみると、女性に比べ、男性で「特にない」の割合が高くなっています。その他の項目について、「生ごみ処理機の使用」を除くすべての項目で、男性に比べ、女性の回答割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、30歳代・40歳代と50歳代・60歳代で「買い物の際にマイバックを使用」の割合が8割以上となっており、さらに、「水切りネットの使用」、「紙袋を紙ごみ用の袋として使用」の割合についても、半数以上となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	水切り ネットの 使用	生ごみ 処理機 の使用	買い物 の際に マイバ ッ	紙袋を 紙ごみ 用の袋 と して 使用	飲料用 マイボ トルの 使 用	古着屋 やリサ イクル 専 門店 の利 用	フー ドバ ンク の利 用	特 に な い	無 回 答
全 体		984 100.0	508 51.6	163 16.6	779 79.2	488 49.6	384 39.0	293 29.8	70 7.1	48 4.9	28 2.8
居 住 小 学 校 区 別	柳河	76 100.0	34 44.7	12 15.8	55 72.4	39 51.3	23 30.3	21 27.6	8 10.5	6 7.9	2 2.6
	城内	52 100.0	31 59.6	8 15.4	42 80.8	28 53.8	23 44.2	15 28.8	5 9.6	2 3.8	-
	矢留	58 100.0	36 62.1	7 12.1	46 79.3	27 46.6	26 44.8	16 27.6	5 8.6	2 3.4	-
	東宮永	57 100.0	28 49.1	13 22.8	43 75.4	27 47.4	22 38.6	16 28.1	1 1.8	1 1.8	3 5.3
	両開	45 100.0	19 42.2	12 26.7	34 75.6	22 48.9	14 31.1	14 31.1	3 6.7	3 6.7	2 4.4
	昭代第一	51 100.0	25 49.0	4 7.8	36 70.6	23 45.1	15 29.4	13 25.5	5 9.8	4 7.8	-
	昭代第二	57 100.0	32 56.1	13 22.8	42 73.7	24 42.1	20 35.1	16 28.1	3 5.3	5 8.8	1 1.8
	蒲池	91 100.0	52 57.1	16 17.6	76 83.5	56 61.5	37 40.7	39 42.9	5 5.5	2 2.2	-
	皿垣	33 100.0	20 60.6	8 24.2	29 87.9	20 60.6	8 24.2	8 24.2	-	-	1 3.0
	有明	17 100.0	7 41.2	4 23.5	14 82.4	10 58.8	9 52.9	5 29.4	-	1 5.9	1 5.9
	中島	52 100.0	22 42.3	4 7.7	42 80.8	27 51.9	23 44.2	11 21.2	5 9.6	4 7.7	2 3.8
	六合	41 100.0	21 51.2	8 19.5	35 85.4	20 48.8	18 43.9	11 26.8	4 9.8	-	2 4.9
	大和	27 100.0	13 48.1	4 14.8	21 77.8	16 59.3	9 33.3	5 18.5	-	1 3.7	1 3.7
	豊原	53 100.0	32 60.4	7 13.2	47 88.7	21 39.6	21 39.6	17 32.1	5 9.4	2 3.8	-
	藤吉	87 100.0	45 51.7	9 10.3	70 80.5	46 52.9	40 46.0	32 36.8	5 5.7	6 6.9	4 4.6
	矢ヶ部	25 100.0	11 44.0	3 12.0	20 80.0	13 52.0	8 32.0	10 40.0	3 12.0	-	2 8.0
	二ッ河	59 100.0	31 52.5	17 28.8	47 79.7	26 44.1	27 45.8	19 32.2	6 10.2	-	4 6.8
	垂見	37 100.0	19 51.4	5 13.5	33 89.2	15 40.5	17 45.9	7 18.9	3 8.1	2 5.4	-
	中山	17 100.0	9 52.9	3 17.6	13 76.5	8 47.1	7 41.2	3 17.6	-	2 11.8	1 5.9
	わからない	14 100.0	7 50.0	1 7.1	9 64.3	6 42.9	8 57.1	6 42.9	3 21.4	-	-
無回答	35 100.0	14 40.0	5 14.3	25 71.4	14 40.0	9 25.7	9 25.7	1 2.9	5 14.3	2 5.7	

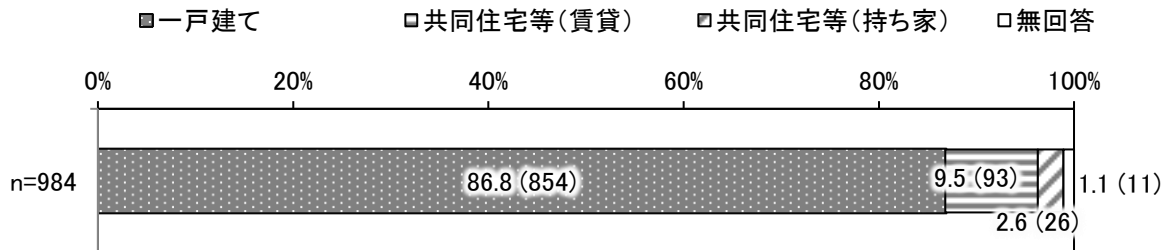
Ⅲ. 調査結果

4. 防災について

(1) お住まいの住宅（問 29）

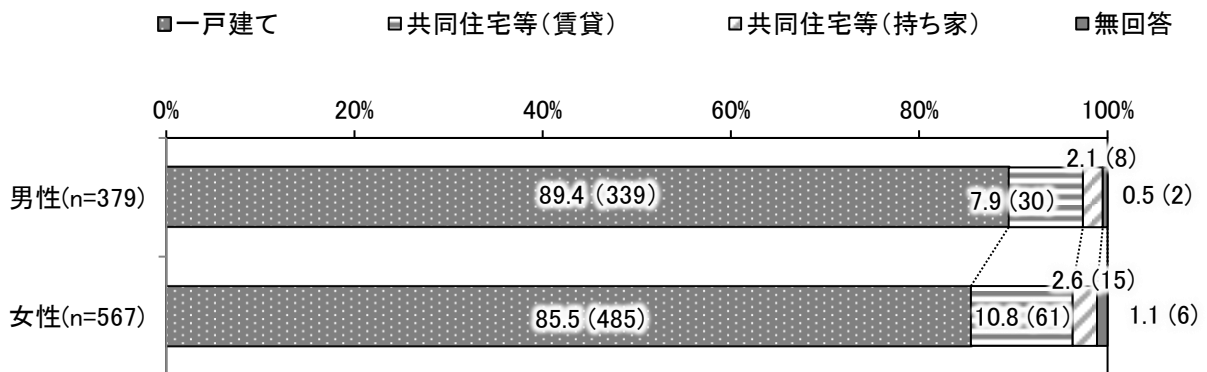
問 29. お住まいの住宅は、次のうちどれに該当しますか。（○は1つだけ）

「一戸建て」の割合が 86.8% で最も高くなっている。



「一戸建て」の割合が 86.8%、「共同住宅等（賃貸）」の割合が 9.5%、「共同住宅等（持ち家）」の割合が 2.6%となっています。

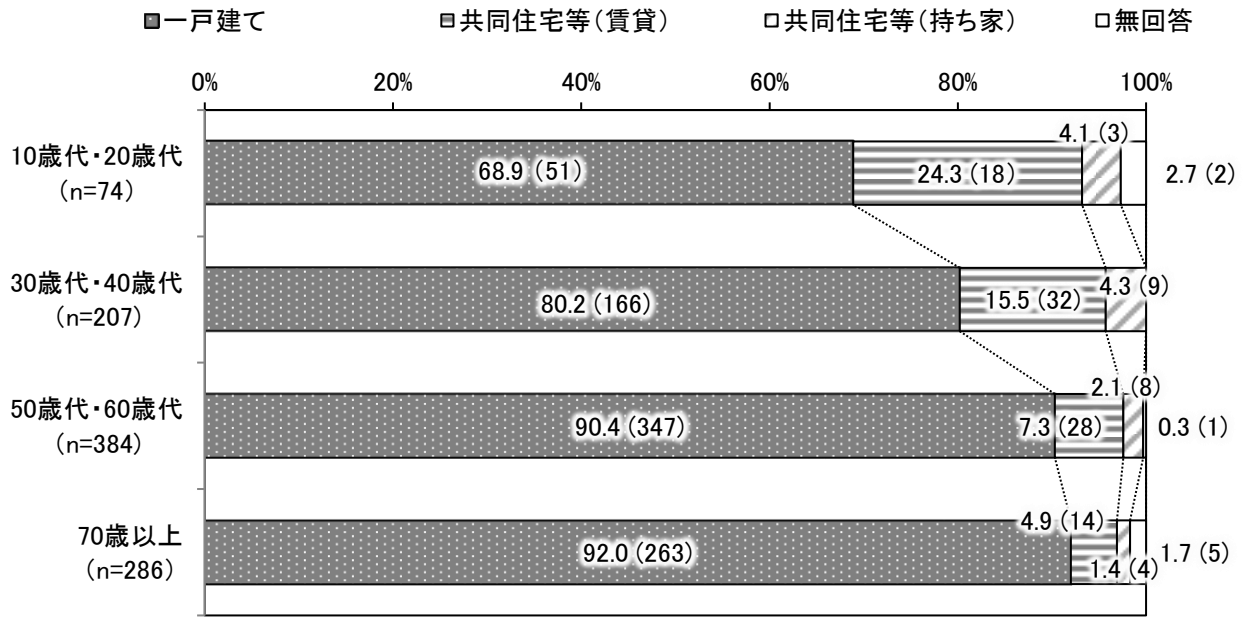
【性別】



性別で見ると、女性に比べ、男性で「一戸建て」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、年齢が上がるほど「一戸建て」の割合が高く、「共同住宅等（持ち家）」の割合が低くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

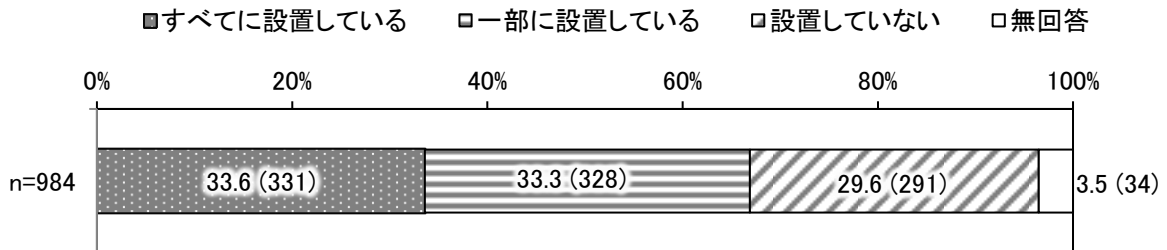
		回答者数 (件)	一戸建て	共同住宅等 (賃貸)	共同住宅等 (持ち家)	無回答
全 体		984 100.0	854 86.8	93 9.5	26 2.6	11 1.1
居住小学校区別	柳河	76 100.0	54 71.1	10 13.2	11 14.5	1 1.3
	城内	52 100.0	43 82.7	7 13.5	2 3.8	-
	矢留	58 100.0	49 84.5	7 12.1	1 1.7	1 1.7
	東宮永	57 100.0	48 84.2	9 15.8	-	-
	両開	45 100.0	44 97.8	1 2.2	-	-
	昭代第一	51 100.0	51 100.0	-	-	-
	昭代第二	57 100.0	55 96.5	2 3.5	-	-
	蒲池	91 100.0	77 84.6	13 14.3	-	1 1.1
	皿垣	33 100.0	31 93.9	-	2 6.1	-
	有明	17 100.0	17 100.0	-	-	-
	中島	52 100.0	50 96.2	1 1.9	-	1 1.9
	六合	41 100.0	38 92.7	3 7.3	-	-
	大和	27 100.0	25 92.6	2 7.4	-	-
	豊原	53 100.0	42 79.2	10 18.9	1 1.9	-
	藤吉	87 100.0	69 79.3	12 13.8	4 4.6	2 2.3
	矢ヶ部	25 100.0	22 88.0	3 12.0	-	-
	二ッ河	59 100.0	56 94.9	2 3.4	-	1 1.7
	垂見	37 100.0	35 94.6	1 2.7	1 2.7	-
	中山	17 100.0	16 94.1	1 5.9	-	-
	わからない	14 100.0	4 28.6	7 50.0	2 14.3	1 7.1
無回答	35 100.0	28 80.0	2 5.7	2 5.7	3 8.6	

Ⅲ. 調査結果

(2) 住宅用火災警報器の設置状況（問 30）

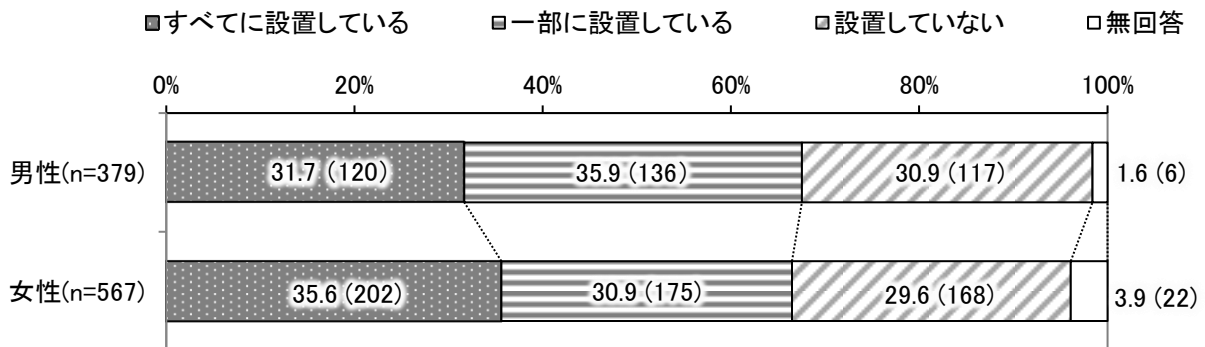
問 30. 住宅用火災警報器を設置が義務付けられている部分（図 1 参照）すべてに設置されていますか。（○は1つだけ）

「すべてに設置している」の割合が 33.6%で最も高くなっている。



「すべてに設置している」の割合が 33.6%、「一部に設置している」の割合が 33.3%、「設置していない」の割合が 29.6%となっています。「すべてに設置している」と「一部に設置している」を合わせた『設置している』の割合は 67.0%となっています。

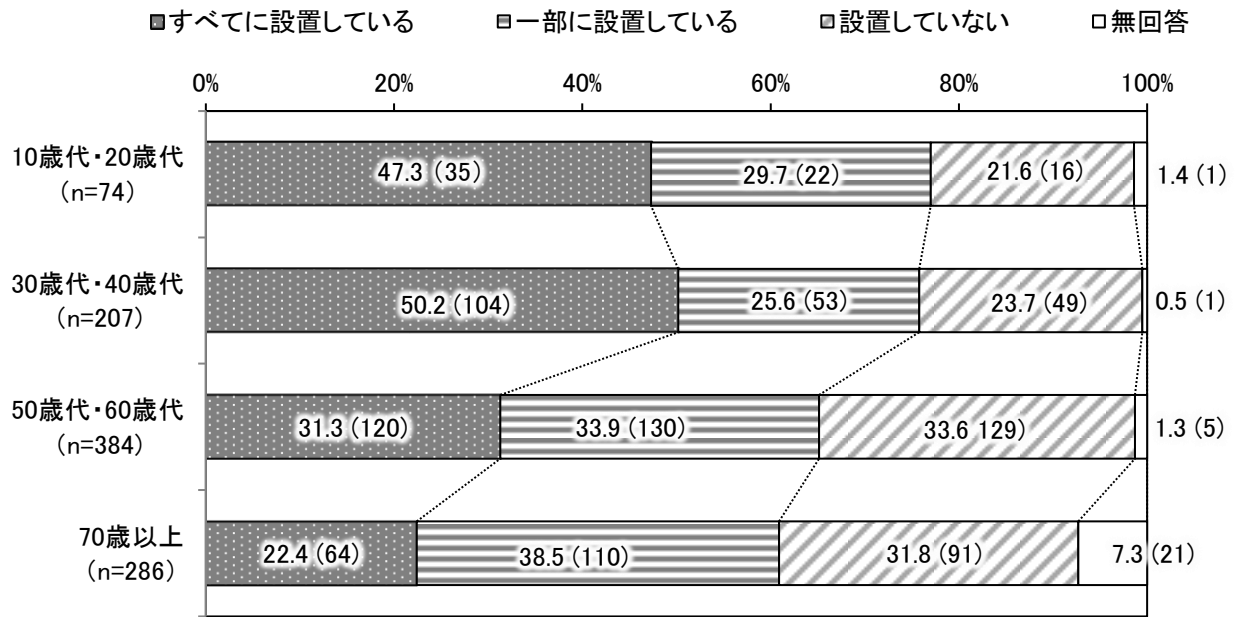
【性別】



性別でみると、男性に比べ、女性で『設置している』の割合がやや高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別でみると、すべての年代で『設置している』が6割以上となっています。特に10歳代・20歳代、30歳代・40歳代で『設置している』の割合が75.0%以上となっています。一方、「設置していない」の割合については、50歳代・60歳代と70歳以上で3割以上となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	すべてに 設置している	一部に 設置している	設置 していない	無 回答	『設置 している』
全 体		984 100.0	331 33.6	328 33.3	291 29.6	34 3.5	659 67.0
居住 小学 校区 別	柳河	76 100.0	32 42.1	28 36.8	13 17.1	3 3.9	60 78.9
	城内	52 100.0	20 38.5	18 34.6	14 26.9	-	38 73.1
	矢留	58 100.0	19 32.8	21 36.2	17 29.3	1 1.7	40 69.0
	東宮永	57 100.0	16 28.1	21 36.8	19 33.3	1 1.8	37 64.9
	両開	45 100.0	15 33.3	18 40.0	10 22.2	2 4.4	33 73.3
	昭代第一	51 100.0	12 23.5	19 37.3	19 37.3	1 2.0	31 60.8
	昭代第二	57 100.0	17 29.8	21 36.8	18 31.6	1 1.8	38 66.7
	蒲池	91 100.0	27 29.7	31 34.1	32 35.2	1 1.1	58 63.7
	皿垣	33 100.0	13 39.4	6 18.2	13 39.4	1 3.0	19 57.6
	有明	17 100.0	7 41.2	5 29.4	5 29.4	-	12 70.6
	中島	52 100.0	14 26.9	18 34.6	18 34.6	2 3.8	32 61.5
	六合	41 100.0	15 36.6	17 41.5	9 22.0	-	32 78.0
	大和	27 100.0	9 33.3	8 29.6	8 29.6	2 7.4	17 63.0
	豊原	53 100.0	20 37.7	10 18.9	23 43.4	-	30 56.6
	藤吉	87 100.0	35 40.2	22 25.3	21 24.1	9 10.3	57 65.5
	矢ヶ部	25 100.0	11 44.0	6 24.0	8 32.0	-	17 68.0
	二ッ河	59 100.0	20 33.9	19 32.2	18 30.5	2 3.4	39 66.1
	垂見	37 100.0	8 21.6	13 35.1	13 35.1	3 8.1	21 56.8
	中山	17 100.0	5 29.4	7 41.2	5 29.4	-	12 70.6
	わからない	14 100.0	7 50.0	5 35.7	2 14.3	-	12 85.7
無回答	35 100.0	9 25.7	15 42.9	6 17.1	5 14.3	24 68.6	

Ⅲ. 調査結果

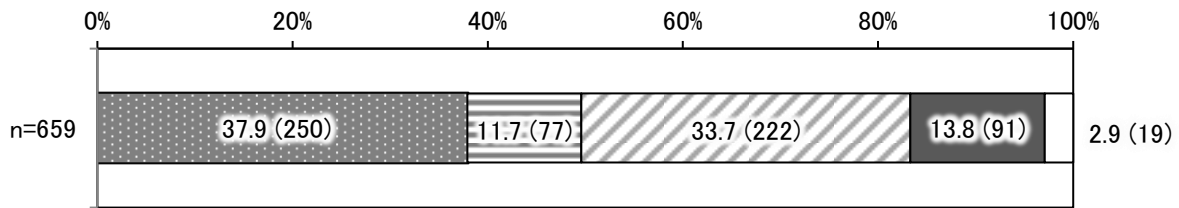
(3) 住宅用火災警報器を設置後、10年の経過有無（問31）

※問30で、「1. 全部設置」または「2. 一部設置」と回答した人のみ対象

問31. 住宅用火災警報器を設置して10年を経過していますか。（○は1つだけ）

「10年を経過している」の割合が37.9%で最も高くなっている。

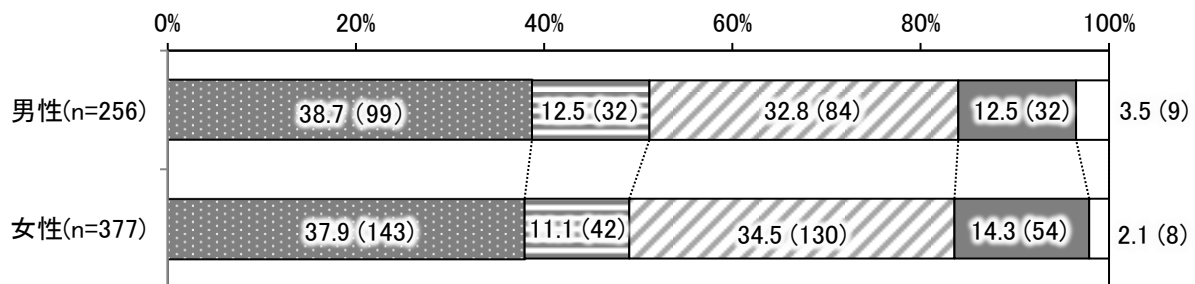
- 10年を経過している
- 10年を経過していない(交換済みのため)
- 10年を経過していない(交換してから10年以内)
- 不明
- 無回答



「10年を経過している」の割合が37.9%、「10年を経過していない（交換済みのため）」と「10年を経過していない（交換してから10年以内）」を合わせた『交換していない』の割合が45.4%、「不明」が13.8%となっています。

【性別】

- 10年を経過している
- 10年を経過していない(交換済みのため)
- 10年を経過していない(交換してから10年以内)
- 不明
- 無回答

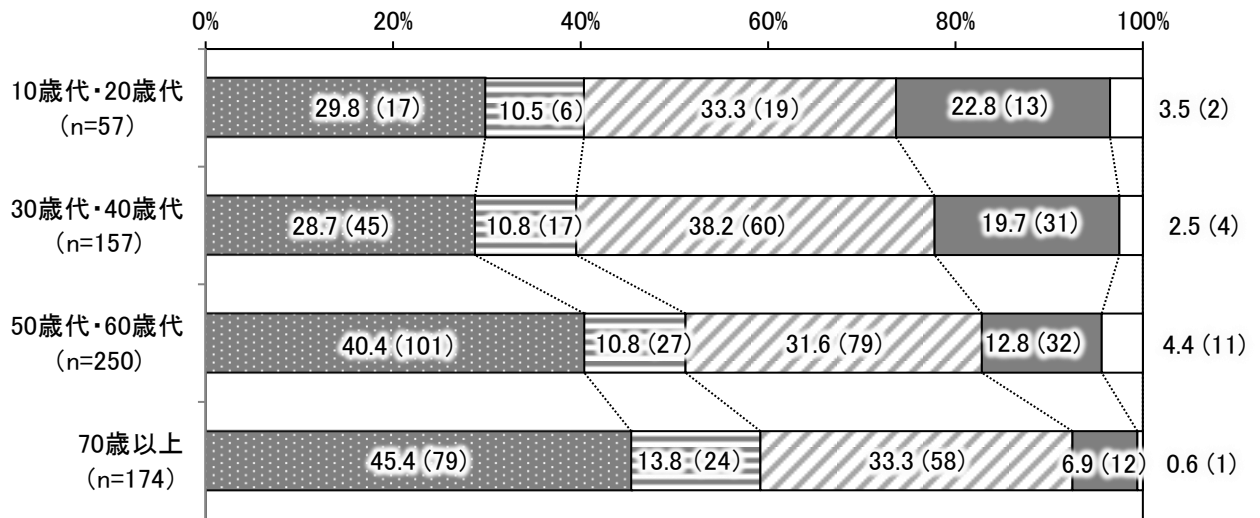


性別でみると、女性に比べ、男性で「10年を経過している」の割合がやや高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】

- 10年を経過している
- 10年を経過していない(交換済みのため)
- 10年を経過していない(交換してから10年以内)
- 不明
- 無回答



年齢別で見ると、他の年代に比べ、70歳以上で「10年を経過している」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	10年を 経過して いる	10年を 経過して いない (交換済みの ため)	10年を 経過して いない (10年以内 に交換して から)	不明	無 回 答	10年 経過して いない
全 体		659 100.0	250 37.9	77 11.7	222 33.7	91 13.8	19 2.9	299 45.4
居 住 小 学 校 区 別	柳河	60 100.0	23 38.3	4 6.7	19 31.7	12 20.0	2 3.3	23 38.3
	城内	38 100.0	15 39.5	4 10.5	13 34.2	6 15.8	-	17 44.7
	矢留	40 100.0	16 40.0	6 15.0	10 25.0	6 15.0	2 5.0	16 40.0
	東宮永	37 100.0	8 21.6	7 18.9	15 40.5	6 16.2	1 2.7	22 59.5
	両開	33 100.0	15 45.5	4 12.1	8 24.2	5 15.2	1 3.0	12 36.4
	昭代第一	31 100.0	13 41.9	3 9.7	11 35.5	3 9.7	1 3.2	14 45.2
	昭代第二	38 100.0	18 47.4	3 7.9	13 34.2	4 10.5	-	16 42.1
	蒲池	58 100.0	26 44.8	5 8.6	20 34.5	6 10.3	1 1.7	25 43.1
	皿垣	19 100.0	7 36.8	2 10.5	10 52.6	-	-	12 63.2
	有明	12 100.0	5 41.7	1 8.3	6 50.0	-	-	7 58.3
	中島	32 100.0	12 37.5	2 6.3	9 28.1	5 15.6	4 12.5	11 34.4
	六合	32 100.0	12 37.5	6 18.8	12 37.5	1 3.1	1 3.1	18 56.3
	大和	17 100.0	8 47.1	3 17.6	6 35.3	-	-	9 52.9
	豊原	30 100.0	6 20.0	3 10.0	13 43.3	7 23.3	1 3.3	16 53.3
	藤吉	57 100.0	18 31.6	7 12.3	19 33.3	11 19.3	2 3.5	26 45.6
	矢ヶ部	17 100.0	7 41.2	1 5.9	5 29.4	3 17.6	1 5.9	6 35.3
	二ッ河	39 100.0	16 41.0	5 12.8	15 38.5	3 7.7	-	20 51.3
	垂見	21 100.0	8 38.1	6 28.6	3 14.3	3 14.3	1 4.8	9 42.9
	中山	12 100.0	7 58.3	-	3 25.0	2 16.7	-	3 25.0
	わからない	12 100.0	-	1 8.3	6 50.0	5 41.7	-	7 58.3
	無回答	24 100.0	10 41.7	4 16.7	6 25.0	3 12.5	1 4.2	10 41.7

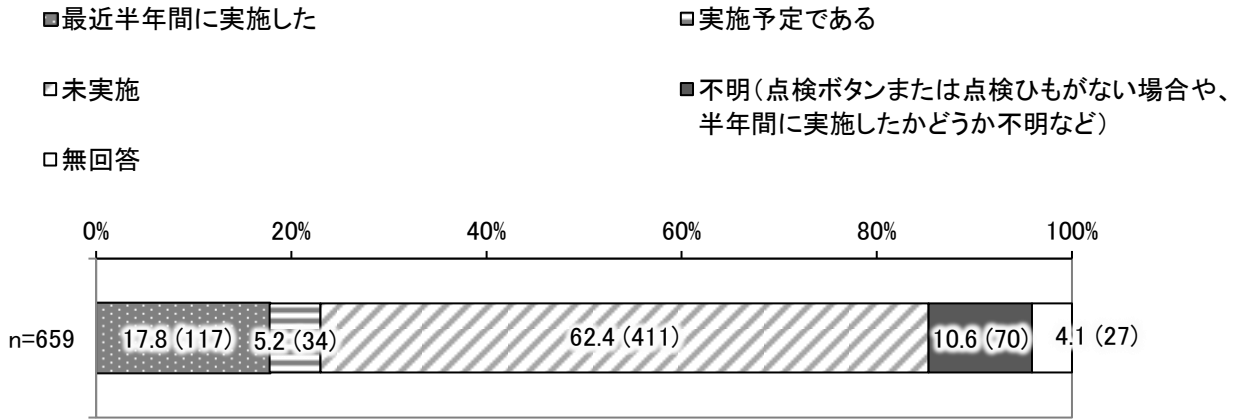
Ⅲ. 調査結果

(4) 最近半年以内で、住宅用火災警報器の作動確認状況（問 32）

※問 30 で、「1. 全部設置」または「2. 一部設置」と回答した人のみ対象

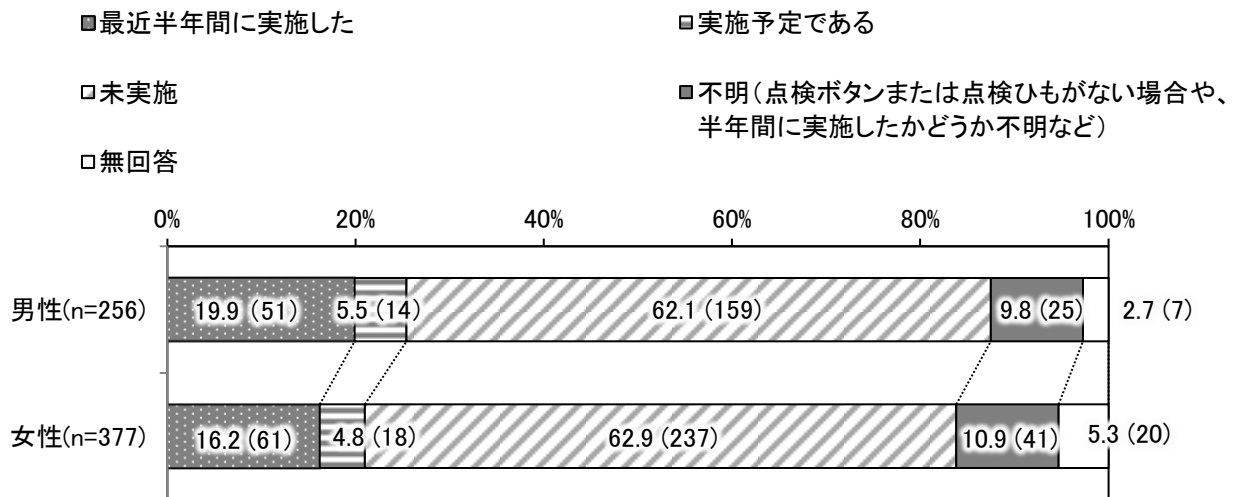
問 32. 最近半年以内で、住宅用火災警報器の作動確認を行いましたか。（○は1つだけ）

「未実施」の割合が 62.4% で最も高くなっている。



「最近半年間に実施した」の割合が 17.8%、「実施予定である」の割合が 5.2%、「未実施」の割合が 62.4%、「不明（点検ボタンまたは点検ひもがない場合や、半年間に実施したかどうか不明など）」の割合が 10.6% となっています。

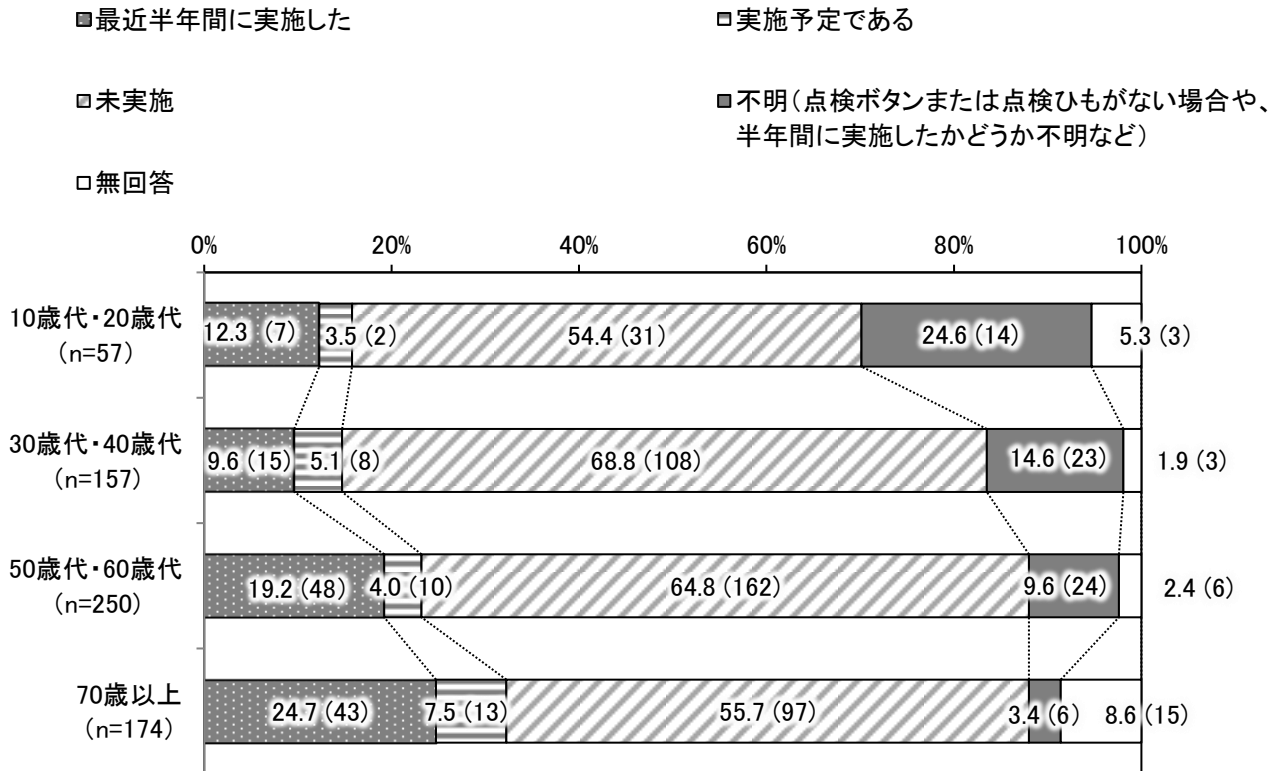
【性別】



性別でみると、女性に比べ、男性で「最近半年間に実施した」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、70歳以上で「最近半年間に実施した」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	最近半年間に実施した	実施予定である	未実施	不明（点検ポイント不明） や、半年間に実施し たかどうか不明など	無回答
全 体		659 100.0	117 17.8	34 5.2	411 62.4	70 10.6	27 4.1
居 住 小 学 校 区 別	柳河	60 100.0	14 23.3	4 6.7	33 55.0	6 10.0	3 5.0
	城内	38 100.0	12 31.6	2 5.3	18 47.4	6 15.8	- -
	矢留	40 100.0	11 27.5	3 7.5	22 55.0	1 2.5	3 7.5
	東宮永	37 100.0	8 21.6	- -	22 59.5	4 10.8	3 8.1
	両開	33 100.0	6 18.2	2 6.1	23 69.7	1 3.0	1 3.0
	昭代第一	31 100.0	4 12.9	2 6.5	18 58.1	4 12.9	3 9.7
	昭代第二	38 100.0	3 7.9	1 2.6	28 73.7	5 13.2	1 2.6
	蒲池	58 100.0	7 12.1	3 5.2	42 72.4	4 6.9	2 3.4
	皿垣	19 100.0	3 15.8	2 10.5	13 68.4	- -	1 5.3
	有明	12 100.0	4 33.3	- -	7 58.3	- -	1 8.3
	中島	32 100.0	3 9.4	2 6.3	18 56.3	7 21.9	2 6.3
	六合	32 100.0	3 9.4	5 15.6	21 65.6	3 9.4	- -
	大和	17 100.0	2 11.8	- -	13 76.5	1 5.9	1 5.9
	豊原	30 100.0	6 20.0	- -	21 70.0	3 10.0	- -
	藤吉	57 100.0	7 12.3	4 7.0	33 57.9	11 19.3	2 3.5
	矢ヶ部	17 100.0	3 17.6	- -	12 70.6	2 11.8	- -
	二ッ河	39 100.0	11 28.2	2 5.1	22 56.4	3 7.7	1 2.6
	垂見	21 100.0	3 14.3	1 4.8	13 61.9	2 9.5	2 9.5
	中山	12 100.0	1 8.3	- -	10 83.3	1 8.3	- -
	わからない	12 100.0	2 16.7	- -	7 58.3	2 16.7	1 8.3
無回答	24 100.0	4 16.7	1 4.2	15 62.5	4 16.7	- -	

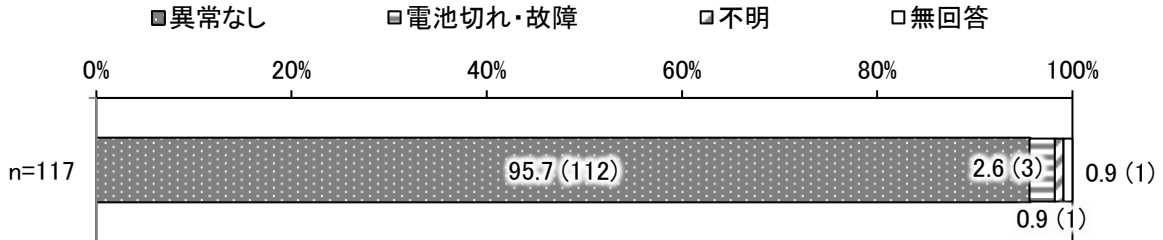
Ⅲ. 調査結果

(5) 最近半年以内で、住宅用火災警報器の作動確認結果（問 33）

※問 32 で、「1. 最近半年間に実施した」と回答した人のみ対象

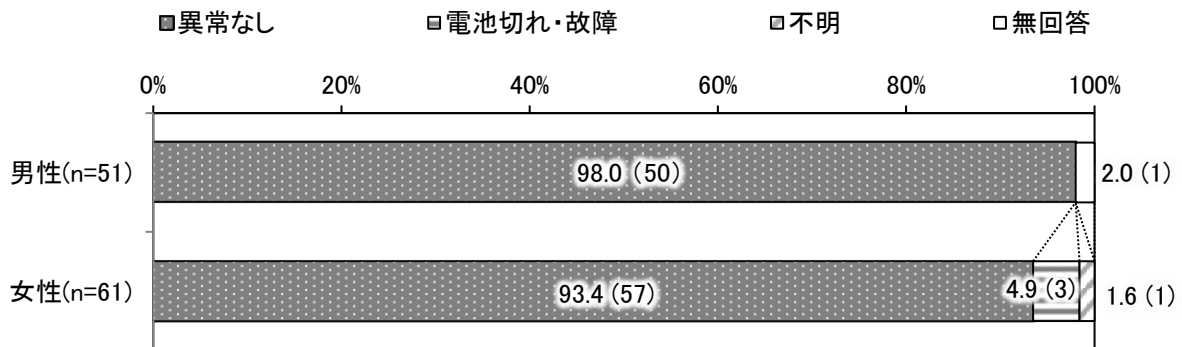
問 33. 作動確認を実施した結果はどうでしたか。（○は1つだけ）

「異常なし」の割合が 95.7%で最も高くなっている。



「異常なし」の割合が 95.7%、「電池切れ・故障」の割合が 2.6%、「不明」の割合が 0.9%となっています。

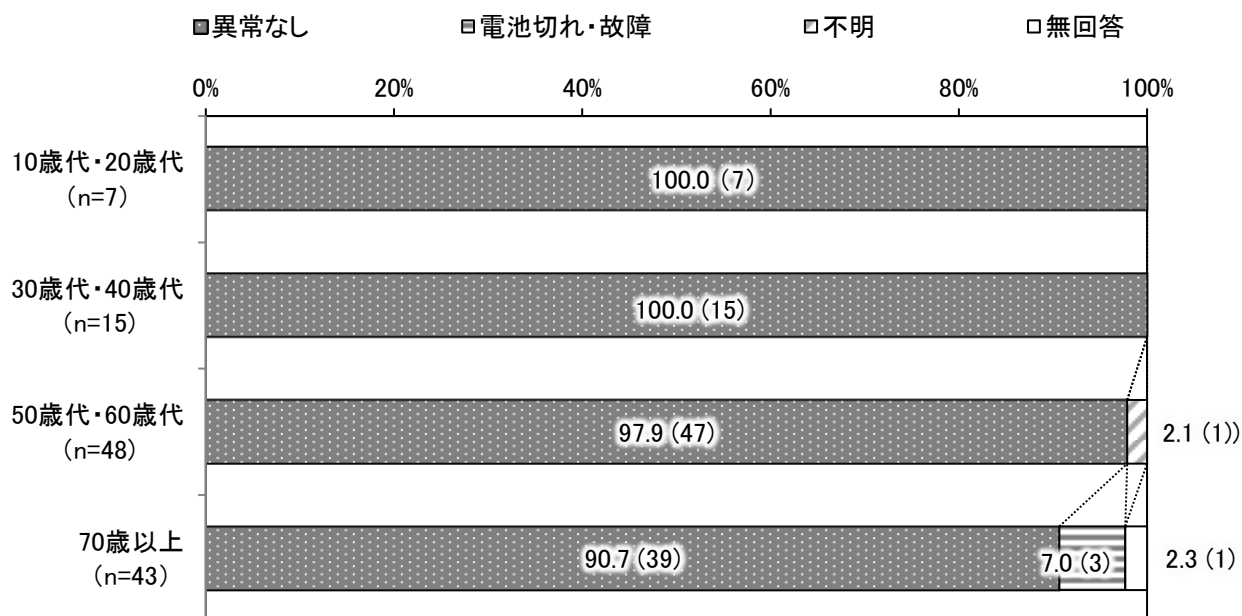
【性別】



性別でみると、女性に比べ、男性で「異常なし」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、すべての年代で「異常なし」が9割以上となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	異常なし	電池切れ、 故障	不明	無回答
全 体		117 100.0	112 95.7	3 2.6	1 0.9	1 0.9
居住小学校区別	柳河	14 100.0	13 92.9	-	1 7.1	-
	城内	12 100.0	12 100.0	-	-	-
	矢留	11 100.0	10 90.9	1 9.1	-	-
	東宮永	8 100.0	8 100.0	-	-	-
	両開	6 100.0	6 100.0	-	-	-
	昭代第一	4 100.0	4 100.0	-	-	-
	昭代第二	3 100.0	3 100.0	-	-	-
	蒲池	7 100.0	6 85.7	-	-	1 14.3
	皿垣	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-
	有明	4 100.0	4 100.0	-	-	-
	中島	3 100.0	3 100.0	-	-	-
	六合	3 100.0	3 100.0	-	-	-
	大和	2 100.0	2 100.0	-	-	-
	豊原	6 100.0	6 100.0	-	-	-
	藤吉	7 100.0	7 100.0	-	-	-
	矢ヶ部	3 100.0	3 100.0	-	-	-
	二ッ河	11 100.0	11 100.0	-	-	-
	垂見	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-
	中山	1 100.0	1 100.0	-	-	-
	わからない	2 100.0	2 100.0	-	-	-
無回答	4 100.0	4 100.0	-	-	-	

Ⅲ. 調査結果

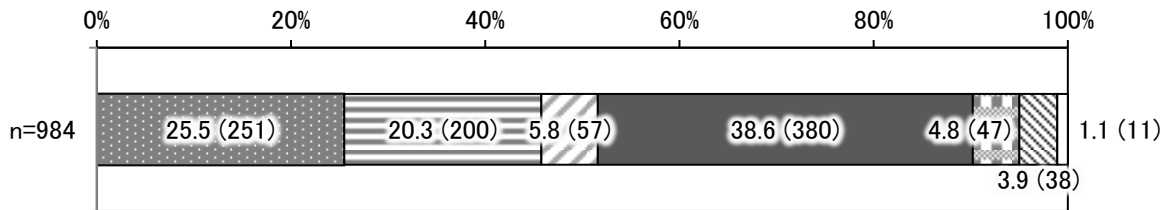
5. 選挙について

(1) 投票所へ行く時間帯 (問 34)

問 34. あなたは、選挙日当日どの時間帯に投票所へ行くことが多いですか。(○は1つだけ)

「期日前投票に行くことが多い」の割合が 38.6%で最も高くなっている。

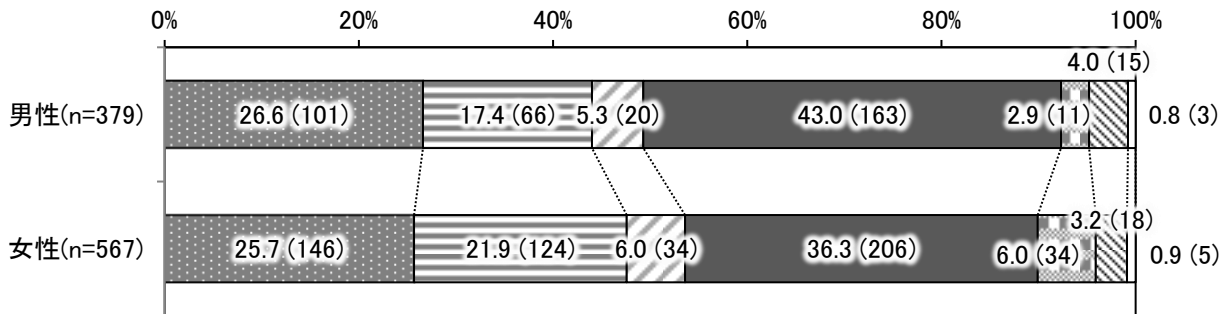
- 7時から12時
- 期日前投票に行くことが多い
- 無回答
- 12時から18時
- 投票には行かない
- 18時から20時
- 投票に行く機会がなかった



「期日前投票に行くことが多い」の割合が 38.6%で最も高く、次いで「7時から12時」(25.5%)、「12時から18時」(20.3%)、「18時から20時」(5.8%)となっています。「投票には行かない」の割合は 4.8%、「投票に行く機会がなかった」の割合は 3.9%となっています。

【性別】

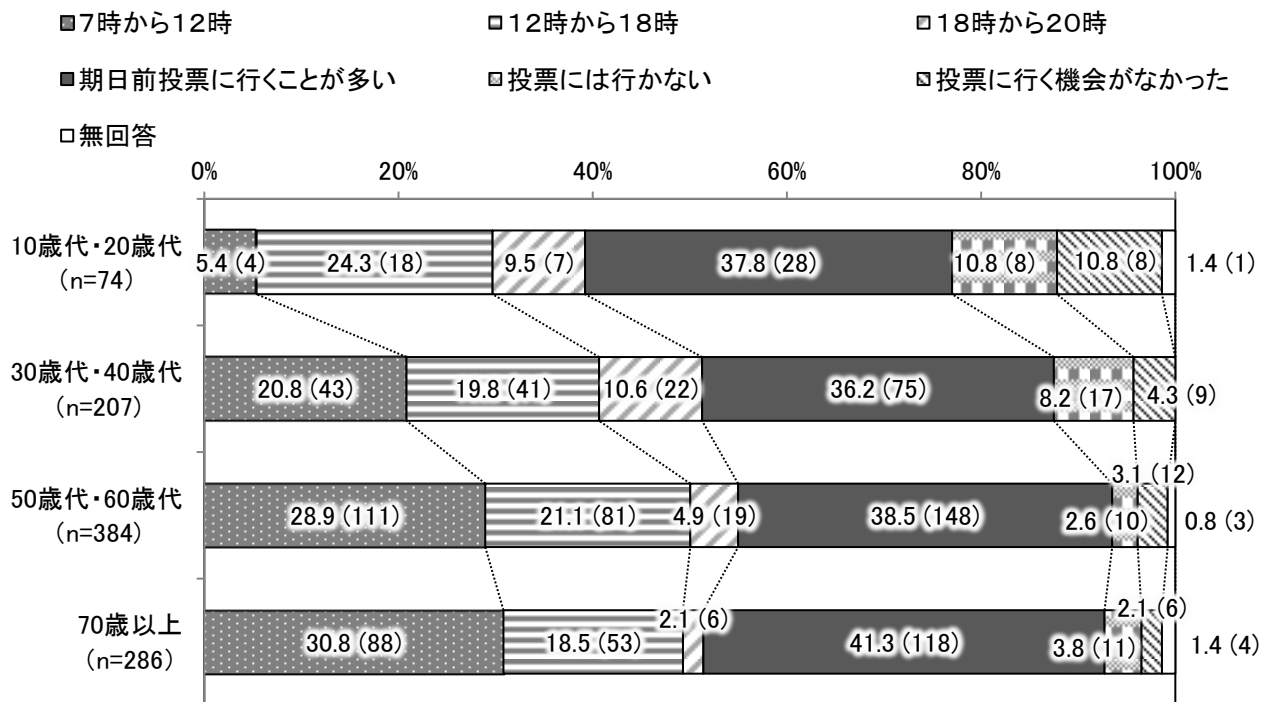
- 7時から12時
- 期日前投票に行くことが多い
- 無回答
- 12時から18時
- 投票には行かない
- 18時から20時
- 投票に行く機会がなかった



性別で見ると、女性に比べ、男性で「期日前投票に行くことが多い」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、10歳代・20歳代で「投票には行かない」と「投票に行く機会がなかった」の割合が高くなっています。また、年齢が上がるにつれて、「7時から12時」の割合が高くなっており、10歳代・20歳代では5.4%であるのに対し、70歳以上は30.8%となっています。また、いずれの年代においても、期日前投票を活用している市民の割合が最も高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

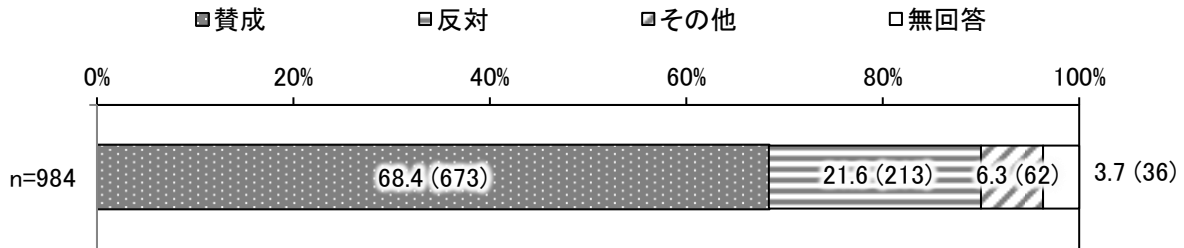
		回答者数 (件)	7時 から 12時	12時 から 18時	18時 から 20時	期日前 投票に 行くこ と が多い	投票に は行か ない	投票に 行く機 会がな い	無回 答
全 体		984 100.0	251 25.5	200 20.3	57 5.8	380 38.6	47 4.8	38 3.9	11 1.1
居 住 小 学 校 区 別	柳河	76 100.0	24 31.6	14 18.4	5 6.6	24 31.6	3 3.9	6 7.9	- -
	城内	52 100.0	14 26.9	11 21.2	4 7.7	20 38.5	1 1.9	1 1.9	1 1.9
	矢留	58 100.0	17 29.3	10 17.2	2 3.4	21 36.2	4 6.9	3 5.2	1 1.7
	東宮永	57 100.0	13 22.8	13 22.8	2 3.5	26 45.6	3 5.3	- -	- -
	両開	45 100.0	8 17.8	6 13.3	2 4.4	26 57.8	2 4.4	1 2.2	- -
	昭代第一	51 100.0	16 31.4	10 19.6	5 9.8	18 35.3	1 2.0	1 2.0	- -
	昭代第二	57 100.0	21 36.8	9 15.8	4 7.0	21 36.8	- -	2 3.5	- -
	蒲池	91 100.0	24 26.4	22 24.2	6 6.6	30 33.0	2 2.2	7 7.7	- -
	皿垣	33 100.0	10 30.3	7 21.2	1 3.0	12 36.4	1 3.0	- -	2 6.1
	有明	17 100.0	5 29.4	2 11.8	- -	10 58.8	- -	- -	- -
	中島	52 100.0	6 11.5	14 26.9	5 9.6	20 38.5	3 5.8	2 3.8	2 3.8
	六合	41 100.0	13 31.7	9 22.0	1 2.4	16 39.0	2 4.9	- -	- -
	大和	27 100.0	3 11.1	7 25.9	1 3.7	13 48.1	1 3.7	1 3.7	1 3.7
	豊原	53 100.0	11 20.8	13 24.5	2 3.8	18 34.0	5 9.4	4 7.5	- -
	藤吉	87 100.0	19 21.8	15 17.2	5 5.7	35 40.2	9 10.3	4 4.6	- -
	矢ヶ部	25 100.0	3 12.0	7 28.0	2 8.0	13 52.0	- -	- -	- -
	二ッ河	59 100.0	18 30.5	13 22.0	3 5.1	23 39.0	- -	1 1.7	1 1.7
	垂見	37 100.0	12 32.4	6 16.2	3 8.1	13 35.1	2 5.4	1 2.7	- -
	中山	17 100.0	4 23.5	4 23.5	1 5.9	6 35.3	2 11.8	- -	- -
	わからない	14 100.0	3 21.4	- -	1 7.1	4 28.6	5 35.7	1 7.1	- -
	無回答	35 100.0	7 20.0	8 22.9	2 5.7	11 31.4	1 2.9	3 8.6	3 8.6

Ⅲ. 調査結果

(2) 投票終了時刻を早めることについて (問 35)

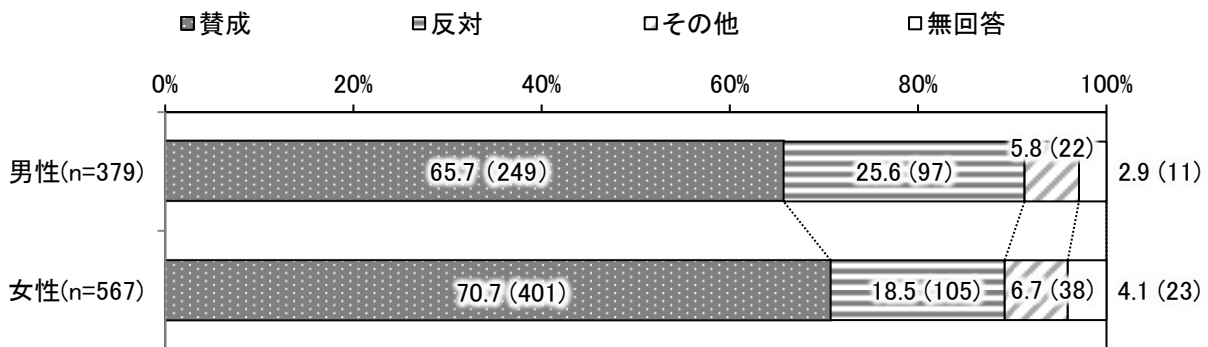
問 35. 現在、選挙日当日の投票終了時刻は、20時までとなっていますが、終了時刻を早めることについてどう思いますか。(○は1つだけ)

「賛成」の割合が68.4%で最も高くなっている。



「賛成」の割合が68.4%、「反対」の割合が21.6%となっています。

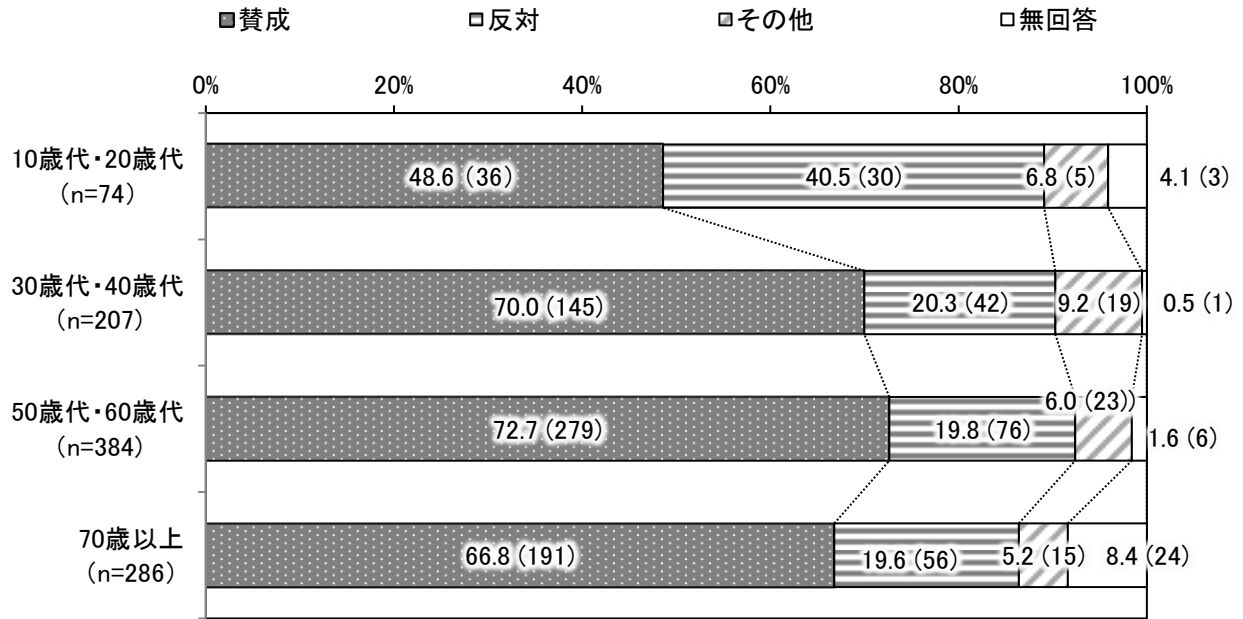
【性別】



性別でみると、男性に比べ、女性で「賛成」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、10歳代・20歳代で「反対」の割合が高くなっており、「賛成」の割合は48.6%と半数未満となっています。一方、30歳代以上は「賛成」の割合が65.0%以上となっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	賛成	反対	その他	無回答
全 体		984 100.0	673 68.4	213 21.6	62 6.3	36 3.7
居住小学校区別	柳河	76 100.0	57 75.0	14 18.4	3 3.9	2 2.6
	城内	52 100.0	33 63.5	15 28.8	4 7.7	-
	矢留	58 100.0	40 69.0	10 17.2	4 6.9	4 6.9
	東宮永	57 100.0	36 63.2	16 28.1	4 7.0	1 1.8
	両開	45 100.0	28 62.2	11 24.4	4 8.9	2 4.4
	昭代第一	51 100.0	37 72.5	11 21.6	3 5.9	-
	昭代第二	57 100.0	40 70.2	12 21.1	2 3.5	3 5.3
	蒲池	91 100.0	61 67.0	22 24.2	4 4.4	4 4.4
	皿垣	33 100.0	23 69.7	7 21.2	-	3 9.1
	有明	17 100.0	12 70.6	3 17.6	1 5.9	1 5.9
	中島	52 100.0	35 67.3	13 25.0	2 3.8	2 3.8
	六合	41 100.0	30 73.2	7 17.1	2 4.9	2 4.9
	大和	27 100.0	22 81.5	4 14.8	1 3.7	-
	豊原	53 100.0	38 71.7	12 22.6	3 5.7	-
	藤吉	87 100.0	51 58.6	17 19.5	12 13.8	7 8.0
	矢ヶ部	25 100.0	17 68.0	5 20.0	3 12.0	-
	二ッ河	59 100.0	43 72.9	14 23.7	1 1.7	1 1.7
	垂見	37 100.0	24 64.9	7 18.9	4 10.8	2 5.4
	中山	17 100.0	12 70.6	3 17.6	2 11.8	-
	わからない	14 100.0	10 71.4	1 7.1	3 21.4	-
	無回答	35 100.0	24 68.6	9 25.7	-	2 5.7

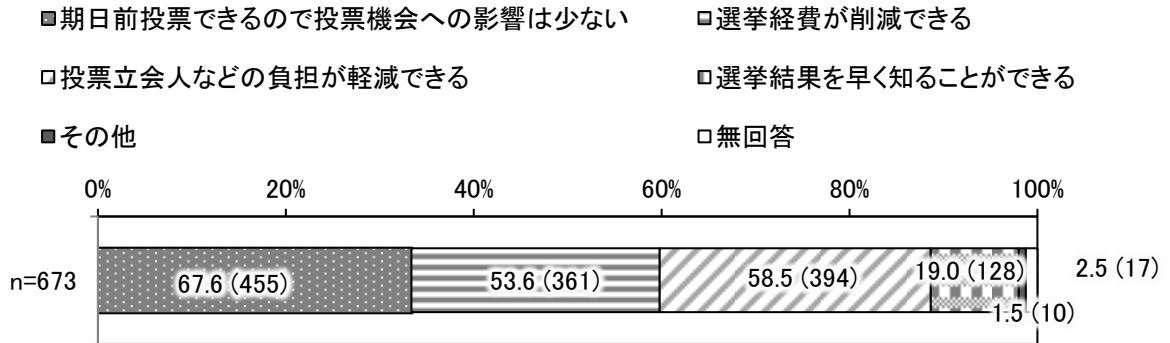
Ⅲ. 調査結果

(3) 賛成の理由 (問 36)

※問 35 で、「1. 賛成」と回答した人のみ対象

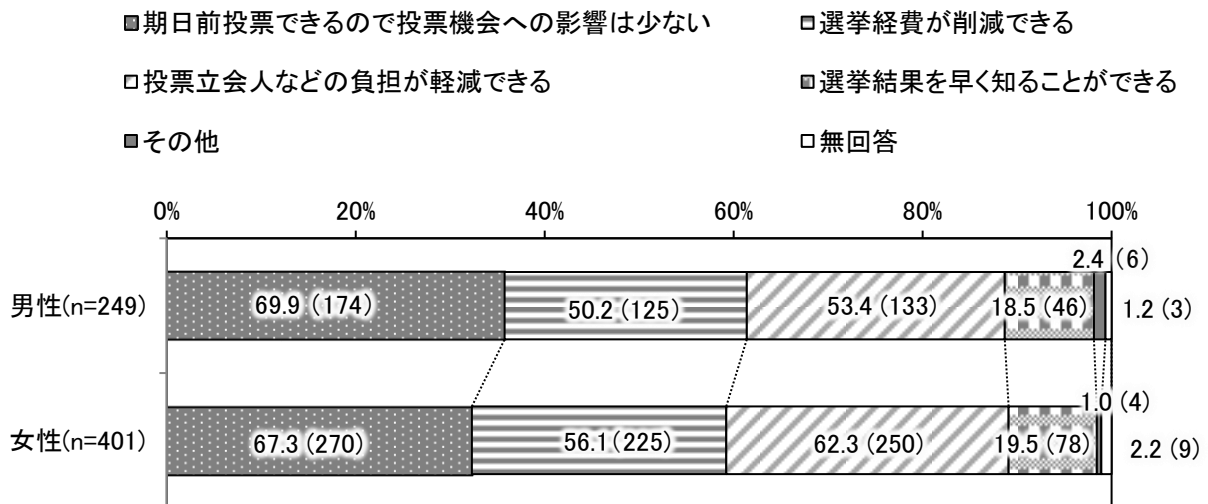
問 36. 「賛成」の理由をお答えください。(〇はいくつでも)

「期日前投票できるので投票機会への影響は少ない」の割合が 67.6%で最も高くなっている。



「期日前投票できるので投票機会への影響は少ない」の割合が 67.6%で最も高く、次いで「投票立会人などの負担が軽減できる」(58.5%)、「選挙経費が削減できる」(53.6%)、「選挙結果を早く知ることができる」(19.0%)となっています。

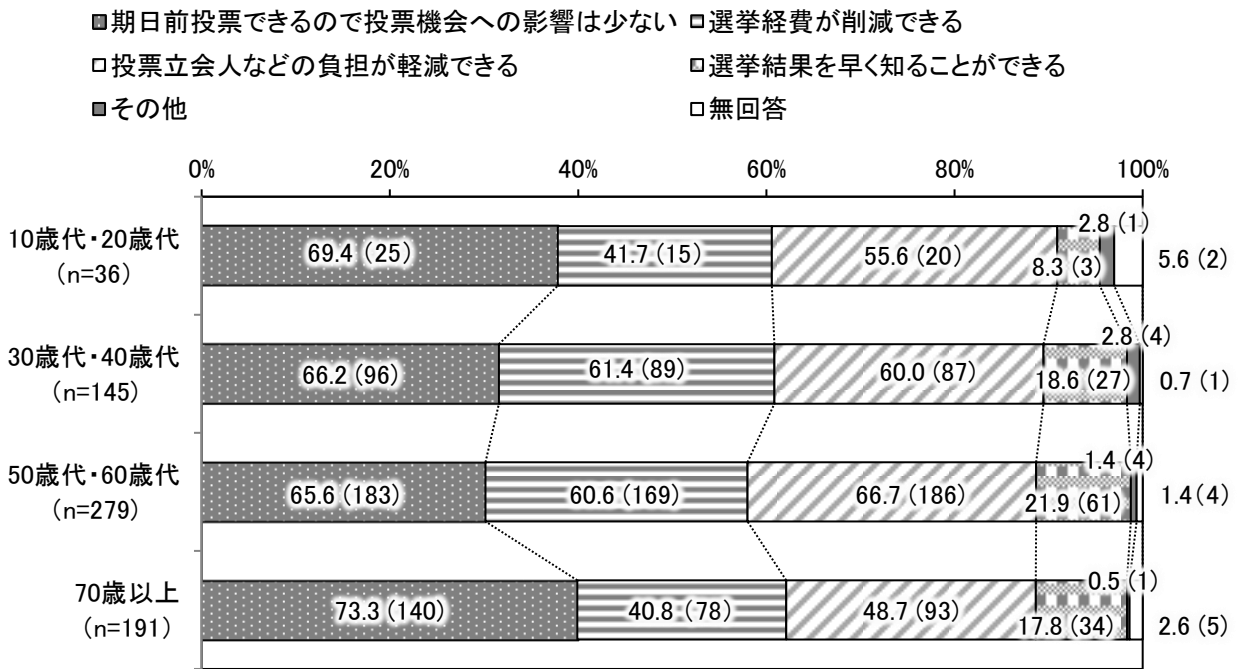
【性別】



性別で見ると、男女ともに「期日前投票できるので投票機会への影響は少ない」の割合が6割以上となっており、女性に比べ、男性でやや高くなっています。「選挙経費が削減できる」、「投票立会人などの負担が軽減できる」の割合は、男性に比べ、女性で高くなっています。また、「選挙の結果を早く知ることができる」については、男性に比べ女性がやや高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、70歳以上で「期日前投票できるので投票機会への影響は少ない」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	ない 投票機会への影響は少 ない	期日前投票できるの で	選挙経費が削減できる	が 投票立会人などの負担 軽減できる	と 選挙結果を早く知るこ とができる	その他	無回答
全 体		673 100.0	455 67.6	361 53.6	394 58.5	128 19.0	10 1.5	17 2.5	
居 住 小 学 校 区 別	柳河	57 100.0	37 64.9	24 42.1	28 49.1	9 15.8	1 1.8	3 5.3	
	城内	33 100.0	24 72.7	17 51.5	23 69.7	4 12.1	1 3.0	-	
	矢留	40 100.0	29 72.5	21 52.5	25 62.5	9 22.5	1 2.5	1 2.5	
	東宮永	36 100.0	26 72.2	18 50.0	20 55.6	8 22.2	-	-	
	両開	28 100.0	19 67.9	15 53.6	19 67.9	7 25.0	-	-	
	昭代第一	37 100.0	27 73.0	18 48.6	18 48.6	9 24.3	-	2 5.4	
	昭代第二	40 100.0	22 55.0	19 47.5	24 60.0	12 30.0	1 2.5	-	
	蒲池	61 100.0	40 65.6	35 57.4	43 70.5	13 21.3	1 1.6	-	
	皿垣	23 100.0	18 78.3	10 43.5	16 69.6	4 17.4	-	-	
	有明	12 100.0	10 83.3	9 75.0	8 66.7	3 25.0	-	-	
	中島	35 100.0	26 74.3	21 60.0	23 65.7	9 25.7	1 2.9	-	
	六合	30 100.0	21 70.0	18 60.0	20 66.7	2 6.7	-	-	
	大和	22 100.0	13 59.1	8 36.4	8 36.4	2 9.1	-	3 13.6	
	豊原	38 100.0	22 57.9	27 71.1	24 63.2	4 10.5	2 5.3	1 2.6	
	藤吉	51 100.0	33 64.7	34 66.7	30 58.8	9 17.6	-	-	
	矢ヶ部	17 100.0	11 64.7	9 52.9	11 64.7	5 29.4	-	-	
	二ッ河	43 100.0	31 72.1	24 55.8	22 51.2	8 18.6	2 4.7	2 4.7	
	垂見	24 100.0	18 75.0	13 54.2	11 45.8	3 12.5	-	-	
	中山	12 100.0	7 58.3	5 41.7	8 66.7	3 25.0	-	-	
	わからない	10 100.0	9 90.0	5 50.0	3 30.0	-	-	-	
無回答	24 100.0	12 50.0	11 45.8	10 41.7	5 20.8	-	5 20.8		

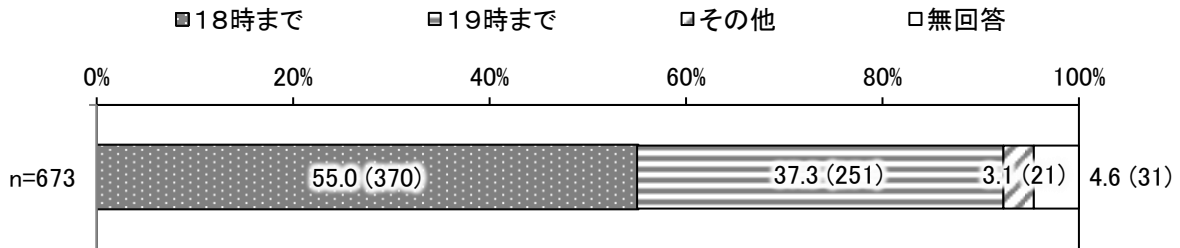
Ⅲ. 調査結果

(4) 投票時刻の終了時間について (問 37)

※問 35 で、「1. 賛成」と回答した人のみ対象

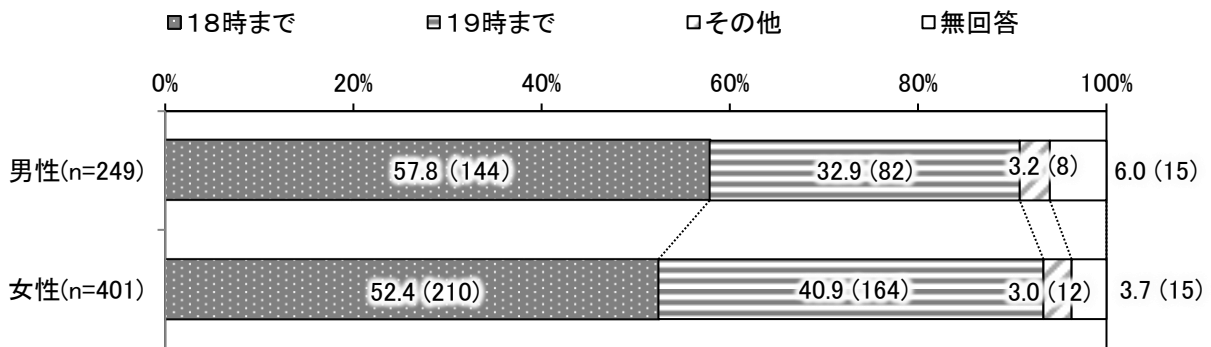
問 37. 投票終了時刻は何時までが適当だと思いますか。(○は1つだけ)

「18時まで」の割合が55.0%で最も高くなっている。



「18時まで」の割合が55.0%、「19時まで」の割合が37.3%となっています。

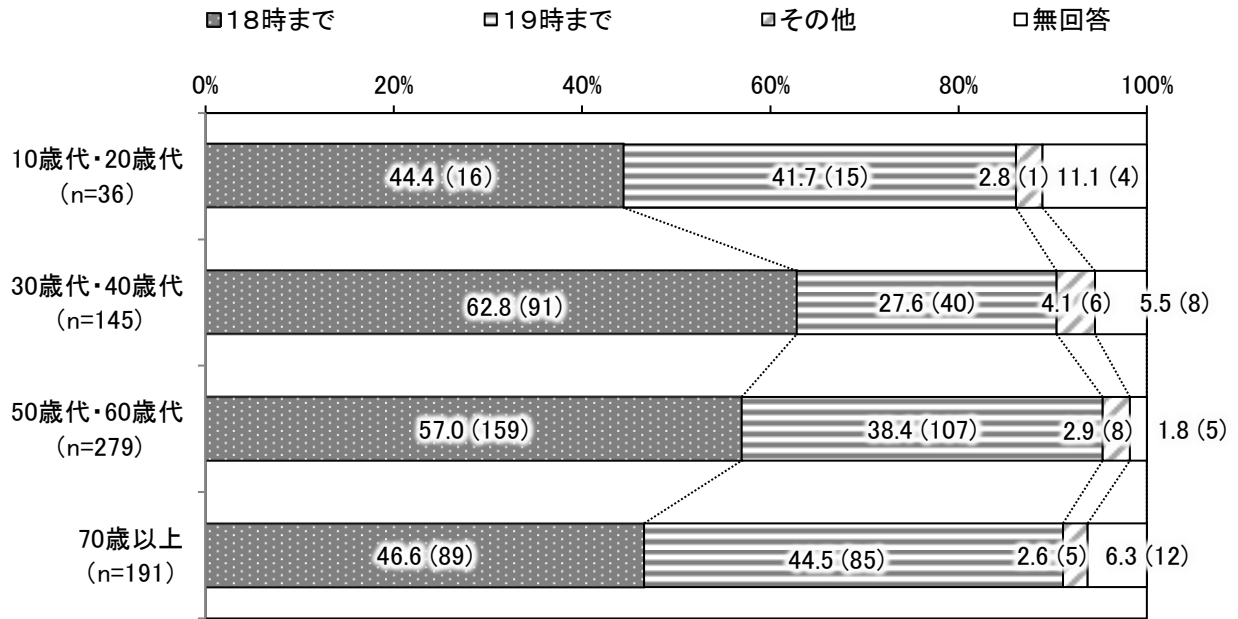
【性別】



性別でみると、女性に比べ、男性で「18時まで」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、他の年代に比べ、30歳代・40歳代で「18時まで」の割合が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	1 8 時 まで	1 9 時 まで	そ の 他	無 回 答
全 体		673 100.0	370 55.0	251 37.3	21 3.1	31 4.6
居住 小 学 校 区 別	柳河	57 100.0	24 42.1	25 43.9	5 8.8	3 5.3
	城内	33 100.0	16 48.5	13 39.4	2 6.1	2 6.1
	矢留	40 100.0	20 50.0	17 42.5	1 2.5	2 5.0
	東宮永	36 100.0	25 69.4	9 25.0	1 2.8	1 2.8
	両開	28 100.0	13 46.4	14 50.0	- -	1 3.6
	昭代第一	37 100.0	20 54.1	14 37.8	2 5.4	1 2.7
	昭代第二	40 100.0	23 57.5	14 35.0	1 2.5	2 5.0
	蒲池	61 100.0	39 63.9	20 32.8	1 1.6	1 1.6
	皿垣	23 100.0	14 60.9	7 30.4	1 4.3	1 4.3
	有明	12 100.0	4 33.3	8 66.7	- -	- -
	中島	35 100.0	18 51.4	13 37.1	1 2.9	3 8.6
	六合	30 100.0	19 63.3	7 23.3	1 3.3	3 10.0
	大和	22 100.0	5 22.7	15 68.2	2 9.1	- -
	豊原	38 100.0	22 57.9	15 39.5	1 2.6	- -
	藤吉	51 100.0	34 66.7	14 27.5	- -	3 5.9
	矢ヶ部	17 100.0	10 58.8	5 29.4	- -	2 11.8
	二ッ河	43 100.0	24 55.8	15 34.9	1 2.3	3 7.0
	垂見	24 100.0	10 41.7	12 50.0	- -	2 8.3
	中山	12 100.0	6 50.0	6 50.0	- -	- -
	わからない	10 100.0	7 70.0	3 30.0	- -	- -
無回答	24 100.0	17 70.8	5 20.8	1 4.2	1 4.2	

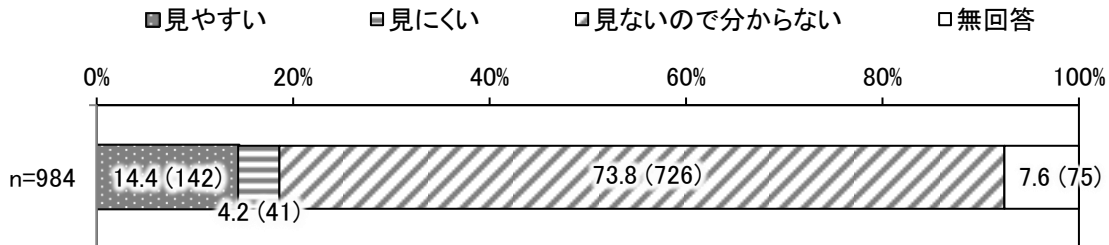
Ⅲ. 調査結果

6. 市のホームページについて

(1) 新しくなったホームページはみやすいか (問 38)

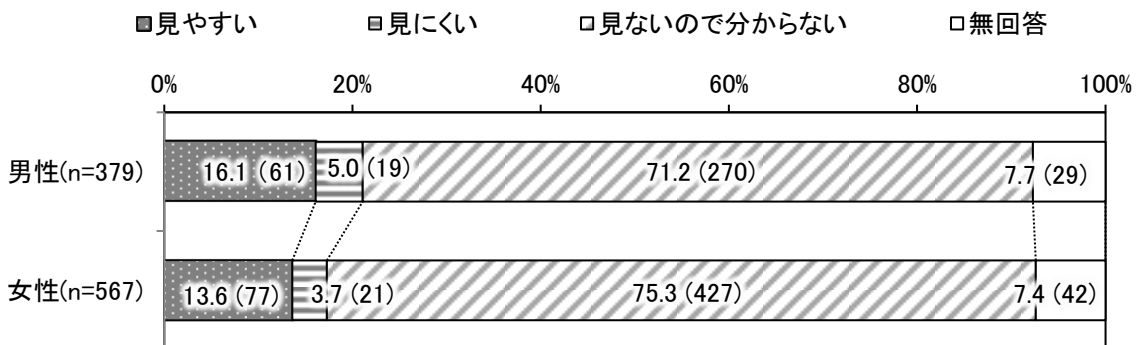
問 38. 3月に新しくなったホームページは見やすいですか。(○は1つだけ)

「見ないので分からない」の割合が73.8%で最も高くなっている。



「見やすい」の割合が14.4%、「見にくい」の割合が4.2%、「見ないので分からない」の割合が73.8%となっています。

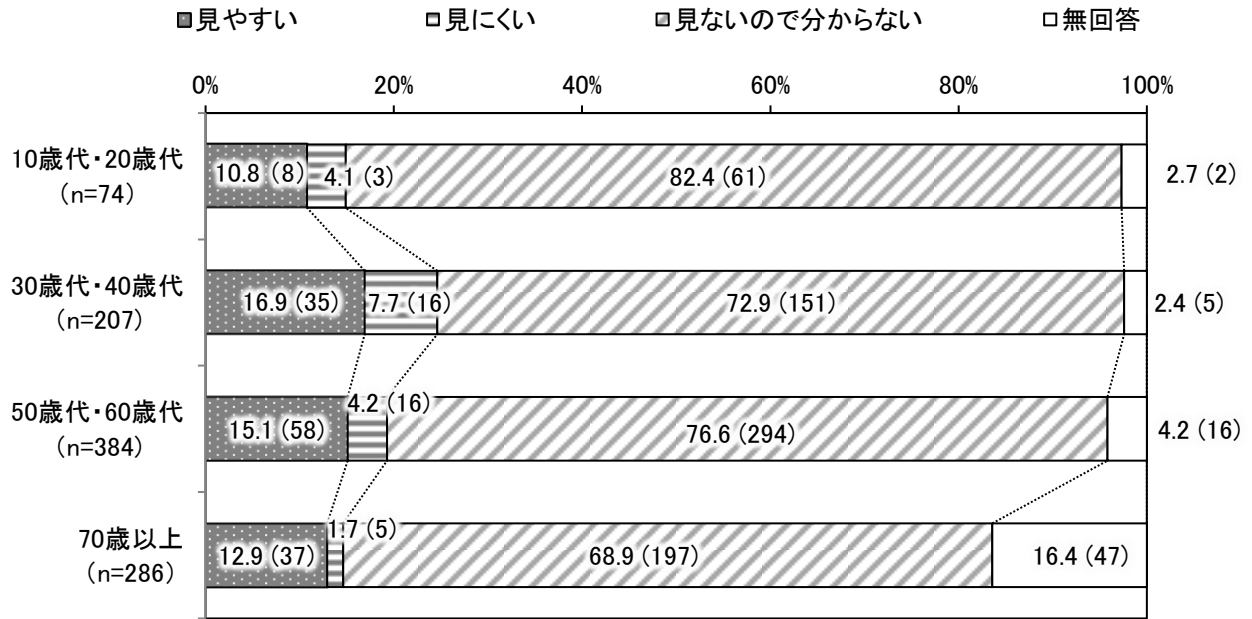
【性別】



性別で見ると、男女ともに「見ないので分からない」の割合が7割以上となっており、男性に比べ、女性で高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【年齢別】



年齢別で見ると、10歳代・20歳代で「見ないので分からない」の割合が82.4%と他の年代に比べ高くなっています。

Ⅲ. 調査結果

【居住小学校区別】

【上段：件数、下段：％】

		回答者数 (件)	見 や す い	見 に く い	見 な い の で 分 か ら な い	無 回 答
全 体		984 100.0	142 14.4	41 4.2	726 73.8	75 7.6
居 住 小 学 校 区 別	柳河	76 100.0	11 14.5	3 3.9	55 72.4	7 9.2
	城内	52 100.0	8 15.4	2 3.8	40 76.9	2 3.8
	矢留	58 100.0	8 13.8	3 5.2	43 74.1	4 6.9
	東宮永	57 100.0	6 10.5	6 10.5	42 73.7	3 5.3
	両開	45 100.0	4 8.9	3 6.7	32 71.1	6 13.3
	昭代第一	51 100.0	6 11.8	1 2.0	40 78.4	4 7.8
	昭代第二	57 100.0	9 15.8	- -	47 82.5	1 1.8
	蒲池	91 100.0	16 17.6	2 2.2	65 71.4	8 8.8
	皿垣	33 100.0	4 12.1	- -	23 69.7	6 18.2
	有明	17 100.0	3 17.6	1 5.9	12 70.6	1 5.9
	中島	52 100.0	9 17.3	2 3.8	38 73.1	3 5.8
	六合	41 100.0	5 12.2	2 4.9	32 78.0	2 4.9
	大和	27 100.0	4 14.8	1 3.7	20 74.1	2 7.4
	豊原	53 100.0	6 11.3	2 3.8	43 81.1	2 3.8
	藤吉	87 100.0	14 16.1	6 6.9	60 69.0	7 8.0
	矢ヶ部	25 100.0	3 12.0	1 4.0	19 76.0	2 8.0
	二ッ河	59 100.0	8 13.6	4 6.8	42 71.2	5 8.5
	垂見	37 100.0	6 16.2	- -	26 70.3	5 13.5
	中山	17 100.0	3 17.6	1 5.9	12 70.6	1 5.9
	わからない	14 100.0	4 28.6	- -	10 71.4	- -
無回答	35 100.0	5 14.3	1 2.9	25 71.4	4 11.4	

IV. 参考資料

IV. 参考資料

1. 自由記述

(1) 川下り全体の満足度の理由（問 21）

問 21. 問 20 で回答した満足度の理由（自由記述）

記述内容は以下の通り。

主な記述内容	性別	年代
■Q20 川下り全体の満足度に「満足」と回答した人の意見		
■城内		
・友達（武雄在住）が大満足してくれたため。	男性	30歳代
・他県、他地域に住む職場の方や、数十年ぶりに帰郷した友人を川下りに連れていくと、とても感動される。夜（夕方）の川下りは特にいいと思います。	男性	50歳代
・掘割には川下りをする人々に気を遣って見た目も美しいし、季節感が感じられる。	女性	70歳以上
■矢留		
・景観が美しいのと船頭さんの対応が良かったと思います。	女性	70歳以上
■東宮永		
・柳川市がいろんな面よければよいです。	女性	50歳代
■両開		
・涼しかった。	女性	50歳代
■昭代第一		
・時間がゆっくり流れゆとりがある。	男性	60歳代
■昭代第二		
・舟からの景観も良かったし、掃除の方が巡回されていたので、気持ちよかったと感じた。	女性	60歳代
・3世代で、川下りをして、改めて柳川の良さを感じる事が出来て楽しかったです。	女性	70歳以上
■蒲池		
・いつもと異なる視点からの眺めは面白かったです。船頭さんも楽しい方でした。	女性	30歳代
■血垣		
・今年、3月に開催された雛めぐり船に乗船しました。お得に乗船でき大満足です。	女性	40歳代
・いろいろと説明もしてもらい暑かったので氷もいただいて楽しかったです。	女性	60歳代
■有明		
・観光客の方も増えてきて交流が出来た。子供達（小学生）も楽しそうにしていたから。	男性	40歳代
■大和		
・結婚式で川下りをした時、川下りをしている人に「おめでとう」と言って頂けた事がうれしかったから。	女性	20歳代
・柳川に住んで10年。初めて川下りをしたから。	女性	40歳代
■矢ヶ部		
・ゆったりとした時間をすごせて快適でした。船頭さんが、歌ったり、橋の上をのぼったり、見るのも、聴くのも楽しい。	女性	10歳代
・舟から見る景色が何ともいえなく癒される。	女性	70歳以上
■わからない		
・めずらしい鳥がいた。舟に乗るだけで楽しい。	女性	40歳代

IV. 参考資料

(1) 川下り全体の満足度の理由（問 21）

主な記述内容	性別	年代
■Q20 川下り全体の満足度に「おおむね満足」と回答した人の意見		
■柳河		
・楽しく、ゆったりできた。桜の時期は、キレイだろうと思った。	男性	40歳代
・景観がキレイである事。	答えたくない	40歳代
■城内		
・ゆったりとした時間が過ごせて良かったです。孫がちょっと退屈しだしたのが残念でした。思ったより、時間が長かったです。船頭さんがおとなしかったかなあ。	男性	60歳代
・船頭さんによろしく思います。	女性	50歳代
・船上からの景観とスピードがゆっくりしているところ日々の忙しく過ごしている事が、しばし忘れられる。	女性	70歳以上
■矢留		
・乗船した会社スタッフがよかったが、駅から不便、帰りのバスもこない。	女性	30歳代
■東宮永		
・同窓会で利用した。楽しかった。しかし、沖端の柳が切られていて驚いた。	女性	60歳代
■昭代第二		
・船頭さんの対応もよく、お客様のアテンドだったが満足してもらえたが、船がもう少しきれいだったら（色ハゲなど）。	女性	40歳代
・子供や孫たちと景色を見ながら会話がはずんだり、船頭さんとの質問などに答えて下さり、心地よい空間でした。	女性	70歳以上
■蒲池		
・川下りの情緒があり、のんびりゆっくり柳川の歴史を感じる事が出来て風景も四季折々を楽しめる。又、船頭さんの御案内がとても楽しい時間だと思います。	女性	70歳以上
■中島		
・船頭さんの話しが良かった。	女性	60歳代
・船頭さんの説明が良かった。（何国語 {英語・日本語・韓国語} 大変だなあと思ったけどよく勉強されている。感心した。）	女性	70歳以上
■六合		
・柳川の風情をゆったりと感じられたから。	女性	40歳代
■藤吉		
・柳川市外の人が喜んでいたので。	女性	30歳代
・船頭さんの話は面白く、とても有意義な時間だった。雨天時の対応（雨宿りする場所や迎いのバス待機場）の工夫が必要だと思った。	女性	30歳代
・イベントが開催されている時だったので、花火や風景を楽しめて有意義な時間を過ごせた。	女性	50歳代
・ひな流し 白秋祭などステキです。	女性	70歳以上
■矢ヶ部		
・水辺の風影と船頭と舟。	男性	70歳以上
・裏の景色に、表を重ねてホーッと思ったが。	女性	70歳以上
■ニッ河		
・川岸が随分整備されていて、きれいになった。船頭さんの語り口が楽しかった。	男性	70歳以上
・良く清掃してありとっても川水が美しかった。	男性	70歳以上
・友人が柳川にきたので川下りしたが、あまり話さない船頭さんでした。よかったのですが、もっと楽しめた川下りもあったので、②にしました。	女性	40歳代
■中山		
・御花のまわりがきれいだと思う。	男性	60歳代
■（校区無回答）		
・灯り舟を体験しました。幻想的で心に残るひとときでした。	無回答	無回答

IV. 参考資料

(1) 川下り全体の満足度の理由（問 21）

主な記述内容	性別	年代
■Q20 川下り全体の満足度に「普通」と回答した人の意見		
■柳河		
・水が汚いと感じた。1時間コースの中で写真映えする所が2・3か所しかない。	女性	20歳代
■矢留		
・船頭さんの対応は良かったが、川の水質がよくない。キレイだともっといいと感じた。	女性	30歳代
・川下りは楽しかったが柳川の歴史などの話が聞けたらより楽しめたと思う。	女性	30歳代
・夜に船に乗り、また違った感じがした。	女性	60歳代
■東宮永		
・以前は、どこの船会社も沖端の最終まで希望すると行って来てましたが、今は水天宮まで行けなくなり、残念です。	女性	60歳代
■昭代第二		
・こんなもんなんだと思った。	女性	40歳代
■蒲池		
・乗り場などをもう少しきれいにしたい。	女性	40歳代
■皿垣		
・別に普通	女性	50歳代
■藤吉		
・現在、問題となっている川下り船頭の橋から飛び降りるパフォーマンスは危険で柳川のイメージを損ねると思います。もっと船頭さん達の教育しつづけを充実してほしいと思います。	男性	60歳代
・同船者のマナーが悪かった為。	女性	30歳代
■矢ヶ部		
・観光会社の受付の方の対応が雑、船頭さんの話はおもしろかった。	女性	30歳代
■ニッ河		
・川下りコース中、場所によってはあまりきれいではないと思う。もっと柳を増やしてほしい。特に西鉄ストア裏。	女性	20歳代
■垂見		
・日吉神社横（川下りコースの売店）がゴミ屋敷みたいだったので、みすぼらしい。売店として清潔感がない。	男性	60歳代
■（校区無回答）		
・何度利用しても同じ風景、楽しみがない。	女性	40歳代

IV. 参考資料

(1) 川下り全体の満足度の理由（問 21）

主な記述内容	性別	年代
■Q20 川下り全体の満足度に「やや満足」と回答した人の意見		
■矢留		
・静かで良い。	男性	70歳以上
・船頭の接客態度が良かった。	女性	70歳以上
■藤吉		
・三月に川下りしました 水もきれいで良かったです。	女性	70歳以上
■ニッ河		
・他県から来た知人には、観光になるため。	男性	30歳代

■Q20 川下り全体の満足度に「不満」と回答した人の意見		
■城内		
・川が汚なかった。舟に人が沢山乗りぎゅうぎゅう、少し風情が損なわれる感じがした。	女性	60歳代
・船頭は柳川観光の水先案内人です。船頭次第で柳川の印象は大きく変わります。 市は船頭の育成に研修や検定制度などでしっかり関与して何回も柳川に来てもらう様にすべきです。	女性	60歳代
■矢留		
・何度経験しても掘割の歴史、文化、役割等の魅力・よさ（素晴らしさ）が伝わってこない。	男性	70歳以上
■有明		
・船頭さんの身なりをきちんとして欲しい（汚い感じがする）又、船も明るく、きれいに塗り直して欲しい（情緒ある柳川らしさに）。	男性	70歳以上
■垂見		
・沖端の柳の木伐採が最悪です。	男性	50歳代

IV. 参考資料

(2) 選挙時間早めることへの意見「その他」(問 35)

問 35. 現在、選挙日当日の投票終了時刻は、20時までとなっていますが、終了時刻を早めることについてどう思いますか。(○は1つだけ) → 「その他」選択の自由記述

記述内容は以下の通り。

主な記述内容	性別	年代
■柳河		
・分からない。	男性	70歳以上
・興味が湧かない。	女性	20歳代
■城内		
・過去の分布etc調べて判断すればいいのでは。データを見たい。	男性	70歳以上
・今のままでよい。	女性	70歳以上
■矢留		
・どちらでもよい。	男性	40歳代
・どちらでもよい。	女性	30歳代
■東宮永		
・現状のままで良い。	女性	70歳以上
■両開		
・どちらでも良い。	女性	30歳代
・場所によってはいいのでは。	女性	40歳代
・わからない。体が不自由になって自転車にも乗れない。車の免許は持っていない。	女性	70歳以上
■昭代第一		
・今まで通りでよい。	女性	60歳代
■昭代第二		
・どちらでもよい。	女性	50歳代
■蒲池		
・今のままでも良いのではないか。	男性	70歳以上
・どちらでも。	女性	60歳代
・気にならない。	女性	70歳以上
■中島		
・どちらでもよい。	女性	50歳代
・どうでも良い。	女性	60歳代
■六合		
・どちらでもない。	女性	20歳代
■豊原		
・どちらでもない。	男性	60歳代
・どちらでもない。	女性	40歳代
・どちらでもよい。	女性	40歳代
■藤吉		
・賛成でも反対でもない。市民の利用状況で判断すべき。	男性	20歳代
・どちらでも可。	男性	30歳代
・どちらでもない。	男性	40歳代
・21時まで延長時間の方がよくないでしょうか。	男性	50歳代
・何とも言えない。	男性	50歳代
・今まで通りでよい。	男性	70歳以上
・どうでもいい。	女性	20歳代
・どちらでも構わない。	女性	50歳代
■矢ヶ部		
・興味がない。	女性	30歳代

IV. 参考資料

(2) 選挙時間早めることへの意見「その他」(問 35)

主な記述内容	性別	年代
■垂見		
・期日前投票の場所を増やす。	男性	30歳代
・どちらとも言えない。自分は定年しているから時間があるが、仕事している方は、休日利用を出来そうだが時間を早める時は、可能とは思いますが会社勤めの人間は多忙。しかし、今迄の調査で～20までが人数が少ないなら良いかもですね。	男性	60歳代
・どちらでもありません。決められた時間に行きます。	女性	30歳代
■中山		
・分からない。	女性	10歳代
■わからない		
・設定時の事由がある為、質問だけでは判定不可。	男性	50歳代

IV. 参考資料

(3) 選挙時間早めることへ「賛成」の理由「その他」(問36)

問 35. 「賛成」の理由をお答えください。(〇はいくつでも) → 「その他」選択の自由記述

記述内容は以下の通り。

主な記述内容	性別	年代
■柳河 ・土日に対応していただければ問題ない。	男性	60歳代
■城内 ・市役所職員の人件費削減できる。 人件費を抑えるべき。	男性	40歳代
■矢留 ・終了時刻を早めても投票率の変化は無い。	男性	70歳以上
■昭代第二 ・仕事の合間に行きたいので。	男性	40歳代
■蒲池 ・立会人をもっと減らせるはずだ。民間ではあんなに使わない、ムダ。	男性	60歳代
■中島 ・誰に投票したらいいかわからない。	男性	20歳代
■豊原 ・投票率に問題なければ問題なし。	女性	40歳代
■二ッ河 ・行かない人は、時間を延ばしてもいけないから。	女性	40歳代
・投票者数が減少しているなか非効率的。	女性	50歳代

IV. 参考資料

(4) 適当だと思う投票終了時刻（問 37）

問 37. 投票終了時刻は何時までが適当だと思いますか。（○は1つだけ）
→「その他」（自由記述）

記述内容は以下の通り。

主な記述内容	性別	年代
■柳河		
・1.2より前でも可。	男性	60歳代
・現在、投票可能な時間帯に行くことができる。	男性	60歳代
・15時まで	女性	30歳代
・17時まで	女性	70歳以上
■城内		
・期日前投票中に行くべき。	男性	60歳代
・昼まで	女性	40歳代
■矢留		
・17時	女性	30歳代
■東宮永		
・17時まで	男性	40歳代
■昭代第一		
・タクシーで投票用紙を運ぶのはおかしい。	男性	70歳以上
・17時	女性	40歳代
■昭代第二		
・20時で良いのでは	男性	70歳以上
■蒲池		
・17時	女性	50歳代
■皿垣		
・17時まで	女性	70歳以上
■中島		
・19:30	女性	20歳代
■六合		
・昼まで	男性	60歳代
■大和		
・17時まで	女性	40歳代
・12時まで	女性	50歳代
■豊原		
・17時まで	男性	60歳代
■ニッ河		
・春夏・秋冬は日没が違うので考慮してもよいと思う。	女性	70歳以上
■（校区無回答）		
・17時まで	無回答	無回答

IV. 参考資料

(5) 新しくなったホームページが「見やすい」または「見にくい」理由 (問 39)

問 39. 問 38 の理由 (自由記述)

記述内容は以下の通り。

主な記述内容	性別	年代
■Q38 3月に新しくなったホームページは「見やすい」と回答した人の意見		
■柳河		
・わかりやすく回路的に見やすくなった。	男性	30歳代
・見出しや項目が整理されているので見やすくなっていると思います。	男性	60歳代
・①写真も多くスッキリ見える。 ・②市議会のページなのか、文字がダブっているのではないか。	男性	60歳代
・画面の写真等がきれいで見やすく。また、検索がしやすくなった。	男性	70歳以上
・LINEでも見れるようになり、利用しやすくなった。	女性	40歳代
・とりあえず私が見たいところは紹介されてるので満足してます (ゴミのこととか、健診のこととか)。	女性	50歳代
・理解しやすい、絵も明確。	女性	60歳代
■城内		
・スマホ画面でスッキリ見えたため。	男性	30歳代
・不自由を感じないため。	男性	50歳代
・特に支障ないから。	男性	70歳以上
・利用中別ですぐに調べたいことが分かりやすかったため。	女性	20歳代
・知りたい事が解りやすい、探しやすい。	女性	60歳代
・画像を多く採用しており、見やすくなった。	女性	60歳代
■矢留		
・「まちの話題」「利用者別に探す」など、利用目的に応じて素早く検索できる。	男性	70歳以上
・新着情報がすぐに見れる。市の概要が見やすい。	男性	70歳以上
・LINEで見れるので便利。	女性	40歳代
・長文が写真と短文+レイアウトですごく見やすく、情報を探しやすくなり、ホームページを見る回数が増えました。	女性	50歳代
■東宮永		
・簡潔で良い。	男性	30歳代
・十分だと思う。今ので。	男性	30歳代
・画像も多く、明るい感じがする。	女性	40歳代
・柳川市のためになる事になっております。	女性	50歳代
・分かりやすい。	女性	70歳以上
■両開		
・前よりも、項目が分かりやすく、自分が見たい所を探しやすくなっていると感じた。	女性	30歳代
・画像が多くなり、細かい文字が減った。スマホでも見やすくなった。	女性	60歳代
・カテゴリーの分け方やアイコンの使用で調べやすくなった。	女性	60歳代
■昭代第一		
・情報が簡潔だから。	男性	20歳代
・すぐに目的が見つかる。	男性	70歳以上
■昭代第二		
・シンプル。	男性	50歳代
・記事の内容、区分等読んでいて支障なし。	男性	70歳以上
・写真付きでわかりやすい。	男性	70歳以上
・市民向けと観光案内が別々になっているところ。ただ、たまにしか見てないので実際は分からないというのが本当です。	女性	50歳代
・以前より見やすくなったと思う。月1回になってよかった。	女性	60歳代
・スマホで見っていますが、参考になり良いと思います。	女性	70歳以上

IV. 参考資料

(5) 新しくなったホームページが「見やすい」または「見にくい」理由 (問39)

主な記述内容	性別	年代
■Q38 3月に新しくなったホームページは「見やすい」と回答した人の意見 (つづき)		
■蒲池		
・前のホームページが分かりづらかった為。	男性	50歳代
・整理してあるので良いし分かりやすい。	男性	70歳以上
・理解しやすくなっている。(分かりやすくなっている)	男性	70歳以上
・分かりやすいと思うから。	女性	20歳代
・立体的でとても良いと思う。動画なので見入ってしまうと思う。	女性	40歳代
・文言だけでなく写真入りなので見やすいです。	女性	40歳代
・どのページを見たら何が書いているかわかるから。	女性	50歳代
・スマホで見る事前前提で作成されていると思います。分類分けが上手で探しやすくなっていると思います。	女性	50歳代
・特に見にくいと感じた事はない。いいと思います。	女性	70歳以上
■血垣		
・なんとなく。	男性	60歳代
・「ふりがなをつける」「ふりがなをはずす」機能がある所。子供から大人、外国の方にも見やすいと思います。	女性	40歳代
■有明		
・インターネットで情報が得られるだけでありがたいです。	男性	60歳代
・標準サイズの文字の大きさが以前に比べて大きくなった点と、写真が使用されているので、文字ばかりの画面より見やすい、明るく感じて、何について記載があるのかがわかりやすい点。	女性	30歳代
■中島		
・まとまりがある。モバイル用のページはgood。	男性	20歳代
・見た目のインパクトも良いし、目的のページまで行くのにも困らなかった。	男性	50歳代
・感覚的に検索できるようになった。	女性	30歳代
・風景や食べ物の映像に、分かりやすく説明をして頂いています。	女性	50歳代
・新しくなったことに気づかなかった。	女性	60歳代
■六合		
・”利用者別に探す”や文章がある所の背景が白なため、見やすいし、調べたいことを見つけやすい。	男性	30歳代
・項目ごとに、写真やイラストが入っていて、わかりやすいです。	女性	40歳代
・わかりやすくなった。	女性	40歳代
・表示が大きい。	女性	50歳代
■大和		
・一般の市民と分別した事。新着情報を分けた事。	男性	50歳代
・市民向けと観光客向けと最初に選択できるようになっているところ。	女性	20歳代
・検索できる項目があるから。	女性	40歳代
■豊原		
・スタイリッシュになった。	女性	20歳代
・市内の風景画像が多くイメージが伝わりやすい。	女性	40歳代
・前より字が大きくなり、カラフルで見やすくなったと思う。	女性	40歳代
■藤吉		
・各項目ごとに分けてあり分かりやすい。市民のお得な情報もまとめてほしい。	男性	30歳代
・スマホ対応できている。	男性	50歳代
・柳川市の長がよくわかるHPだと思う。	男性	50歳代
・以前よりも、見やすく、調べやすい。	男性	60歳代
・以前に比べ、項目別がはっきりして、検索しやすい様に思う。	男性	60歳代
・目的毎に”ワード”が区分けされているのが良いと思う。自分の目的の場所へ早く行くことができました。	男性	70歳以上

IV. 参考資料

(5) 新しくなったホームページが「見やすい」または「見にくい」理由（問39）

主な記述内容	性別	年代
■Q38 3月に新しくなったホームページは「見やすい」と回答した人の意見（つづき）		
■藤吉		
・情報がすぐ見える。	女性	40歳代
・前のホームページは古い感じだったが、今はスマホでも見やすく探しやすいと思う。	女性	50歳代
・文字が大きく、見易いのが第一。	女性	60歳代
・見やすくなった。検索しやすい。	女性	70歳以上
■矢ヶ部		
・確認したい事や見たい情報などがクリックしやすいので、スマホで見る時などで操作が楽です。	男性	40歳代
・情報項目が整理されているため。	男性	60歳代
・わかりやすい。	女性	70歳以上
■ニッ河		
・解りやすい。	男性	70歳以上
・全国自治体の様子が動画で見れるのは良いです。	男性	70歳以上
・見にくくはない。こんなもんだろうと思っているので、見やすい方だと思う。	女性	60歳代
・前回と違って項目が見やすい。	女性	60歳代
・コロナ禍の時は、よくホームページを見て情報を得ていました。色々な、イベント情報も有り、広報と一緒に活用しています。	女性	60歳代
・スマホで検索しやすい。	女性	70歳以上
■垂見		
・以前のホームページより見やすくなったように思う。調べたいところがみつけやすく思う。	女性	30歳代
・写真がきれいでみやすく、興味が湧く。	女性	40歳代
・自分が見たい所がすぐに分かるため。	女性	60歳代
■垂見		
・今のままで大変良いです。	男性	70歳以上
・避難情報等の情報が早いから。	女性	40歳代
・文字が大きくなった気がします。文書も分かりやすいです。	女性	70歳以上
■わからない		
・利用者別・目的別に探せるので分かりやすい。ただ最初のホームへor観光案内のページが少し見にくい。折角のムツゴロウのキャラクターと文字が被っている。	女性	20歳代
・良いと思います。	女性	40歳代
・分かりやすかったから。	女性	50歳代
■（校区無回答）		
・いつでも見られる。ニュースが早く出る。	無回答	無回答
・写真や動画がふんだんに活用されている。	無回答	無回答
・柳川のその折々の状況をお知らせ頂いて興味深く、楽しく、拝見しています。	無回答	無回答
・各項目ごとにわかりやすく説明されています。	無回答	無回答

IV. 参考資料

(5) 新しくなったホームページが「見やすい」または「見にくい」理由 (問39)

主な記述内容	性別	年代
■Q38 3月に新しくなったホームページは「見にくい」と回答した人の意見		
■柳河		
・発信するのが遅い。もう少し、こまめに更新して欲しい。	男性	40歳代
・必要な情報のアップデートが遅い。	男性	60歳代
・他の地区では知りたい項目が多く表示されていました。	男性	60歳代
■城内		
・サイト内検索したら結果が少し分かりづらい。	男性	30歳代
■矢留		
・開いたら動画が流れており次に進むためにわざわざホームタップしないと次にいけない。最初からホームタップした状態の画面にした方が良いと思う。よろしくお願いします。	男性	20歳代
■東宮永		
・更新がおそい。調べたいものがヒットしない。	女性	40歳代
・知りたい情報が見つげにくくなった気がします。(下の方に行かなければ新着の情報が見れない等)	女性	50歳代
・例えば、コロナワクチン接種や、ゴミの回収など行くのに(HP)わかりにくい。	女性	60歳代
・新しくなる前の方が、細やかでわかりやすかったと思います。	女性	70歳以上
■両開		
・トップページをもっと分かりやすく。	男性	40歳代
・ログインして最初の画面で、柳川の行事がスライドショーで見られるのは素敵だが、ホームと観光向けのボタンが慣れない人には少しわかりにくいのではないかな。	女性	30歳代
・調べにくい。目的までたどり着きにくい。	女性	50歳代
■昭代第一		
・LINEの柳川市新着メッセージは開いて見るが、ホームページまで戻って見ることはしない。	女性	50歳代
■蒲池		
・WEB検索に旧ページのアドレスが残っていることがあり、「ページが見つかりません」と表示されガッカリします。またサイトはスマホ向け感があり、PCでの閲覧には違和感があります。	女性	30歳代
・全体的に一度で全部が見れないから。動画で動いているので1つずつページを開かないといけないから。画面が見にくい。	女性	60歳代
■有明		
・以前のもので慣れていたので、今後慣れていくので問題ないと思います。	男性	40歳代
■中島		
・子ども関係の情報を見ようと思った時に「このページはありません」などの表示が出るケースがありました。各媒体のQRコードのリンク付けがうまくいっていないものがある。	女性	30歳代
・見たい所を探すのに時間がかかる為。若い人ばかりよりも、中年の私達にもわかるように。	女性	60歳代
■六合		
・前の方がよかったかも。	男性	40歳代
■豊原		
・変わった時に見にくかったけど、いつか慣れるかなあと思いきやまだ見にくい。たぶん、写真やボタンのサイズ感がアンバランス。相当みにくいとずっと思っていました。	男性	40歳代
・サイトマップを見ないと、目的に達しづらい。	男性	50歳代
■藤吉		
・直接ホーム画面に行けるようにして欲しい。	男性	20歳代
・新着情報がすぐに見れるように「新着情報」はページの上において欲しい。	男性	20歳代
・スマホで見たとき、文字、MENUなど全体的に大きすぎる、「小」でも大きい。	女性	30歳代
・スマートフォンで見るとは以前より見やすくなりましたが、パソコンで見るとは以前より見にくくなりました。	女性	30歳代
・ホームページを見ても知りたい事が書いてない書いてあったとしても数年前の事で本年度の事はどこにも書いてない。	女性	60歳代

IV. 参考資料

(5) 新しくなったホームページが「見やすい」または「見にくい」理由（問39）

主な記述内容	性別	年代
■Q38 3月に新しくなったホームページは「見にくい」と回答した人の意見（つづき）		
■矢ヶ部		
・メニュー画面がわかりにくい。	男性	60歳代
■ニッ河		
・見たい内容がピンポイントででてこない。探しにくい。	男性	20歳代
・トップページの動画は、意図がわからないのですが、特にスマホでアクセスした時に、重いうえに、「トップページはどこ？」となってしまいます。	男性	30歳代
・古い情報のままとっているページは更新してほしいです。		
・トピックス ニュース等を最初に表示してほしい。	男性	50歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問 40）

問 40. 柳川市のまちづくりについて、ご意見等があればご自由にお書きください。

記述内容は以下の通り。

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見		
■柳河		
<ul style="list-style-type: none"> ・柳川の設備に市民は後回しを感じる。 ・身の回りを見て行動してほしい。 ・観光地はわかるが田舎の方にもっと人を行かせたほうがよい。 ・人口が減ってきているので、育児や給付金などを、人口が多くなるように考えてください。 ・市長、頭をつかってください。 	男性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・まず、若者がどんどん市を出ていくことについて。このままでは、高齢社会が進み、企業も少なく仕事がない。更に支払いが多すぎる。（市民税など）本当に良くない方向に向かっていると思います。国の問題でもありますが…危機感を持って少子高齢化対策をして欲しいです。もっとお金の潤うような町づくりをお願いしたい。又、イベント事は、全ての方が出店できるような内容であったり告知を出店者向けに大きくして頂きたいです。イベントも数を増やして欲しいです。 	男性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・箱物が多すぎ。 ・子供に対する支援が少ない。 ・道がせまいのに大型車の通行が多い。 ・細い道でも坂道となっている所の運転が荒いので子供が危ない。 ・グラウンドがない。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・市内が高齢者が多いがその対策がない。市の今後の目標や道筋が見えない。多くの市民の声を聞いてほしい。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・カラスの駆除対策が継続的に行っていただければと思います。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致 IT産業団地 20社 ・観光促進 年間200万人 ・少子化対策 政府の支援に市独自の対応 ・福祉充実 訪問看護やケアマネージャーの充実 	男性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けの対策が多いように感じるので、30～50代の働きざかりの者への過ごしやすいまちづくりをお願いしたい。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・この店でこんな物が食べられますよ、こんな物がありますよとめずらしい物も紹介してほしい。うなぎばかりでなく。 ・川の水がきたない。ゴミもたくさん浮いている。 ・道路は穴ぼこだらけ歩いていて足をくじきそうになった。 ・護岸工事の後コンクリートが傾き畑に隙間ある。以前言ったが以前からでしだと言われた。 ・家の前の道を車がスピードを上げて通行するため危険である。 ・大雨の時は必ず水が入る。 その位の対応が悪いし遅い。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前に今、川下り工事があっていますが本当に必要なんでしょうか。今、バスでの客が増えていますよね。それよりも柳川はいろんな所で大雨で道路が冠水しています。そう言う所をどうにかしてほしいです。毎年怖い思いをしていて、市民の税金を使っているなら、そんな所に使ってほしいです。自分も同じ体験しています。よろしくお願いします。 ※市民の為になるような使い方をして下さい。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・現在、ごみ袋（有料）が3タイプありますが、紙類を捨てる。紙袋がないので、作って欲しい。（家にある、紙袋を使って、捨てているが、いつも大きい紙袋がある訳ではないので、有料（格安で）でいいので作って欲しい。） 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・年金生活者への援助がほしい。生活するだけで病院へ行くのも控えています。 	女性	70歳以上

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■柳河		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校卒業後に柳川に住まわれる様な仕事がない為子供と一緒に生活している人が少ない。年をとったら行く場所が少ない為、今から閉校になる学校を年寄りの集いの場所として提供してほしいと思います。 	女性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・事故の多い所どうにかありませんか。 	女性	70歳以上
■城内		
<ul style="list-style-type: none"> ・歩道舗装、街路樹管理 <ul style="list-style-type: none"> ・石畳やレンガづくりの道がガタガタしていてとても通りにくい。 ・剪定が雑でかわいそう。駅前や大通りの木が形がそろい葉が繁れば街が立派に見える。福岡市内などの大通りはとてもかっこいい。→新しい施設や道路をつくるのもよいが今あるものの管理もしっかり行えば見栄えもいい街になる。（せっかく新築の家を建てても庭が荒れていたからかっこ悪いです） ・柳川市民向けの柳川広報教育、大河招致など市や関係者と市民との熱量の差を感じる。立花家についてよく知らない人が多いと思う。その他祭りイベント情報や特産品しかり。周りの友人知人に聞いてもよく知らないという声ばかり。外向けの広報は活動的だがそれと同じくらい内向けの広報も必要だと感じる。ブランディングをわかりやすく組み直し統一し、市民と、関係者が共通の価値共有ができれば外向けへのアピールへと自然とつながると思う。（立花宗茂、ぎん千代の肖像を市、観光協会、商工会などそれぞれ別のもので発信していてわかりにくい。要連携、統一。） 	男性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ゴミを外で燃やすことを市の条例で禁止してほしい。近所の住民がよく外で燃やしていてとても困っています。川下りしか柳川の観光資源がないのかもしれませんが、川下り運営会社のマナーがとても悪いです。指導、勧告して下さい。 	男性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・害鳥被害がひどく（道路等へのふん害がひどく）困っている。 	男性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ツルみそのライトアップは1年中していいのでは。御花周辺の年中ライトアップはとてもいい。 ・小学校の統廃合は地域の衰退に拍車をかけるので検討し直してほしい。将来、地元に戻る人や新しく移住する人が著しく減る。移住するのをやめるとい話も聞く。特に、柳河小・城内小（新興住宅も多めの東宮永も）の2つはそのままの方がいいと思う。 	男性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・生活の質を向上させることですから無駄を削り、その分、持続的に回収できる分野に投資することです。災害対策、維持、補修はもちろんのこと、人と人との距離を近づけること。道路と水路が多く、そこを通過するだけ、分断されるだけにしないこと。人が集まるところを点ではなく、なるだけ広めの面にして、つなげること。住と職の近さ、一次産業の後継者問題、企業や大学等の誘致、景観の美化（市内の掘割は虫が発生しうるような環境ではありません。ゴミの清掃で十分です。）若者の多いまちにするにはどうしたらいいかが解っていればいいんですが。駅から辻町あたりにかけて、特色のある若者の興味をひくお店をもっと増やして、つなげれば、面白いんじゃないかなと思っているんですが。等等、人が好きになれば、まちも好きになりますよ。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・放置した建物・土地が町内にあり、木や草が繁って困っています。私の家は直接的には関係ありませんが隣に接した方が悔やまれますので、出来るところは、私が行政区長の〇〇さんと一緒にすることもあります。持ち主に対して行政として、対策を考えていきたいと願っています。よろしく申し上げます。 	男性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・議員数の再検討 ・減少の推進 ・構成を全国にさがしげ検討推進 男女比 年齢構成 定年制 ・城堀の整備 	男性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・家の外でゴミを燃やすことは禁止されているのに、隣の家の人はよく燃やされています。近くの工場も毎日夕方頃に木を燃やしていて、黒い煙がもくもくと…毎日の事で、洗濯物にも臭いがつくし、頭痛までします。なんとか、改善していただけないでしょうか…工場への指導も含めて…。よろしく申し上げます。 	女性	40歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■城内		
<ul style="list-style-type: none"> ・子供が安全に安心して遊べる公園がほしい。増やして。 ・やぶ蚊が多いのを何とかして下さい。 ・水道料金が高いと思います。下水道代がかかる所、水道代の2倍かかると高すぎる、かからない所の差が分からない。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅街での野焼き・さくら猫のふん尿・小中学校敷地内（運動会など）での喫煙・立花宗茂について、市と市民の温度差 小さな事ですが…少しずつ解決していけば、住みよいまちづくりへとつながると思います。（上記は市外から来られた方が驚かれた項目です。） 	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・空地や空き家周りの草を何とかしてほしい。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・川下りで西鉄の所から、乗れるようにとの計画されている様ですがコースの検討行う必要があるのではと思います。川下りのコースにあたる場所景観が大事だと思います。四季を通し楽しめる、川下りを望みます。 ・柳川商店街をもう少し、きれいな街に、取りくんでほしい。今のままでは、御花のまわりだけで、又、訪れたいとは、思いません。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・沖端に食事をしに行った時、市の駐車場に止めました。1時間5分だったので500円、他に車1台も無かったです。観光に来られる人は少しでも安かったらもっと止めるのでは…と思った。 ・遊歩道の電気 遊歩道（1日中吉政公銅像から日吉神社まで）夜遅くは殆ど通らないと思うのである程度の時間が来たら切っても良いかも（朝も電気の必要性が無い）。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・柳川は城下町として発展し多くの文化財が残っているがどんどんくち果てようとしている。武家屋敷、庭園、墓など今、本気で守らないと大切な財産を失う事になる。 ・白秋ホールを白秋の聖地として全国の白秋愛好家に利用してもらおう取り組みをすべき（合唱、短歌、詩など）。 ・広報紙をもっと読みごたえの有るものにする。月2回から月1回になったが中身が貧弱、もっと他の自治体を見習うべき。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・観光、景観も大事ですが、住んでいる人が住みやすいと思えるまちづくりをしていただきたいと思います。 	女性	70歳以上
■矢留		
<ul style="list-style-type: none"> ・県外の方から柳川に遊びに来たが、ちょっと車を止めただけで、当たり前の料金（?円）を取られてしまった。気軽に楽しめない。と聞いたことがあり、残念に思いました。掘割をゆっくり楽しめるよう、駐車場料金を考えてほしいと思います。（ちょい止め駐車料金について） 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・広報やながわの発行は一回でも良いと思います。さらに内容が充実すればよいと思います。 ・土曜日の紙・プラの回収は以前の様に隔週を希望します。現在の紙が月一回だともし雨が降ったら来月まで出せませんので。 ・現在、沖端の川岸は柳が切られてありませんが切られた理由もわかりません。柳のある川岸に復活するのでしょうか。景観も考えましょう。 	女性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・川下りコースに橋をとび越える為の設置を撤去するという事を提示してありますがはつきりといつまでに撤去すると書いて頂きたいと思います。散歩していると気になります。よろしくお願ひします。とび越えは見ててはらはらします。 	女性	70歳以上
■東宮永		
<ul style="list-style-type: none"> ・遊園地・保育園等、補助を拡充してほしい。 	男性	20歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩圏内に子供向けの公園があると良い。廃れた神社とかは要りません。怖いですし。これまで北九州と大分県に住んだことがあります。柳川市は子育てにおいては今のところ最下位かなと思っています。大分にいる時、子育て支援としてゴミ袋の支給がありとても良かったと思っています（オムツ等沢山のゴミが出るので何枚あってもたすかります）。柳川市では出産祝いとしてCDをいただきましたが、正直聴かないです。もっと実用性のあるものだとうれしかったです。又、子ども医療費の助成を北九州の様に18歳までしてほしいです。頑張ってください。 	男性	30歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■東宮永		
<ul style="list-style-type: none"> ・大きな公園が子供の自転車で行ける所にほしい（できれば1周2kmぐらい）。 ・今回のウイルスで散歩、ストレッチ、運動の大事を知った。 ・あと大きな大衆食堂がほしい（一人暮らしの人々は華さん食堂みたいな所があったら助かる）。 	男性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・観光に力を入れている割には効果が得られていない。観光地としての魅力は感じない。（自分が行くとするなら選ばない）福祉への取り組みが遅れていると思う。行政として消極的。 	男性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・もっとカラス駆除をすべきである。観光客にもフン害の迷惑が及んでいる。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・柳川名物の川下りの川の水をキレイにすることに力をいれてほしい。 	男性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が多く、見るに忍びない有様である。空き家に移住者を呼びかける。 	男性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・沖端の掘割の周りの柳を切っただけで理由が分からない。→なぜそのまま残さなかったのか。柳並木に柳川の風情・情緒が感じられた。残念でならない。 ・問40の解答を市報などにのせてほしい。書いただけでは、どのように生かされているのか分からない。 	男性	無回答
<ul style="list-style-type: none"> ・掘割をきれいに。 ・もうすこしコミュニティバスの運行を良くして欲しい。又は増やしてほしい。 ・沖端のメインである柳を以前の様にするまでには、時間がかかると思います。柳が病気にしていたとしても全て切る事はなかったと思います。別のやり方を考えて欲しかった。西鉄側に川下りを持って来る意味ありますか。近くに川下り会社2社程あります。 ・柳川商店街の利用方法を考えて下さい。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・むつごろうランドが新しくなったが、日かげになる所や、座るイスが少ない。また、雨が降ったら足場がぬかるむので、木製チップを下にしくなどしたら良い。道がせまく、自転車に乗る人が多く、自動車が運転しにくい。川沿いに、ゴミを捨てる人がいる。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・大きな道路から入り込んだ田んぼ道や小さなクレークには、食品のからや飲料水の空等が多く捨てられています。多分、学生等の買い喰いの後だと思えます。時には違法となる物も捨てられている。（大人でしょう!!）小さい頃からゴミのポイすてはダメと親や学校は、教育して欲しい。子育て支援ばかりを要求しないでまずは、ちゃんとした人間を育てて欲しい。悪い事は悪い。迷惑をかけない。理解できる子供を育てて欲しい。学校内の活動に町の美化活動を取り入れてはいかがでしょうか。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりには、はずれる意見（要望）ですが…市営住宅の移転跡の空き家の草の処理ができていなく、22年度は、中央のみ草刈りされただけで①処理されてなく枯れ草が冬は、家の方へ飛んできて、ふきだまりになり少々無責任だと思っています。②中央のみだけだったので、周りの草はのびのびと成長していて、側溝の上まで伸びてしまっています。梅雨前には、毎年ある程度処理していただきたいです。お疲れ様です。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・市議会議員の数をまだ減らしてもいいと思う。お願いしても聞いてくれる方が少ない気がします。自分の都合で良い事だけを引き受けられるような気もします。住んでいる人の事、悩んでいることをもっとつきつめて、考えてくれる人が欲しいとも思います。 	女性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・今の柳川市では、若い人が住みたいと思うでしょうか。他の市を見ることも大事かな。 	女性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・水郷柳川の風情や快適さに共感し、人を惹きつけるまちづくり。 	女性	70歳以上
■両開		
<ul style="list-style-type: none"> ・各アンケート、箇所て記入していますので、検討を宜しくお願いします。良き故郷を継承する市民として。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと若者が、地元に残って、生活が出来る未来思考の町作りが必要。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・第3次の計画策定の際の重点目標には、第2次の4つの目標の中の2つ目の目標（若い世代が子育てや暮らしやすさを実感しながら、住み続ける…）を最重点目標とし、活動具体策まで、言及してほしい。 	男性	70歳以上

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■両開		
・ホームページの活用をするという事を目的としてあるが、高齢者にとっては、現実的には文書による案内を示してほしい。	男性	70歳以上
・要望書提出後の結果報告がほしい。	男性	70歳以上
・橋本のごみ焼却施設が建設され、便利になった面があれば、交通事故の増加や大気汚染（悪臭）、ハエ（虫）の発生など、負の面が必ずある。しかたのないことだが、負の面を最も影響を受ける現地住民（橋本、中六十丁、東六十丁の区長）をないがしろにして他の区長と市だけで勝手に決めてしまうやり方は、市民からの信用を失うと思う。そのやり方をよしとすれば、必ず弱者を切り捨てる未来になるし、今の日本政府（与党）と同じになり、市に良い未来は無いと思う。福岡県は自民・公明が圧倒的に強いので難しいかもしれないが、行政こそ弱者を切り捨てない運営をしてほしい。	女性	30歳代
・高齢者にやさしいまちづくりを進めてほしい。	女性	40歳代
・若者が少ないのに運動会、敬老会と世話をする方がいないのに行事が多く、一人ぐらしの高齢者が多い、周りにスーパーもなく足もなくコミュニティバスも途中まで。すみずみまで来ないし、買い物出来ず、集中するのはモールの近くとかで学校も統合し不便、子供が大変。免許も返納できずのろのろ運転で買い物する高齢者、怖い。私も先が不安。空き家も周りに多く、台風とか来ると何が飛んでくるか。	女性	50歳代
・観光・観光ばかりのような気がしますので、柳川市全体（すみずみまで）が活性化するような政策、そのような町づくりを望みます。観光地から離れたところにも目を向けてもらいたいと思います。	女性	50歳代
・高齢者が今後増えていくのと同時に元気な高齢者も多くなっていくと考えられる。元気を保つためにも行動の為に交通機関や運動施設、学びの場、働く場所を整えてほしい。特に高齢者ドライバーを減らす為に公共交通機関の整備は急務だと考える。	女性	60歳代
■昭代第一		
・室内であそべる場所がほしい。 ・スポーツができる運動公園が柳川市はないので運動公園をつくってほしい。 ・お年寄りの意見ではなく若い世代の声を聞いてほしい。 ・若い世代からしたら柳川市の良いところがみあたらない。 ・魅力が何一つない（ドックランもない）。	男性	20歳代
・人口減少の未来が見通しできる為、子育ての充実、企業の雇用の充実、etc課題はいろいろあると思います。我が家の3人の子供達も、柳川には何も無いと言って県外で生活しております。初老生活が始まりかけるこの頃は、福祉の事も気になります。サラリーマン生活も終わろうとしているので、一回も税金を納めない事もなく、駅付近の観光開発はどうかの気になります。有意義な税金の活用をして欲しい。	男性	60歳代
・道路補修について ・アスファルトを途中までしかしないため、雑草が繁り道幅が狭くなり支障が出る。 ・堀の護岸を途中までしかコンクリートで固めないで雑草だらけである。 ・道路の補修が遅い。 ・その他 ・市の中心部がシャッター商店街というのは、大変残念。 ・公害のない優良な企業を誘致すべき。 ・柳川市の目玉となるのが川下りだけというのでは、発展性がない。 ・観光も中途半端だし、将来の柳川をどういう柳川にしたいのか、見えてこない。	男性	60歳代
・議員や役所の人間が多すぎる。	男性	70歳以上
・高齢者になっても移動しやすい町づくりして下さい。具体的にはコミュニティバス便数多くして下さい。新しい市民会館できたので、文化、芸術の公演多くして下さい。遠くに行かなくても良いように。	男性	70歳以上
・産直市場があれば、掘割沿の洗濯物が見えないように。	男性	70歳以上

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■昭代第一		
・多くの市町村では不燃物用のごみ袋があります。（缶・ビン・燃えない物）柳川市では不燃物のごみを公民館に出しに行ったり、そのため朝に当番が回って来たりします。今後も続けていると他県や他の市町村の方、若者は柳川市に住みたいと思わないと感じます。他の市町村のごみ出し方法を確認されてはいかがでしょうか。	女性	20歳代
・駅は新しくなったが、ロータリーが不便。特に西側。柳川は車社会なので送迎が多く、とめるところがない。バスの運行が少ないのであれば、そういうところを考えて欲しい。掘割を大事にするのであれば、まわりの看板や、景観なども統一できるような感じにしないと、ど派手な看板が目立ち、風情がないように思います。	女性	40歳代
・宗茂と閻千代の大河ドラマは、いいかげんにあきらめて、他の事に力を注いだ方がいいと思う。	女性	50歳代
・柳川市は自然豊かな町でもあるので、道の駅を作って農産物や海の幸などの販売イベントをしたらどうだろうか。 ・高齢者がもっと元気になれるよう。気軽に行けるイベントを計画して欲しい。 ・地域にある施設（たとえばアクセスジャパン）を柳川市民は割安で利用できるようにしてほしい。	女性	50歳代
・生活排水（洗濯・台所など）を、堀に直接流している家があります。改善してほしいです。 ・コロナ禍の時、10万円給付金を早く配布して下さい、ありがとうございました。	女性	50歳代
・柳川市の発展にも、地域差が見られ、私の住んでいる昭代地区は一向に良くなりません。相変わらず、道幅はせまく、くねくね道で車の離合もままなりません。やはり、改善は難しいですかね…。	女性	60歳代
・アンケートの内容がわかりづらい。もう少し市内の状況等市が把握しておくべき。	女性	60歳代
・火災報知器の設置の大切さや年齢を重ねる事による、コミュニティバスの利用の大切さを感じる時に、そばに寄り添って頂ければ、本当に有りがたいと思います。生ゴミ処理機も又、手配して、割安に購入出来れば利用させて頂きます。柳川市のホームページも、今後良く見て、"柳川"を知りたいと思います。今後共、宜しくお願い致します。	女性	70歳以上
・柳川駅前の工事とか、沖端の掘割の工事とか、本当に必要か疑問に思います。	女性	70歳以上
・沖端の柳の木を切ってしまったのでガランとして情緒がなくなり非常に残念である。 ・柳川市民会館でたくさんイベントをしてほしい。柳川藩札で使える（食事）処が少ないと思う。行きたい店は結局現金でした。	答えたくない	50歳代
■昭代第二		
・市の配布物が多い（市報等）。 ・各家への配布が面倒。	男性	40歳代
・「川下り」の名称を変えてはどうですか。川ではないでしょう。「掘割巡り」とか。 ・10年ほど前に小説を読んで立花宗茂のすごさを知りました。小中学の頃に知ってればよかったと思いました。今では、副読本等で子供たちにもなじみがあると思います。 ・20代の頃、初めて倉敷美観地区を訪れた時、柳川沖端地区みたいだと感じた。向こうが洗練された町だった。決して負けないとも思いました。あの地区を大切に有効的に使って下さい。	男性	60歳代
・柳川駅を中心に福岡市のベッドタウン化電車のスピードアップ通勤の利便性子育ての充実化保育所増子供手当増。	男性	70歳以上
・川下りコースの川面に浮かんでいるごみなど毎日業者の交代制で簡単な清掃をしたが良い。川下りをされる観光客に不快さを与えてしまう。 ・駅前開発だけ目立って、中心部より離れた旧3町の様子の整備の遅れが目立つと思います。	男性	70歳以上
・宝のもちぐされ、もっとポテンシャルを活かして、観光の町としてのレベルアップを図るべき。	女性	40歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■昭代第二		
・沖端の道。車で通るとガタガタです。柳の木も切断され、整備されると思ってはいますが歩きやすく、フラットにしていただきたい。観光地整備は、大切ではありますが、市民生活も優先して整備して頂くようにお願いします。最近、空き家が増えたように感じます。放置されている家もあるようです。何か対策を検討されているのでしょうか。	女性	50歳代
・沖端の柳が全部切られていてびっくりした。	女性	50歳代
・柳川駅前に工事中の掘割は不要。商店街の利用を他県みたいに若い子や観光客が訪れやすいように映えスポットを増やす工夫をすればまだ栄えるのではないのでしょうか。	女性	50歳代
・カラスがゴミ回収前にゴミ袋を荒らすので家の前に鉄製のゴミ置きを購入したのですが市からの補助金とかあれば良いのではと思います。	女性	60歳代
・市議員さんはもっと減らせないのですか。 ・市の職員も減らせないのですか。みなさんが、仕事しているように見えません。 ・市役所についても何をされているのかわからない人もいます。 ・減給してもいいではありませんか。	女性	60歳代
・空き家放置が気になります（周辺住宅への影響 {台風の時、諸動物の棲みつき} 景観）。犬のフン（田んぼのあぜ道に、大・小のフンがそのまま放置。犬は血統書付でしょうが飼い主はマナーの悪い方が多い。）	女性	60歳代
・掘割や、柳川の町おこし等、努力されていると思います。 ・コミュニティバスの時刻表を市報に入れていただくと助かると思ったりします。 ・現在は、車を運転していますが、利用したいと思う時もあったりします。（出来ればで良いです。） ・高齢になってきますと、保健センター等、出かけると良いとは思いますが、機会がなかなかなく、色々な取り組みをされている様ですが、浸透していない様に思います。	女性	70歳以上
■蒲池		
・観光ばかり力を入れすぎている。自分の地区は全く関係ない。もっと企業の誘致や、観光以外の事も考えてほしい。川下りやうなぎだけしかない。	男性	40歳代
・住民税が高い。 ・本当に無作為であるのか不安（前回も記入した） ・もっと住みやすい柳川市を目指してほしい。 ・市役所職員の対応が悪い。 ・次の市民アンケートは提出しません。	男性	50歳代
・フレンドリーなまちづくり・単純に明るくて、きれいなまちづくり・住みたいと思えるまちづくりを希望します。	男性	50歳代
・空き家 取りこわしの推進。 ・市道の拡張→歩道の設置の推進。 ・河川や掘割の雑草対策。	男性	60歳代
・川下りコースの景観が物足りない（柳）。 ・ゴミ袋が高い（枚数をもう少し多めにしてほしい）。	男性	60歳代
・水郷柳川であるので、堀全体を管理してきれいにする。 ・城下町として柳川城の再建してほしい。	男性	60歳代
・税金が高すぎる。いずれは柳川市を出たい。市議会議員をもっと減らすべき。人口は少なくなっているのにムダな道路を造り過ぎ。それに箱物も。どんどん企業の誘致を進めてほしい。	男性	60歳代
・むつごろうランドの遊具施設みたいなのを市内に後2件位作ってもらいたい。中山公園や、JR柳川の跡地とか。	男性	70歳以上

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■蒲池		
<ul style="list-style-type: none"> ・観光ばかりではなくて、新しい時代（時代の変化）を先取りした新しい町づくりを研究して欲しい。（古い） ・商店街がさびれ、「おもてなし」の前に町の印象も悪く、駐車場や道路の整備を含めて街並みを美しく整えて欲しい。（柳川駅前まで川を引き込んだところで、大きな効果は得られない。） ・「柳川に是非行ってみたい」と思う程の魅力が無く（観光以外に…）、特に若い人をどんどん呼び込むような思い切った大改革を行うべきではないか。 キーワード…「新しさへの変化」 ・企業誘致を是非やって欲しい。 	男性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・柳川市は中途半端な町だと思います。まず、金に掛け方が無駄遣いが多すぎると思います。柳川は日本中でも有名な町ですが商店街はシャッター街になり、観光の町だというのに柳川をアピールする度合いが薄い、今の柳川を観光した人で又柳川に来たという人がどれだけいるだろうか？川下りにしてもしかり市の観光課の人達は何を考えて仕事をしているのか市民会館は収容人数も中途半端の代表だと思う。市民競技場を造るなら公式な競技が出来る広さに造るべきだ。公園はどうせ金を掛けて造るなら柳川の中心地近くに造って欲しかった。競艇学校は日本に一箇所しかない学校ならそれを生かす何か考えて1例として競艇場を造るとか。まだまだ沢山有るが、市民が意見を出し合える場所を設けて下さい。 	男性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・掘割の水質やゴミ、臭いなどをよく目にします。そうじなど出来ることのよびかけをしていただきたいです。12時、17時になるチャイム音をサイレンから音楽に変えてほしいです。来た当初はすごく怖いと思っていました。18時のような音楽がとてもいいと思いました。 	女性	20歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくり」というかは分かりませんが、子育て中なので、学童保育所の充実を期待します。と言っても現行の人員体制では限界があると思われますので、何か抜本的な対策が必要なのではと考えます。学童を実質利用不可となる4年生以上の児童の居場所も、考えるべき大きな課題だと思います。特に夏休みを控えた今、頭をかかえている親御さんはたくさんいると思われます。柳川市でも、少子化はきっと止まらないので、せめて今、市内で子育てをしている親御さんや、その子どもたちが明るい展望を持って毎日を過ごせる自治体となってほしいと願います。 	女性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・市民を始め、市外、県外の人々から魅力あるまちと思われるようなまちづくりをして欲しい。多くの人が市内を訪れて長時間（長期間）滞在する為には、大型ショッピングセンターなどの買い物できる魅力的な店舗があることかなと思います。実際若者たちは、遊びや買い物するために市外へ出かけないと楽しめていない。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・あちこちでゴミ（紙くず）や草を燃やしている方がとても多い。風に乗って洗濯物に、においが移り毎回とても困っています。ナイロンなどを燃やしてあるので、害のある空気を吸っています。本当に良いまちづくりなら、ごみは燃やさないと条例で決めて頂きたいです。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・”景観”は住民にとっても、来訪者にとってもとても大事だと思います。住みたい、訪れたいと思えるような場所…子どももお年寄も滞在したくなるような施設、公園があれば素敵だと思います。ニューヨークのセントラルパーク、ロンドンのハイドパーク、吉野ヶ里公園、大濠公園etc…とまでは言いませんが、季節の移り変わりが味わえウォーキング、ランニング、散歩ができて、カフェもあっていざとなれば避難所ともなり得るような大型公園（商業も伴うような）と川下り（だけではこの先厳しいでしょう！？）…いかがでしょうか。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・公園や道路の整備にも力を入れて下さい。（観光だけでなく）街灯が少なく暗い場所もたくさんありますので、防犯の為、住みやすい環境に整えてほしい。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・人権を大切にしながら人と人との触れ合いがある。住みよいまちづくりができたと思います。清掃が行き届いた緑と花いっぱい明るいまちであって欲しいです。 	女性	40歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■蒲池		
・ゴミをカラスが荒らすので、ゴミ収集の時間を夜にするなど市の方で対策を考えて欲しいです。	女性	50歳代
・蓄電器、EV自動車、（購入時）補助金を検討してほしいです。太陽光発電システム1kwあたり2万円上限8万円は、もう古いと思う。自動車踏み間違えの装置後付けの補助金等も必要だと思う。竹や木等をクリーンセンターに持ち込むとお金がかかるので有効活用できる無煙炭化器など設置して欲しい。これも個人宅だと補助金があれば再利用できる。	女性	50歳代
・観光のみに力を入れている。（郊外の人には無関係） ・魅力的なアイデアを取り入れてイベントを企画する。 ・（補足）先日、TVで「川下りでスイーツを食べよう」企画（ケンコバさん出演）を見ました。柳川とミスマッチな感じがおもしろかったです。	女性	50歳代
・新しく建築・建造物を造るより、今ある物のメンテナンスと人にお金をかけて下さい。人口が減っていく中、大きな建造物は不要です。	女性	50歳代
・公共事業が行われておりますが、本当に市民からの要望があったのでしょうか。税金を（国や県に）事業費用が出ているそうですが、市民目線になっているのかと考えます。若い方の職場が少ない為子供達は柳川市から出ていく事になります。企業誘致など工業団地（用地開拓）等もお願いしたい。図書館等の利用人数を知りたい。武雄図書館のような大きな図書館がほしいと思います。	女性	50歳代
・商店街を明るくしてください。シャッターを開ける 又スプレーアート。	女性	60歳代
・柳川駅周辺の景観をよくして、観光客の集客が期待できるのか疑問。税金を使ってるのだから、景観だけでなく、おもてなしの人づくり、サービス面にも力を入れて欲しい。柳川市の発展を願っている。	女性	60歳代
・柳川駅から川下りをする話しを聞き利用する人はいるのかなと思う。柳川駅の回りの活性化が必要ではないかと。	女性	60歳代
・燃やすすかないゴミ袋の大きさを45ℓにしてもらいたいです。柳川駅前の川下りコースが早くできるのが楽しみです。	女性	60歳代
・粗大ゴミの出し方がわかりづらい。	女性	60歳代
・以前は市民健診健診が近く（コミセン）で受けられたが、遠方になったので行けていない。暑い時期なので（雨の時等）歩いて行けたり、自転車で行ける場所にして欲しい。水分の溜まったゴミ袋を見かけるが以前住んでいた広島のごみの分別を参考にすれば？人口が少ないので可能と思いますが。ゴミ袋は紙です。	女性	70歳以上
・柳川川下りを知っている人は多いと思います。私自身、観光ガイドをしている関係で他県の方が柳川は大変好きと言われます。もっと多くの人に柳川を訪れてほしいと思います。電車等も特急停車駅なのでアクセスもいいと思いますので高齢の方等も多く来れる様な柳川の町づくりに頑張ってもらいたいです。	女性	70歳以上
・これから高齢者が増えるので、高齢者に優しい市になってほしいです。安心して年がとれるようにお願いします。車がなくても生活できるように交通の便をよりよくしてほしいです。	答えたくない	30歳代
■血垣		
・空き家を整備し購入しやすいようにして柳川市の人口を増加出来たらと思っています。	男性	60歳代
・市民プールがなくなったので変わりの運動できたりする所をつくってほしい。	女性	20歳代
・結婚しない人が増えているので未婚を減らして活性化してください。独身が多くなり、色々な役が子持ち世帯へのしかかっている。独身の方は、あまり出事（でごと）に参加しない？	女性	40歳代
・まちづくりにはあまり関係ないかもしれませんが、今年1月に引越して来て、柳川（大和町）には、病院が少ないので、不便だと思っています。耳鼻科、皮フ科、眼科が特にないので困ります。親も一人で生活して、免許を返納したあと、買い物や病院へ行くのに困っています。子供達の遊び場も大事ですが、これだけ高齢化が進むと50年代の私も健康を維持できる様考えて頂きたいなと思います。	女性	50歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■皿垣		
<ul style="list-style-type: none"> ・5月に叔母と姉と三人で御花やその近くを散策しました。近くにトイレがなくて困りました。観光協会にトイレがありますと言われましたが、すごく遠いです。叔母は85才、姉は78才ですのですごく困りました。なので、パティスリーさくらでケーキタイムしてトイレすませました。近くで使えるようにトイレを設置してください。よろしくお願いします。御花の中は、見学したことがありますので。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページはスマホを持っていない高齢者はわかりません。高齢者にも心配りをお願いします。水の都の駐車場がいつも満車で温泉に行っても困っています。 	女性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・柳川市は川下りがメインの観光だと思いますが、それだけではなくて他にも人々が集まって来る様な仕事場があればと思います。 	女性	70歳以上
■有明		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編に伴って通学路も新しく変わってくると思うので、通学路の安全確保をお願いしたいです。（子供110番の家や、横断歩道や標識、信号機の整備等） 	男性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・日本全国の問題と思いますが、若い世代が定着しやすい。環境づくりが必要です。どうしても都市部への流出がでますので、大学卒業後就職できるような環境、その後の結婚～子育てしやすい環境必要だと思いますが、難しいですね。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・川下りコースの徹底的清掃が必要。現状の汚さでは恥ずかしくて遠くの友人知人を呼べない。 ・市議の定員が多すぎる。半数で良いと思える。現在の市議について在籍年数とその間に議会で質問や提案をした回数を公表してもらいたい。柳川をよりよくする意欲があれば毎回質問がある等、何もせず賛成だけの議員はいらない。即時辞めてもらいたい。 	男性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で生えてくる雑草の処理方法（肥料や土に返す）などの情報が欲しい。又、軽トラックの貸し出しを有料（1時間1000円くらい）でもいいのでしてほしい。あと柳川市も高齢化になってきているので、高齢者の認知予防や筋肉トレーニングなどに力をいれてほしい。財源が乏しいので、高齢者や軽い認知症でも、社会貢献できるような取りくみをしてほしい。 	女性	50歳代
■中島		
<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致を積極的にしてほしい。市街地中心の行政になっているように思える。公園を設置（子育て・子供の遊び場）柳川、三橋、大和地区に設置。大和、三橋地区にも力を入れてほしい。 	男性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・中島校区が悲しいです。何の魅力もないのかなぁ。朝市も残念です。金子市長期待します。 	男性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化を学ぶ機会がなく、親から子へ伝えていくことが難しい。市の歴史館へ出かけるきっかけが何かあればと思います。 ・2つ目の子育てや暮らしやすさとは地域の格差がとても大きいです。柳川中心地と中島地区では学童の数や教育の場が少ないです。乳幼児期、就学前の幼児期、小学生の放課後の見守りの場と幅広く対応してくれるサービスを検討してほしいです。民間へ任せて広めてほしいものです。 ・3つ目の柳のよき所は観光向けだけでなく地元民が地元民のために楽しくすごせたり、癒されたりしたいものです。 ・4つ目の地域で働くことは、他の地域で成功しているモデル事業や柳がモデルとなるような取り組みを行ってほしいです。私たちではなく次世代の子たちへ残して行ってあげたいと思います。 	女性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・市は何がしたいのかわからない。若い子たちの働き口もない。柳川駅前の工事もムダ金の使いすぎ。 	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・柳川市の職員の皆様が、美しく安全・安心の町作りに取り組んで下さり、大変有り難く思います。本当にありがとうございます。 	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・何が最優先にやるべき事なのか、決定して、計画をたて実行する。 	女性	60歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■中島		
<ul style="list-style-type: none"> ・沖端地区をよく通ります。柳の木が切られて残念です。観光客がもどってきています。平日でもたくさんの人を見かけます。でも、観光客はあそこで何をやるんだろう、と悲しくなります。せっかく来てくれるのに、うなぎ屋さん以外は何もありません。どうにかできないでしょうか？車の一方通行にはなっていますが、進入禁止にしたら、散策している人たちにとっても安全です。迂回すれば良いことなので、困る人は少ないと思います。（私は車で رفتったり、来たしていますが……。） 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすいまちづくり他市の人は、一回柳川観光すれば良い。次は行かなくて良い様な所と言われました。季節を通して楽しめる観光地だと良いと思う、各季節を楽しめる自然や食べ物があると。又、訪れたいと思う。 ・カルチャーセンターがない。講座があってもいつも同じ教室・講師。 ・他市から移住した人にやさしい町であってほしい。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・川下りは、観光客を集めるのには大変いいと思いますが、それ以外に魅力を感じません。その為よその市へ行くことが多いです。駐車場も広く、道の駅も大きくし野菜・果物・花・のりなど新鮮で、値段が安いなど、魅力のある、柳川市を作っていったほうがいいと思います。人気のある道の駅などを市の方が見学してみたいかですか。私達もわざわざ遠くまで行かなくてすみます。（柳川の道の駅は、駐車場がせまいので満車の時はあきらめて入りません） 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・柳川駅前周辺の美化はわかります。柳川の顔だから。でも大和町の方へも目を向けてほしいと思います。道路・歩道の整備。いちよう並木の根元などの美化。植えたままでの現在です。後を考えてほしい。ボランティアでしている者の事を考えて。犬などのフンも片付けています。市役所が今のままでは…私達もボランティアが何年できるか心配です。 	女性	70歳以上
■六合		
<ul style="list-style-type: none"> ・消防庁倉屋上などにライブカメラを設置してほしい。それを市ホームページから見れるようにする。天候や道路状況もすぐ分かるから。 	男性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・西鉄柳川駅に造った船着場は、本当に必要だったのか、疑問が残ります。歩いて、散策するので地域にとって良いのでは。市民税等の未来のため活かして下さい。小中学校の、跡地利用も、建設的議論を。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の避難場所では避難にならない。安心できる避難場所があればいい。 ・運動公園・散歩できる公園がほしい。 ・町内放送ができる様にしてほしい。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・財政が苦しいのに箱物を作りすぎ。このつけは誰が払うのか、長期政権は良くない、まるで国と同じ、もう交代する必要有り。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ袋が小さい。もう少し大きくしてほしい。 ・塩塚駅前の道がせまい。 ・子供の集回検診を午前中にしてほしい。（昼過ぎはおひるねの時間とかぶり、（"せ"る事が多い））。 	女性	20歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・6/26掲載があった非課税世帯に対する給付金ですが、事業を営んでいる方、個人事業主など電気を使う事は多いと思います。そんな方々にも、給付金があると大変助かると思います。それと、世帯分離されている人は、（同じ住居に住んでいる）電気代を支払うのは、働いて課税されている人で、実際支払っていない非課税の人が給付金をもらっているのも現状です。特に、仲の悪い同居家族では、問題になっています。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・観光に力を入れることは重要であると思うが、市民の生活がより豊かになるような政策を考えてほしい。生産者と消費者を結ぶ取り組み。 ・学校給食無償化（地域の食材利用）。 ・生ゴミ分別→生ゴミ→飼料・肥料→農産物生産に活かす。 ・循環型のまちづくり。 ・高齢者の活動の場、働く場所の保障 合併後の小学校を有効活用。 	女性	40歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■六合		
・安心して暮らせる柳川市にしてほしい。	女性	40歳代
・箱物の建物を建てるのはどうかと思う。（管理等にお金がある為）柳川市の人口は年々減少中。若い人への（新婚）等へのいろんな補助金等を考えてもらえるとうれしいです。	女性	50歳代
・観光事業にばかりとりくんでいる様に感じます。今はマイカーを利用しているが免許証を返納してからの事を考えると心配です。よろしく申し上げます。	女性	70歳以上
・矢部川の堤防の事です市の方と国交省の草刈りですがどうして一度にしないのですか。片方が早くしているので次にする時は堤防の上は草がのびてしまいます。せっかく草を刈り取っているのにみやま市の様にきれいにできないですか。	女性	70歳以上
・観光情報が、市内観光地ばかり（従来の所ばかり）新しいスポットになる様な所を発掘してはどうか。（干拓の夕日）（お堀のバスフリ）（ランニングコース） ・子供達（子育て）しやすい環境（行政のバックアップ） ・文化芸術活動も盛んな地区又は個人へのバックアップをお願いしたい。	男性	50歳代
■大和		
・中学校の部活動の帰りが遅い。せめて、7時（19時）までには、帰宅できる様にして頂きたい。※課が違いますけど、これを機に保護者の声を伝えて頂きたいです。女子の親は特に心配します。	女性	40歳代
・余計な所にお金かけず、街灯がない所への設置やら 道が狭い所、舗装が悪い所etc 整備してほしい。無断駐車している人は同じ人なのでどうかしてほしい。車イスの人をよくセブン（コンビニ）etc みかけるのでお互い声かけが出来るように言葉かけ。コンビニetc は、車イスの方が届くように目線に必要な物を並べるとかが必要。	女性	50歳代
・憩いの場所作ってほしい…気軽に行ける所。	女性	70歳以上
■豊原		
・将来象や目標は大変？すばらしいのだと思います。が、それを実践する階段がうまくできていないように思います。頭が良くて市役所職員になられたんだと思いますので、その頭の良さを活用して、目標実現のためにどうすればいいのか。責任逃れのハードルを設けるだけじゃなく。思い切ってやれよー！ってしがらない個人事業主は、最近よく思います。	男性	40歳代
・京町通りなど歩道がない所は、つくった方が良くと思う。観光客が多い時、学生も多いので車を運転している時、危ういと思う時がある。 ・柳川市内観光循環バスを導入など検討しても良いと思う。 ・「立花宗茂」「闇千代」知らない人が多いと思うので、説明してある看板やモニターなど自然に人が集まる所、例えば柳川ショッピングモールや夢モール柳川等に設置してはどうか。 ・川下りにトイレ休憩がなかったら、あるようにしてほしい。年取ったらトイレ近くなるし、水分保給も考えてしまう。	男性	40歳代
・ゴミ出しの分別が面倒。	男性	60歳代
・まちづくりの定義が多すぎて困る。	男性	60歳代
・他の市に比べて、柳川はいろいろな面において、おくれたと思う。 ・これといった特色が少ない昔ながらの川下りとうなぎめし 今回オープンしたむつごろうランドはいいと思う。暑い夏は無理、木かげが少ない。	男性	60歳代
・川下り、うなぎだけで柳川は、活性化しますか。ホテルや飲食店はふやす必要はないのですか。うなぎを食べたくない人はどうするのですか。元のカンポ以外にホテルは無いですよね。遊びに来た人たちはビジホテルに泊まるんですか。泊めるんですか。	女性	40歳代
・子供の遊べる公園がほしい。（むつごろうランドみたいに大きくなくてもいいので）これからの季節だったら、小さな子供が遊べる水遊び場とか。 ・LINEで柳川市の情報をチェックしているが、必要な情報（私の場合であれば子育てのイベント情報等）を選択してLINE上にupしてくれると嬉しい。 ・柳川市の子供で良かった！柳川市で子育てしたい！と思えるサービス？	女性	40歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■豊原		
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の統廃合が地域の活気を減らすことにならなければよいと思います。 ・子どもたちの住みよい街になるように、子育てしやすい街はもちろんのこと、大人の仕事がある街、お年寄にとっても生きがいのある街（ボランティアや趣味などの場がある）になってほしいと思います。 	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・田植え前の時期にトラクターで田起こし後、アスファルトへ魂の土が、たくさん残っていても、トラクターの運転手は、掃除されない。非常に迷惑しているので、トラクターの運転手に罰金を課したらどうかと思う。キレイにされている農道も有る為、JAから指導が行き届いてない場所があるのでは。水郷柳川付近地域ですが、川下りクリーク等の水が濁り、ゴミが浮いている。昼の川下り船で川の中が汚ければ2度と行かないと思います。観光を今後若者目線で考えた方がよいと思います。産業という産業が無い上、少子化の時代、工事誘致を行い雇用を発生させる事が必要では。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹や、公園など、街全体が、きれいに都会的にステキになったらと思う。田んぼや掘割等、自然も美しく見えたらと思う。全国にも名が通っている”柳川”の街に見合うような、観光できる場所を楽しみ、また来たいと思えるよう、整えてもらいたい。若い人が、住みたいと思う街を見指して、子育てができる環境も必要。とにかく、どこを見ても、きれいな街へ。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通について；現在はまだ運転ができるので利用していませんが、近い将来は利用しなければならなくなると思います。 ・景観について；掘割だけではなく、道路脇、公有地等草だらけの所が多くあります。 ・環境衛生について；燃やすしかないゴミを個人で燃やしている人が多いです。（決まった人）迷惑していますので行政として止めさせる方法はありませんか。；農道の廻に釣糸弁当の空袋、ペットボトルなどのポイ捨てが目立ちます。（バス釣りの人ではないかと思います。） 観光対策だけではなく地域全体の環境対策をして欲しいです。 	女性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・子供が遊べる公園が少ないと思います。（家の回りで遊ぶとうるさいと苦情が出る。） 	女性	70歳以上
■藤吉		
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前の”すぐに川下りに乗船できるようにする計画”はなんだかもったいない。風情がない気がする昔ながらの景観も保ってほしい。立花通り～京町通りにかけて、自転車で走行しにくい。柳川藩payや札、やなぼのシステムが、ありがたいです。生活の負担軽減になっています。 	男性	20歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺に市の施設を何かしら作ってくれと助かる。（市の施設が散らばっていて不便に感じる。） ・福岡市から片道1時間で通勤・通学できるところを積極的に売り出したら良いのではないか。（人口施策に関しての意見）〈テレワークできる拠点を作るなど〉 ・（西鉄電車について）平日の午前7時台の急行を1便増便するよう意見して欲しい。 	男性	20歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・支払関係をコンビニ払いとQR決済対応の幅を広げて欲しい。（特に自動車税を払う手紙が来るのが早くはなかったが、もうちょっと早く来て欲しい。1～9日頃に来てほしい。 	男性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・水路が多いが、ガードレールなどで守られてない場所が多い。子供を持つ親として、少しでも危険を減らして欲しい。市に意見を自治会長を通じて出しても対応してくれない。あと、釣り人が勝手に入ってくるのもどうかして欲しい。何か条例などで取り締まるべきだと思う。 	男性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・人が来る柳川にしてもらいたい。 	男性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の誰でも気軽に参加出来るイベント スポーツ大会など開催してほしい。子供向けの室内遊びの場を増やして欲しい。子供一人一人が輝ける町にしてほしい。 	男性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・大型商業施設誘致を。 ・スタバ・ケンタッキーetcファストフード店が少ない。 ・福岡方面 高速バスの乗り入れ（駅） ・マンション建設 人口増加？ 	男性	40歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■藤吉		
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用の推進（レーン、自転車道の整備）⇒健康増進、CO2削減 ・一部堀割の水質改善（水泳可能レベル、矢留小学校付近で泳いでいる古い写真を見て再現できないかと思ひまして） ・うなぎパイを上回るうなぎ商品の開発 ・ソーラーシェアリングの推進 ・有明海漁業研究の推進 …を期待します。 	男性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・川掃除で川をきれいに道路等のごみ拾い。 	男性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致が少ないと思う。 ・市が盛り上がるイベントがもう一歩物足りない（おにぎえ、白秋祭、さげもん） ・オスプレ通過反対（運動団体）印象悪い。沖縄辺野古、ウクライナ戦争を考えるとやむなしでは国連が機能すれば別であるが。 	男性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・合併前の、柳川市、三橋町、大和町の分け方や運営が今でも残っていて、効率や現在の柳川市全体をとらえて考えるやり方が乏しいように見える。早期の一体化と全体最適の考え方の採用を望む。 ・人口が急減する状況で、早期にコンパクトシティーなどの市の将来設計を考える必要があると思うが、検討状況等が見えない。 ・農(林)水産業や観光業といった強みをさらに生かすことが大事と思うが、これらのさらなる活性化に注力すべきと考える。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・柳川市に住んで50年以上になりますが、以前に比べ時代は変化して文明の発展はありますが、活気がない様な感じがします。要因は若い人達が柳川を離れ進学就職され、地元に残らず親元を離れていっていることにある様に思ひます。その結果高齢者だけが増え、独居老人の増加になっている様に思ひます。柳川市＝観光ですがもっと企業と市民がつながる様な若い人達が地元で就職出来る様な市になってほしいと思ひます。都会が給料が高く、休暇も多いと言ひますが地元企業に支援して若い人達の人材育成を地元柳川市でおこなってほしいと思ひます。もっと、活気のある思いやりがあつて優しい柳川市になるよう期待します。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の駐車を考えて。一商店街の活性化は大切と思う。観光地としての駐車場少ない。柳川のグルメ増やして。干拓地の利用を考えて。 	男性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・柳川商店街の歩道が狭く危ないので、もう少し広くしてほしい。観光客の皆さんも通りづらいそうです。 ・もっと公園を作ってほしい。近くに遊びに行ける公園がない。 	女性	20歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・17時の空襲警報のようなサイレンを18時のような音楽にして欲しいです。毎日ストレスを感じます。赤ちゃんも起きてしまつて困ります。 	女性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・遊具がある公園をもつと作ってほしい。3才以上の医療費をもつと少し安くしてほしい。 	女性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住みよいまちづくりは理解できるけど、もう少し、若者の永住へのアプローチもあつていいと思ひます。生まれてずっと柳川市民（三橋町民）だけど、大人になつて、こんなに税金を取られるのかと衝撃しかありません。納税者へのメリットが感じられません。この状態では子育ても不安です。どうしても、“税金が高い”というイメージが強いです。これから先、柳川を誇れるようなまちになればいいなと思ひます。今の税金じゃ、同僚におすすめでできません。柳川市には、子育て支援や住宅支援などありますか。もつと明確に、どんどんアピールするべきだと思ひます。 	女性	30歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■藤吉		
<ul style="list-style-type: none"> 川下りコースの川も十分汚いのが、その他のクリークやドブ（溝川）があまりにも汚くて友人、親せきなど柳川へ観光に来てほしくない。ドブからあがってくる「くさいにおい」もどうかして欲しい。このような理由で柳川に愛着など一切ない。誇りもない。（高校まで柳川。一旦県外へ。数年前に柳川へ移住。柳川から離れたたい。） NHK大河ドラマ招致に税金使うぐらいなら、柳川の目玉でもある川に力を注いでほしい。 交通マナーが悪い車が大変多い。特に信号のない横断歩道。観光客がたちどまっても全然止まらない車。恥ずかしい。この意見は、市長やトップの方々も見てくれますか。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> 医療機関が少ない 特に耳鼻科がないので困っています。 水遊びできる公園があれば良いと思う。公園は少ないと思う。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> 夏場は堀から異臭がする為、循環させてほしい。 	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> 観光の町ですが、カラスが多くフンが多いように思いますし、洗濯物を外に干せません。どうか対処して欲しいです。 	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルのボックス入れを作して下さい。大川市のように、いつでも持って行ってもOKのような…図書の本を（ボックスも）駅に作して下さい。小学生、3.4.5年生（3人）ぐらいの子が、ジョイフルでカードあそびでやってジュースを頼み永遠にしていた。別の場所を！図書館ではジュースは飲めないからかな？ 	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> 駅前工事の為子供の通学などの安全面が不安。もうすこし子供目線のまちづくりをしてほしい。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> 柳川はもちろんですが、近隣の大川、みやま、大牟田との連携（街の活性化）を深め、市外からの人を呼び込める魅力を持った市になっていくことを期待しています。あと、久留米、福岡（空港・博多・天神）行きの直行バス（高速含め）が、西鉄柳川から乗れると、もっと便利且つ、観光客を呼び込めると思います。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> 高齢でも施設を利用しなくても生活できる様な方が毎日楽しく過ごせる様な憩いの場を増やして下さい。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> 道の駅を今よりも、広くし、海産物等も多くし、利用する人を増やす。（場所を移転する。） 小児科病院が少ない、特に夜間診療がないから、子育てのお母さん達は、不安だろうと思う。 大型のスーパー（食料・衣料のある店）がない。高齢者の衣料を扱ってない。店がないから不便。独居高齢者で、車がない家は時々、どうしてあるのかなと思う時がある。 もう少し、町を活性化して、川下りだけではなく、きめ細かい町作りを考えてほしい。 若者に未来がある町、会社の誘致で、人口の流出を止める。 柳川は川下り観光で栄えているけど、その中で、11月にある北原白秋祭りは、（白秋祭）はもっとPRしたらいいと思う。幻想的で、川下りのコースには、多彩な催し物があり魅力的です。もっと発展し、行政、議員さん達ががんばってほしい。 	女性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> 柳川は本当に暮らし安いです。市の職員様方のお陰と思っています。今後共よろしくお願い致します。藩札もありがとうございます。 スマホは持っていますが、使い方がまだよく操作出来ずにいます。 	女性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> 地域に要望をよく聞いてもらえる（市の各部署の）ところは、私がこちらに来てからどんどん良くなっていると感じています。これからも、柳川に住んで良かったとだれもが言えるよう。市民全体で取り組んでいけたらと思います。 	女性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> 駅前工事の為、回送用のバスが通学路を通るので時間帯によっては危ないと思える事が多々あります。少し考えていただけたら要望します。コース変更は無理でしょうか。 	女性	70歳以上
■矢ヶ部		
<ul style="list-style-type: none"> 賃貸物件を増やして欲しい。 	男性	20歳代
<ul style="list-style-type: none"> 矢ヶ部の水利は、今のままでいいのですか。 	男性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> 大型物産店、道の駅の設置。大型観光バスが発着できる場所。 	男性	70歳以上

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■矢ヶ部		
・沖端川の護岸の件ですが、旧柳川市側は、コンクリートできれいに舗装されていますが、矢ヶ部側は、土のままです。草も繁っているし、水害がおきた時は、まちがいなく土の方に水は流れてくると思うので、コンクリートにしてほしい。	女性	40歳代
・選挙投票などは若年層の票は重要なものなのでネット投票などこれだけデジタル化社会なので投票所に出向かなくても投票できるように早く頑張ってもらいたいです。	女性	40歳代
・木か花が増えるともっと景観がよくなると思います。	女性	60歳代
・観光がどっちつかず。町中を地図を持ち歩いている人を見ると気の毒になる。川下りをして沖端まで行ったがコロナもあってか、それは淋しくさびれている感じでこれでは、又来たいと思わないと思った。活気がない。	女性	70歳以上
■ニッ河		
・キャンプ場をキレイに整備し、観行客を呼ぶ（無駄な土地が多い）。 ・奨学金の支援の幅をもっと広くしてほしい。特定の人だけにしないでほしい。遅く生まれた人だけはずるい。 ・川下りにお金をかけすぎ。 ・堤防の草を定期的に刈ってほしい。 ・子育て支援が少ない。柳川で子育てしようとは思わない。 ・他の市に比べて、時代遅れ。（道の駅など） まだまだありますがこのくらいにしときます。	男性	20歳代
・子育ての支援や、ゴミ出しの便利さ等、他の自治体と比べて、残念に感じるがありますが、現状をどう認識されていて、どういう考えで、対応を決められたのかがわかると、家族に不満を言われた時に、説明できるので、そういった観点での情報発信があると助かります。個人的な希望ですが。 ・地域活動が多くて、同年代や、移住者は、負担に感じています。行政の範囲■では無いかも知れませんが、住みにくさに大きく関わっていると思いますし、コロナが落ち付いて地域活動が増え、参加されない方が増え、最近負担がさらに大きくなったようにも感じています。	男性	30歳代
・そもそも、柳川市には、大企業がないので（筑後市みたいに）息子達が都会に出る必要がある。（帰って来ても職がない）観光の町なので熊本県みたいに企業の誘致は、出来ないでしょうか。私の地区には、若い人があまりいません。これでは、過疎地区になりかねません。子供を増やす以前の問題です。	男性	60歳代
・皆が楽しめる大きな公園や施設などが有れば良いと思う。	男性	60歳代
・柳川市通貨を通年で発行して欲しい。	男性	60歳代
・「観光地柳川」だけでは、人材流出は止まらない。もっと熊本県のような、国内外の一流企業を誘致するような働きかけを積極的に行うべき。佐賀縁跡地や有明沿岸道路など道路事情が良くなってきたので、あとは、用地確保等しやすい環境作りをした方が良いです。	男性	70歳以上
・70歳以上の方の仕事が多くあれば…ですね。いつまでも、元気で働いて仲間の方と話ができる場 認知症が出ない様にも主人の代筆させて頂きました（妻）。	男性	70歳以上
・近年、地域の空き家が多くなっている様で地域おこし活動又、交流会等をぜひ頑張って発信して下さい。	男性	70歳以上
・ムツゴロウランドの遊具の上に屋根がついたらいいと思います。体調不良や日焼けを気にせずに遊べるかなと。	女性	20歳代
・むつごろうランドの遊具がある場所のトイレ（多目的トイレ）を利用した際に、子供のおむつを変えようとしたら、汚物入れた入りきらなかったものが、トイレタンクの上などにも置いてあり、ものすごい異臭でした。おむつを捨てるゴミ箱をおくか、持ってかえるように促す貼り紙をするなどの対策をしてほしいです。初めて行き、楽しく遊んでいたのですが、それで残念でした。異臭のせいでその時はトイレのドアを開けて変えました。	女性	20歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■ニッ河		
<ul style="list-style-type: none"> 市が運営する会館、水都などで行われる習い事は平日昼間だけでなく平日夜など若者も参加できる時間にもたくさん行ってほしい。 	女性	20歳代
<ul style="list-style-type: none"> 柳川市でコンポストの助成はあるが、畑をしている人が主にコンポストを使ってるのでは？と感じた。キエーロの推進してほしい。ゴミの焼却は、エネルギーも、費用も、環境の負担だと思う。キエーロは調べてもらったら分かるように、バクテリアが生ゴミを分解し、土にかえてくれる。少しでも環境がよくなればいいですね。あとは、「新カドタ式生ゴミで土づくり」という本を読んでほしい。←柳川の粘土質の土がフカフカの土にできるか今実験してます。子ども達のために良い環境を将来につなげてほしいです。 	女性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> 川下りルートの清掃をもっと行っていく。夏は結構においがキツイため。観光客のためにもっとお店など充実できたら良いと思う。バスの本数をもっと増えたら利用したいと思う。今は、本数が少なすぎて全く利用できていない。 	女性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> 子供達が室内でもたくさん遊べる所を作って欲しい。 物価が高くなっていることもあり、必要に応じて助成金を使用してほしい。 子供の医療費を小学生までは無料にして欲しい。 災害時の避難所の安全化、場所によっては川の近くにあり安全ではない。 	女性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> 観光客へ目を向けるよりも、まずは住んでる人の満足度を高めてほしい。高い税金を納めて、還元されることがない。（住んでる人に）子育て支援にも力を入れてほしい。ほかの満足度が高い町がどういう取組をして、市民の満足度を得ているのかを考えて欲しい。もっと、観光ではなく、満足度が高い町に引越したいです。西鉄駅からの直結川下り、無駄にしか思えず腹立ちます。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> むつごろうランドに大型遊具ができたのは子どもも喜んでいました。近所の子ども家庭もよく利用しているようです。 古い建物が再利用されてきた飲食店が増えたように思います。友人も定期的に柳川に訪れ、うなぎ屋さんだけでなくいろいろなお店に行けてうれしいです。ソイルセレクトファーム ソイルセレクトショップもよかったです。柳川認定ブランド自分もお土産にも重宝しています。 子育てでは、子育て支援センターに助けられました。これら3つともがこれからもっと盛んになるよう市からももっともっと応援してもらいたいです。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> 普通の生活をし、普通に義務である納税をしているが母子・父子である世帯は、医療費や税金も安くて済む。夫婦で共働き決して楽ではないのに。これなら、離婚し、国からの補助を頂いた方が良いのではと考えてしまう。一人一人が住みやすい地域になって欲しいと思う。 	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> 堀近くの散歩通りの草刈りしてもらいたい。同じイベントより色々誰でも参加できる事をしてもらいたい。以前のふれあいスポーツ楽しかったな。盆踊りなどもいいかな。西鉄駅前に川下りコースが出来ると聞いたけど必要ですかね。送迎バスでいいのでは。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> イベント会場が遠くて行きにくい。（ムツゴロウランドとか）市の中心部でイベントしてほしい。 	女性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援は家庭にお金を支給するのではなく小学生・中学校の給食費を無料にして又公立小学校・中学校の制服を入学時に配布したほうが家庭も喜ぶと思う。 みやま市と柳川市の市長は箱物作りがお好きなようだが沢山のお金がかかる建立は議会で決めるのではなく市民に賛否を問うべき。議員は選挙中市民の代弁者だと連呼している。市民がノー（駄目）と言うのを作るべきではない。 市長は三期迄として長期市政になると業者と馴れ合いになり打算が生じ又新鮮味がない、出馬するなら退職金は支給しない、市長自ら身を切る覚悟をすべきです。 	女性	70歳以上

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■垂見		
<ul style="list-style-type: none"> 健全な市政運営を望む。市民をバカにしている。ゴミ焼却炉跡に陸上競技場建設の計画があるが大反対。18億も使いあんな所に作っても利用者はないでしょう。避難所も作るそうですが、駐車場だけの避難所に意味がない。又、場所的に海拔も低く、そばには川がある。周りの田んぼを1町3反も買ってやる事業ではない。そんな事するなら、給食費を無料にしてください。周辺の自治体には子育て支援が色々あるのに柳川にはない。公共工事で金ばかり使い、人に使わない柳川には若い人は住まない。自分も家族と他の市へ引っ越そうかと考え中。税金のむだ使いが多すぎ。人件費減らすアンケートするヒマあるならムダな工事をやめてください。市長は立派な陸上競技場で、（年に1回しかないのに）柳川の子供達を走らせたい考えだろうが、無知もいい所。破たんする。競技場のタータン400mで2億かかる。又メイン競技場の他にサブトラックもいる。タータンを敷いた所はふつうの靴では走れないし、すべるから小学生にスパイク靴を購入させるさせるつもり？サッカー場もスパイクが要る。 	男性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> 田畑部分の堀、用水路での釣人のマナーについて車両の駐車やゴミ（空き缶紙パック切れた釣糸等）の放置、小魚の路上放棄等マナーがなっていない。ガードレールより堀・用水路側への侵入、水門に登ったりとか危険。市でパトロールとかできないか。 道路舗装で一部補修部分が経年で落ち込み段差が発生している所有り。運転していて危険。 自転車通学の中学生で横断歩道手前の止まれ（一時停止）で止まらず車道に出て来る。車で走行中十分注意はしているが、直前に車道に出て来られては止まれない。死角になっているところもあるが中学校での安全教育を徹底できないか検討してほしい。 	男性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> 柳川駅前の堀づくりの掘割は今だに疑問を感じている。 オスプレイの佐賀空港利用で影響が大きいのは柳川である。毅然とした対応をしてほしい。 旧、ゴミ処理場跡の競技場建設は反対である。 水路の魚釣りのゴミ対策の条例を設置してほしい。科料を課すことを含めて。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ゴミ袋のサイズが、小さくなり、不便なので、もっと大きなサイズにしてほしい。ごみバケツのサイズに合わない。 リサイクルのゴミの分別がとても大変で、家事の負担となっている。もっとやりやすい方法はないのでしょうか。 市内に、休日を楽しめる所、食事やカフェなど楽しめる所がなく、わざわざ遠出ししないといけないため、そういった場所ができると嬉しい。ありがたいです。 	女性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> お城を建てて欲しい。娯楽施設（映画・ボウリング場・バッティングセンターetc）が欲しい。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> 柳川市は大きな町ではないけど川下りで全国の方にも多く知られている観光と思います。川が流れ安心して安全で住みやすい柳川市と誇れる町にいつでもあってほしいです。 	女性	60歳代
■中山		
<ul style="list-style-type: none"> 学生の間はもう少し支援をしてもらえると助かります。 	女性	10歳代
<ul style="list-style-type: none"> 川下りを推すのは良いと思いますが川が汚すぎて、船に乗る気になりません。ゴミ出しを、毎日家から少し離れた道に出しているが家の前まで取りに来てほしい。子どもがいるので大変。袋のまま出すとカラスや猫にちらかされるので共有ボックスを設置してほしい。 	女性	20歳代
<ul style="list-style-type: none"> 全体的にクリークが汚れている。 高校生の自転車走行マナーがなっていない。車を運転していて大変危険と感じている為、きちんと指導してほしい。 物価高に対する対応をしてほしい。 	女性	30歳代
<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理施設あとに陸上競技場の建設案があるようですが、撤回いただきたいと思っています。利用頻度も少なく、税金のムダ遣いです。 	女性	40歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■中山		
<ul style="list-style-type: none"> ・私も含めて老人が多くなりました。川さらえ等若い人がいる家は何とかなりますが、いない所は気持ちはありますが参加出来ません。市の方から日当の用な物があればその分で専門の方に費用を払ってもらえる用にしてもらえるといいですが。 ・コミュニティバスなど利用が出来ません（時間がない）（今は車を使っています）。 	女性	70歳以上
<ul style="list-style-type: none"> ・川下り観光では、いくつもの業者が有るが、観光客に他社の悪口を言ったりして、とても悪かったとの話を耳にした。柳川市として統一した規律を考えて欲しい。 ・災害避難指示が他市に比べ非常に遅いように思います。 	女性	70歳以上
■わからない		
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートや情報については、マイナンバー、QRコードなどをどんどん活用し、合理化してほしい。 	男性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・役所の方々もう少し弱者に寄り添って親身になって下さるといいなと思います。以前住んでいた所よりゴミ袋等が高い事も気になっていました。微々たる物かもしれませんが、子育て世帯には色々辛い出費が他の市より多いと感じました。 	女性	20歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングなどをしていると、車からのゴミのポイ捨てが多く、特に田んぼ道や信号で、車が停まるあたりにゴミが多いのが汚く見えるので、町の活動として取り組んでほしい。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・べにばな号の、ルート、時刻表、利用方法がわかりにくい。ネットで調べるのは老人には難しい。商店街を利用したいが、駐車場が少ない。（京町、御花付近） 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・舟の貸し出しがあったらいいな（安く）。 	女性	40歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・観光ばかりに力を入れ、住んでもらうための施策がおろそかになっているように感じる。そうした柳川市の施策が人口減少や地域の低迷をもたらしているのではないか。 	女性	70歳以上
■（校区無回答）		
<ul style="list-style-type: none"> ・柳川市の特産品等のアピールをもっと広げる。道路の白線が消えて線だけ書いてある。（まつなが内科の横）他にも多数あるが1年以上も放置されている。 	男性	60歳代
<ul style="list-style-type: none"> ・市は観光だけでなく企業誘致に動き、市の赤字を減らすこと。 	無回答	無回答
<ul style="list-style-type: none"> ・川下りとそれに関する店とか、多くなっているがとんでもない店もある。もう少し規制を厳しくして、最終条件は、クリアする様にしてもらえ。川下りももう一度するべき。 	無回答	無回答
<ul style="list-style-type: none"> ・子供のあそぶ場所を作って下さい。公園をきれいにしてほしい。 	無回答	無回答
<ul style="list-style-type: none"> ・柳川市は、色々あるけど、やっぱり北原白秋あつての柳川です。もっと白秋の童謡だったり、詩であったり。もっと前面に出して、PRが必要ではないか。白秋祭だけではただの川下りではないかと感じます。白秋の詩歌を活用してはどうですか。ホームページにも活用願いたい。 	無回答	無回答
<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な、そして乏しい財源を有効に使って欲しい。無駄と思われるようなものを作って欲しくない。市民皆が望む活用できるもの老人も子供も笑顔で利用できるような施設が望ましいのでは？例えば陸上競技場より小さな公園小さな遊具や木陰のある老いも幼児も一緒に集える笑えるような「憩いの場」が欲しい。 	無回答	無回答
<ul style="list-style-type: none"> ・大河ドラマ誘致という言葉聞いていた頃、友人を柳川観光に誘いました。今回は柳川城跡を一つに考え観光課にTEL。しかし、あやふやな返事、"駐車場はなし"という返事。これといって他にすすめられる事もなく対応に"ガッカリ"、"もっと頑張れ!!"と思いました。友人は佐賀の人で鍋島様を誇りに思っている口調でお城、佐賀神社おひな様を案内してくれました。田舎ですので自然を育くんだら（例 桜道 なの花）と思います。むつごろうランドがありますが不便すぎます。中心部はいいが、年寄りにはコミュニティバスが3便では買物にも悩みます。車がないと動けない町です。 	無回答	無回答

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■行政への意見（つづき）		
■（校区無回答）		
<p>・以前に比べるといろいろな方面で町づくりに取り組んでおられると思います。若い方々の活動を頼もしく思います。観光客が増えているわりに食事処が少ないと感じます。喫茶店（観光客の方がお茶する場が少ないと思います。）も少ないです。水産堂等の老舗がなくなっていくのは残念です。100年もの歴史があるのに柳川の名物だと思っていたので残念です。ゴンシャン（喫茶店）が若い方にひきつがれたのはよかったですと思いました。先日沖端にいったところ、御花までは人がたくさんいたのに、川下りの乗船場あたりの人が少ないのが気になりました。駅前等に大きなビルが建つとの事ですが、新しくしていくばかりでは、外からきた人は魅力を感じないと思います。福岡市等と同じになっては何もならないと思います。昔ながらの町並を生かした町づくりが、大切だと思います。</p>	無回答	無回答
<p>・空家の草取りがされません、ポウポウのびて隣に住んでいますか両隣とも草ぼうぼうでイヤになります。区長に言っても知らんぷりです。どうかして下さい。</p>	無回答	無回答
<p>・沖端の柳がなくなったのはさみしいです。</p>	無回答	無回答

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■観光・地域振興への意見		
■柳河		
・駅前船は、市民に不必要である。観光で市が活性化されるかもしれないが、沖端には、店も少なく、魅力があるとは言えない。おもてなしするにも、これしかないと言われる気がする。沖端もう少し活性化すべきだと思う。	男性	40歳代
・スターバックスを駅前新しいビルに欲しい。 ・FMたんとに柳川も加入して欲しい。	男性	50歳代
・久しぶりに沖端に行きましたが、道路が広がったのはいいのですが、柳の木がなくなって、風情がなくなった気がします。柳を植樹したらどうですか。	男性	70歳以上
・川下り乗り場の近くに、スタバやタリーズ等のテイクアウト可なお店を誘致するのはどうでしょうか。柳川駅前に川下りコースが延長するのに合わせて開店すれば、沢山の方々に柳川観光を楽しんで頂けるのかな、と思いました。近隣の柳川市民も大牟田や筑後のスタバをよく利用しているので、市民目線でもあったら嬉しいです。	女性	20歳代
・道の駅をはやく造って下さい。	女性	50歳代
・春に柳川市内の「さげもん」を見て回りました。高畑、マリンファームの「さげもん」はすばらしく、心に残りました。準備、おもてなし大変だと思いますが、来年も、行こうと楽しみにしております。	女性	60歳代
■城内		
・勉強や作業ができる施設・カフェ等をつくってほしい。	女性	20歳代
・公園やカフェを増やしてほしい。バスケットゴールを設置してほしい。	女性	40歳代
・御花の近くや川下りコースがもっときれいにおしゃれに整備されていけばと思います。「立花宗茂と閻千代」もっと推してもいいのでは。大河ドラマ楽しみにしています。	女性	50歳代
■矢留		
・シャッター街になっている所をもっと利用して、活気をつけてほしい。三橋地区の開発、柳川商店街の開発共に共存すると良い町になると考えます。	女性	60歳代
■東宮永		
・両開のムツゴロウランドは、遊具も大型で充実し、若い御夫婦や子供たちが元気に遊んでおられており、若者の定位に大きな成果があったと思います。若い人が住みやすい町作り推進のためにも、更なる充実（BBQ施設 遊具の増設キャンプ場、料理場などをお願いします。横の施設（本館）にも、宿泊やホテルへの改築もありと思います。	男性	60歳代
・柳川は川下りが観光の目玉になっているが、川下りをされた方は2度としなくて良いとの事です。水の色が濁って。	女性	70歳以上
■両開		
・むつごろうランドが新しく開園されたのでむつごろうランドでのイベントをこれ以上に考えてほしい。	女性	70歳以上
■昭代第一		
・観光地としては、目玉が少ない。 ・景観が悪い。	女性	60歳代
・柳川の商店街が閉まっているのが多くてさみしい。40年前の賑わいを、知っているのですが、そのようにとは、言いませんがなにか寂しいです。時代の流れでしょう。今の子供達に柳川を知ってほしい。	女性	70歳以上
■蒲池		
・コミュニティバスを使い1日又半日かけての観光ツアーをしてはどうか。ガイド付きで。観光する人は柳川市を何度来るのでしょうか。川下りや御花だけではなくて会社見学や食事のめずらしい所、文化活動や芸術の詳しい知識など又方言の意味など柳川の駅に降りたら迷わず観光が出来る方がバスツアー以外の人は楽だと思うし内容が変わればまた来ようと思うと思います。	女性	50歳代
■血垣		
・観光客が泊まれる柳川市にしたい、宿が少ないと思います。	男性	70歳以上

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■観光・地域振興への意見（つづき）		
■中島		
・最近では、福岡県柳川市という、名前を全国区で知られるようになった気がします。それは、柳川市の宣伝がなされてるからだと思います。だから、柳川市民としては、大変喜ばしいことだと思います。もう少し、何か観光的なものがあればもっといいのかも。	女性	50歳代
・おいしい飲食店が少ないと思います。おしゃれなお店も少ないと思います。7～8人で食事会をするのに日曜日空いていない店もあってなかなかいいお店が、柳川駅の近くに見あたりません。それに比べて大牟田はたくさんあるように思います。	女性	60歳代
■大和		
・川下りの船頭さんが橋をこえる行為に対して物議がなされていますが、私はなくさないでほしいと思っています。今、小学生の時に川下り体験がされているのかは分かりませんが、私が小学生の時に見た橋をこえるパフォーマンスはとても印象に残っています。「柳川の川下りといえば」という感じなので。	女性	20歳代
■矢ヶ部		
・柳川には宿泊するところが少ないと言われるので誘致したらどうでしょうか。宿泊するところがないので、大川のビジネスホテルに泊っているという話を聞きます。	女性	50歳代
■ニッ河		
・柳川駅西口の川下りの開発が必要かということ。それよりも商店街のシャッターが目につくので、商店街の活性化に力を入れたほうがよくないかと思います。	女性	60歳代
・「立花宗茂さん」と「閻千代さん」を主人公としたNHK大河ドラマ招致されるのを楽しみにしています。実現することで、もっと多くの方が柳川に興味を持っていただき、九州全体との関りもわかり、歴史的にも興味深いです。柳川の良い所をもっと全国の方、又、インバウンド需要が増えることを期待します。	女性	60歳代
・柳川駅前に川下りコースができるそうですか。それについてもっと知りたい。全体像、など。又、東口、西口の乗降者・数の割合なども知りたい。	女性	70歳以上
・駅前の川下りコース完成図をもう一度広報誌に載せて欲しい。	女性	70歳以上
■垂見		
・観光地として日本国内だけではなく海外にもアピールして有名にして欲しい。活気あふれる街にしてほしい。人気の街にしてほしい。	女性	50歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■水路・堀の整備への意見		
■柳河		
・掘割ももっときれいに。裏通りの堀がとても汚く、ある観光客の1人が言ってました。見えない所をもっときれいにしてほしいと。地域の掃除だけでは限界があります。	女性	70歳以上
■矢留		
・川下りが盛んになってから、末端の用水路の水が流れなくなることが多く、汚れと水がよどんで、小魚や小さな生き物がいなくなり、非常に残念です。水は常に流して、支流まで常に流れているようにしてほしい。川下り優先で支流の水をよどませるのは違うと思う。田植えのときだけ流せばいいものとは違う。	女性	70歳以上
・道が全体的にせまいです。	女性	70歳以上
■蒲池		
・町中の掘割りは清掃がいき届いているが、郊外の堀は汚いと感じます。	男性	70歳以上
■皿垣		
・水路の草が茂って、車が見にくいので刈り取ってもらいたい。	男性	60歳代
■豊原		
・川下りをする掘割だけは整備されている。しかし他の地区の掘割は雑草が生えている所がある。私の家の横の掘割は草がびっしり生えている。大雨の時雨水が流れ込むことができず道路が冠水してしまうのではないかと心配しています。市の方に草刈りしていただき、掘割の機能を果たせるようにしてほしいです。	女性	40歳代
・水路用地（クリーク）で迷惑な釣り人が多くなった。市民の要望と現場の状況を鑑みて、釣り禁止区域を設置できるような対策や、条例・規則の改正を求める。※全ての水路を釣り禁止にするものではない。民家に隣接する水路用地等、市民が迷惑をこうむるような場所 ポイ捨て、たむろ、私有地へ無断立入等、マナーの悪い釣り人に現に、非常に困っている。景観の悪化につながる。警察対応への丸投げではなく、行政として、きちんと対応をして頂きたい。（子供絵の”あぶない”看板だけではあまり効果なし）	答えたくない	40歳代
■藤吉		
・遊歩道と掘割をちゃんと整備してほしい。（鳥の糞害〈伝習館側〉、レンガの石畳など）	男性	60歳代
・沖端川をもっときれいに整備してほしい。	男性	70歳以上
・掘割の整備、水害対策	女性	30歳代
■二ッ河		
・二ッ河校区川北地区は水路の未整備地区が多く大雨の時すぐ水田が冠水する。水路整備を希望します。	男性	70歳以上
■垂見		
・最近、数件焼く火事がありました。消防車は、多く来てましたが、水がありません。小さな水路でも、整備をして、水が常にあるようにして頂きたい。柳川駅前ばかりでは、困ります。まず市民の生活が大事です。	女性	70歳以上

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■交通・道路整備への意見		
■柳河		
・できれば市バス（コミュニティ）増加をお願いします。	男性	60歳代
・柳川駅から辻町交差点の通りが特に狭くて危ない。（特に自転車）車がないと不便。	女性	20歳代
・歩道を広くしてほしい。	女性	20歳代
・道路整備をしてほしい。電柱が邪魔をして離合ができない道がある。そこを通らないと自宅に帰れないのでいつも困る。	女性	40歳代
・自転車が安全に通れる専用道路が欲しい。	女性	70歳以上
・歩道の整備してほしい。京町通り歩きにくい。	答えたくない	40歳代
■城内		
・西日本ガスの南側のブロック塀を後10cm程、内側にしてほしいです。〇〇さんの角のブロック塀、鋭角になっている所を少し削ってほしいです。左側に回る際、ハンドルを何回も切り返さないと車に傷つけそうです。新外町北の〇〇、〇〇さんの間の塀、護岸工事をお願いします。	男性	60歳代
・市内バスの利用が、便が少なかったり、駅までの利用したい時間に巡回バスは、年配者中心の利用だから、子供が免許（車・バイク）が無い人は特に不便に感じている人がいると思う。 ・観光地として柳川⇔御花までにバスを利用する外国人も多くいる中バスの停留所（もっと分かりやすかったり、新しく、ぬり直ししたり、屋根をつけてみたり）は御花前だけでもあればいいのと思った事があった。	男性	60歳代
■東宮永		
・車がなくても生活できるようなバス等の整備	男性	30歳代
・東宮永地区に駅までのバスがないので不便です。市議会議員が選挙の前だけ会社に来て「困った事はありませんか？」やめてほしい。	男性	40歳代
・街灯をたくさんつけていただきたい。	女性	40歳代
■両開		
・ムツゴロウランドが新しく、きれいになって、利用者が増えて、良いのですが、道路が一部狭い所があるので不便です。	女性	60歳代
・コミュニティバス 小さいバスでよい 運行数を増やしてほしい 臨機応変に停車してほしい。	女性	60歳代
■昭代第一		
・京町商店街付近の道路整地してほしい。自転車、歩行者が安全に通行できるようにしてほしい。	男性	40歳代
・街灯をもっと多くしてほしい。地域によっては、ものすごく暗い所が多いので安全の為に街灯が多い方がいいと思います。	男性	70歳以上
■昭代第二		
・道路の街灯が少なく、夜間通行する際に自転車や歩行者の安全面で不安を感じます。	女性	50歳代
■蒲池		
・西鉄蒲池駅～蒲生地区の県道へ歩道の整備を通学路の為（安全確保）早急に希望したい。	男性	70歳以上
・小学校の通学路にもかかわらず道幅がせまく、大型のトラック、または普通車もかなりのスピードを出している。見通しも悪い交差点なのに点滅信号である。	女性	30歳代
・コミュニティバスの本数を増やしてほしい。一日一往復は意味がない。車の運転免許の返納もできません。	女性	60歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■交通・道路整備への意見（つづき）		
■有明		
・作物への影響もあると思われるが、特に冬場の夜間の街灯をお願いしたいです。	男性	60歳代
・市の中心部よりかなり遠いので、公共交通機関を使用したくても、タクシーなどで駅まで行くのにもお金がかかる。 ・田舎の方なので、カーブミラーも見えにくく、道路端の雑草も伸びていて対向車など見えにくい。 ・中心部以外のところもインフラ等の整備をもっとしてほしい。 ・この先免許返納したくても、出来ないかもしれないと不安です。	男性	60歳代
・高齢者二人暮らしの為車の運転が出来なくなったら買い物など、どうしたらいいのか心配しています。柳川市内では、そのような心配はないでしょうが大和町では、バスも通っていないし、コミュニティバスもゴミ出しも、集合場所までは、かなり遠いので心配です。田舎のすみずみまでもう少し目を向けていただけたらと願っています。	男性	70歳以上
・コミュニティバスを利用して思う事 全然利用されてないバス停があり時間と燃料費がもったいないと思います。出来れば柳川からの3時半位の便があったらと思います。	男性	70歳以上
■六合		
・自転車と自動車の走るスペースがほしい。	女性	50歳代
・今の所、車運転ができるのでよいが、高齢者免許証、返納すれば、病院、買い物に困るので、コミュニティバスの各地域への利用できるよう配慮して頂ければ有難いです。	女性	70歳以上
■大和		
・沿岸道路のICの数を増やしてほしい。 ・堀付近、周辺にガードレールを設置してほしい（子供の転落防止の為）。	男性	40歳代
■豊原		
・柳川市に限ったことではないが、道路上（歩道含む）の雑草が目障りだし、交通の妨げになっている。自宅―店舗―事務所等の前の道路であっても誰も気にならないのが理解できない。道路愛護の啓発が足りない。	男性	60歳代
・バスが不便だと思う。便を増やすなどしてほしい。	女性	20歳代
・通学路などまだしっかりと整地していない所が多く感じます。	女性	40歳代
・塩塚駅までの道がせまいのが不便。	女性	60歳代
・柳川駅から佐賀空港までの路線バスがあると便利だなと思う。	女性	60歳代
■藤吉		
・西鉄の特急本数を増やしてほしい。天神からの終電を遅くしてほしい。	男性	60歳代
・ローソン柳川駅東店の前の押しボタン式信号機が青になるのがおそすぎて、すいた時に渡っている人が多いように感じる。早く変わるようにするか、信号自体なくても良い気がする。	女性	30歳代
・市外で暮らし柳川に戻ってきました。子供の頃は全て当たり前だった柳川の良さを今になって感じています。美しい町並や人の温かさを維持して欲しいです。年を重ね車を手放すことが話題になることが多くあります。もう少しバス等での外出が楽になれば安心できると思います。	女性	50歳代
・河川敷の土手の道路側の草がのびている所を刈ってほしいです。	女性	60歳代
■わからない		
・何も分からず引っ越してきましたが、人も温かくした治安も良く、暮らしやすいと感じます。ところどころ歩道がないため、危ないと感じます。やはり車がないと不便ですね。	女性	20歳代
■（校区無回答）		
・コミュニティバス停が遠いです。	男性	60歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■税金についての意見		
■昭代第一		
・市民税が高い。	男性	60歳代
■昭代第二		
・住みよいまちづくりの為に税金が使われていないと思います。観光客の為に、柳川駅周辺で工事が行われているようですが、三柱神社まで徒歩で行って、神社参拝にもつながると思います。観光客のも大事だと思うますがまずは市民の為に税金を使っていただきたいと 思います。	女性	50歳代
■蒲池		
・税金が有効に使われる事を願います。	女性	70歳以上
■矢ヶ部		
・市民の事を考えて税金を使って貰いたい。川下り乗り場を西鉄柳川駅に作っていますが、何の為にわからない？それより、柳川の魅力を放映費とかに使った方が観光客を集客出来るのではないかと。もっと考えてください。	男性	60歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■教育・子育てについての意見		
■柳河		
・子育てがしやすい町をもっと進めるべきだと思います。教育についても、もっと地域色を出してもいいのではないのでしょうか。	男性	60歳代
・子育て支援が不足していると感じる。 ・住宅支援等も不足していると感じる。 ・手当全般が少なすぎる。 ・観光ばかりに力を入れ、市民が住みにくい町になっているように感じる。	女性	20歳代
■城内		
・4月に子どもが生まれました。柳川市には子育て支援のたくさんの催しがあり、利用したことで安心感を得ることができています。（妻も同感）柳川市で暮らしていて良かったです。	男性	30歳代
・今年、初めての子供ができ子育てをしているが、もっと子育てをしやすい町にしてほしい。「このゆびとまれ」を利用しているが、子育ての息抜きや相談などができ、助かっている。そういう施設を増やしてほしい。また、公園（設備が整っている）が増えるとうれしいです。	女性	20歳代
■東宮永		
・子育て、いろんな面よくしてもらっています。これからもよろしくお願いします。	女性	50歳代
■両開		
・子どもを4人育てています。より一層の子育て支援の拡充をお願いします。	男性	40歳代
■昭代第一		
・子どもを育てやすい町づくりにしてほしい。助成金 親への多くしてほしい。	男性	60歳代
■皿垣		
・高校生までの子育て応援をもっと充実させてほしいです。親の負担を少なくしてほしい。	女性	40歳代
■中島		
・家づくり等子育てへの支援を充実してほしい。	男性	20歳代
・保育園や学童に預けやすくなると思います。	男性	60歳代
■垂見		
・子育て世帯に対して、支援が少ないと感じます。特に、多子世帯に対しての支援がないと思います。多子世帯なのに就学援助制度も収入で決められるのは不平等に感じます。もっと子育て世帯に対する支援を柳川市は考えてほしいです。	女性	30歳代
■中山		
・幼児が室内であそべる施設を作ってほしい。（大村市にはいい施設があります。）	男性	50歳代
■（校区無回答）		
・子供を育てやすい、住みやすい柳川市にしてほしい。	女性	40歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■企業誘致についての意見		
■東宮永		
・ファミリーレストランが少ないので、誘致してほしい。	女性	30歳代
■昭代第一		
・イオンやモラージュのような大型ショッピングモールを作って、もっと人を呼べる魅力的なまちになってほしい。同じチェーン店（例えばジョイフル）の飲食店ばかりでつまらない。ガストやサイゼリアができてほしい。	女性	30歳代
■藤吉		
・若い人が働く場所がない。	女性	20歳代
■ニッ河		
・観光に力を入れているのはわかるけど企業誘致にも力を入れてほしい。	女性	70歳以上
■垂見		
・大中小企業の誘致をお願いします。なぜなら最大の少子化対策にして、経済発展の原動力になると思うからです。（柳川市の収入増にもつながる）	女性	60歳代
■歴史・文化についての意見		
■中島		
・いつまで立花宗茂にこだわればいいのか。何か悲しくなる。オノ・ヨーコ氏の存命中にジョンレノン（ビートルズ）関連のイベントをやりたい。もっと世界に目を向けて欲しい。	男性	50歳代
■広報についての意見		
■柳河		
・まちづくりとは、違うかもしれませんが、家庭には、通信機器ありきで、「ホームページで…」などありますが、経済的に、機器の購入ができてない通信料金が払えない等さまざまな理由がありますので、そういう者たちにもわかりやすいお知らせ等やっていただければと思います。	女性	50歳代
■両開		
・大河がんばって下さい。少しずつですが近づいてきてる気がします。市民としてもあきらめたくないです。いい脚本家さんのときをお願いできるといいな。制作が良くないと反感を買いかねないので難しいですが、大河はブランディングとしてまちがってないと思ってます。	女性	40歳代
■矢ヶ部		
・NHK大河ドラマ誘致はPR不足を感じる。住民の気運が盛り上がっていない。多方面からの検討が必要と感じる。	男性	60歳代
■垂見		
・柳川市道路計画についての進捗状況を随時ホームページ等で更新してほしい。	男性	60歳代
■防災についての意見		
■六合		
・津波が来た時に避難できる。高台になっている所や3~4階建て以上の一時避難できる建物をハザードマップに追加してほしい。	女性	50歳代

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■医療についての意見		
■柳河		
・柳川に産婦人科が少なく、〇〇さんしかいない。子供に優しい町づくりを。	女性	30歳代
■その他の意見		
■柳河		
・最近では核家族化が進み、老人家庭が目立つ様になりました。そのために、祖父母から、孫たちに地域の伝統や、昔の地域の話聞く機会が減ったことと思います。祖父母から昔の話聞き、以前の柳川はよかった話を、私はたくさん聞いたものでした。そのことで柳川のたいせつさを実感したものです。現在、三世代家族の家庭はめずらしいと思いますが、そのことで郷土愛がうずれている様に思います。祖父母と孫まで一緒の家庭で生活して夕食時などに昔話を聞いていたら、もっと郷土愛ができることと思います。	男性	60歳代
・駅に花か花壇がほしい。他の人が柳川は花がきれいと言うようにしたい。	男性	70歳以上
・掘割を流れる水が汚すぎて、とても残念な気持ちになる。川下りルートもあまりきれいだとは思わないが、それ以外の堀の水はひどすぎる。 ・観光地としてとても宣伝しているが、もっと観光名所として満足してもらえるような場所が少ないと思うあまりセンスのないお店が多い。	女性	40歳代
・100年後の柳川市のためにできる事。 人を育てる事・みんなが感謝する事。 ・100年前の柳川市へ伝えたい事。 変わらない事の大切さ・変わる事の重要性。 ・柳川に生まれ・育ち、次へつなげる事。	女性	40歳代
・緑が多く、水も豊かでとてもいいと思いますが…なにせ蚊が多い。せっかくの水の都も台無しです。	女性	70歳以上
・水郷柳川の住民であることを嬉しく思っています。住民周辺の美化に全市民が心懸ければもっと美しい市になると信じています。焼け石に水ですが除草続けています。除草剤は使用したくないです。 幼児の目があります。植物の成長過程を誤認識させたくありません。	女性	70歳以上
・共同アパートに住んでいる者です。ごみの件ですけど、ルールを守らない方が多い。ごみ収集車の方もビックリされると思います。 ・一番の悩みです。ゴミ箱がきたない。変な臭いがします。収集の方もゴミを確認して持って行ってほしいです。ゴミ箱にいっぱいあります。	女性	70歳以上
■城内		
・柳川の小・中・高生に限らず、1人1人の大人でも道路で会ったり、建物の中でも、朝、昼、夜の挨拶を知らない人でもするようにしたら。どんなに気持ちいいでしょうか。	女性	70歳以上
・市民会館に、色々なジャンルの音楽家や舞台・芸能の方が来られているのは、とても楽しみです。最近では、劇団四季さんの舞台、お得な値段で見られて大満足でした。また、有名なミュージカルなども柳川で見たいです。なかなか遠出できない高齢者が増えているので、柳川で楽しめることは、大切なことと思います。 ・市の生ゴミ袋（緑色）のひもが短いので、結びづらいです。	女性	70歳以上
■昭代第二		
・ごみ出しの件プラゴミがよごれていたら、持って行かない…（集荷時）と置いてありますが、洗ってもとれなかったり、洗剤使って水使って洗ってゴミ出すって。！？	女性	60歳代
■蒲池		
・引越して2年あまり過ぎますが、まだなれない事も多くある中で、老夫婦にとっては矢加部の田園風景夕焼けが癒されます。	女性	70歳以上

IV. 参考資料

(6) 柳川市のまちづくりについてのご意見等（問40）

主な記述内容	性別	年代
■その他の意見（つづき）		
■蒲池		
・通学路の側に肥料を山積みにしてあり、それが歩道まで散らかっている。 ・すぐ近くに飼料を作っている会社なのか詳しくはわからないけど、通学路があり、道路挟んで大きなトラックが数台動いている。ほうきでよく掃いておられるのを見るけど、臭うし、家の建ってない離れたところに建ててほしかったです。	女性	70歳以上
■血垣		
・脳梗塞となり右麻痺あり、認知症等はないが字が書けない為選挙用紙に記入する事ができない。選挙に行きたくても投票できない人の対応をお願いします。 代理記入（妻）	男性	60歳代
■有明		
・コロナも少し落ち着き、いろいろな行事が復活して柳川も活気づいてます。これからもずっと続けていってください。	女性	60歳代
■中島		
・65歳以上なのでホームページ、インターネットをしたことがないので見ない、分からない、スマートフォンで見ることができませんか。	女性	60歳代
■六合		
・タクシー乗り場に観光客が遠いと苦情が多い。（雨の日は特に乗り場までが遠いと言われる。）	男性	70歳以上
■藤吉		
・柳川に60年以上住んでいるにもかかわらず、柳川市のことを知らない。関わりがないことをあらためて感じました。仕事で家に居る時間が短く、地区のことに関わる時間がない。年をとり、自分の身体が動かなくなったとき（車の運転ができない病気になったとき）に心配している。多くの人が仕事を辞め時間ができないと地域のことまでは気がまわらないと思う。年配の方が地域のお世話をしてくださっていることに感謝です。	女性	60歳代
■矢ヶ部		
・ハリウッド美容専門学校の生徒の素行が悪い。（ゴミの放置、電車のキセル）昼夜を問わないバイクや車の爆音（エンジン音）が不快。	女性	30歳代
・私は柳川が好きです。ほど良い、田舎感。	女性	60歳代
■ニッ河		
・静かでいい街です。	男性	20歳代
・もう年を重ねて、一人暮らしです 町づくりに意見等ありません	女性	70歳以上
■垂見		
・職員の方々にも聞いてみたいものです。地域活動、業務でなく、ボランティアで参加していますか。公共交通、施設間の移動や出張で利用していますか。等々 まちづくり、お一人お一人の姿勢も私たちは見えています。宜しくをお願いします。	男性	50歳代
・マスクをしない生活になって、職員のおごひげが気になる。	女性	40歳代
■中山		
・柳川市民文化会館付近を散歩すると、柳と堀の景観がとてもキレイで、気持ちがいいです。私のお気に入りなスポットです。ありがとうございます。この会場で、お祭りがあった時、動線や誘導がとてもスムーズで、よく計算されてあるなぁと思いました。 ・たまに、柳川市役所を訪れると職員の方が、いつも笑顔で、気持ちよく対応して頂いています。コロナの対応など、大変な時期もあったと思いますが、いつも市民の為に、ご尽力ありがとうございます。一緒にこれからも魅力ある市になるよう力をお貸しください。	女性	40歳代
■（校区無回答）		
・7年前にこの市に転居してまいりましたが、近所の方々との交流はほとんど無く朝・夕出会った時に挨拶をする程度 昔の良き時代からだんだん疎遠になってきて淋しいものですね。 ・働くお母さん方も多いので、どうしたらいいでしょうか。日本全体の課題ですかね。	無回答	無回答

2. 調査票

柳川市市民アンケート調査

アンケート調査へのご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対しご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

柳川市では、平成29年6月に市のまちづくりの基本的な指針となる「第2次柳川市総合計画（平成29年度～令和6年度）」を策定いたしました。

第2次柳川市総合計画は将来像を「水と人とまちが輝く柳川」とし、4つの目標をたてております。1つ目は1人でも多くの市民が柳川に愛着や誇りを持てるような取り組みを行う「柳川の歴史・文化・風土に誇りと愛着を持つふるさとづくり」、2つ目は若い世代が子育てや暮らしやすさを実感しながら、住み続ける「若い世代の希望を叶え、柳川の子育て、暮らしに幸せを感じるひとづくり」、3つ目は市民の満足度を上げることで市外に住む人が惹きつけられる「水郷柳川の風情や快適さに共感し人を惹きつけるまちづくり」、4つ目が地域資源を活かして柳川の稼ぐ力を育てる「柳川の地域資源や産物を誇れるしごとづくり」に取り組んでおります。

このアンケートは、4つの目標を達成し、将来像を実現させるために実施している事業の進捗度を検証し、今後のまちづくりに活用するために実施するものです。

多くの市民の皆様の声や、柳川市のまちづくりに反映させていきたいと考えておりますので、ご協力の程よろしくご協力いたします。

令和5年6月

柳川市長 金子健次

1. アンケート調査の対象者

このアンケート調査は、6月1日現在で柳川市在住の18歳以上の方から、無作為に抽出した2,000人を対象としています。

2. ご記入、ご返送について

- ・ご回答は、あて名のご本人が記入してください。
(なお、ご本人による記入が難しい場合は、代理人による代筆で記入してください。)
- ・ご回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ・ご記入は鉛筆またはボールペンでお願いします。
- ・アンケートの回答にかかる所要時間は5分程度です。
- ・記入された調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）で7月14日（金）までに郵便ポストに投函してください。

3. 調査票の取扱いについて

調査結果は、統計的に処理を行いますので、個人が特定されることはありません。

4. お問い合わせ先

ご不明な点等は、柳川市 総務部 企画課 企画係 電話 0944-77-8423
までお問い合わせください。

あなた自身についてお尋ねします

問1. 性別についてお選びください。(○は1つだけ)

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
| 3. その他 | 4. 答えたくない |

問2. 年齢を次の中からお選びください。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 |
| 4. 40歳代 | 5. 50歳代 | 6. 60歳代 |
| 7. 70歳以上 | | |

問3. 住んでいる校区をお選びください。(○は1つだけ)

- | | | | | |
|---------|---------|--------|--------|-----------|
| 1. 柳河 | 2. 城内 | 3. 矢留 | 4. 東宮永 | 5. 両開 |
| 6. 昭代第一 | 7. 昭代第二 | 8. 蒲池 | 9. 皿垣 | 10. 有明 |
| 11. 中島 | 12. 六合 | 13. 大和 | 14. 豊原 | 15. 藤吉 |
| 16. 矢ヶ部 | 17. ニッ河 | 18. 垂見 | 19. 中山 | 20. わからない |

暮らしについてお尋ねします

問4. 地域活動や地域ボランティアに参加していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない |
|-----------|------------|

問5. 柳川市は子育てしやすい環境だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. 分からない | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問6. 柳川市は人権が守られていると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. 分からない | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問7. 市内の道路を快適に通行できると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. 分からない | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問8. 柳川市に愛着や誇りを感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 大いに感じる | 2. 多少感じる |
| 3. 分からない | 4. あまり感じない |
| 5. 全く感じない | |

問9. 観光客などに対しておもてなしをしておよかったと感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 大いに感じる | 2. 多少感じる |
| 3. あまり感じない | 4. 全く感じない |
| 5. おもてなしの機会がない | |

公共交通についてお尋ねします

問10. 外出する際、路線バス・電車など公共交通を利用しようと思うことはありますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. よく思う | 2. たまに思う |
| 3. あまり思わない | 4. 全く思わない |

問11. 最近3か月間に公共交通機関(バス、電車、タクシー、コミュニティバス)を利用しましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 週5日以上 | 2. 週3～4日以上 |
| 3. 週1～2日以上 | 4. 月に数回程度 |
| 5. 利用していない | |

問12. 柳川市が運行しているコミュニティバスを知っていますか。(○は1つだけ)

- | |
|-----------------------|
| 1. 路線・ダイヤなどを含めよく知っている |
| 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 4. 知らない |

問13. 市内の公共交通に対する満足度を教えてください。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても満足している | 2. ある程度満足している |
| 3. どちらでもない | 4. あまり満足していない |
| 5. 満足していない | |

柳川ブランド認定品についてお尋ねします

問14. 商品の地域性や安全性等を評価し、認定される「柳川ブランド認定品」を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. よく知っている | 2. 知っている |
| 3. あまり知らない | 4. 全く知らない |

→次ページへ続く

文化・景観・歴史についてお尋ねします

問15. 柳川市は文化芸術活動が盛んに行われていると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. 分からない | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問16. この1年間、掘割に接する機会(川下りや水辺のイベント、農業利用、釣り、清掃など)はありましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問17. 水辺の景観や掘割が保全されていると感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. 分からない | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問18. あなたは掘割に、愛着や誇りを感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 大いに感じる | 2. 多少感じる |
| 3. どちらでもない | 4. あまり感じない |
| 5. 感じない | |

問19. この1年以内に川下りをしたことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ある →問20へ | 2. ない →問22へ |
|-------------|-------------|

(問19で、「1. (1年以内に川下りをしたことが)ある」と回答した人にお尋ねします。)

問20. 川下り全体の満足度をお答えください。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-----------|
| 1. 満足 | 2. おおむね満足 |
| 3. 普通 | 4. やや満足 |
| 5. 不満 | |

問21. 問20で回答した満足度の理由をお答えください。

問22. 柳川初代藩主「立花宗茂」とその妻「闇千代」を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. エピソードも含めよく知っている | 2. ある程度は知っている |
| 3. 名前は聞いたことがある | 4. 全く知らない |

環境衛生についてお尋ねします

問23. 燃やすしかないごみは何処に出していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1. 自宅の前に出している | →問24へ |
| 2. ごみ収集車の収集ルート上まで持って行って出している | →問25へ |

(問23で「1. 自宅の前に出している」と回答した人にお尋ねします。)

問24. ごみはどのように出していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 個人のごみバケツやネット | 2. 袋のまま出している |
|-----------------|--------------|

→ 問28へ

(問23で「2. ごみ収集車の収集ルート上まで持って行って出している」と回答した人にお尋ねします。)

問25. ごみ出しの場所は、誰が利用していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-------|
| 1. 自分だけが利用している | →問26へ |
| 2. 5軒以上の世帯が利用している | →問27へ |

(問25で「1. 自分だけが利用している」と回答した人にお尋ねします。)

問26. ごみはどのように出していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 個人のごみバケツやネット | 2. 袋のまま出している |
|-----------------|--------------|

→ 問28へ

(問25で「2. 5軒以上の世帯が利用している」と回答した人にお尋ねします。)

問27. ごみはどのように出していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 個人のごみバケツやネット | 2. 他の世帯と共有のボックス |
| 3. 他の世帯と共有のネット | 4. 袋のまま出している |

問28. ごみ減量の工夫として次のようなものがありますが、取り組んでもよいと思うものはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 水切りネットの使用 | 2. 生ごみ処理機の使用 |
| 3. 買い物の際にマイバックを使用 | 4. 紙袋を紙ごみ用の袋として使用 |
| 5. 飲料用マイボトルの使用 | 6. 古着屋やリサイクル専門店の利用 |
| 7. フードバンクの利用 | 8. 特にない |

防災についてお尋ねします

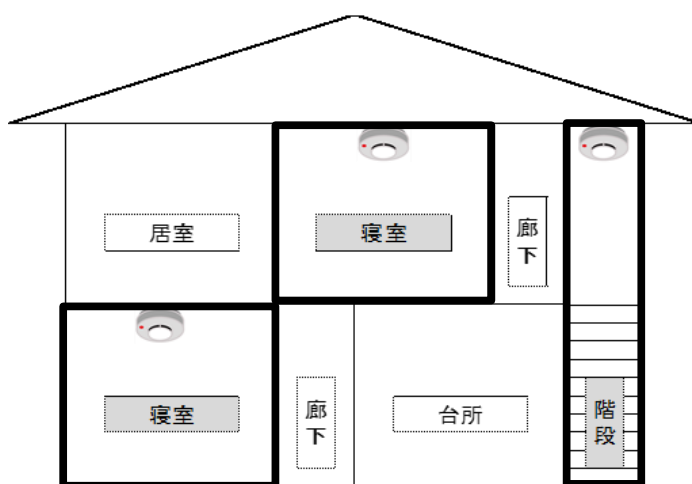
問29. お住まいの住宅は、次のうちどれに該当しますか。(○は1つだけ)

1. 一戸建て 2. 共同住宅等 (賃貸) 3. 共同住宅等 (持ち家)

問30. 住宅用火災警報器を設置が義務付けられている部分(図1参照)すべてに設置されていますか。(○は1つだけ)

1. すべてに設置している (全部設置) →問31へ
2. 一部に設置している (一部設置) →問31へ
3. 設置していない (未設置) →問34へ

図1 住宅用火災警報器の設置を義務付けられている住宅の部分



- ・就寝の用に供する居室 (寝室・子ども部屋)
- ・階段 (寝室が2階以上の階にある場合)

(問30で「1. 全部設置」または「2. 一部設置」と回答した人にお尋ねします。)

問31. 設置されている住宅用火災警報器の中で一番古いものは、設置してから10年を経過していますか。(○は1つだけ)

1. 10年を経過している
2. 10年を経過していない (交換済みのため)
3. 10年を経過していない (設置してから10年以内)
4. 不明

→ 問32へ

問32. 最近、半年間に住宅用火災警報器の作動確認(図2参照)を行いましたか。

(○は1つだけ)

1. 最近半年間に実施した →問33へ
2. 実施予定である →問34へ
3. 未実施 →問34へ
4. 不明(点検ボタンまたは点検ひもがない場合や、半年間に実施したかどうか不明など) →問34へ

図2 住宅用火災警報器の作動確認の方法



点検ボタンを押す

または



点検ひもを引っ張る

※高所での点検作業となりますので、転落や落下の危険があります。
安定した足場を確保して、安全に作業してください。

(問32で「1. 最近半年間に実施した」と回答した人にお尋ねします。)

問33. 作動確認を実施した結果はどうでしたか。(○は1つだけ)

1. 異常なし
2. 電池切れ・故障
3. 不明

選挙についてお尋ねします

問34. あなたは、選挙日当日どの時間帯に投票所へ行くことが多いですか。(○は1つだけ)

1. 7時から12時
2. 12時から18時
3. 18時から20時
4. 期日前投票に行くことが多い
5. 投票には行かない
6. 投票に行く機会がなかった

問35. 現在、選挙日当日の投票終了時刻は、20時までとなっていますが、終了時刻を早めることについてどう思いますか。(○は1つだけ)

1. 賛成 →問36へ
2. 反対 →問38へ
3. その他 () →問38へ

(問35で「1. 賛成」と回答した人にお尋ねします。)

問36. 「賛成」の理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 期日前投票できるので投票機会への影響は少ない
2. 選挙経費が削減できる
3. 投票立会人などの負担が軽減できる
4. 選挙結果を早く知ることができる
5. その他 ()

(問35で「1. 賛成」と回答した人にお尋ねします。)

問37. 投票終了時刻は何時までが適当だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 18時まで | 2. 19時まで |
| 3. その他 (|) |

市のホームページについてお尋ねします

問38. 3月に新しくなったホームページは見やすいですか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------|
| 1. 見やすい →問39へ |
| 2. 見にくい →問39へ |
| 3. 見ないので分からない →問40へ |

(問38で「1. 見やすい」もしくは「2. 見にくい」と回答した人にお尋ねします。)

問39. その理由をお答えください。

--

問40. 最後に柳川市のまちづくりについて、ご意見等があればご自由にお書きください。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)で**7月14日(金)**までに郵便ポストに投函してください。